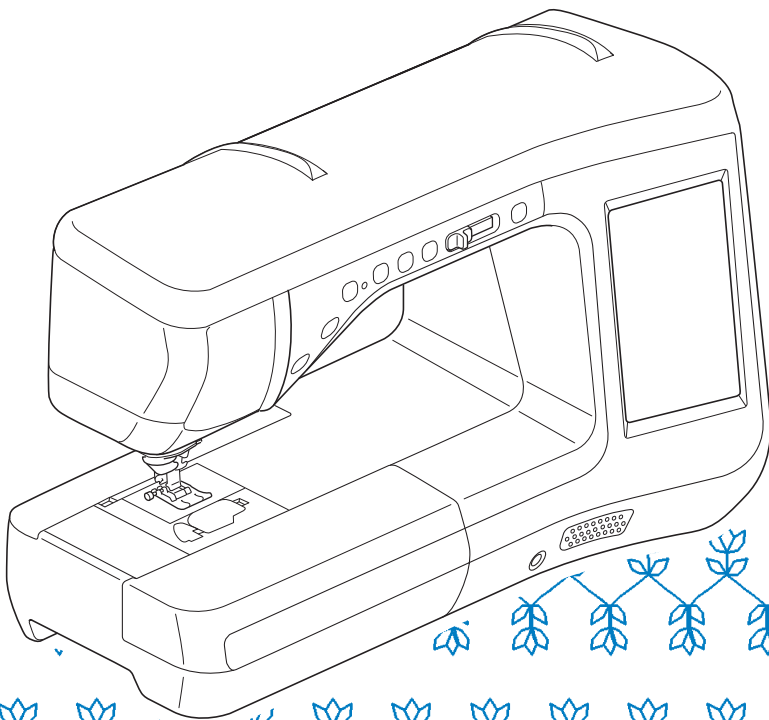


取扱説明書

コンピューターミシン
CPD12 シリーズ



- お使いになる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

IMPORTANT:

READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Intel License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright © 2000, Intel Corporation, all rights reserved. Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistribution's of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistribution's in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Intel or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

All information provided related to future Intel products and plans is preliminary and subject to change at any time, without notice.

SD は、SD-3C,LLC の登録商標または商標です。

CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は SanDisk 社の登録商標または商標です。

メモリースティックはソニー株式会社の登録商標または商標です。

スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標または商標です。

マルチメディアカード（MMC）は、Infineon Technologies 社の登録商標または商標です。

XD ピクチャーカード（xD-Picture Card）は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

IBM は International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

マジックテープは、株式会社クラレの、面ファスナーの登録商標です。

App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

Android、Google Play は、Google LLC の商標です。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。

本取扱説明書に記載されているアプリケーションは、各社によってソフトウェアライセンスの所有・管理がされています。

本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には®および™などのマークは明記しておりません。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、取扱説明書で機能や正しい
 使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
 また取扱説明書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。

安全にお使いいただくために

取扱説明書および本製品で使われている表示や絵文字は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使
 いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
 その表示や意味は次のとおりです。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示してい ます。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの 発生が想定される内容を示しています。

取扱説明書で使用されている絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない 禁止事項		特定しない 義務行為		感電の危険が あります
	分解しては いけません		電源プラグを 抜いてください		火災の危険が あります
	水に濡らしては いけません		特定しない 危険通告		針の下に指を入れない でください

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

 警告	
 	一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・使用中に停電したとき ・接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・雷が鳴りはじめたとき
 注意	
 	延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となりま す。
 	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の 原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠ 注意	
	電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
 	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
 	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 0 ～ 40 ℃ です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。
 	火の気のあるもののそばでは使用しないでください。（火の消えていないたばこ、ろうそくなど）火災の原因となります。
 	野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れたときはお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
	温度や湿度の高い所でのご使用や保管は避けてください。
 	スプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
 	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。 ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
 	ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から 30cm 以上離して使用してください。また、換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまるようにしないでください。火災の原因となります。
   	ミシン本体の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
  	ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
	ミシン本体の重さは約 16kg あります。ミシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。
	以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。 ・ 温度が著しく高くなる場所 ・ 温度が著しく低くなる場所 ・ 急激に温度が変化する場所 ・ 湿気、湯気の多い場所 ・ 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所 ・ 屋外や直射日光の当たる場所 ・ ほこり、油煙の多い場所
	ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべて落としたりして、けがの原因となります。
	取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとけが・故障の原因となります。

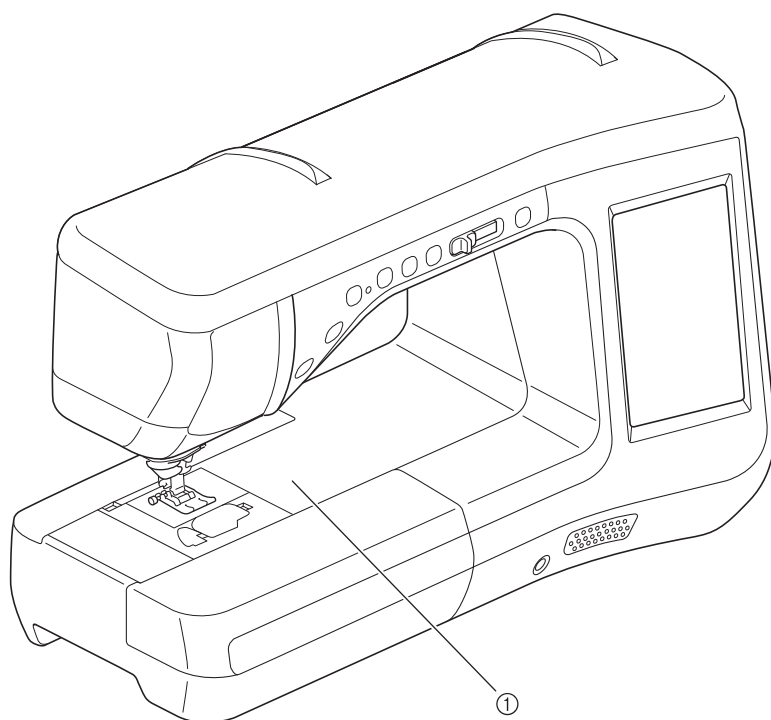
！ 注意

	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびけがの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご依頼ください。
	取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。けが・感電の原因となります。
	<u>ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、てんびんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。</u> けがの原因となります。
	リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにけがをするおそれがあります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。
	針や押えなどの交換およびそのほかの機能に関する使用については、取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。
	縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。けが・針折れの原因となります。
	<u>針の下などに指を入れないでください。</u> けがをするおそれがあります。
	上糸、下糸などに関する操作については、取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみなどが発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
	曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
	万一、ミシン本体を落したり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
	本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
	お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するとき、お子様がけがをしないよう十分注意してください。
	フットコントローラーの上に物をのせないでください。けが・故障の原因となります。
	USB ケーブルは付属のものを使用してください。

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
- 本機をご使用になる方（お子様を含む）が、身体／知覚／精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- お子様が使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

警告ラベルについて

ミシン本体には下記の警告ラベルが表示されています。
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。



①



このミシンでできること

B 基本機能編

本機をご使用になる前に、まずこの「基本機能編」をお読みください。ここでは、基本的な準備の手順や、本機のより便利な機能を説明しています。

第1章 めう前の準備

めう前に必要な準備を説明します。

B-16 ページ

S 実用めい／文字・模様めい編

ここでは実用めいのさまざまな機能をご紹介します。基本的な縫製だけでなく、筒めいやボタンめい、または文字・模様めいなど、本機をもっと活用したいときの詳しい操作方法を知ることができます。

第1章 基本のめい方

基本のめい方と上手にめうコツなどを説明します。

S-2 ページ

第2章 実用模様

100 模様以上の便利な内蔵模様についての説明です。

S-20 ページ

第3章 文字・模様めい

文字・模様めいの手順を説明します。

S-76 ページ

第4章 マイイラスト機能

オリジナルの模様の作り方と保存のしかたを説明します。

S-102 ページ

A 付録

ここでは、本機の操作をする上で重要な情報をご紹介します。

第1章 ボビンワークでめってみましょう

ボビンワークのしかたを説明します。

A-2 ページ

第2章 お手入れ／困ったときには

ミシンのお手入れと困ったときの対処方法などを紹介します。

A-14 ページ

目次

商標	
安全にお使いいただくために	1
警告ラベルについて	4
このミシンでできること	5
各部の名称とはたらき	8
主要部	8
針と押え部分	9
操作スイッチ	10
付属品ケース／補助テーブル	11
付属品	12
別売品	14

B 基本機能編

第1章 めう前の準備 16

電源の入れ方	17
ミシンを初めて使うとき	18
液晶画面の操作	19
設定キーを使う	23
ミシンヘルプキーを使う	28
操作ガイド機能を使う	29
ぬい方キーを使う	30
模様説明キーを使う	31
下糸の準備	32
下糸を巻く	32
下糸をセットする	37
下糸を引き出す	39
上糸通し	40
上糸通し	40
2本針を使用する	43
ほどけやすい糸を使用する場合	46
押えの交換	47
押えを取り外す	47
押えを取り付ける	47
付属のアダプターを使用して別売の押えを取り付ける	48
針の交換	50
針を取り外す	50
針交換ツール（別売）を使って針を取り付ける	50
針を手で持って取り付ける	51
布地と糸の種類による針の使い分け	52
ミシンに接続して使う機能	53
市販のUSB メディアを使う	53
パソコンにミシンを接続する	53
USB マウスを使う	54
デュアルフィード押え（別売）を使う	54

S 実用ぬい／文字・模様ぬい編

第1章 基本のぬい方 2

基本のぬい方	3
ぬってみましょう	3
返しぬい／止めぬいをする	5
自動止めぬいをする	6
カーブをぬう	7
ぬい方向を変える	7
厚い布地をぬう	8
面ファスナー（マジックテープ®）をぬう	9
薄い布地をぬう	9
伸びる布地をぬう	9

模様の設定	10
ジグザグの振りを調節する	10
ぬい目の長さを調節する	10
ぬい目の基線位置を変える－L/R シフト設定－	11
糸調子を調節する	12
便利な機能	14
自動糸切りをする	14
ニーリフターを使用する	15
ピボット	15
自動押え圧補正	17
針位置・ぬい位置	17
自動押え上下	18
画面をロックする	18

第2章 実用模様 20

実用模様の選び方	21
模様を選ぶ	21
模様の設定を記憶する	22
いろいろなぬい方	24
直線ぬい	24
ダーツ	28
ギャザー	28
折り伏せぬい	29
ピンタック	30
ジグザグぬい	30
点線ジグザグぬい	33
たち目かがり	33
キルトぬい	35
まつりぬい	45
アップリケぬい	48
シェルタックぬい	49
スカラップぬい	50
つき合わせぬい	50
スモッキングぬい	50
ファゴティングぬい	51
ゴムひもつけ	52
ヘアールーム	53
ボタン穴かがり	54
ダーニング（つくろいぬい）	58
かんどめ	59
ボタンつけ	60
アイレット	62
横送り（直線・ジグザグ）	62
ファスナーつけ	63
ぬい方早見表	67

第3章 文字・模様ぬい 76

模様の選び方	77
大型飾り模様／7mm 飾り模様／大型サテンステッチ／	
7mm サテンステッチ／クロスステッチ／実用飾り模様	78
文字模様	78
文字・模様をぬってみましょう	81
きれいにぬうために	81
文字・模様のぬい方	81
模様の調整をする	82
模様の編集のしかた	84
模様の大きさを変える	86
模様の長さを変える（7mm サテンステッチのみ）	86
模様を上下反転させる	86
模様を左右反転させる	86
模様の連続ぬい／単独ぬい	86
模様の糸密度を変える（大型サテンステッチのみ）	87
横書き／縦書きを切り替える	87
模様の始めに戻る	87
模様のイメージを確認する	88
模様の組み合わせ	89
模様の組み合わせをする前に	89

ちがう模様を組み合わせる	89
大きさを変えた模様を組み合わせる	90
反転模様を組み合わせる	90
長さを変えた模様を組み合わせる	91
ステップ模様を作る (7mm サテンステッチのみ)	92
模様の記憶	94
データに関する注意	94
模様を記憶する	95
模様を市販の USB メディアに記憶する	96
模様をパソコンに記憶する	97
模様を呼び出す	98
USB メディアから呼び出す	99
パソコンから呼び出す	100

第4章 マイイラスト機能 102

イラストデザイン	103
イラストの入力	105
マイイラストの記憶	110
マイイラストをリストに保存する	110
保存した模様を呼び出す	111

A 付録

第1章 ボビンワークでぬってみましょう2

ボビンワークとは	3
ボビンワークの準備	3
準備するもの	3
上糸を通す	4
下糸の準備	5
ボビンワークでぬう	9
布地を準備してぬう	9
ボビンワークをフリーモーションでぬう	11
糸調子を調整する	12
困ったときは	13

第2章 お手入れ／困ったときには 14

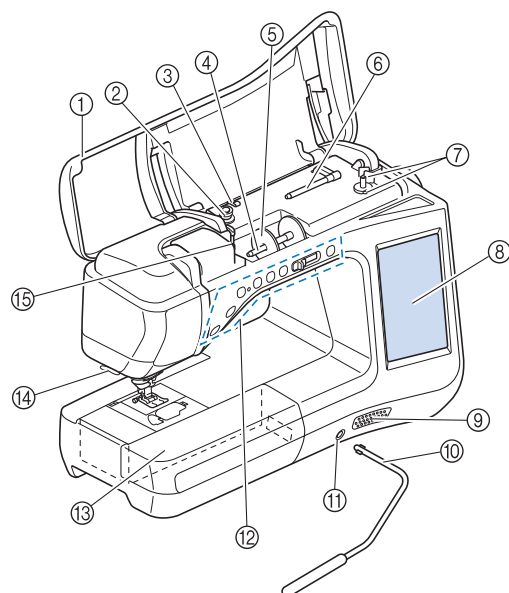
お手入れのしかた	15
注油に関して	15
ミシンを保管するときのご注意	15
画面の汚れの掃除	15
ミシンの汚れの掃除	15
かまの掃除	15
内かま周辺のカッターの掃除	17
点検の警告について	17
画面の調整	18
画面の明るさ調整	18
タッチパネルが反応しない	18
困ったとき	19
よくあるご相談	19
上糸がつる	19
布裏で糸がからまる	20
糸調子が合わない	22
布がミシンに入り込んでとれなくなった	23
簡単なミシンの調整	26
エラーメッセージ	31
仕様	33
アップグレードの方法	34
USB メディアを使用してアップグレードする	34
パソコンを使用してアップグレードする	35
索引	36

各部の名称とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名称とはたらきを説明します。ミシンをお使いになる前に、よく読んで覚えておきましょう。

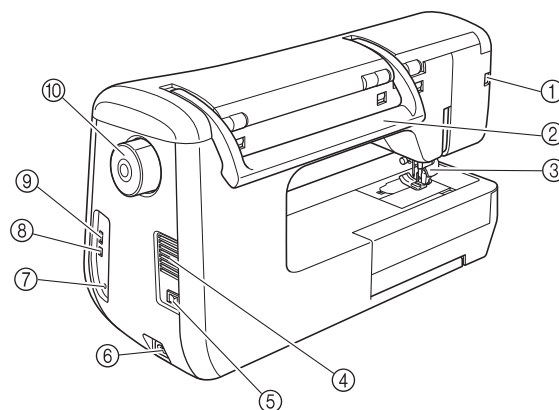
主要部

■ 正面



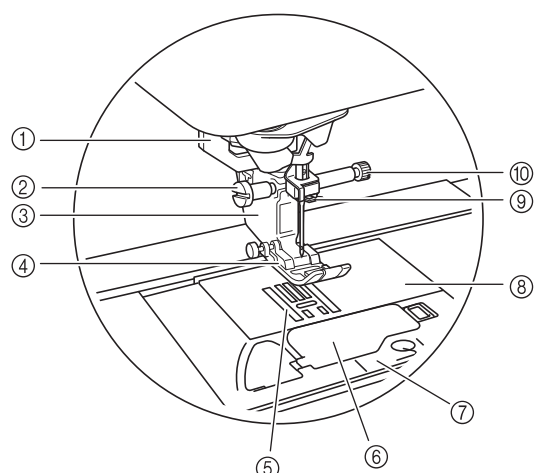
- ① 上ふた
上糸を通すときや下糸を巻くときに開けます。
- ② 下糸巻き案内 (B-32)
下糸を巻くときに糸をかけます。
- ③ 糸案内 (B-32)
上糸を通すときや下糸を巻くときに糸をかけます。
- ④ 糸たて棒 (B-40)
糸こまを差し込みます。
- ⑤ 糸こま押え (B-40)
糸こまが抜けないように押さえます。
- ⑥ 補助糸たて棒 (B-32、B-43)
下糸を巻くときや2本針でぬうときに使います。
- ⑦ 下糸巻き装置 (B-32)
下糸をボビンに巻くときに使います。
- ⑧ 液晶画面 (B-19)
選択した模様の設定やエラーメッセージが表示されます。
- ⑨ スピーカー
- ⑩ ニーリフター (S-15)
ひざで押えを上げ下げするときに使います。
- ⑪ ニーリフター差し込み口 (S-15)
ニーリフターを差し込みます。
- ⑫ 操作スイッチ (7つ) とスピードコントロールレバー (B-10)
ミシンをスタートさせるときや針を上げ下げさせるときなど、ミシンのさまざまな操作に使います。
実用ぬいの模様はスピードコントロールレバーをスライドさせることによって、ぬう速さを調節することができます。
- ⑬ 付属品ケース/補助テーブル (B-11)
中に押えやボビンなどを収納します。袖口などの筒ものをぬうときには外します。
- ⑭ 糸切り (B-42)
糸を引っかけて切ります。
- ⑮ 糸案内板 (B-40)
上糸を通すときや下糸を巻くときに糸をかけます。

■ 背面図



- ① 押えコネクタ (B-54)
デュアルフィード押えを取り付けるときにプラグを差し込みます。
- ② ハンドル
ミシンを持ち運ぶときに持ちます。
- ③ 押えレバー (B-47)
押えを上げ下げします。
- ④ 換気口
ミシンを使用しているときはふさがないようにください。
- ⑤ 電源スイッチ (B-17)
ミシンの電源を「入」や「切」にするスイッチです。
- ⑥ 電源ジャック (B-17)
電源コードを差し込みます。
- ⑦ フットコントローラージャック (S-5)
フットコントローラーやマルチ機能フットコントローラー (別売) のプラグを差し込みます。
- ⑧ パソコン用 USB ポートコネクタ (B-53、S-97)
USB ケーブルを差し込み、パソコンに接続します。
- ⑨ USB メディア/マウス用 USB ポートコネクタ (USB 2.0) (B-53、B-54、S-96)
USB メディアやマウスを差し込みます。
- ⑩ プーリー
針を上げ下げするときに手前に回します。

針と押え部分

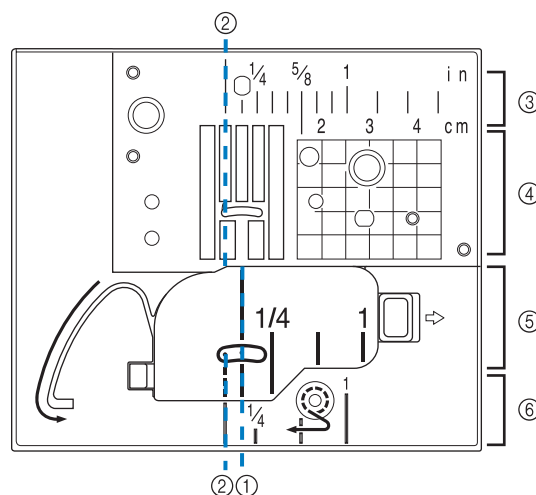


- ① ボタン穴かがりレバー (S-54)
ボタン穴かがりやかんどめをするときに使います。
- ② 押えホルダーのネジ (B-48)
押えホルダーを固定します。
- ③ 押えホルダー (B-47)
押えを取り付けます。
- ④ 押え (B-47)
布地を押さえます。ぬい方に合った押えを取り付けてください。
- ⑤ 送り歯 (B-37、S-32)
ぬう方向に布地を送ります。
- ⑥ 針板ふた (B-37、S-26)
開けて、中のかまにボビンをセットします。
- ⑦ 針板カバー (S-26)
かまの掃除をするときに取り外します。
- ⑧ 針板 (S-26)
まっすぐにぬうための目盛りがついています。
- ⑨ 針棒糸かけ (B-40)
上糸をかけます。
- ⑩ 針のとめネジ (B-48)
針を固定します。

針板／針板ふた（マーク付き）／針板カバーの目盛りを使う

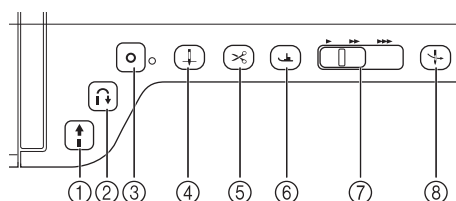
針板ふたの目盛りは、中基線の模様をぬうときの目安です。

針板と針板カバーの目盛りは、左基線の模様をぬうときの目安です。



- ① 中基線の針落ち位置
- ② 左基線の針落ち位置
- ③ 左基線のときの針落ち位置からの長さ (インチ)
- ④ 左基線のときの針落ち位置からの長さ (cm)
- ⑤ 中基線のときの針落ち位置からの長さ (インチ)
- ⑥ 左基線のときの針落ち位置からの長さ (インチ)

操作スイッチ



① スタート/ストップスイッチ

このスイッチを押すと、数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールレバーで設定されている速度でぬい始めます。もう一度押すとストップします。このスイッチを押し続けると、非常にゆっくりとした速度でぬえます。スタート/ストップスイッチは、ミシンの状態によって色が変わります。

緑：スタートできる状態のときおよび縫製中

赤：スタートできない状態のとき

② 返しぬいスイッチ

直線またはジグザグ模様の場合、このスイッチを押している間だけ低速で返しぬいをします（逆方向にぬいます）。そのほかの模様では、ぬい始めやぬい終わりの返しぬい、または止めぬいをするときに使います。このスイッチを押すと、同じ場所で3針重ねてぬって止まります。（S-5）

③ 止めぬいスイッチ

このスイッチを押すと1針ぬいを繰り返した後で、止めぬいします。

文字・飾りぬいをするときは、模様を最後までぬってから止めぬいをします。模様の途中ではボタンの横のLEDライトが光り、模様を最後までぬうとライトは消えます。（S-5）

④ 針上下スイッチ

ぬい方向を変えるときや細かいところをぬうときに使います。このスイッチを押すと、針の位置が上下に切り換わります。繰り返し押し、1針ぬいができます。

⑤ 糸切りスイッチ

ぬい終わった後にこのスイッチを押すと、上糸と下糸を切ります。

⑥ 押え上下スイッチ

このスイッチを押すと、押えが下がり布地を押さええます。もう一度押すと押えが上がります。

⑦ スピードコントロールレバー

このレバーを左右に動かして、ぬう速さを調節します。右に動かすと速く、左に動かすと遅くなります。初心者の方はミシンに慣れるまで、遅い速度でぬってください。

⑧ 自動糸通しスイッチ

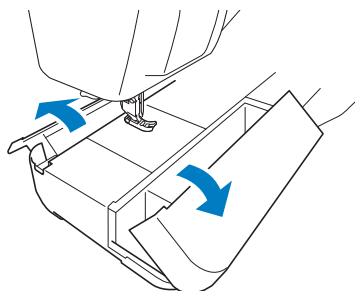
このスイッチを押すと、糸を針に通します。

⚠ 注意

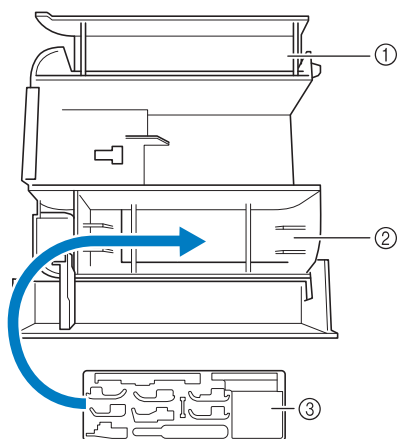
- 糸を切った後は、糸切り操作を繰り返し行わないでください。針が折れたり糸がからまるおそれがあります。また、故障の原因となります。

付属品ケース／補助テーブル

補助テーブルの中に付属品を収納することができます。図のようにふたを開いてください。

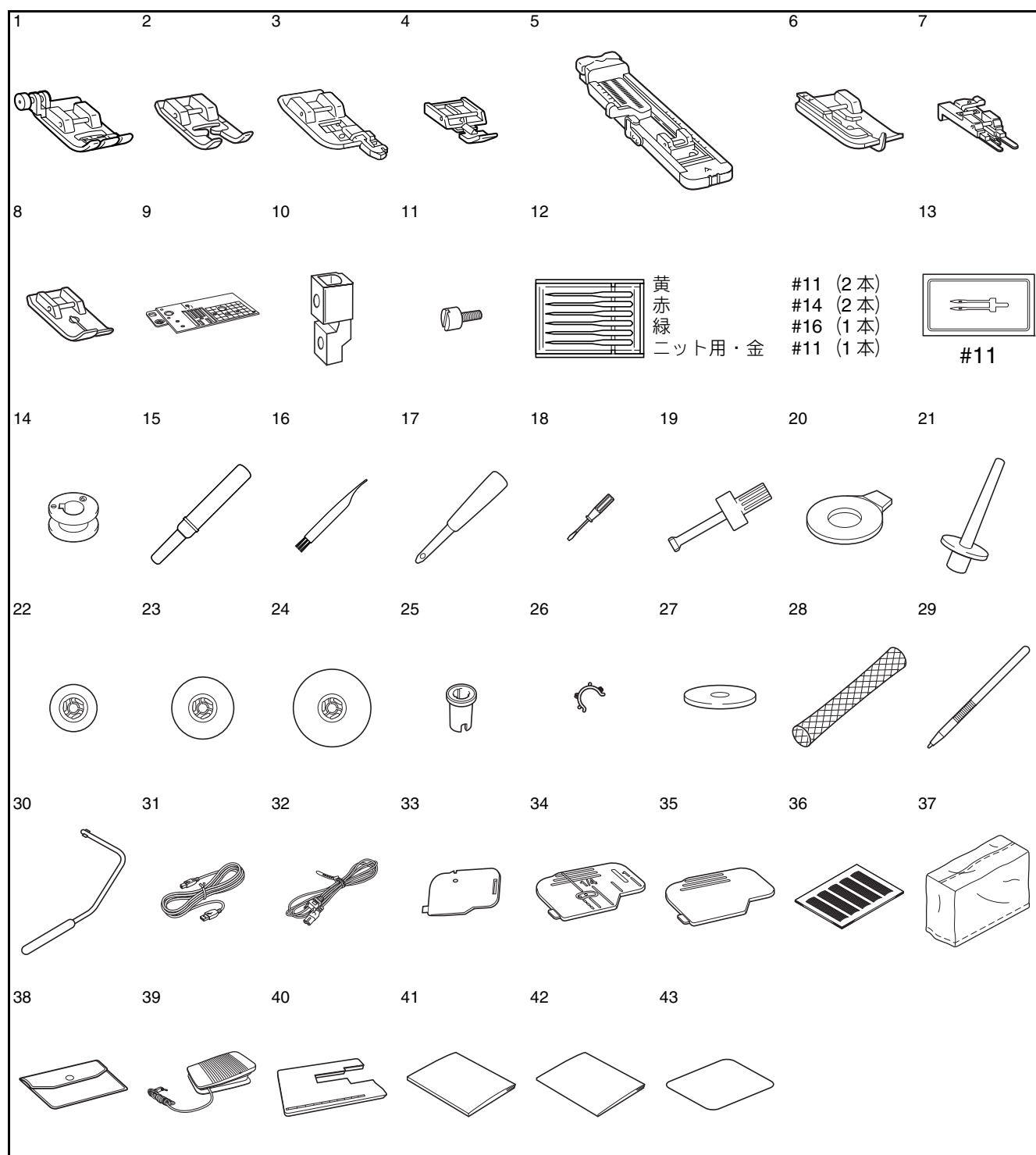


付属品ケース／補助テーブルの中には、押え収納トレイが入っています。



- ① 付属品ケース
- ② 押え収納トレイがセットできます。
- ③ 押え収納トレイ
押え収納トレイは複数のシリーズで共通の部品のため、本製品に付属しない押えのスペースがあります。

付属品



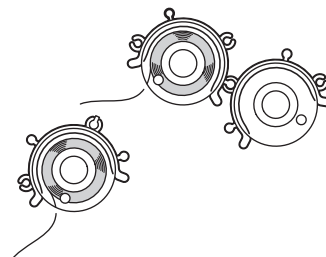
No.	部品名
1	ジグザグ押え< J > (ミシンに取り付けてあります)
2	模様ぬい押え< N >
3	たち目かがり押え< G >
4	片押え< I >
5	ボタン穴かがり押え< A >
6	まつりぬい押え< R >
7	ボタン付け押え< M >
8	直線押え (F042N)
9	直線針板
10	アダプター
11	ネジ (小)
12	ミシン針セット *1
13	2 本針 *2
14	ボビン< 10 個 > (1 つはミシンに取り付けてあります)
15	リッパー
16	ミシンブラシ
17	はとめ穴パンチ
18	ドライバー (小)
19	ドライバー (大)
20	ネジ回し
21	垂直糸たて棒
22	糸こま押え (小)
23	糸こま押え (中) < 2 個 > (1 つはミシンに取り付けてあります)
24	糸こま押え (大)
25	糸こま押え (特殊)
26	ボビンクリップ< 10 個 >
27	糸こまフェルト (ミシンに取り付けてあります)
28	糸こまネット< 2 個 >
29	タッチペン
30	ニードルリフター
31	USB ケーブル
32	電源コード
33	コードガイドふた (1 つ穴)
34	針板ふた (マーク付)
35	針板ふた (ミシンに取り付けてあります)
36	マイイラスト用紙
37	ソフトケース
38	付属品バッグ
39	フットコントローラー (MODEL T: FC322-91)
40	ワイドテーブル (WT10)
41	取扱説明書
42	模様一覧
43	かんたん操作ガイド (下糸の準備、上糸の準備)

*1 黄 #11 (2 本)
赤 #14 (2 本)
緑 #16 (1 本)
ニット用・金 #11 (1 本)

*2 #11

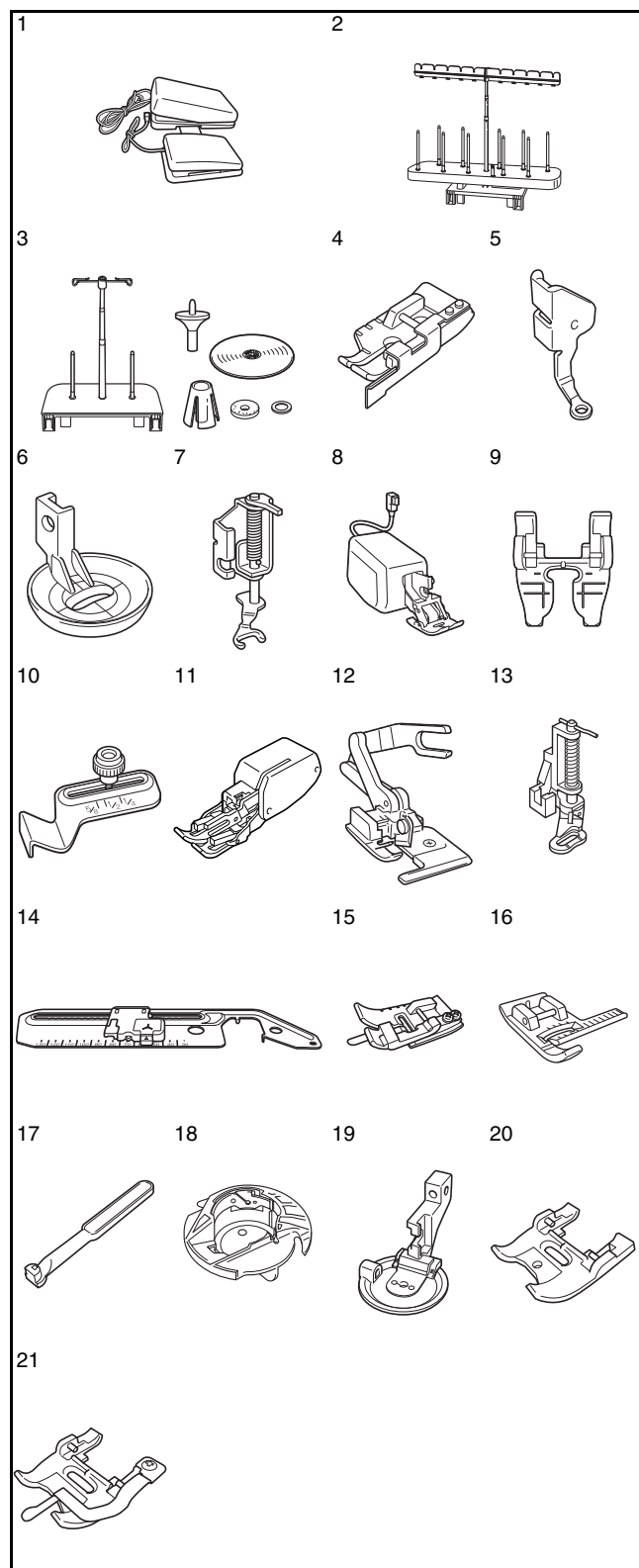
お知らせ

- 当社推奨の付属品のみをご使用ください。
- ボビンクリップを使用すると、ボビンの糸端を固定し、収納しておくことができます。ボビンクリップをつなげてまとめておくと、落として転がっていくようなこともありません。



別売品

別売品・部品については、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にお問い合わせください。



No.	部品名
1	マルチ機能フットコントローラー (MODEL U: MFFC1)
2	糸たてスタンド (10 本) (TS5)
3	糸たてスタンド (2 本) (TS6)
4	ガイド付きピーシング押え (F057)
5	フリーモーションキルト押え < C > (XF4737-001)
6	エコキルト押え < E > (XE0766-001)*
7	オープントゥキルト押え < O > (XF4873-001)
8	デュアルフィード押え (DF1)
9	デュアルフィード押え用オープントゥ (F070)
10	シームガイド (SG1)
11	ウォーキングフット (F033)*
12	サイドカッター押え (F054)
13	フリーモーションキルト押え (F005N)*
14	サーキュラーアタッチメント (SACIRC1J)
15	ディッチフット (F065)
16	ステッチガイド押え (F035N)
17	針交換ツール
18	内かま (灰色、ボビンワーク用)
19	カウチング押え (F073J)*
20	デュアルフィード用カウチング押え (F074AP)
21	デュアルフィード用ディッチフット (F075AP)

* 本製品に付属しているアダプターを取り付けて使用します。

お知らせ

- 仕様は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お願い

- 別売品・部品については、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にお問い合わせください。



基本機能編

ここでは、基本的な準備の手順や、本機により便利な機能を説明しています。
ページ数は、「B」の記号で始まります。

第 1 章 めう前の準備.....	B-16
-------------------	------

B 基本機能編

第 1 章

ぬう前の準備

電源の入れ方.....	17
ミシンを初めて使うとき.....	18
液晶画面の操作.....	19
■ 模様キー.....	20
■ キーのはたらき.....	21
設定キーを使う.....	23
■ 「エコモード」・「電源オフサポートモード」を設定する.....	26
■ USB マウス使用時のポインターの形を選択する.....	26
■ 起動画面を選ぶ.....	26
■ 表示言語を変える.....	27
■ 設定画面を画像として USB メディアに保存する.....	27
ミシンヘルプキーを使う.....	28
操作ガイド機能を使う.....	29
ぬい方キーを使う.....	30
模様説明キーを使う.....	31
下糸の準備.....	32
下糸を巻く.....	32
■ 補助糸たて棒で下糸を巻く場合.....	32
■ 糸たて棒で下糸を巻く場合.....	35
■ ポビン受け座の下に糸がからまってしまったら.....	36
下糸をセットする.....	37
下糸を引き出す.....	39
上糸通し.....	40
上糸通し.....	40
2 本針を使用する.....	43
ほどけやすい糸を使用する場合.....	46
■ 糸こまネットを使用する.....	46
■ 垂直糸たて棒を使用する場合.....	46
押えの交換.....	47
押えを取り外す.....	47
押えを取り付ける.....	47
付属のアダプターを使用して別売の押えを取り付ける.....	48
■ ウォーキングフットを取り付ける.....	48
針の交換.....	50
針を取り外す.....	50
針交換ツール（別売）を使って針を取り付ける.....	50
針を手で持って取り付ける.....	51
布地と糸の種類による針の使い分け.....	52
■ ナイロン透明糸.....	52
■ 文字模様・飾り模様をぬうとき（針・糸）.....	52
ミシンに接続して使う機能.....	53
市販の USB メディアを使う.....	53
パソコンにミシンを接続する.....	53
USB マウスを使う.....	54
■ キーをクリックする.....	54
■ ページを変える.....	54
デュアルフィード押え（別売）を使う.....	54
■ デュアルフィード押えを取り付ける.....	54
■ デュアルフィード押えの押え足を取り付ける／取り外す.....	56
■ デュアルフィード押えのレバーを使う.....	57
■ デュアルフィード押えの送り量を調整する.....	57

電源の入れ方

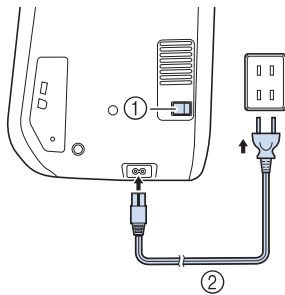
警告

- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用したあと
 - 使用中に停電したとき
 - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - 雷が鳴りはじめたとき
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

注意

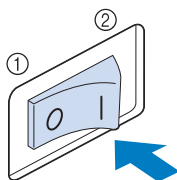
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードやプラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- ミシンから離れる場合は、電源スイッチを切るか、または電源プラグを抜いてください。
- ミシンを点検したり、ふたを外すときも、必ず電源コードを外してください。

- 1 本体右側面の電源ジャックに電源コードを差し込んでから、電源プラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



- ① 電源スイッチ
② 電源コード

- 2 電源スイッチの右側（I 側）を押して「入」にします。



- ① 切
② 入

お知らせ

- 直線針板がミシンに取り付けられている場合は、針が自動的に中基線に移動します。
- 電源が入ると針や送り歯が動く音がしますが、故障ではありません。

- 3 電源が入ると、オープニング動画が始まります。画面上をどこでもタッチすると、縫製画面に移動します。

⚠ 注意

- 画面は必ず指または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。画面を強い力で押したり、先のとがったもので押すと、故障の原因となります。

- 4 電源を切るときは、電源スイッチの左側（O 側）を押して「切」にします。

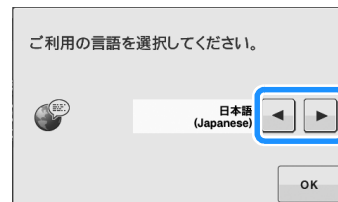
お知らせ

- 縫製中に電源が切れて縫製が中断した場合、再度電源を入れても、中断したところから再開することはできません。模様の最初から縫製してください。

ミシンを初めて使うとき

初めて本機の電源を入れたときは、言語と日時を設定してください。以下の手順に従って設定を行ってください。

- 1 ◀と▶を押して、言語を設定します。



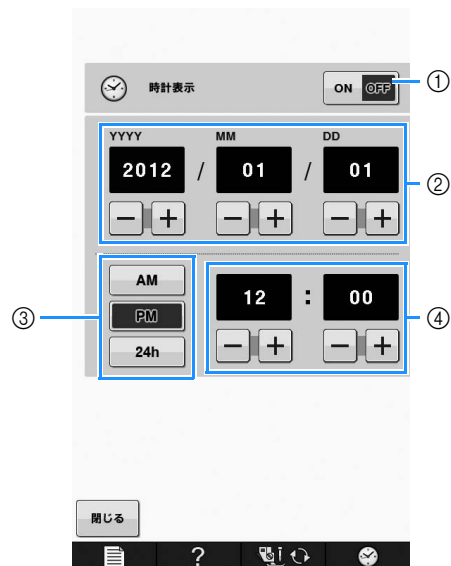
- 2 OK を押します。

- 3 日時設定を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。日時設定を行う場合は、

OK を押し、設定をしない場合は、キャンセルを押します。

→ 日時設定の画面が表示されます。

- 4 - または + を押して日時設定をします。



- ① 押して ON にすると、時刻が画面に表示されます。
- ② 年（YYYY）、月（MM）、日（DD）を設定します。
- ③ 24 時間表示 / 12 時間表示を選択します。
- ④ 現在の時刻を設定します。

- 5 閉じる を押してミシンをスタートします。

→ 時計は設定した時刻の 0 秒から始まります。

お知らせ

- 一定期間、ミシンを使用しなかった場合は、設定した日時がクリアされます。

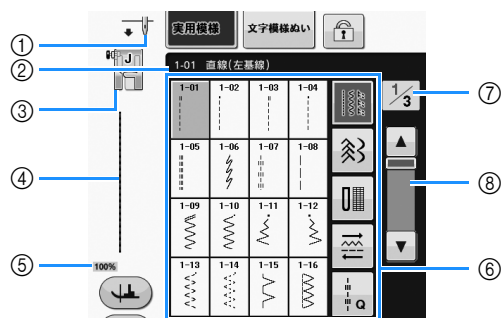
液晶画面の操作

⚠ 注意

- 画面は必ず指または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。画面を強い力で押したり、先のとがったもので押すと、故障の原因となります。

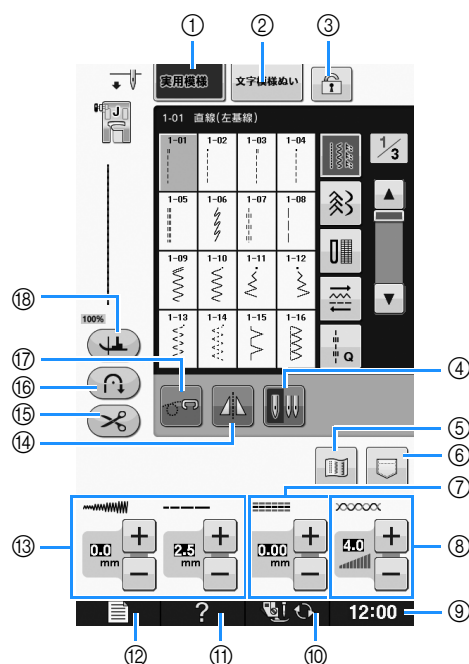
■ 模様キー

指でキーを押して、模様を選択したり、ミシンの設定や機能を選択してください。キーが灰色に表示されているとき、そのキーは使用できません。



No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
①		針位置設定表示	一本針と二本針のどちらが設定されているかを表示します。ミシンが停止しているときの針位置が上下どちらに設定されているかも表示します。 一本針／針位置下 一本針／針位置上 二本針／針位置下 二本針／針位置上	B-43, S-17
②	1-01 直線(左基線)	選択中の模様	選択中の模様の番号と名前を表示します。	S-3
③		押え表示	押え記号を表示します。ぬう前に、ここに表示している押えを取り付けてください。 * 片押え<I>など、液晶画面に表示されない押えもあります。	B-47
④		模様イメージ	選択中の模様イメージを表示します。100%で表示しているとき、模様はほぼ実寸大で表示されます。	S-21
⑤	100%	模様表示サイズ	選択中の模様イメージのサイズを表示します。 100% : ほぼ実物大 50% : 実際の半分の大きさ 25% : 実際の 1/4 の大きさ * 使用する布地や糸の種類によって、表示されるイメージと実際の模様のサイズは異なってきます。	S-21
⑥		模様選択画面	ぬいたい模様のキーを押します。 を押して模様グループを選択できます。	S-21
⑦	1/3	ページ表示	ほかに表示できるページの数を示します。	—
⑧		スクロールキー	または を押すと、1ページずつ移動します。またはバーの上を押すと、一度に複数ページを移動します。	—

■ キーのはたらき



No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
①		実用模様キー	直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う模様（実用模様）を選ぶときに押します。	S-21
②		文字模様ぬいキー	ひらがな、カタカナ、アルファベットなど文字や飾りなどの模様を選ぶときに押します。	S-77
③		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。ミシンを使用するときに、誤って画面を押すのを防止します。もう一度押すと、解除します。	S-18
④		二本針キー	二本針を使用するときに押します。押すごとに、一本針と二本針の設定が切り替わります。キーが灰色で表示されているときは、操作できません。	B-43
⑤		イメージキー	模様が拡大されたイメージで表示されます。	S-22
⑥		記憶キー	模様の設定（ジグザグの振幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや自動止めぬいなどの設定）をお好みの数値に変更して、その内容を記憶しておくことができます。模様の設定は、1つの模様について5セットまで記憶しておくことができます。	S-22, S-95, S-97
⑦		L/R シフトキー	ジグザグの振幅の中心位置を左右のどちらかにずらすことができます。	S-11
⑧		糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。通常、糸調子は自動的に設定されます。 − または + を押すと、糸調子を調節することができます。	S-12
⑨		時計キー	日時設定ができます。	B-18
⑩		針・押え交換キー	針や押えを交換するときに押します。ミシンが作動しないように他のすべてのキーと操作スイッチがロックされます。	B-47 ~ B-51
⑪		ミシンの使い方キー	上糸通し、下糸巻き、押え交換など、ミシンの使い方を知りたいときに押します。	B-28
⑫		設定キー	針の停止位置切り替え、操作音の音量、模様の調整や画面の調整などミシンの設定を変更するときに押します。	B-23
⑬		ぬい目調節キー	選択した模様のジグザグの振幅（模様の幅）とぬい目の長さを示します。 − または + を押すと、ジグザグの振幅やぬい目の長さを調節することができます。	S-10
⑭		左右反転キー	模様が左右に反転します。キーが灰色で表示されているときは、操作できません。	S-21

No.	表示	名称	はたらき	参照 ページ
⑮		自動糸切りキー	自動止めぬい後に、自動糸切りを設定するときに押します。自動糸切りをあらかじめ設定しておく、ぬい終わりに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をし、糸切りをします。	S-14
⑯		自動止めぬい／返しぬいキー	自動止めぬい（返しぬい）を設定するときに押します。自動止めぬいをあらかじめ設定しておく、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をします。	S-6
⑰		フリーモーションモードキー	フリーモーションモードにするときに押します。 押えがフリーモーションキルトに最適な高さになります。 フリーモーションモードを使用するためには、別売の押え（オープントゥキルト押え＜O＞、フリーモーションキルト押え＜C＞、またはエコークルト押え＜E＞）が必要です。	S-40
⑱		ピボットキー	ピボット設定を選択するときに、このキーを押します。ピボット設定を選択してミシンを止めると、針が下がった状態でミシンは停止し、押えは自動的に正しい高さに上がります。再びぬい始めると、押えは自動的に下がります。 •  の表示のときは、操作できません。 • B-27 設定画面の「針位置 - 上／下」が、下に設定されていることを確認してください。	S-15

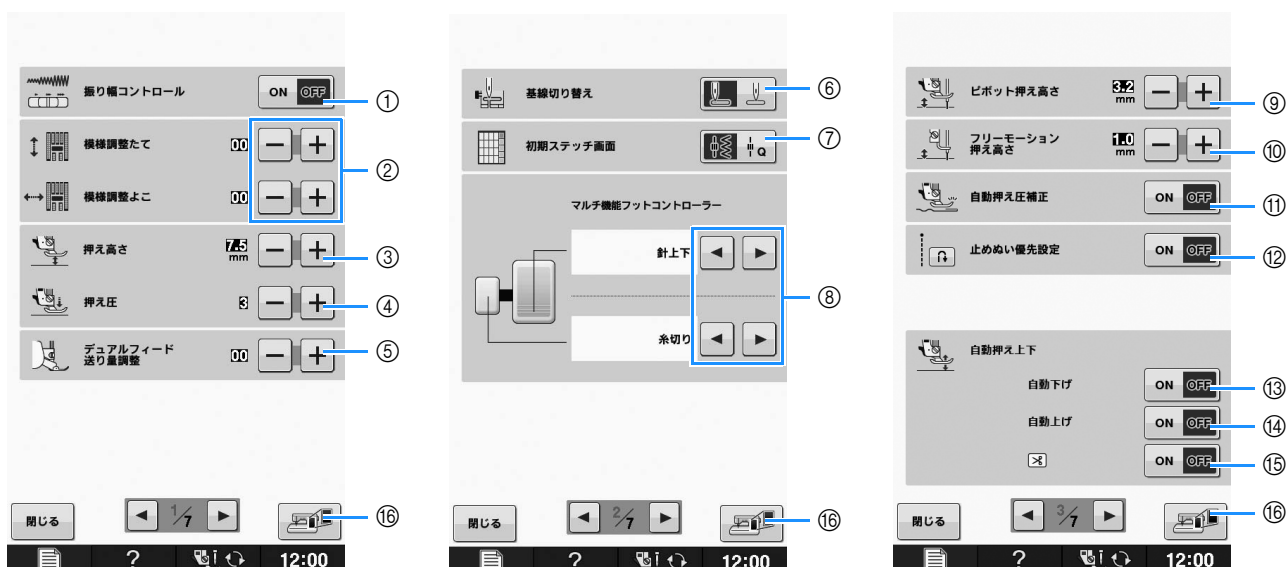
それぞれの機能の詳しい説明は、参照ページの説明をご覧ください。

設定キーを使う

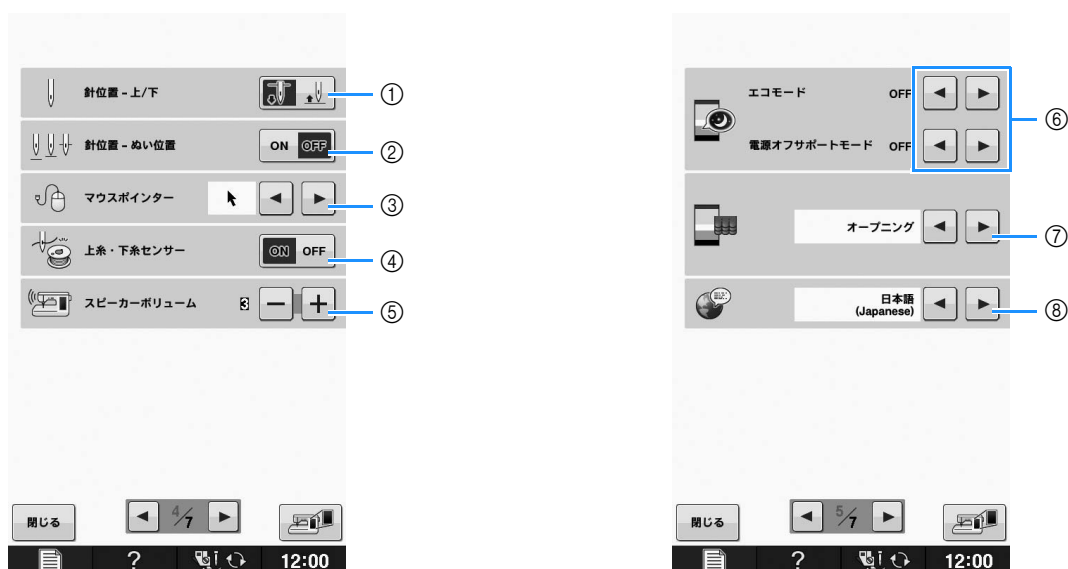
を押すと、針の停止位置切り替え、オープニング画面など、ミシンの標準設定を変えることができます。

お知らせ

- ◀ または ▶ を押すと、設定画面が切り替わります。



- ①  (スピードコントロールレバー) をジグザグの振幅調節レバーに切り替えます。(S-39 参照)
- ② 文字・模様ぬいの模様を調整します。(S-82 参照)
- ③ 押えの高さを調節します。(押えが上がった状態の、押えの高さを選択します。)
- ④ 押え圧を調節します。(数字が大きいほど押え圧は強くなります。通常は 3 に設定してください。)(S-17 参照)
デュアルフィード押え (別売) が取り付けられていて、ローラーが下がっている場合、押え圧設定は 2 に固定されて、変更できません。
- ⑤ デュアルフィード押え (別売) の送りを調整します。デュアルフィード押えを取り付けると設定できます。(B-54 参照)
- ⑥ 電源スイッチを入れたときに自動的に選択される模様として、「1-01 直線 (左基線)」または「1-03 直線 (中基線)」のいずれかを選択します。(S-21 参照)
- ⑦ 最初に表示される模様選択画面を「実用模様」か「キルト模様」のどちらかに設定できます。
- ⑧ マルチ機能フットコントローラー (別売) を接続後に使用できる設定です。
- ⑨ ピボット機能を有効にしたときの、縫製停止時の押えの高さを変更します。(S-15 参照)
2.0 mm、3.2 mm、7.5 mm、10.0 mm のいずれかを選択します。
- ⑩ フリーモーションモードに設定したときの、押えの高さを変更します。(S-40 参照)
- ⑪ ON にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取って、スムーズに布送りすることができます。(S-8、S-17 参照)
- ⑫ この設定を「ON」にして止めぬいをする模様をぬうと、ぬい始め／ぬい終わりに、返しぬいスイッチを押しても止めぬいをします。(S-7 参照)
- ⑬ この機能を「ON」にすると、ぬい始める前に押えが自動で下がります。(S-18 参照)
- ⑭ この機能を「ON」にすると、ぬい終わった後に押えが自動で上がります。(S-18 参照)
- ⑮ この機能を「ON」にすると、 (糸切りスイッチ) を押したときに自動で押えが下がり、糸切りします。糸切り後に押えは自動で上がります。(S-18 参照)
- ⑯ USB メディアに現在の設定画面を画像として保存できます。(B-27 参照)

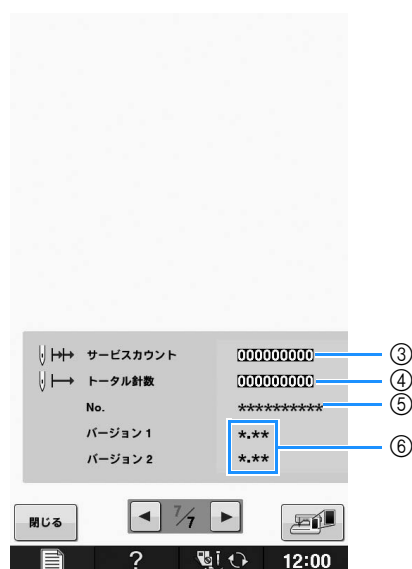


- ① ミシンが停止したときの針位置（上／下）を選択します。ピボット機能を使用する際は下に設定します。（S-15 参照）
- ② （針上下スイッチ）を押したときの動作を設定します。（S-17 参照）
ON：1 回押すと針が上がり、2 回目で布に刺さる直前で止まり、3 回押すと針が下がります。
OFF：押すたびに、針が上下します。
- ③ USB マウスを接続したときのポインターの形を選択できます。（B-26 参照）
- ④ 「上糸・下糸センサー」を OFF にすると、上糸を通さないでミシンを動かすことができます。（S-4 参照）

⚠ 注意

- 「上糸・下糸センサー」が OFF に設定されているときは、上糸を通さずに使用してください。上糸を通して使用すると、上糸が絡まったときにミシンが検知できません。糸が絡まったまま縫製を続けると、故障の原因となります。

- ⑤ スピーカーの音量を調整できます。設定値が高いときは音量が大きくなり、設定値が低いときは音量が小さくなります。
- ⑥ 「エコモード」あるいは「電源オフサポートモード」を設定すると、消費電力を節約できます。（B-26 参照）
- ⑦ 電源を入れて始めに表示される画面を選択できます。（B-26 参照）
- ⑧ 表示言語を選択できます。（B-27 参照）



- ① ライトの明るさを調整できます。
- ② 液晶画面の明るさを調整します。(A-18 参照)
- ③ ミシンの前回のメンテナンス以降にぬわれた針数を表示します。
- ④ 本機でぬわれた累積針数を表示します。
- ⑤ お使いのミシンのプロダクトナンバーを示します。
- ⑥ プログラムのバージョンを示します。「バージョン 1」は液晶画面のバージョン、「バージョン 2」はミシンのプログラムバージョンです。

お知らせ

- サービスカウント、トータルカウントは、ミシンの定期メンテナンスを受けられる時期の目安としてご利用いただけます。定期メンテナンスの時期については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- お使いのマシンには、出荷時の最新バージョンのプログラムがインストールされています。当社ではプログラムの改善を継続的に行っております。また、本製品にトラブルのあるときは、プログラムを新しくすることで解決できることがあります。最新バージョンに関する情報 (A-34 参照) は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (マシン 119 番)」に問い合わせいただくか、弊社サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://s.brother/cpfae/>) で掲載される情報をご参照ください。

■「エコモード」・「電源オフサポートモード」を設定する

「エコモード」、「電源オフサポートモード」を設定して、消費電力を節約できます。
本機の電源を入れたまま使用せず、設定した時間を過ぎると、以下のモードになります。

「エコモード」

設定した時間を過ぎるとスリープ状態になります。もう一度操作するときは、画面に触れるかスタート/ストップスイッチを押してください。

「電源オフサポートモード」

設定した時間を過ぎると省電力状態になります。電源スイッチをいったん「切」にして、もう一度電源「入」にしてから再び使用してください。

状態	エコモード	電源オフサポートモード
設定できる時間	OFF、10 ～ 120 分	OFF、1 ～ 12 時間
 表示	緑の点滅	緑のゆっくりした点滅
停止する機能	ミシンライト、画面表示、LED ボイーター	すべての機能
再起動時	停止時の操作から再スタート	電源スイッチを「切」にする

1 を押します。

→ 設定画面が表示されます。

2 設定画面の P.5 を表示します。

3 または を押して、各モードに入るまでの時間を設定します。



💡 お願い

- 「エコモード」あるいは「電源オフサポートモード」の状態で電源を消した場合は、5 秒待ってからもう一度電源を入れてください。

■ USB マウス使用時のポインターの形を選択する

USB マウス使用時に設定画面でポインターの形を選択することができます。3 種類のポインターからいずれかを選択してください。

1 を押します。

→ 設定画面が表示されます。

2 設定画面の P.4 を表示します。

3 または を押して、3 つのポインター (、 、) のうち 1 つを選択します。



4 を押すと、元の画面に戻ります。

📖 お知らせ

- 本機の電源を切ったあとも、設定は残ります。

■ 起動画面を選ぶ

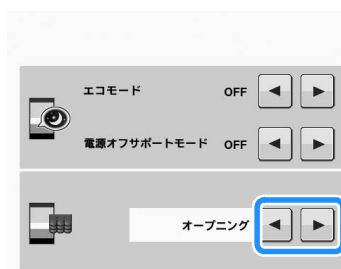
本機の電源を入れたあとの最初に表示される画面を選択することができます。

1 を押します。

→ 設定画面が表示されます。

2 設定画面の P.5 を表示します。

- 3 ◀ または ▶ を押して、起動画面を選択します。



- * オープニング：電源を入れたらオープニング動画が表示されます。画面を押すと縫製画面が表示されます。
- * 実用画面：電源を入れたら縫製画面が表示されます。

- 4 閉じる を押すと、元の画面に戻ります。

■ 表示言語を変える

- 1 設定アイコンを押します。
→ 設定画面が表示されます。
- 2 設定画面の P.5 を表示します。
- 3 ◀ または ▶ を押して、表示言語を変えます。



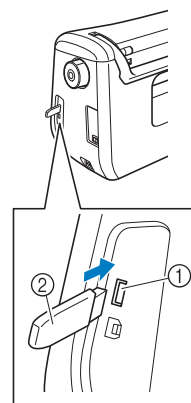
- ① 表示言語
- * 選択できる言語は、「日本語」、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「イタリア語」、「オランダ語」、「スペイン語」、「デンマーク語」、「ノルウェー語」、「フィンランド語」、「スウェーデン語」、「ポルトガル語」、「ロシア語」です。

- 4 閉じる を押すと、元の画面に戻ります。

■ 設定画面を画像として USB メディアに保存する

設定画面を BMP 形式の画像として USB メディアに保存できます。
1 つの USB メディアに、最大で 100 画像を保存することができます。

- 1 USB メディアをミシンの右側にある USB ポートコネクタに差し込みます。



- ① メディア/マウス用の USB ポートコネクタ
② USB メディア

- 2 設定アイコンを押します。
→ 設定画面が表示されます。希望の設定をしたあとで、その画面を画像として保存します。
- 3 保存アイコンを押します。
→ USB に画像が保存されます。
- 4 USB メディアを取り外します。保存した画像は、パソコンで確認できます。

画像は、「S##.BMP」のファイル名で保存されます。

- * ファイル名の「##」には自動で割り振られた S00 から S99 までの番号が入ります。

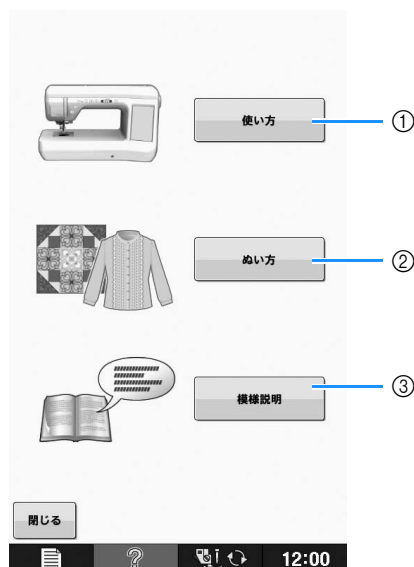
💡 お願ひ

- USB メディア内に、すでに 100 点の画像が保存されている場合、以下のメッセージが表示されます。この場合は、USB メディアから画像を削除するか、別の USB メディアを使用してください。



ミシンヘルプキーを使う ?

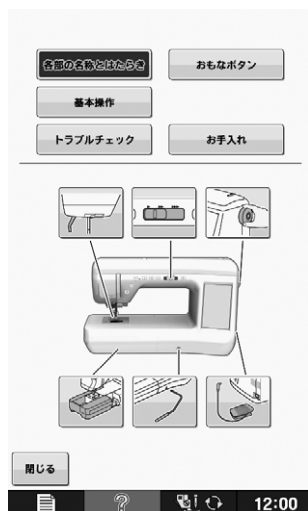
? を押すと、ミシンヘルプキー画面が表示されます。下の画面から、3つの機能を使用できます。



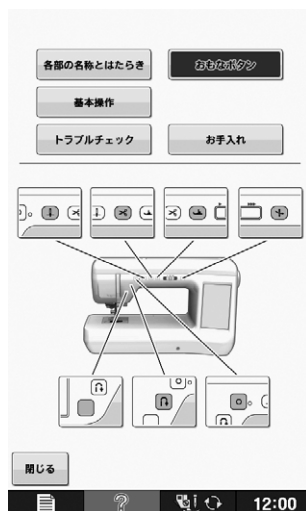
- ① 上糸通し、下糸巻き、押えの交換など、ミシンの使い方についての説明を見るときに押します。(B-29 参照)
- ② 実用ぬいの模様で、実際のぬい方がわからないときに押します。(B-30 参照)
- ③ 選択中の模様の説明を見るときに押します。(B-31 参照)

操作ガイド機能を使う

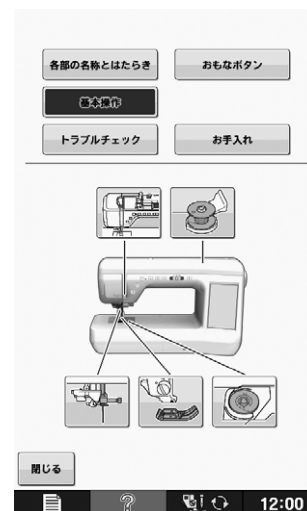
使い方を押すと、画面上段にカテゴリが表示されます。詳しい内容を知りたいカテゴリのキーを押してください。



各部の名称とはたらきは、ミシンの各部の名称とはたらきを知りたいときに押します。この画面は、**使い方**を押すと最初に表示されます。



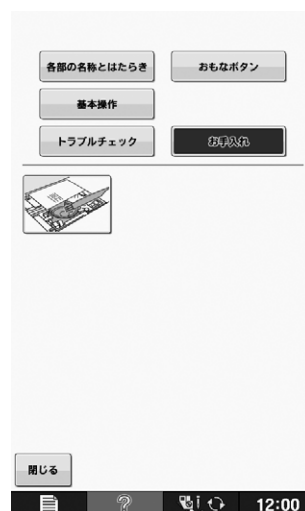
おもなボタンは、操作スイッチの使い方が知りたいときに押します。



基本操作は、糸通しや押えの交換などの基本情報が知りたいときに押します。動画や、コマ送り画像で詳しい操作方法を見ることができる操作もありますので、参考にしてください。



トラブルチェックは、トラブルチェックの情報が知りたいときに押します。



お手入れは、ミシンのお手入れに関する情報が知りたいときに押します。

例： 上糸の通し方を見るとき

1 **?** を押します。

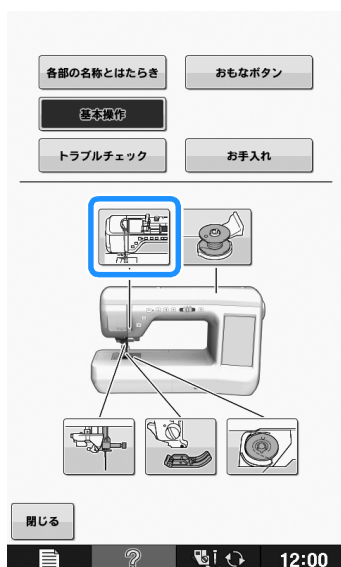
2 **使い方** を押します。



3 **基本操作** を押します。

→ 画面の下段に基本操作の項目が表示されます。

4 **上糸通し** (上糸通し) を押します。



→ 上糸通しの手順が表示されます。

5 手順を読みます。

* **動画** を押すと、画面に動画が表示されます。

動画の操作：

再生 を押して、頭出しします。

一時停止 を押して、一時停止します。

再生 を押して、停止後の再生をします。

閉じる を押して、動画を終了します。

* **次ページ** を押すと、次ページへ進みます。

* **前ページ** を押すと、前ページへ戻ります。

6 **閉じる** を押すと、元の画面に戻ります。

ぬい方キーを使う

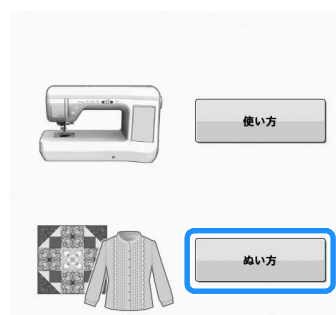
ぬい方キーは、実用模様を選択しているときに使用できます。作りたいものに適した模様がわからないときや、選択したある模様についての詳しい説明が見たいときに、この機能を活用してください。

例えば、かがりぬいをしたいのに、使う模様や具体的なぬい方が分からないとき、この画面から参照できます。特に初心者にとっては便利な機能です。

1 **?** を押します。

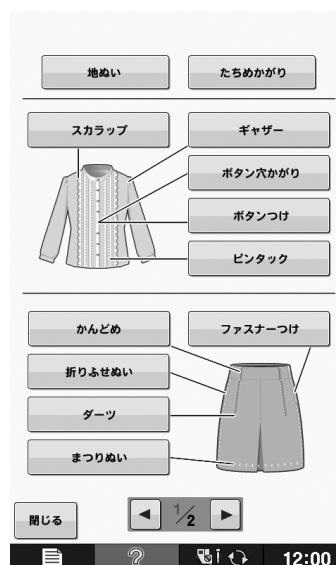
2 **ぬい方** を押します。

→ ぬい方画面が表示されます。



3 見たいぬい方説明のカテゴリーキーを押します。

* **閉じる** を押すと、元の画面に戻ります。

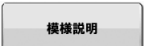


4 説明を読んで、適切な模様を選択します。

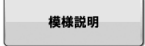
→ 選択した模様のぬい方が画面に表示されます。画面に表示された手順に従ってぬってください。

- *  を押すと、次ページへ進みます。
- *  を押すと、前ページへ戻ります。

模様説明キーを使う

模様を選んでから  を押し、 を押すと、選んだ模様の詳しい説明が表示されます。

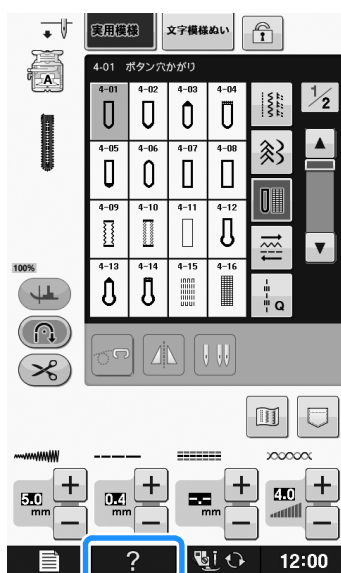
お知らせ

- 実用模様を選択すると、それぞれの模様についての説明が表示されます。文字飾り模様を選択すると、模様のカテゴリーごとの説明が表示されます。
-  が灰色になっているときは、模様説明機能が使用できません。

例：  の詳しい情報を表示するとき

1 を押します。

2 を押します。



3 を押します。



→  の詳しい情報が表示されます。

4 を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- ぬい目調節の設定表示は、模様の細かい調整のために、模様説明画面でもそのまま表示されます。

下糸の準備

下糸を巻く

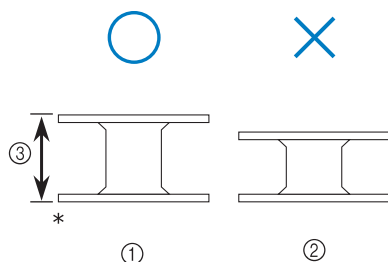
 →  →  → 

→  を押すと、下糸の巻き方を説明する動画を見ることができます (B-29 参照)。詳しい操作方法については、以下をご参照ください。

⚠ 注意

- 付属のボbinは本機純正品です。純正ボbinをご使用ください。純正品以外の付属品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。

※ 純正品以外のものすべてが必ず不具合を起こすわけではありません。



* プラスチック製

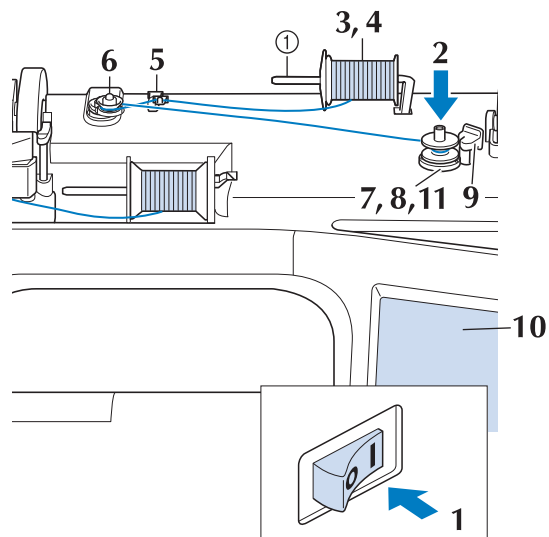
① 純正品

② 純正品以外

③ 11.5mm

■ 補助糸たて棒で下糸を巻く場合

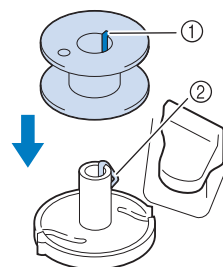
メインの糸たて棒は縫製に使いながら下糸を巻けるので、縫製の途中で下糸を巻くの便利です。



① 補助糸たて棒

1 電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。

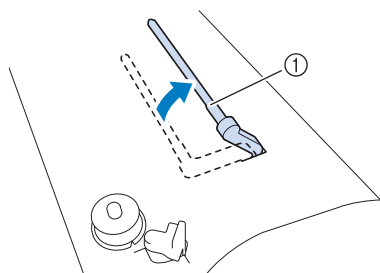
2 ボbinのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボbinを軸にセットします。



① ボbinのミゾ

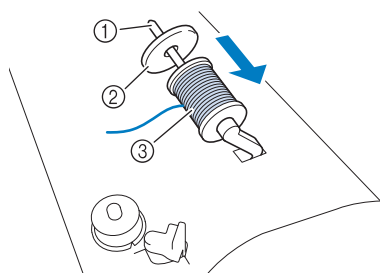
② 下糸巻き軸のバネ

3 補助糸たて棒を上におこします。



① 補助糸たて棒

4 糸こまを糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



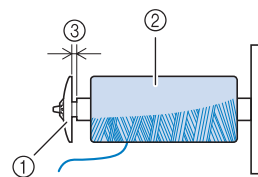
① 糸たて棒
② 糸こま押え
③ 糸こま

⚠ 注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、故障の原因となります。
- 糸こま押え（大）（中）（小）（特殊）は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、故障の原因となります。

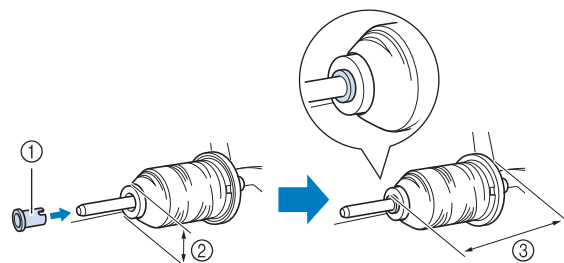
お知らせ

- 下図のような糸こまを使用するときは、糸こま押え（小）を使い、糸こま押えと糸こまの間に少しすきまを残してください。



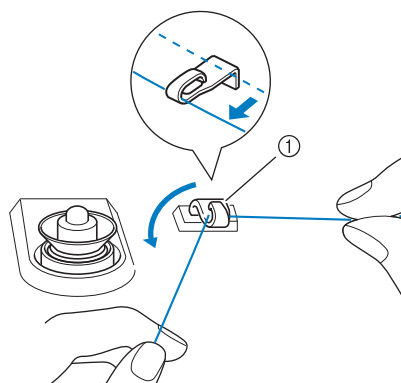
① 糸こま押え（小）
② 糸こま
③ すきま

- 高さ 75mm、芯の直径が 12mm の糸こまを使用する場合は、付属の糸こま押え（特殊）を使用してください。



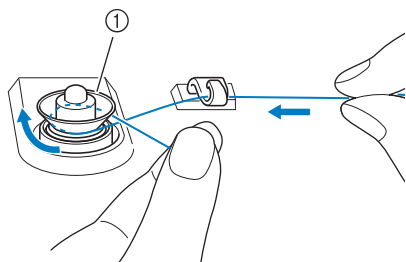
① 糸こま押え（特殊）
② 12mm
③ 75mm

5 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内に糸をかけます。

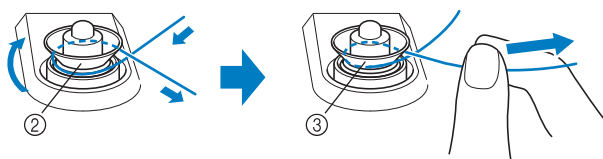


① 糸案内

- 6** 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿の間に右回りに糸をかけ、しっかり奥まで入れます。

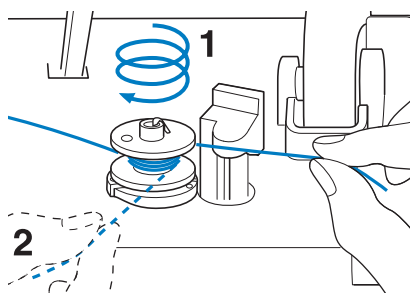


- ① 下糸巻き案内
→ 糸が皿の下を通っていることを確認してください。

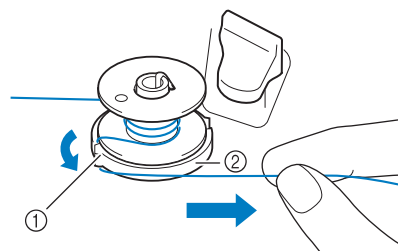


- ② 下糸巻き案内
③ しっかり奥まで入れます。
→ 糸が下糸巻き案内の皿の間にしっかり入っていることを確認してください。

- 7** 図のようにボビンに糸を右まわりに5～6回巻きつけます。



- 8** 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、図のように右へ糸を引き、カッターで糸を切ります。

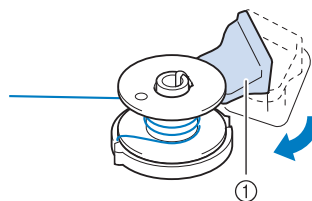


- ① ガイドミゾ (カッター付)
② ボビンの受け座

! 注意

- 必ずこの方法で糸を切ってください。ガイドミゾのカッターで糸を切らずに下糸を巻くと糸がうまく巻けません。また、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

- 9** ボビンホルダーを左へカチッと音がするまで押します。



- ① ボビンホルダー (スイッチ)

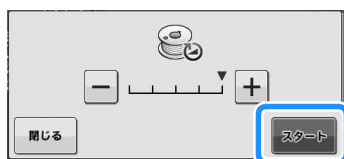
お知らせ

- ボビンホルダーを左へ押すと、下糸巻きモードになります。

→ 下糸巻き画面が表示されます。

10 スタートを押します。

→ 下糸巻きが始まります。巻き終わると自動的に停止し、ボビンホルダーが元の位置に戻ります。

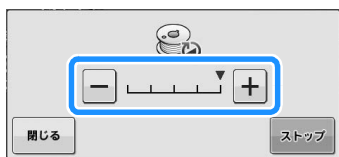


💡 お願い

- 下糸巻きの動作中は、**スタート** が **ストップ** で表示されます。
- 下糸巻きの動作中は、ミシンから離れず、正しく動作していることを確認してください。下糸が絡まるなど、正しく巻かれていない場合は、ただちに **ストップ** を押して下糸巻きを中止してください。
- キルト用のナイロン糸など、堅めの糸を下糸に巻くとき、通常の糸を巻くときと異なる動作音がしますが、故障ではありません。

📖 お知らせ

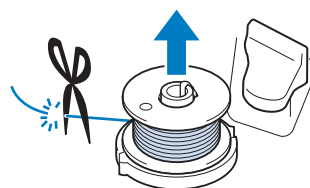
- 下糸巻き画面で **-** (ゆっくり)、**+** (はやく) を押して下糸巻きの速度を調整できます。



- **閉じる** を押して、下糸巻き画面を最小化できます。下糸を巻いている間、模様を選んだり、糸調子を調整したり、他の操作をすることができます。
- 画面の右上に表示されている  を押すと、最小化された下糸巻き画面がもう一度表示されます。



11 糸を切り、ボビンを外します。

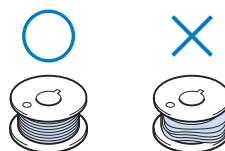


📖 お知らせ

- ボビンを外すとき、ボビンの受け座を引っ張ると、ボビンの受け座が外れ、故障の原因となります。

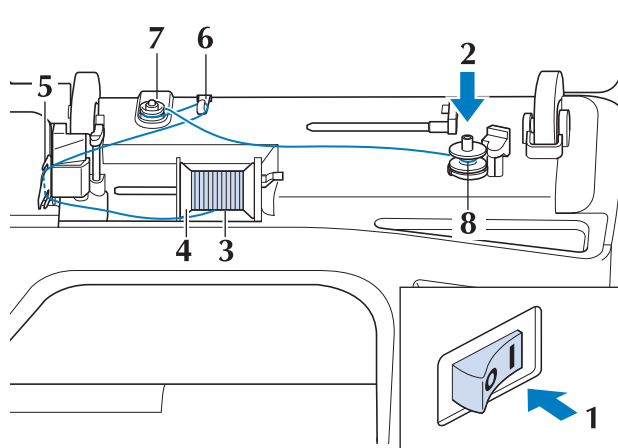
⚠ 注意

- 下糸は正しく巻かれたものを使用してください。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。



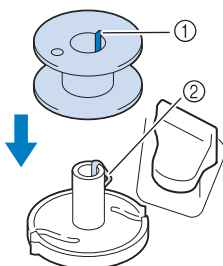
■ 糸たて棒で下糸を巻く場合

ぬい始める前に、糸たて棒を使って下糸を巻いてください。縫製中は補助糸たて棒を使って下糸を巻いてください。



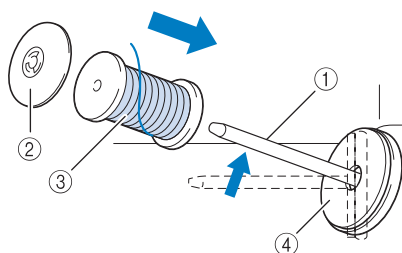
1 電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。

2 ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンを軸にセットします。



- ① ボビンのミゾ
- ② 下糸巻き軸のバネ

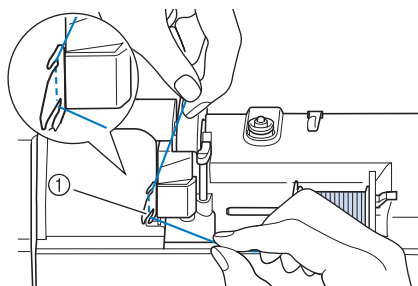
3 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。



- ① 糸たて棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま
- ④ 糸こまフェルト

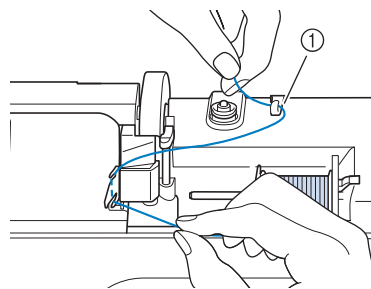
4 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

5 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。



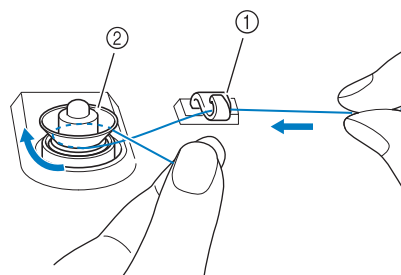
- ① 糸案内板

6 糸案内に糸をかけます。



- ① 糸案内

7 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿の間に右回りに糸をかけ、しっかり奥まで入れます。糸が皿の下を通っていることを確認してください。

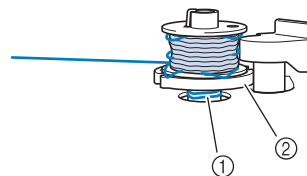


- ① 糸案内
- ② 皿

8 以降の作業は、B-34 から B-35 の手順 7 ～ 11 に従ってください。

■ ボビン受け座の下に糸がからまってしまったら

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていない状態で下糸を巻くと、ボビン受け座の下に糸が巻かれてしまうことがあります。そうなった場合は、以下の手順に従ってボビン受け座の下に巻かれた糸をほどいてください。

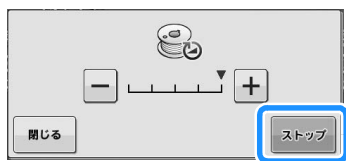


- ① 糸
- ② ボビン受け座

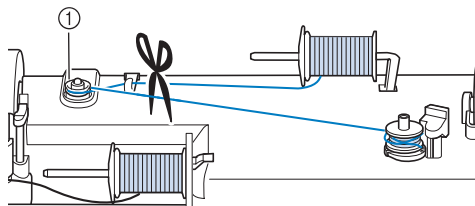
⚠ 注意

- ボビン受け座の下に糸が巻かれても、ボビン受け座は外さないでください。受け座のカッターでけがをするおそれがあります。

- 1 ボビン受け座の下に下糸がからまり始めたら、**ストップ**を押して下糸巻きを停止します。

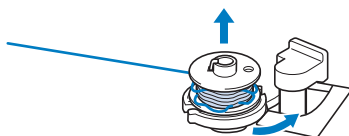


- 2 下糸巻き案内側で、はさみで糸を切ります。

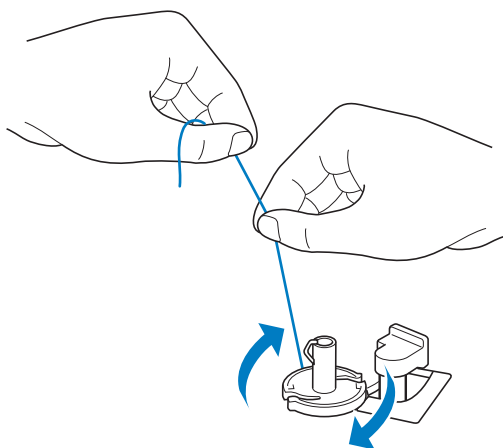


① 下糸巻き案内

- 3 ボビンホルダーを右に押して、ボビンを軸から外します。



- 4 図のように左手で糸端を持ち、右手でボビン受け座近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。



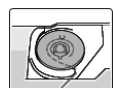
- 5 下糸巻きをやり直します。

💡 お願い

- 糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていることを確認してください。(B-34 参照)

下糸をセットする

? → 使い方 → 基本操作 →

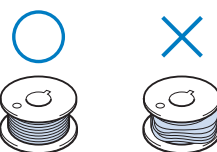


→ を押すと、下糸をセットする

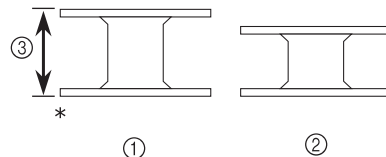
手順を説明する動画を見ることができます (B-29 参照)。詳しい操作方法については、以下をご参照ください。

⚠ 注意

- 下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。下糸の巻き方が悪いと、針折れや糸調子不良の原因となります。



- 付属のボビンは本機純正品です。厚みの違うボビンを使用すると、ミシンが正しく動作しません。付属品、または別売の純正ボビンを使用してください。



* プラスチック製

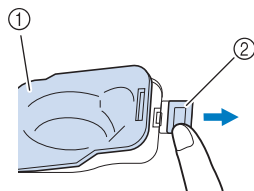
- ① 純正品
- ② 純正品以外
- ③ 11.5 mm

- 下糸をセットするときや交換するとき、必ず液晶画面の を押して、キーと操作スイッチをロックしてください。 が押されていない状態で、 (スタート/ストップスイッチ) または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

1 を押します。

- * 「押えが自動で下がります。よろしいですか？」のメッセージが表示されたら OK を押して操作を続けてください。
- 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

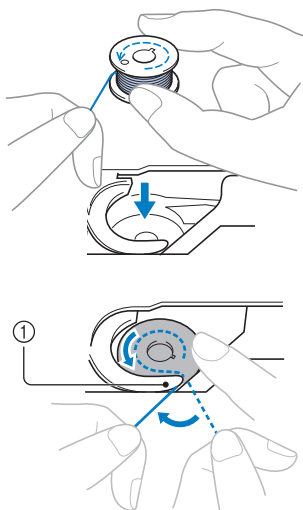
2 針板ふたのつまみを右側に押します。



- ① 針板ふた
- ② つまみ
- 針板ふたが開きます。

3 針板ふたを外します。

4 糸が左巻きになるように、右手でボビンを内がまに入れ、左手で巻き終わりの糸を図のようにしっかりツメに引っかけた後、ミゾにそって糸を軽く引っ張ります。



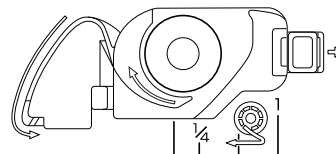
- ① ツメ
- * ボビンが正しくセットされていることを確認してください。

⚠ 注意

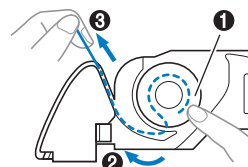
- ボビンは、正しい方向から糸が出るようにセットしてください。万一、ボビンを逆の方向にセットすると、針折れや糸調子不良の原因となります。

📖 お知らせ

- ボビンをセットする方向が、針板周辺に刻印されています。そちらもあわせて見てください。



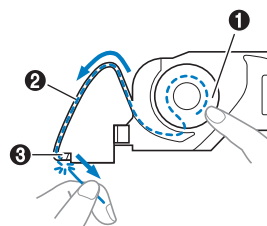
5 右手でボビンを軽く押さえたまま ①、ツメにかけた糸を針板カバーのミゾにそって通し ②、左手で糸を軽く引っ張ります ③。



📖 お知らせ

- この図の ② のように、糸を針板カバーのツメにかけてから糸を通し、③ の位置で糸を軽く引っ張ることで、内かまの板ばねの間に糸が入り、ぬうときに下糸に適切な張力を加えることができるようになります。

6 右手でボビンを軽く押さえたまま ①、左手で残りのミゾに糸を通します ②。最後に手前に引いてカッターで糸を切ります ③。



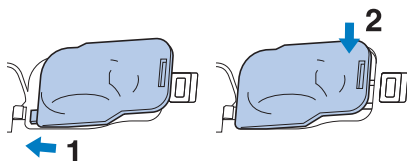
📖 お知らせ

- 必ずこの手順に従って正しく下糸をセットしてください。針板カバーのミゾに糸をはめこむだけでは、下糸が正しくセットできず、縫製不良・糸調子不良の原因となります。

⚠ 注意

- ボビンは必ず指で押さえ、正しい方向から糸が出るようにセットしてください。万一、ボビンを逆の方向にセットすると、針折れや糸調子不良の原因となります。

- 7 針板ふたの左下の突起部を差し込み (1)、右側をカチッと音がするまで押して、針板ふたを閉めます (2)。



- 8  を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

下糸を引き出す

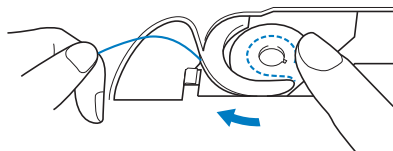
ギャザーやダーツ、フリーモーションキルトをぬうときなど、あらかじめ下糸を引き出しておきたいときは、以下の手順に従って操作してください。

お知らせ

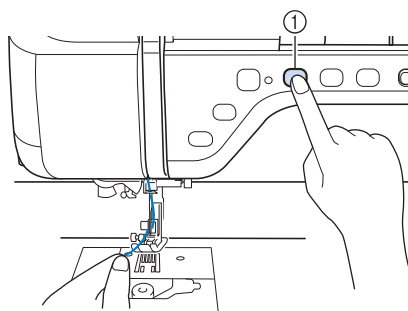
- 先に上糸を通してから、下糸を引き出します。(B-40 の「上糸通し」参照)

- 1 下糸を矢印のようにミゾにそって通します。

- * 糸をカッターで切らないでください。
- * 針板ふたは外したままにしてください。



- 2 上糸を持ち、 (針上下スイッチ) を押して針を下げます。

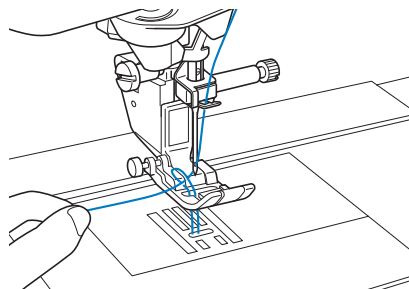


① 針上下スイッチ

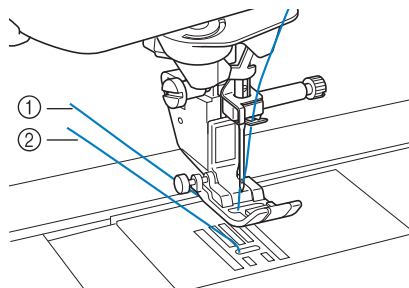
- 3  (針上下スイッチ) を押して針を上げます。

- 4  を押して、すべてのキーとスイッチをロックします。

- 5 上糸を軽く引き上げて、下糸を針板の穴から出します。

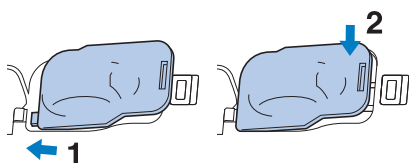


- 6 そのまま下糸を引き出し、上糸とそろえて押えの下を通し、後ろ側へ約 10cm 引き出しておきます。



- ① 上糸
② 下糸

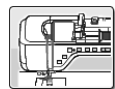
- 7 針板ふたを閉めます。



- 8  を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

上糸通し

上糸通し



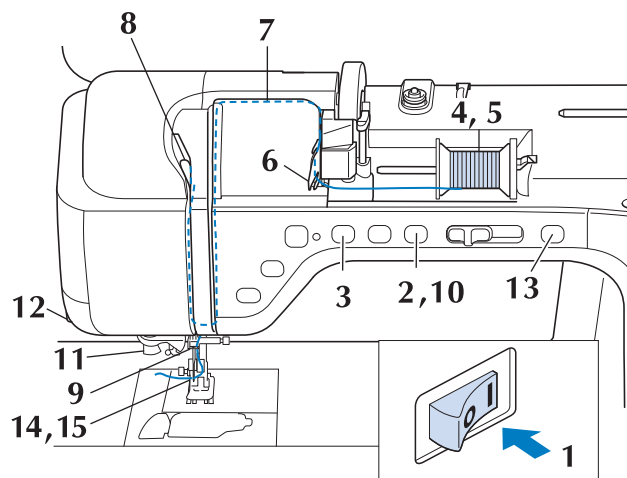
を押すと、上糸通しを説明する動画を見ることができます (B-29 参照)。詳しい操作方法については、以下をご参照ください。

⚠ 注意

- 上糸は必ず正しく通してください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 別売の部品 (押えなど) を使用する場合は、上糸通しを行ってから本体に取り付けてください。

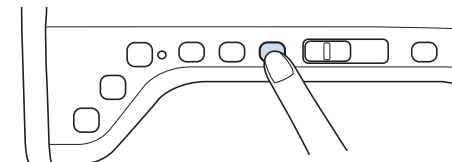
📖 お知らせ

- ④ (自動糸通しスイッチ) は、家庭用ミシン針 (HAx1) 11 番～16 番で使用してください。
- ④ (自動糸通しスイッチ) は、透明なナイロン糸や太い糸などの特殊な糸では使用できません。
- ④ (自動糸通しスイッチ) は、ウィングニードルや2本針では使用できません。

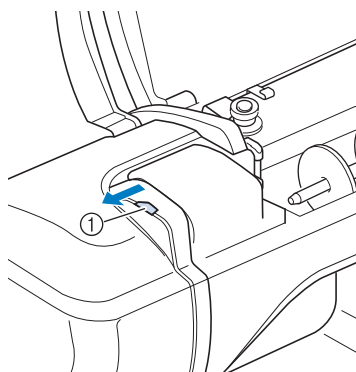


1 電源スイッチを入れます。

2 (押え上下スイッチ) を押して、押えを上げます。



→ シャッターが開いて、糸通しできるようになります。

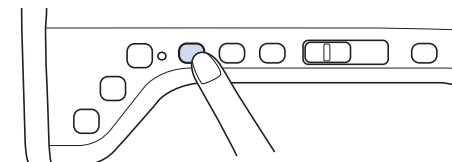


① シャッター

📖 お知らせ

- 本機には、上糸通しが正しく行われていることを確認できるよう、シャッターを装備しています。

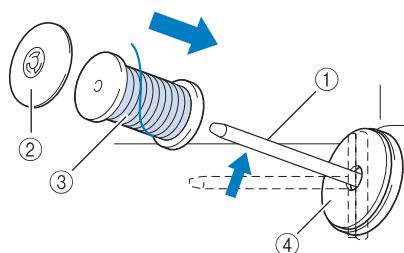
3 (針上下スイッチ) を押して針を上げます。



💡 お願い

- 針を上げて糸通しをしてください。針を上げずに自動糸通しを行うと、上糸が正しくかからないことがあります。

- 4 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。



- ① 糸たて棒
② 糸こま押え
③ 糸こま
④ 糸こまフェルト

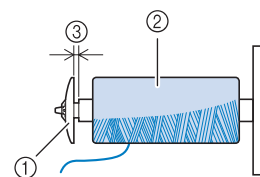
- 5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

⚠ 注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、故障の原因となります。
- 糸こま押え（大）（中）（小）（特殊）は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、故障の原因となります。

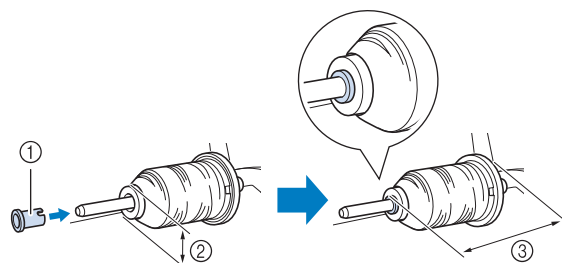
📖 お知らせ

- 下図のような糸こまを使用するときは、糸こま押え（小）を使い、糸こま押えと糸こまとの間に少しすきまを残してください。



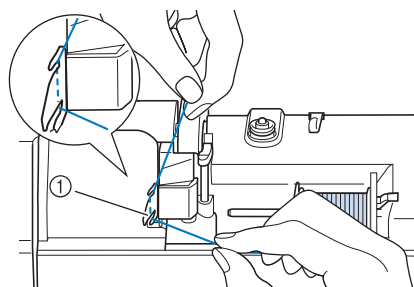
- ① 糸こま押え（小）
② 糸こま
③ すきま

- 高さ 75mm、芯の直径が 12mm の糸こまを使用する場合は、付属の糸こま押え（特殊）を使用してください。



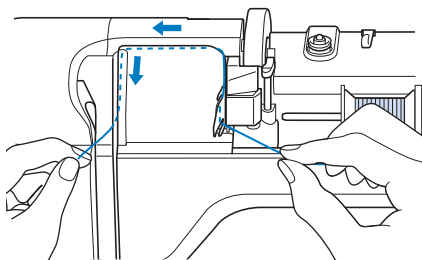
- ① 糸こま押え（特殊）
② 12mm
③ 75mm

- 6 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。

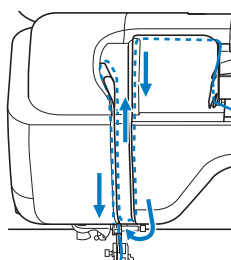


- ① 糸案内板

- 7** 右手で糸を持ちながら、糸通しカバーの矢印に沿って糸を通します。

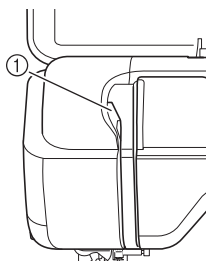


- 8** 図のように、糸をミゾに沿って下に通し、上に上げ、また下に通します。



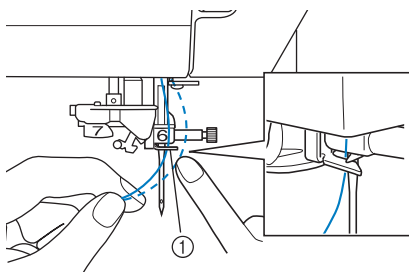
お知らせ

- ミゾの上部から中を見ると、てんびんに糸がかかっていることを確認できます。



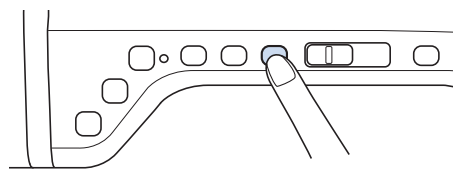
① ミゾの上部を確認します。

- 9** 一方の手で糸を押さえ、もう一方の手で糸の端を持ち、図のように針棒糸かけ（6の印）に糸をかけます。

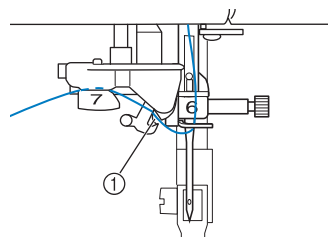


① 針棒糸かけ

- 10** (押し上下スイッチ) を押して、押えを下げます。

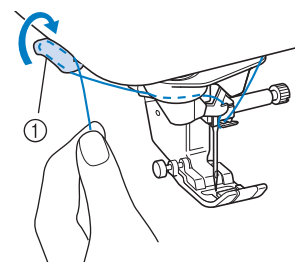


- 11** 糸案内皿（7の印）に糸を通します。糸案内のミゾに糸が通っていることを確認してください。



① 糸案内のミゾ

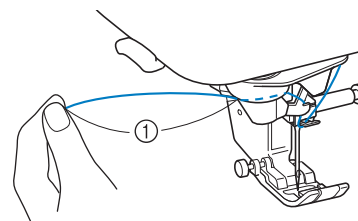
- 12** 図のように、糸を引き上げて、ミシンの糸切りで糸を切ります。



① 糸切り

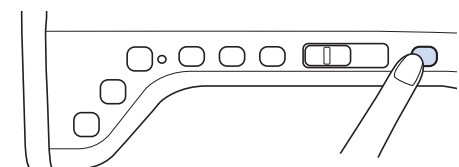
お願い

- メタリック糸のようにほどけやすい糸を使用する場合は、糸を切ってしまうと糸を通しにくくなります。その場合は、糸案内皿（7の印）に糸を通した後、糸切りを使わずに糸を約8cm引き出してください。



① 約8cm

- 13 (自動糸通しスイッチ) を押して、針に糸を通します。



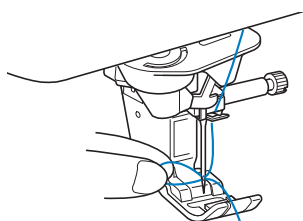
→ 糸が針穴に通ります。

お知らせ

- (自動糸通しスイッチ) を押すと、押えが上がっている場合でも、自動的に下がります。糸通しが終わると、押えは自動的に、
(自動糸通しスイッチ) を押す前の位置に戻ります。

- 14 針穴を通った糸を引っ張ります。

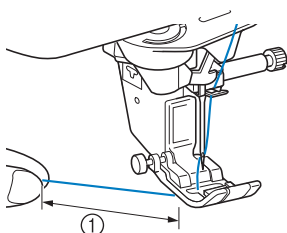
- * 針穴を通った糸が輪になった場合は、輪を後ろ側に引っ張り、針穴から糸を引き出します。



お願い

- 糸の輪を針穴から引き出すときは、ゆっくり引き出してください。強く引くと、針折れの原因となります。

- 15 押えを上げ、糸を約 5cm 引き出して、押えの下を通して、ミシンの後ろ側へ回します。



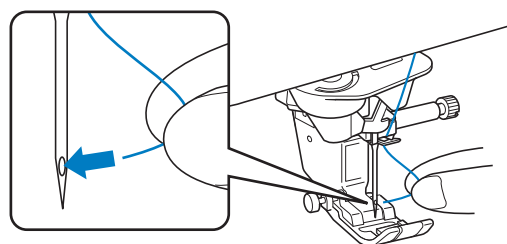
① 約 5cm

お知らせ

- 自動糸通しが正常に行われなかったり、針棒糸かけに正しくかかっていなかった場合は、手順 ③ から操作をやり直し、手順 ⑨ の後で、針の穴に糸を通してください。

お願い

- 針の種類によっては、自動糸通しが使えない場合があります。そのときは、自動糸通しを使用せずに針棒糸かけ (6 の印) に糸をかけた後、手前から奥に向かって手で針穴に糸を通してください。



2 本針を使用する

模様を選んだときに が表示される模様のみ、2 本針が使用できます。2 本針が使用できる模様は、S-67 の「ぬい方早見表」で確認することができます。

注意

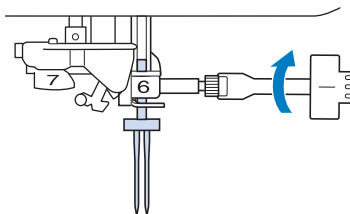
- 2 本針は必ずブラザー純正 2 本針を使用してください。他の針を使用すると針折れや故障の原因となります。
- 2 本針を使用するときは必ず 2 本針の設定にしてください。2 本針の設定になっていない状態で 2 本針を使用すると、針が折れ故障の原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 2 本針を使用するときは、必ずジグザグ押え < J > を使用してください。
- 2 本針を使用するとき、布地や糸の種類によって、ぬい目が玉になる場合があります。飾り模様では、模様ぬい押え < N > を使用してください。



- 下糸をセットするときや交換するときは、必ず液晶画面の を押して、キーと操作スイッチをロックしてください。 が押されていない状態で、 (スタート/ストップスイッチ) または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

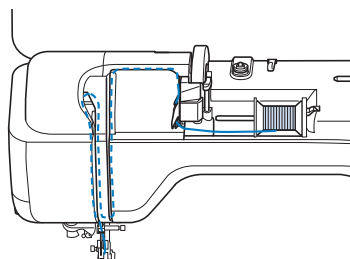


- 1** を押して、キーと操作スイッチをロックしてから、2本針を取り付けます。(B-50の「針の交換」を参照してください。)

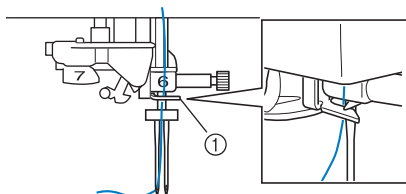


- 2** 上糸を通します。

* 1本針と同じ手順で1本目の糸を通します。(B-40の「上糸通し」を参照してください。)



- 3** 糸を針棒系かけにかけ、左側の針に糸を通します。

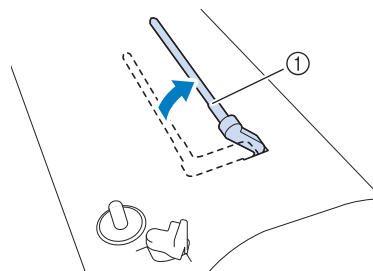


① 針棒系かけ

💡 **お願い**

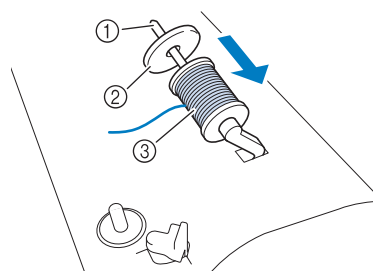
-  (自動糸通しスイッチ) は使用できません。2本針の手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。 (自動糸通しスイッチ) を使用すると故障の原因となります。

- 4** 補助糸たて棒を垂直におこします。



① 補助糸たて棒

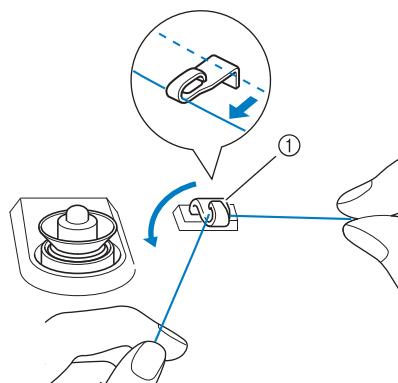
- 5** もう1つの糸こまを、糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



① 糸たて棒
② 糸こま押え
③ 糸こま

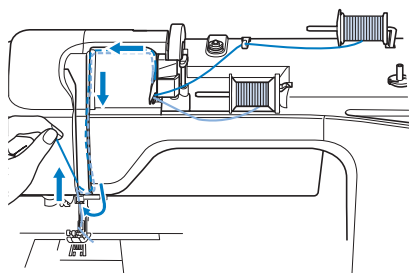
- 6** 糸案内に糸をかけます。

* 下糸巻き案内に糸をかけないように注意してください。

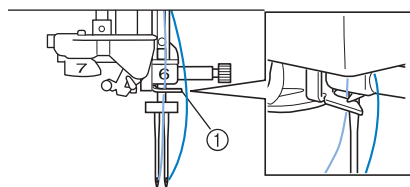


① 糸案内

- 7 糸こまからの糸を持ち、糸案内板のミゾに下から上に糸を通してから上のミゾを通します。左手で糸端を持って、図の矢印に沿って、ミゾに糸を通します。



- 8 針棒系かけには糸をかけずに、右側の針に糸を通します。



① 針棒系かけ

- 9  を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

- 10 模様を選びます。(例: )

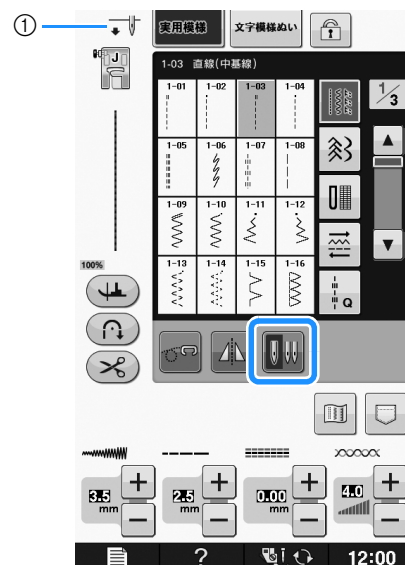
* ジグザグ押え<J>を取り付けたときに使用できる模様の詳細については、S-67の「ぬい方早見表」を参照してください。

→ 選んだ模様が表示されます。

お知らせ

- 模様を選んだときに、 キーが灰色で表示されているときは、その模様で2本針が使用できないことを表しています。

- 11  を押して、2本針の設定にします。



① 1本針／2本針設定の表示

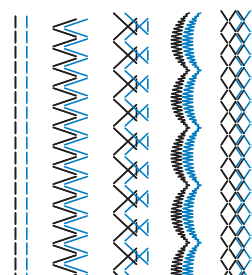
→ 1本針／2本針設定の表示が  に変わります。

注意

- 2本針を使用するときは必ず2本針の設定にしてください。2本針の設定になっていない状態で2本針を使用すると、針が折れ故障の原因となります。

- 12  (スタート/ストップスイッチ) を押してぬい始めます。

2本針のぬい目の例



お知らせ

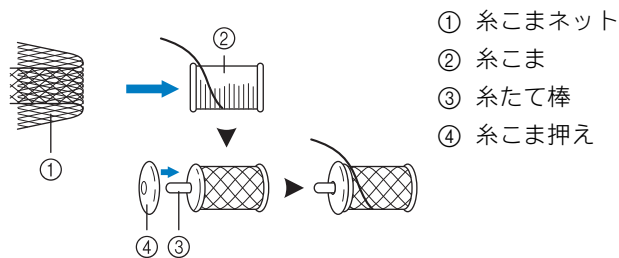
- 2本針で縫製中に、ぬう方向を変えたい場合は、布から針を上げて、押えを上げてから、布の方向を変えます。

ほどけやすい糸を使用する場合

■ 糸こまネットを使用する

ナイロン透明糸やメタリック糸などを使用する場合は、付属の糸こまネットを糸こまに付けてください。これらの糸を使用するときは、手動で糸をかけてください。

糸こまネットが長すぎる場合は、糸こまの大きさに合わせてネットを折りたたんでから、糸こまに付けてください。



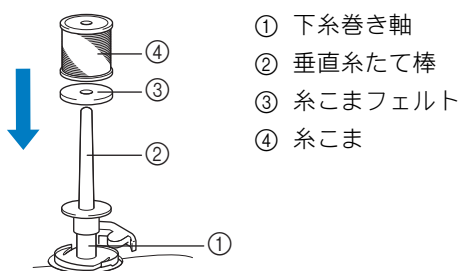
📖 お知らせ

- ・糸こまネットを使用する場合は、必ず約 5 ～ 6cm 糸を引き出してください。
- ・糸こまネットを使用する場合は、必要に応じて糸調子を調節してください。

■ 垂直糸たて棒を使用する場合

一般的な形状でない糸こまを使用する場合や、メタリック糸でぬう場合に、垂直糸たて棒を使用してください。

1 垂直糸たて棒を下糸巻き軸に差します。



2 糸こまフェルトと糸こまを順番にセットしてから上糸を通してください。

📖 お知らせ

- ・糸こまは、糸が手前にほどける向きに差し込んでください。
- ・メタリック糸を使用するときは、14 番の家庭用ミシン針をお勧めします。
- ・この手順を行うと、糸が糸こまから出るときにねじれません。

押えの交換

⚠ 注意



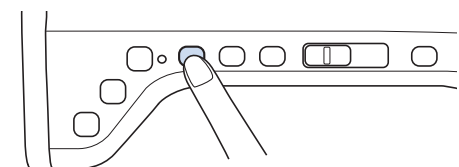
- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。
 - 押えは純正品を使用してください。純正品以外の付属品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。
- ※ 純正品以外のものすべてが必ず不具合を起こすわけではありません。



- 押えを交換する前に、必ず液晶画面の  を押して、キーと操作スイッチをロックしてください。  が押されていない状態で、  (スタート/ストップスイッチ) または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

押えを取り外す

- 1  (針上下スイッチ) を押して針を上げます。

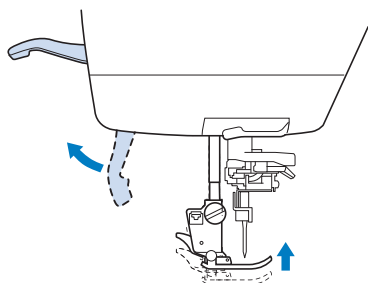


- 2  を押して、キーと操作スイッチをロックします。

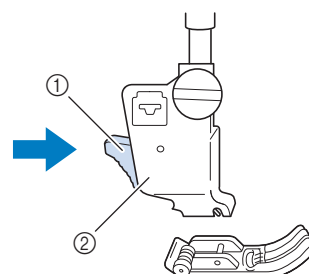
「押えが自動で下がります。よろしいですか？」とメッセージが表示された場合は、  を押してください。

→ 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

- 3 押えレバーを上げます。



- 4 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。



- ① 黒いボタン
② 押えホルダー

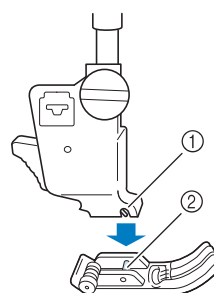
押えを取り付ける

⚠ 注意



- 押えは前後の向きを確認して正しい向きで取り付けてください。押えの向きを間違えますと針が押えに当たり、折れてけがをする原因となります。

- 1 押えホルダーのミゾと押えのピンが合うように押えを置き、押えレバーを下げます。押えに記されている押え記号 (J、A など) が読める向きに置きます。



- ① ミゾ
② ピン

- 2  を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。
- 3 押えレバーを上げます。

付属のアダプターを使用して別売の押えを取り付ける

付属のアダプターとネジ（小）を使用して、ウォーキングフットなどの別売の押えを取り付けることができます。

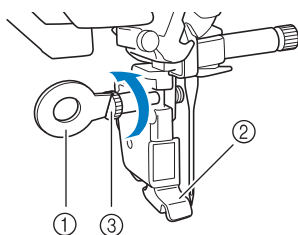
ここでは、例としてウォーキングフットの取り付け方を説明します。



■ ウォーキングフットを取り付ける

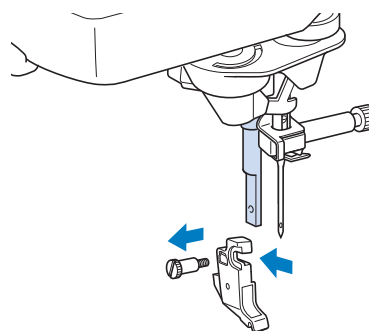
ウォーキングフットは、押えと送り歯の間に生地をしっかりとさんで生地を送るため、ぬいにくい生地（キルティングやベルベット）やすべりやすい生地（ビニールクロス、革、人工皮革など）でも、スムーズにぬえます。

- 1 前ページの「押えを取り外す」の手順に従って、押えを外します。
- 2 付属のネジ回しで押えホルダーのネジを緩め、押えホルダーを外します。

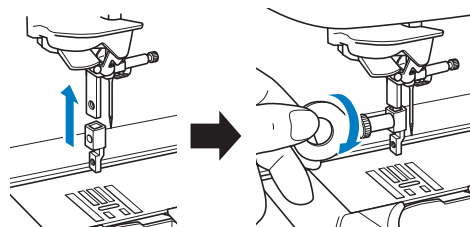


- ① ネジ回し
- ② 押えホルダー
- ③ 押えホルダーのネジ

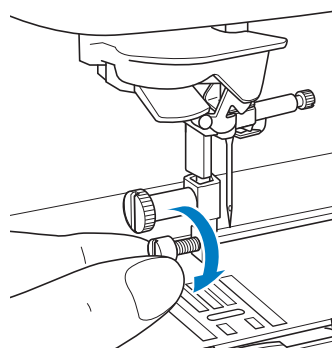
- 3 押えホルダーのネジを押え棒から完全に取り外します。



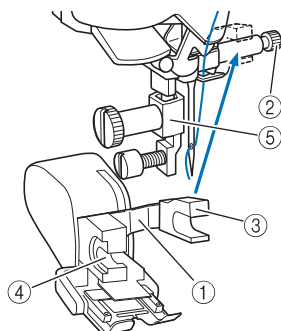
- 4 押え棒の平らな面とアダプターの平らな面を合わせて差し込みます。アダプターが止まるまで差し込んで、ネジ回しでネジをしめます。



- 5 付属のネジ（小）を2～3回手で回して、押え棒に仮止めします。

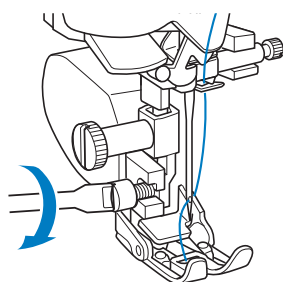


- 6** ウォーキングフットの操作レバーのふたまた部で針のとめネジの棒をはさむようにして、ウォーキングフットを押え棒に合わせます。ウォーキングフットの軸を押え棒に取り付けたアダプターに合わせます。



- ① 操作レバー
- ② 針のとめネジの棒
- ③ ふたまた部
- ④ ウォーキングフットの軸
- ⑤ アダプター

- 7** 押えレバーを下げ、付属のネジ（小）を付属のドライバー（大）で確実にしめます。



針の交換

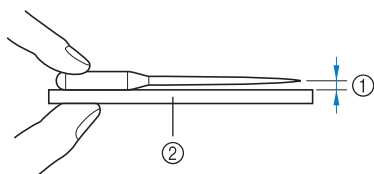
以下の注意を守らないと非常に危険です。よく読んで、必ず守ってください。
仕上がり良くぬい上げるためには、ブラザー純正のミシン針（HAx1）を推奨します。

⚠ 注意

- 針は必ず家庭用ミシン針（HAx1）を使用してください。そのほかの針を使用すると、針が曲がったり、折れてけがをするおそれがあります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。けがをするおそれがあります。
- 針を交換する前に、必ず液晶画面の  を押して、キーと操作スイッチをロックしてください。  が押されていない状態で、（スタート/ストップスイッチ）または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

📖 お知らせ

- 正しい針を見分けるには、針の平らな面を平らな板に合わせ、上と横から見て、針と板のすき間が平行かどうかを確認します。曲がった針は捨ててください。

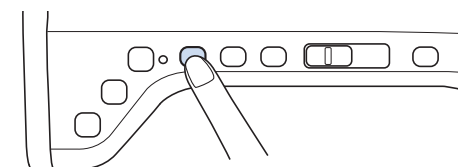


① 平行なすき間

② 平らな面（針板ふたやガラスなど）

針を取り外す

- 1 （針上下スイッチ）を押して針を上げます。



- 2  を押して、キーと操作スイッチをロックします。

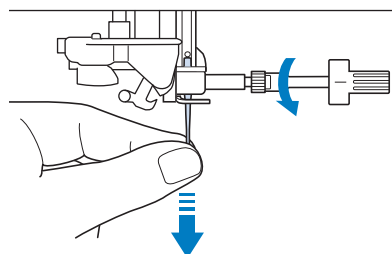
* 「押えが自動で下がります。よろしいですか？」のメッセージが表示されたら OK を押して操作を続けてください。

→ 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

💡 お願い

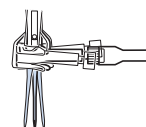
- 針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。

- 3 左手で針を持ちながら、右手でドライバーを手前に回し、針の止めネジをゆるめ、針を抜きます。



💡 お願い

- 針の止めネジに大きな力を加えないでください。針やミシン本体の故障の原因となります。



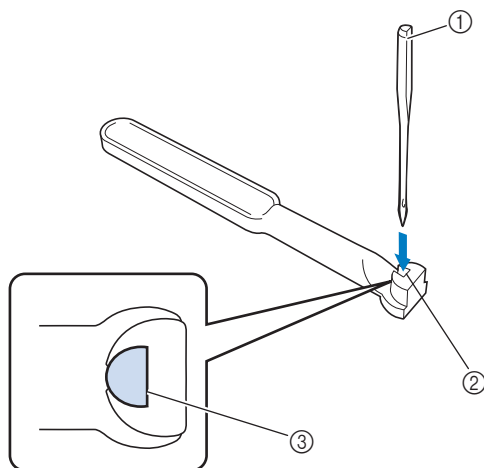
針交換ツール（別売）を使って針を取り付ける

💡 お願い

- 2本針やウイングニードルには、針交換ツールを使用できません。針を手で持ってとりつけてください。

- 1 針交換ツールの先端の切り込みを上に向けて持ち、針の先端を切り込みに差し込みます。

* 針の平らな面と針交換ツールの切り込みの平らな面が合うように差し込んでください。

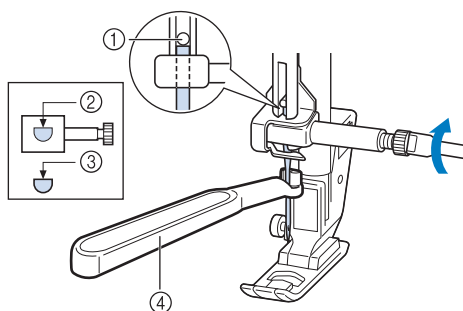


- ① 針の平らな面
② 切り込み
③ 平らな面を合わせる

🔍 お願い

- 針交換ツールに針を差し込むときは、無理な力を加えないでください。針折れや故障の原因となります。

- 2 針の平らな面をミシンの後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで針棒に差し込みます。ドライバーで針のとめネジをしっかりとめます。



- ① ストッパー
② 針取付穴
③ 針の平らな面
④ 針交換ツール

⚠ 注意



- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、とめネジをドライバーで確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針折れや故障の原因となります。

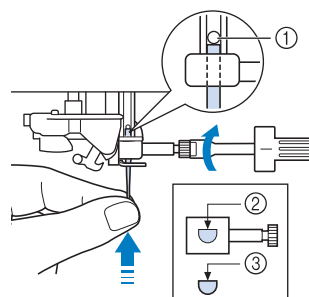
3

🔑 を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

針を手で持って取り付ける

1

新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで針棒に差し込みます。ドライバーで針のとめネジをしっかりとめます。



- ① ストッパー
② 針取付穴
③ 針の平らな面

⚠ 注意



- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、とめネジをドライバーで確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針折れや故障の原因となります。

2

🔑 を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

布地と糸の種類による針の使い分け

- このミシンで使用できる針：家庭用ミシン針（HAx1 シリーズの太さ 9 ～ 16 番） 例）HAx1、HAx1SP など
- このミシンで使用できる糸：30 ～ 90 番
＊ 20 番以下の太い糸は使用しないでください。故障の原因となります。
- 布地により、ミシン針や糸を使い分けます。次の表を参考にして、布地に適した糸と針を選択してください。
 - 表は目安です。必ず試しぬいをしてください。使用する布地を、実際にぬう枚数分重ねてぬってください。
 - ミシン針は消耗品です。美しい仕上がりと安全のために、折れる前の早めの針交換をおすすめします。
針交換の目安は「針の交換」(B-50) を参照してください。

- ＊ 基本として、薄い布地には細い針と細い糸、厚い布地には太い針と太い糸を使用します。
＊ 薄い布地をぬうときはぬい目を細かく、厚い布地をぬうときは粗くします。(S-10)

* 基本として、薄い布地には細い針と細い糸、厚い布地には太い針と太い糸を使用します。 * 薄い布地をぬうときはぬい目を細かく、厚い布地をぬうときは粗くします。(S-10)		数字が小さいほど太い糸です。  細い← 90 ～ 60 ～ 30 → 太い		数字が大きいほど太い針です。  細い← 9 ～ 11 ～ 14 ～ 16 → 太い		布地に適した模様を選択し、ぬい目の長さを調節してください。
布地の特徴・種類		ミシン糸		針の太さ	ぬい目の長さ mm	
		種類	太さ			
薄地	ローン、ジョーゼット、ポーラ、オーガンジー、シフォン、ボイル、ガーゼ、チュール、綿サテン、裏地 など	ポリエステル糸	60 ～ 90	9 ～ 11	細かいぬい目 (1.8 ～ 2.5)	
		綿糸、絹糸	50 ～ 80			
普通地	ブロード、タフタ、ギャバジン、フラノ、サッカー、ダブルガーゼ、リネン（麻布）、ちりめん、タオル地、ワッフル、シーチング、ポプリン、シャンプレー、ダンガリー、サテン、サージ など	ポリエステル糸	60 ～ 90	11 ～ 14	普通のぬい目 (2.0 ～ 3.0)	
		綿糸、絹糸	50 ～ 60			
厚地	デニム（12 オンス以上）、帆布 など	ポリエステル糸、綿糸	30	16	粗いぬい目 (2.5 ～ 4.0)	
	デニム（12 オンス以上）、帆布、ツイード、コーデュロイ、ペロア、キルティング、メルトン、モッサ、ビニールコーティング地 など	ポリエステル糸	60	14 ～ 16		
		綿糸、絹糸	30 ～ 50			
のびる布地 (ニット素材など)	ジャージー、トリコット、Tシャツ地、フリース、スムース など	ニット用糸	50	ニット用針（金） 11 ～ 14	布地の厚みに応じて設定 * 伸びる布地に適した模様の選択をおすすめします。 （「伸びる布地をぬう」 (S-9)）	
ステッチをかける場合 * 20 番以下の太い糸（ステッチ糸）を使用しないでください。 糸通し装置の故障や、針折れの原因となります。		ポリエステル糸	30	14 ～ 16	布地の厚みに応じて設定	
			50 ～ 60	11 ～ 14		

■ ナイロン透明糸

布地や糸にかかわらず 14 ～ 16 番の針を使用します。

■ 文字模様・飾り模様をぬうとき（針・糸）

針は、薄地・普通地・伸びる布地のときは、ニット用針（金色）11 番、厚地のときは家庭用ミシン針 14 番を使用します。糸は 50 ～ 60 番を使用します。

⚠ 注意



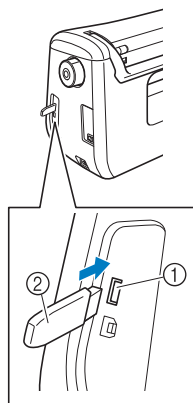
- 布地と糸と針の組み合わせは、上記に従ってください。組み合わせが適切でない場合、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因になります。特に、厚い布地（デニムなど）を細い針（9 ～ 11 番）でぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

マシンに接続して使う機能

B
1

ぬう前の準備

市販の USB メディアを使う



- ① メディア／マウス用の USB ポートコネクタ
- ② USB メディア

お知らせ

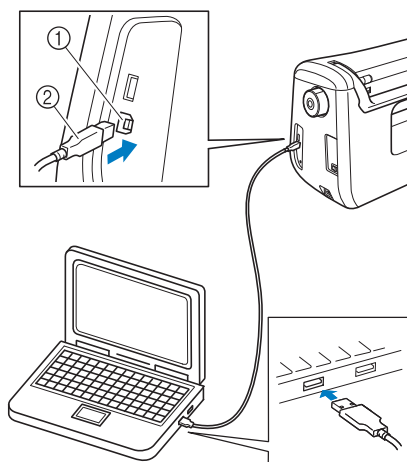
- 一部の USB メディアは、このマシンで使用できない場合があります。詳細は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://s.brother/cpfae/>）をご覧ください。
- USB メディアの種類によって、マシンの USB ポートコネクタに直接差し込むか、マシンの USB ポートコネクタに USB カードライター／リーダーを差し込みます。

パソコンにマシンを接続する

付属の USB ケーブルでマシンをパソコンに接続できます。

以下に示すパソコンの種類と OS が使用できます。

- 対応機種：
USB ポートコネクタ標準装備の IBM-PC またはその互換機
- 対応 OS:
Microsoft Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8



- ① パソコンの USB ポートコネクタ
- ② USB ケーブル

お願い

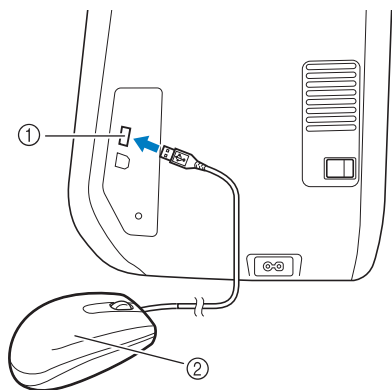
- USB ケーブルは、差し込む向きが決まっています。うまく差し込めない場合は、無理に差し込まず、向きを確認してください。
- パソコンの USB ポートコネクタ（または USB ハブ）の位置については、ご使用のパソコンの説明書を参照してください。

USB マウスを使う

マシンに接続した USB マウスで、さまざまな画面操作ができます。

お知らせ

- USB マウスは、市販品をお使いください。マウスによっては、本マシンの画面操作に対応していないことがあります。



- ① マウス／メディア用の USB ポートコネクタ
- ② USB マウス

お願い

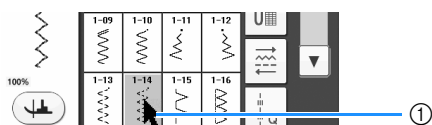
- マウスでの操作をしながら、同時に指や付属のタッチペンで画面を押さないでください。
- USB マウスはいつでも抜き差しできます。
- マウスの左ボタンのみ、操作に使用できます。ほかのボタンはマシンで使用できません。
- オープニング動画では、マウスポインターは表示されません。

■ キーをクリックする

マウスをマシンに接続すると、画面にポインターが表示されます。操作したいキーの上に、マウスを使ってポインターを移動させて、左クリックしてください。

お知らせ

- ダブルクリックによる操作はできません。



- ① ポインター

■ ページを変える

画面にページ番号とスクロールバーが表示されているときは、複数のページがあります。ポインターを◀ / ▶あるいは▲ / ▼に置いて左クリックし、前後のページを表示させてください。



デュアルフィード押え（別売）を使う

デュアルフィード押えを使えば、針板や押えに貼りついてぬいにくい布（ビニール素材、革、合成皮革など）や、ぬいずれしやすい布（キルト生地など）でもきれいに仕上がります。

お願い

- デュアルフィード押えを使うときは、中速か低速でぬってください。

お知らせ

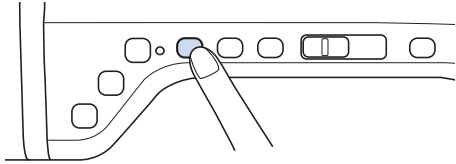
- デュアルフィード押えを取り付けているときは、使用できる模様だけが選択できます。
- お互いに貼りつきやすい布地をぬうときは、ぬいはじめにしつけぬいをすると、きれいに仕上がります。

■ デュアルフィード押えを取り付ける

！ 注意

- 押えを交換する前に、必ず液晶画面のを押してください。が押されていない状態で、（スタート／ストップスイッチ）または他のスイッチを押すと、マシンが作動してけがをするおそれがあります。

- 1 (針上下スイッチ) で針を上げます。



- 2 を押します。

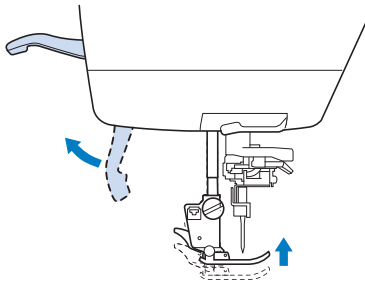
* 「押えが自動で下がります。よろしいですか？」のメッセージが表示されたら OK を押して操作を続けてください。

→ 画面全体が白くなり、キーと操作スイッチがロックされます。

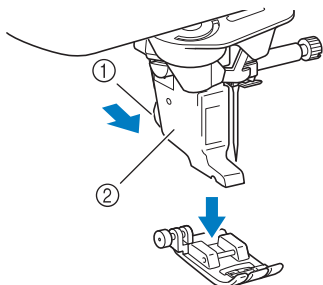
⚠ 注意

- 押えを交換する前に、必ず液晶画面の を押してください。 が押されていない状態で、 (スタート/ストップスイッチ) または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをすることがあります。

- 3 押えレバーを上げます。



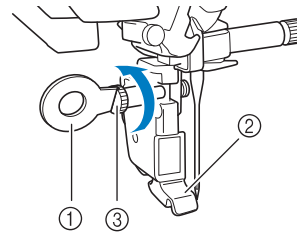
- 4 押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを外します。



- ① 黒いボタン
② 押えホルダー

→ 押えホルダーから押えを取り外します。

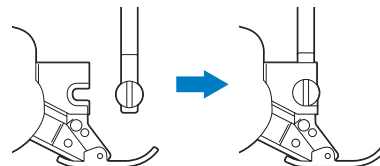
- 5 付属のネジ回しで押えホルダーのネジをゆるめて、押えホルダーを外します。



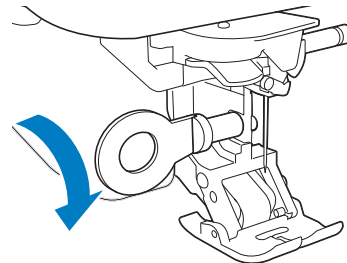
- ① ネジ回し
② 押えホルダー
③ 押えホルダーのネジ
→ 押えホルダーを取り外します。

- 6 押え棒のネジ (大) にデュアルフィード押えのミゾを合わせて取り付けます。

側面



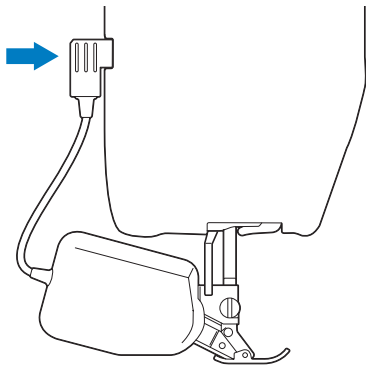
- 7 デュアルフィード押えを右手で押えながら、付属のネジ回しでネジ (大) をしっかりとしめます。



⚠ 注意

- 付属のネジ回しを使って、しっかりとネジをしめてください。ネジがゆるい場合、針が押えに当たり、けがをすることがあります。

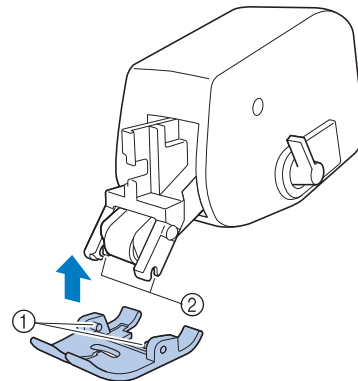
- 8** デュアルフィード押えのプラグをマシンの背面にあるコネクタに差し込みます。



- 9** を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

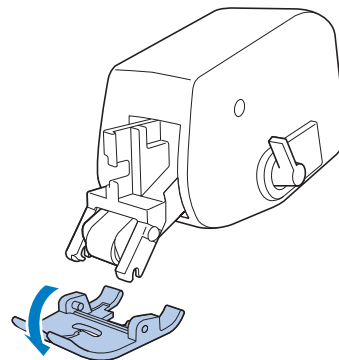
■ デュアルフィード押えの押え足を取り付ける／取り外す

押え足のピンを本体の切り欠きに合わせて取り付け、カチッとなるまで押し込みます。



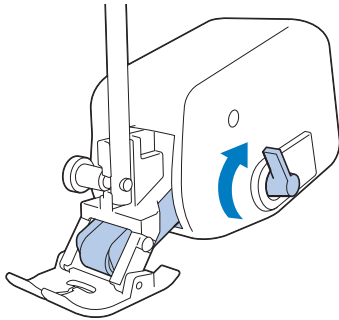
- ① ピン
- ② 切り欠き

デュアルフィード押えの先端を押さえると、押え足の部分が外れます。

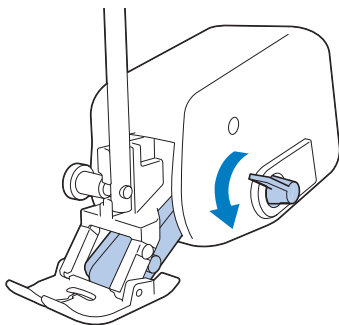


■デュアルフィード押えのレバーを使う

フィード位置レバーが上がっているとき、黒いローラーベルトは上がった状態です。



フィード位置レバーが下がっているとき、黒いローラーベルトが下がり、布送りできる状態です。



💡お願い

- 縫製中は、フィード位置レバーを操作しないでください。

■デュアルフィード押えの送り量を調整する

デュアルフィード機構によって、上側の布地はぬい目長さの設定に従って送られます。ぬいにくい布地を使う場合は、設定画面の「デュアルフィード送り量調整」で、さらに細かい調整ができます。

📖お知らせ

- 基本設定では、ここで示す手順のキーが灰色で表示されて、使えない場合があります。デュアルフィード押えをミシンに取り付けると、キーが使えるようになり、設定を変えることができます。いったん、デュアルフィード押えを取り付けると、その後は押えを取り外しても設定は変えることができます。

1 [メニュー] を押します。

→ 設定画面が表示されます。

2 設定画面の P.1 を表示します。

3 [−] または [+] を押して、上側の布の送り量を増やしたり減らしたりします。

- * 通常は「00」を選択してください。
- * 上側の布が下側の布より長く、送り量を増やす必要があるとき、[+] を押して上側の布の送り量を増やしてください。
- * 上側の布が下側の布より短く、送り量を減らす必要があるとき、[−] を押して上側の布の送り量を減らしてください。



4 [閉じる] を押すと、元の画面に戻ります。



実用ぬい／ 文字・模様ぬい編

ここでは、実用ぬいのさまざまな機能を紹介しています。基本的な縫製だけでなく、筒ぬいやボタンぬい、または文字・模様ぬいなど、本機をもっと活用したいときの詳しい操作方法を知ることができます。

ページ数は、「S」の記号で始まります。

第 1 章 基本のぬい方..... S-2

第 2 章 実用模様..... S-20

第 3 章 文字・模様ぬい..... S-76

第 4 章 マイイラスト機能..... S-102

第 1 章

基本のぬい方

基本のぬい方..... 3

ぬってみましょう	3
■ フットコントローラーを使用する	5
返しぬい／止めぬいをする	5
自動止めぬいをする	6
カーブをぬう	7
ぬい方向を変える	7
■ 0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合	7
厚い布地をぬう	8
■ 押えの下に布地が入らない場合	8
■ 布地が送られない場合	8
面ファスナー（マジックテープ®）をぬう	9
薄い布地をぬう	9
伸びる布地をぬう	9

模様の設定..... 10

ジグザグの振り幅を調節する	10
ぬい目の長さを調節する	10
ぬい目の基線位置を変えるー L/R シフト設定ー	11
糸調子を調節する	12
■ 正しい糸調子	12
■ 上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合	12
■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合	13

便利な機能..... 14

自動糸切りをする	14
ニーリフターを使用する	15
ピボット	15
自動押え圧補正	17
針位置 - ぬい位置	17
自動押え上下	18
画面をロックする	18

基本のぬい方

⚠ 注意



- 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。けがの原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

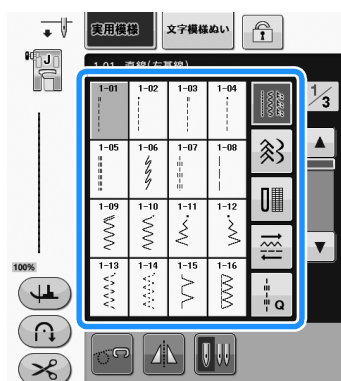


- ミシン操作中は、針の動きに十分にご注意ください。また、針、プーリー、てんびんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。
- 押えを交換する前に必ず液晶画面の  を押して、キーと操作スイッチをロックしてください。 が押されていない状態で、 (スタート/ストップスイッチ) または他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

ぬってみましょう

- 電源スイッチを入れ、縫製画面を表示して、 (針上下スイッチ) を押して針を上げます。

- 模様を選びます。



→ 画面の左上に正しい押えが表示されます。

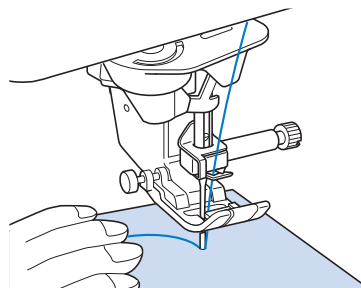
- 押えを取り付けます。(「基本機能編」の「押えの交換」参照)

⚠ 注意



- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。模様に適した押えについては、S-67 を参照してください。

- 布地を押えの下に置き、左手で布地と糸端を押さえ、プーリーを回してぬい始め位置に針をさします。



📖 お知らせ

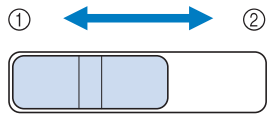
- ジグザグ押え<J>の左側の黒いボタンは、布地を送らないときや布地に段差があるときに使います。(S-8 参照) 通常は黒いボタンを使わずにぬいます。

-  (押え上下スイッチ) を押して押えを下げます。

* 下糸を引き出す必要はありません。

6 (スピードコントロールレバー) でぬう速さを調節します。

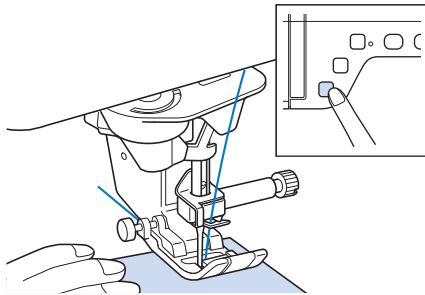
* ぬっている途中でも、ぬう速さを調節することができます。



① ゆっくり

② はやく

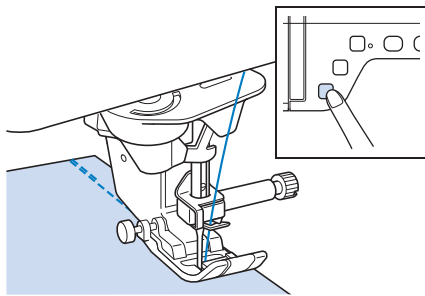
7 布地に軽く手を添え、(スタート/ストップスイッチ) を押して、ぬい始めます。



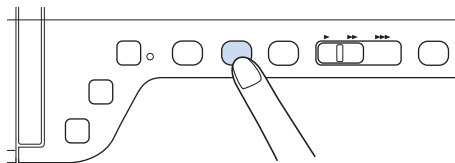
お知らせ

- フットコントロールジャックにフットコントロールのプラグが差し込まれているときは、(スタート/ストップスイッチ) は使用できません。

8 ぬい終わったら、もう一度(スタート/ストップスイッチ) を押します。



9 (糸切りスイッチ) を押して糸を切ります。



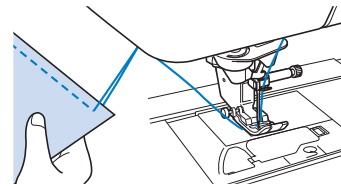
→ 針が自動的に上位置に戻ります。

! 注意

- 糸を切った後は、(糸切りスイッチ) を押さないでください。糸がからまったり、針が折れたり、ミシンが故障する原因となります。
- 押えの下に布地がないときや、ミシンが動いているときは、(糸切りスイッチ) を押さないでください。糸がらみや故障の原因となります。

お願い

- ナイロン糸・メタリック糸など特殊な糸を切る場合は、本体側面の糸切りを使用してください。



10 針が完全に止まったら、押えを上げて布地を取り出します。

お知らせ

- このミシンには下糸残量センサーが付いています。下糸が少なくなるとミシンは自動的に止まり、画面にメッセージが表示されます。その場合は、早めに下糸を補充してください。ただし、(スタート/ストップスイッチ) を押すと数針ぬうことができます。

■ フットコントローラーを使用する

フットコントローラーまたは別売のマルチ機能フットコントローラーを使って、ミシンを操作することもできます。
ここでは、フットコントローラーの使い方を説明します。

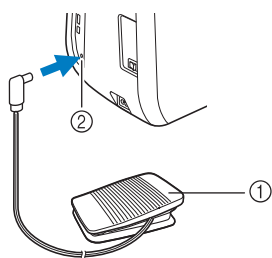
⚠ 注意

- フットコントローラーに布片やほこりがたまらないようにしてください。火災や感電の危険があります。
 - このミシンに使用できるフットコントローラーは以下のモデルです。下記以外のモデルを本機に使用しないでください。
フットコントローラー MODEL T
マルチ機能フットコントローラー MODEL U
 - 純正品以外の付属品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。
- ※ 純正品以外のものすべてが必ず不具合を起こすわけではありません。

📖 お知らせ

- フットコントローラージャックにフットコントローラーのプラグが差し込まれているときは、 (スタート/ストップスイッチ) は使用できません。

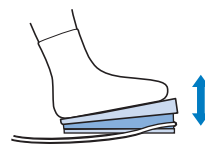
- ミシン本体右側面のフットコントローラージャックに、フットコントローラーの接続プラグを差し込みます。



- ① フットコントローラー
② フットコントローラージャック

- フットコントローラーをゆっくり踏み込みます。

浅く踏むと遅く、深く踏み込むと早くなります。



📖 お知らせ

- スピードコントロールレバーを左右に動かして、フットコントローラーの最高速度を調整することができます。

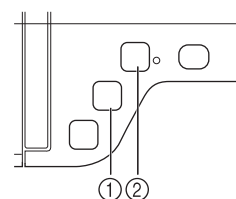
- ぬい終わりの位置まできたら、フットコントローラーから足を離します。

返しぬい／止めぬいをする

返しぬいまたは止めぬいは、通常、ぬい始めとぬい終わりで行います。

 (返しぬいスイッチ) を押している間、模様によって返しぬいまたは止めぬいをします。

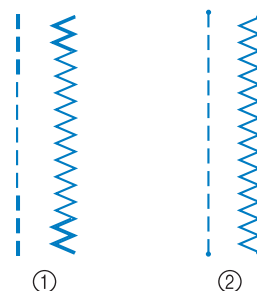
 (止めぬいスイッチ) を長押しすると、同じ場所で3~5針ぬってから止まります。



- ① 返しぬいスイッチ
② 止めぬいスイッチ

画面で自動止めぬいが設定されているときは、

 (スタート/ストップスイッチ) を押してぬい始めるときに自動的に返しぬい（または止めぬい）がぬわれます。ぬい終わりは、 (返しぬいスイッチ) または  (止めぬいスイッチ) を押すと、返しぬいまたは止めぬいができます。



- ① 返しぬい
② 止めぬい

操作後のミシンの動きは、選択している模様によって異なります。

S-6の「自動止めぬいをする」を参照してください。

お知らせ

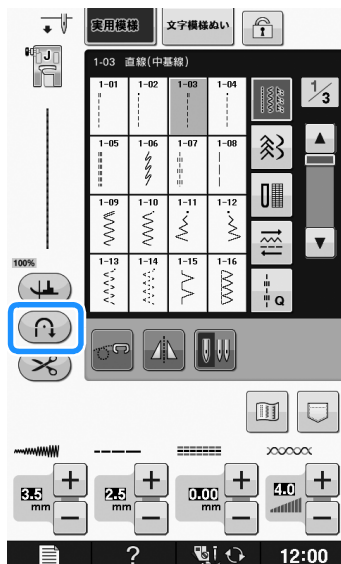
- 文字・模様ぬいの場合に  (止めぬいスイッチ) を押すと、模様の途中でスイッチが押されたときも、1模様がぬい終わったところで止めぬいがぬわれます。
- 1模様がぬい終わるまでの間は、 (止めぬいスイッチ) の右横にある緑のLEDライトが点灯します。止めぬいが終わると、LEDライトは消えます。

自動止めぬいをする

模様を選んだときに自動止めぬいを設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をします。

1 模様を選びます。

2  を押して、自動止めぬいを設定します。

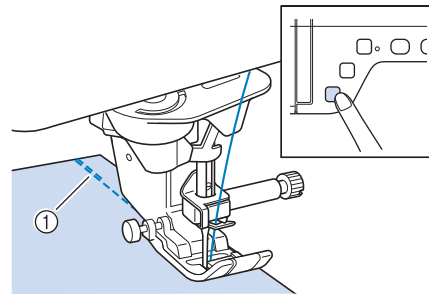


→ 表示が、 に変わります。

お知らせ

- ボタン穴かがりやかんどめなどの一部の模様は、ぬい始めに止めぬいを行う必要があります。これらの模様は、止めぬいが自動的に設定されます(模様を選択すると表示が  に変わります)。

3 ぬい始めの位置に針を刺し、 (スタート/ストップスイッチ) を押します。



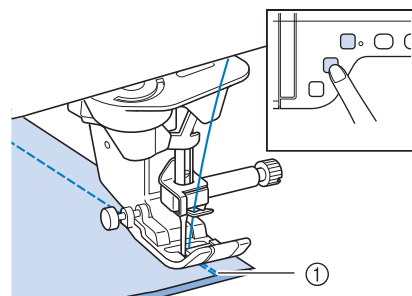
① 返しぬい (または止めぬい)

→ 自動的に返しぬい (または止めぬい) をしてぬい始めます。

お知らせ

- ぬっている途中で  (スタート/ストップスイッチ) を押すと、縫製を一時停止/再開できます。

4 ぬい終わりに、 (返しぬいスイッチ) または  (止めぬいスイッチ) を押します。



① 返しぬい (または止めぬい)

→ 自動的に返しぬい (または止めぬい) をして止まります。詳しくは、次ページの一覧表を参照してください。

お知らせ

- 自動止めぬいを解除するときは、もう一度  を押します。表示が  に変わります。

それぞれのスイッチを押したときのミシンの動きは、選択している模様によって異なります。次の表の説明を参照してください。

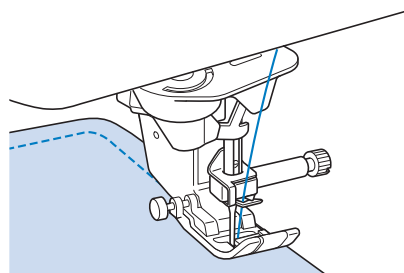
	返しぬいスイッチ 	止めぬいスイッチ 
実用模様 +    	返しぬいスイッチを押している間だけ返しぬいをします。	止めぬいスイッチを押している間3～5針の止めぬいをします。
実用模様 +    	返しぬいスイッチを押している間だけ返しぬいをします。*	止めぬいスイッチを押している間3～5針の止めぬいをします。
実用模様 +  直線、ジグザグ以外の模様	返しぬいスイッチを押している間3～5針の止めぬいをします。	止めぬいスイッチを押している間3～5針の止めぬいをします。
文字模様ぬい + 	返しぬいスイッチを押している間3～5針の止めぬいをします。	止めぬいスイッチを押すと、1模様を完成させてから止めぬいをします。
実用模様 +    	返しぬいスイッチを押すと、返しぬいをしてぬい終わります。 (ぬい始めは自動で返しぬいをします。)	返しぬいスイッチを押すと、止めぬいをしてぬい終わります。 (ぬい始めは自動で返しぬいをします。)
実用模様 +    	返しぬいスイッチを押すと、返しぬいをしてぬい終わります。* (ぬい始めは自動で止めぬいをします。)	止めぬいスイッチを押すと、止めぬいをしてぬい終わります。 (ぬい始めは自動で止めぬいをします。)
実用模様 +  直線、ジグザグ以外の模様	返しぬいスイッチを押すと、止めぬいをしてぬい終わります。 (ぬい始めは自動で止めぬいをします。)	止めぬいスイッチを押すと、止めぬいをしてぬい終わります。 (ぬい始めは自動で止めぬいをします。)
文字模様ぬい + 	返しぬいスイッチを押すと、止めぬいをしてぬい終わります。 (ぬい始めは自動で止めぬいをします。)	止めぬいスイッチを押すと、1模様を完成させてから止めぬいをしてぬい終わります。 (ぬい始めは自動で止めぬいをします。)

* 設定画面のP.3で「止めぬい優先設定」を「ON」にしている場合は、返しぬいの代わりに止めぬいをします。

 は自動止めぬい設定時の表示、 は自動止めぬいを解除しているときの表示です。

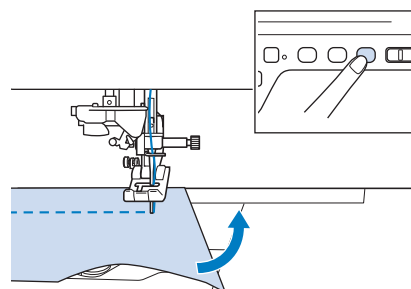
カーブをぬう

ぬい目を布端と平行になるように、ミシンを止めて少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



ぬい方向を変える

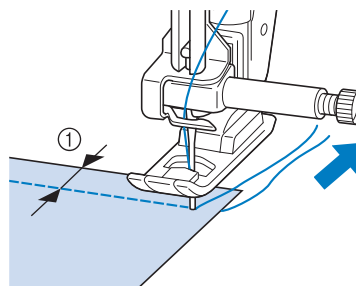
方向を変える位置でミシンを止めます。針を布にさしたまま  (押え上下スイッチ) を押して押えを上げます。針を軸にして布地を回し、ぬい方向を変えたあと、 (押え上下スイッチ) を押して再び押えを下げてぬい始めます。



ぬい方向を変えるときは、ピボット機能を有効にしておく便利です。布の角でミシンを止めたときに、針が布に刺さった状態で止まり、押えが自動的に上がるため、布を回しやすくなります。(S-15の「ピボット」)

■ 0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合

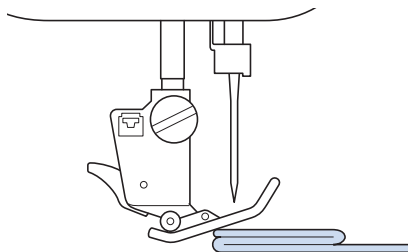
角部にしつけ糸をつけ、方向を変えたらしつけ糸を後ろに引っ張りながらぬいます。



① 0.5 cm

厚い布地をぬう

このミシンでは、厚さが約 6mm までの布地をぬうことができます。布地の厚みで布地に段差ができるときは、手で布を送りながらぬい、下り方向になるようにぬってください。

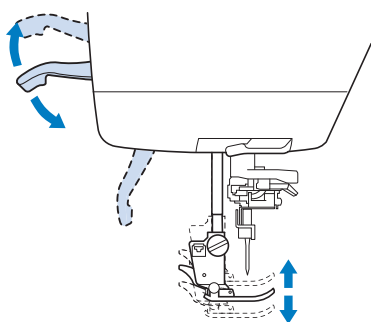


⚠ 注意

- 6mm 以上の厚地をぬったり、無理に布地を押しこんだりすると、針が折れけがをするおそれがあります。
- 厚い布地ほど太い針を使用してください。（「基本機能編」の「布地と糸の種類による針の使い分け」参照）

■ 押えの下に布地が入らない場合

押えレバーは 2 段階に上がります。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げると、押えがもう一段上がり布地が入れやすくなります。



📖 お知らせ

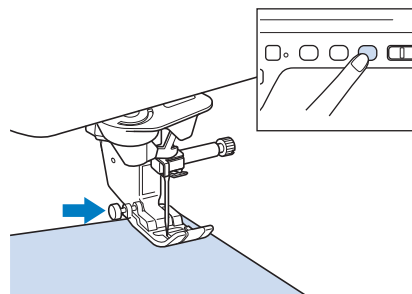
- (押え上下スイッチ) を押して押えを上げた後は、押えレバーは使用できません。

■ 布地が送られない場合

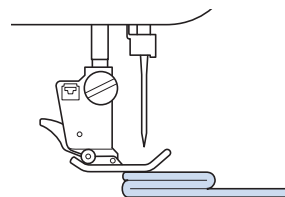
ぬい始めに布地が送られないときや布地に段差があって送られない場合は、ジグザグ押え<J>の左側の黒いボタンを使います。

1 押えレバーを上げます。

2 ジグザグ押え<J>を水平に保持して、左側の黒いボタンを押したまま、(押え上下スイッチ) を押して押えを下げます。



3 ボタンから手を離します。



→ 押えが水平になり、布が送られます。

📖 お知らせ

- ぬい進めると押えはもとに戻ります。
- 設定画面で「自動押え圧補正」を ON にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。スムーズに布送りでき、きれいに仕上げることができます。（詳細は、S-17 を参照してください。）

面ファスナー (マジックテープ®) をぬう

📖 お知らせ

- “マジックテープ®” は、株式会社クラレの、面ファスナーの登録商標です。

⚠ 注意

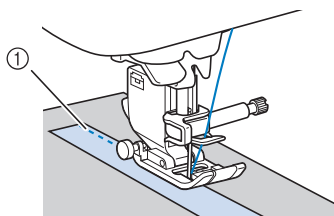
- 面ファスナーは、のりが付いていない縫製用のものを使用してください。のりが針やかまに付着すると、故障の原因となります。
- 面ファスナーを細い針（9～11番）でぬうと、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

💡 お願い

- ミシンでぬう前に、しつけをして面ファスナーと布地をぬい合わせておいてください。

プーリーを手前に回して面ファスナーに針を刺し、針がスムーズに通ることを確認してから、面ファスナーの端を低速でぬいます。

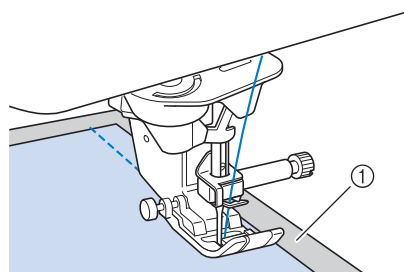
針が通らない場合は、厚地用の針と糸に交換してください。（「基本機能編」の「布地と糸の種類による針の使い分け」参照）



① 面ファスナーの端

薄い布地をぬう

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけたり、布地の下にハトロン紙などの薄い紙、または刺しゅう用の芯をしいてぬうと、ぬいやすくなります。紙や芯をしく場合は、ぬい終わった後にていねいに取り除きます。



① ハトロン紙など

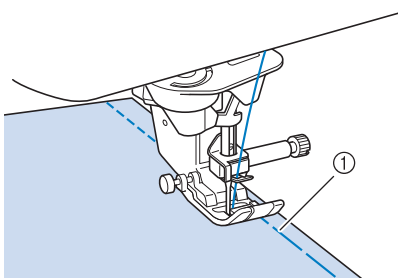
伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らないようにぬいます。

また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使用すると、きれいにぬうことができます。

📖 お知らせ

- 伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。（「基本機能編」の「設定キーを使う」参照）



① しつけ

模様の設定

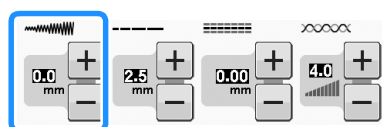
ジグザグの振振幅やぬい目の長さ、L/R シフト設定、上糸調子は、あらかじめ模様ごとに標準値に設定されています。この設定は、必要に応じて変えることができます。

お知らせ

- 模様によっては、設定を変えられないものがあります。(S-67 の「ぬい方早見表」参照)
- 模様の設定を保存せずに (S-22 の「模様の設定を記憶する」)、ミシンの電源スイッチを切ったり、他の模様を選択すると、標準の設定に戻ります。

ジグザグの振振幅を調節する

ジグザグの振振幅 (模様の幅) を広くしたりせまくしたりすることができます。

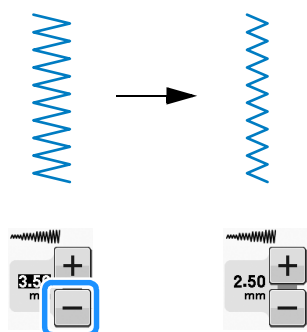


お知らせ

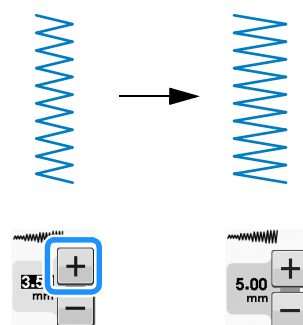
-  (スピードコントロールレバー) を使って振振幅を調節することもできます。(S-40 参照)

例：

振振幅の **-** を押すごとに表示の数値が小さくなり、ジグザグの幅がせまくなります。



振振幅の **+** を押すごとに表示の数値が大きくなり、ジグザグの幅が広がります。



お知らせ

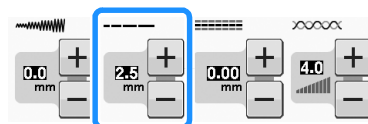
-  を押して表示される画面で  を押すと、標準の設定に戻ります。

お願い

- 振振幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

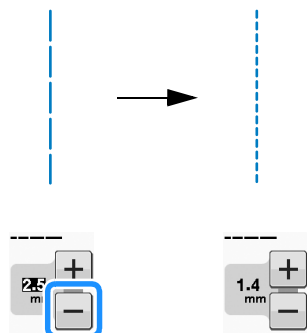
ぬい目の長さを調節する

ぬい目の長さをあらくしたり細かくしたりすることができます。

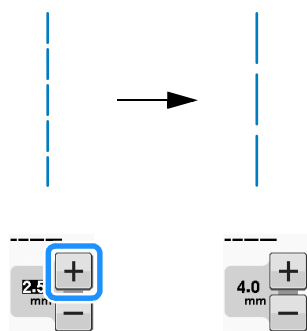


例：

ぬい目の長さの「**-**」を押すごとに表示の数値が小さくなり、ぬい目が細くなります。



ぬい目の長さの「**+**」を押すごとに表示の数値が大きくなり、ぬい目があらかくなります。



→ 表示の数値が大きくなります。

お知らせ

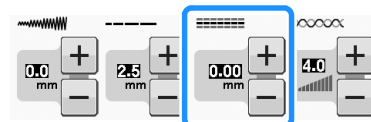
- を押すと、ぬい目の設定を確認できます。
- を押して表示される画面で を押すと、標準の設定に戻ります。

⚠ 注意

- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

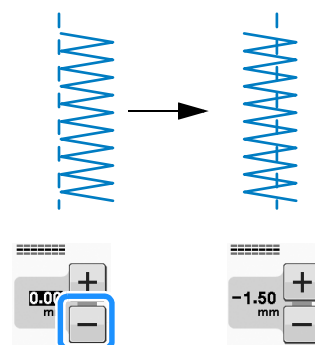
ぬい目の基線位置を変える － L/R シフト設定－

L/R シフト設定を使って、ぬい目の基線を左右に移動することができます。ここでは、ジグザグ模様を例にして説明します。



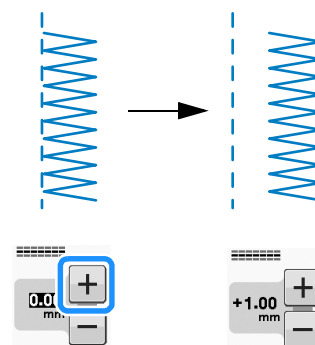
例：

L/R シフトの「**-**」を押すごとに、ぬい目の基線が左に移動します。



→ 表示の数値がマイナス（-）の表記になります。

L/R シフトの「**+**」を押すごとに、ぬい目の基線が左基線よりも右側に移動します。



→ 表示の数値がプラス（+）の表記になります。

お知らせ

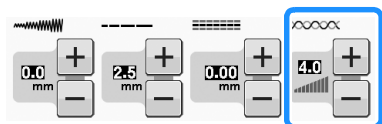
- を押して表示される画面で を押すと、標準の設定に戻ります。

⚠ 注意

- L/R シフト設定を調節したときは、プーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

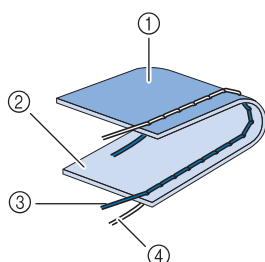
糸調子を調節する

通常は、布地や糸の種類に関係なく、自動的に標準の糸調子が取れるように設定されています。布や糸の種類によって、糸調子を調節してください。



■ 正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。布地の表に出るのは上糸だけで、布地の裏に出るのは下糸だけになります。



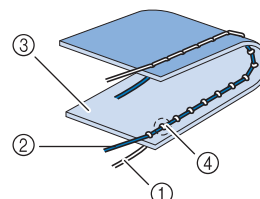
- ① 裏
- ② 表
- ③ 上糸
- ④ 下糸

■ 上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合

下糸が布地の表に出る場合は、上糸の糸調子が強すぎます。

💡 お願い

- 下糸が正しくセットされていないと、上糸が強くなる場合があります。上糸が強いときは、下糸のセットを再度行ってください。「基本機能編」の「下糸をセットする」を参照してください。



- ① 下糸
- ② 上糸
- ③ 表
- ④ 上糸が強いと上糸と下糸の重なりが表にできません。

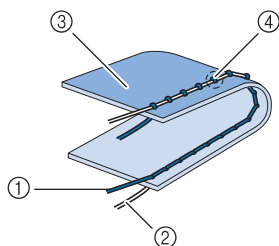
糸調子の「」を押します。押すごとに表示の数値が小さくなり、上糸が弱くなります。

■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る） 場合

上糸が布地の裏に出る場合は、上糸の糸調子が弱すぎます。

💡 お願い

- 上糸が正しくセットされていないと、上糸が弱くなることがあります。上糸が弱いときは、上糸のセットを再度行ってください。「基本機能編」の「上糸通し」を参照してください。



- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 裏
- ④ 上糸が弱いと上糸と下糸の重なりが裏にできません。

糸調子の **+** を押します。押すごとに表示の数値が大きくなり、上糸が強くなります。

📖 お知らせ

-  を押して表示される画面で  を押すと、標準の設定に戻ります。

便利な機能

自動糸切りをする

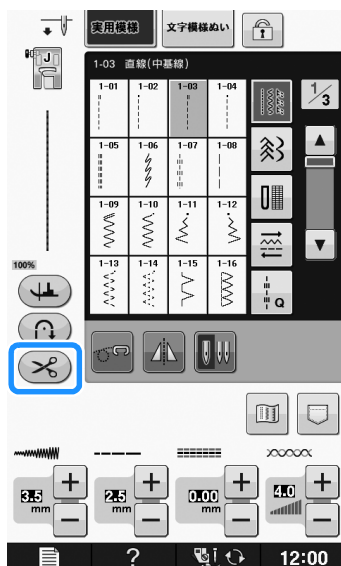
模様を選んだときに自動糸切りを設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい（模様によっては返しぬい）をして、ぬい終わりに自動的に糸を切ります。ボタン穴かがりやかんだめをぬうときに便利です。

お知らせ

- 自動糸切りを設定にすると、自動止めぬいも設定されます。

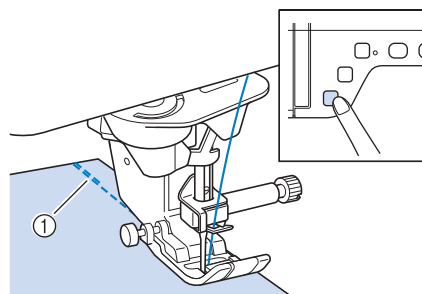
1 模様を選びます。

2  を押して、自動糸切りを設定します。



→ 表示が、 に変わります。

3 ぬい始めの位置に針を刺し、（スタート／ストップスイッチ）を押します。



① 返しぬい（または止めぬい）

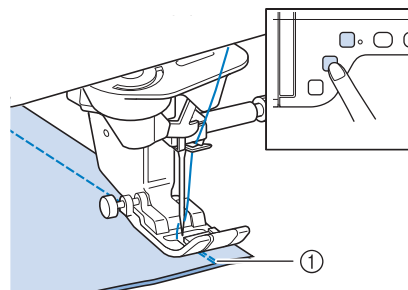
→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をしてぬい始めます。

お知らせ

- ぬっている途中で （スタート／ストップスイッチ）を押すと、縫製を一時停止／再開できます。

4 ぬい終わりに、（返しぬいスイッチ）か

（止めぬいスイッチ）を押します。



① 返しぬい（または止めぬい）

→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をして糸を切ります。

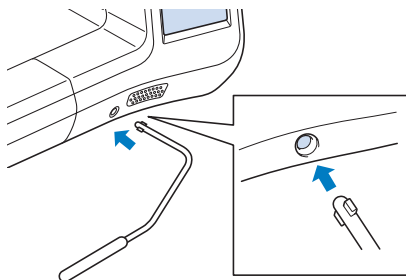
お知らせ

- 自動糸切りを解除するときは、もう一度  を押します。表示が  に変わります。

ニーリフターを使用する

ニーリフターを使うと、ひざで押えの上げ下げができ、両手が使え便利です。

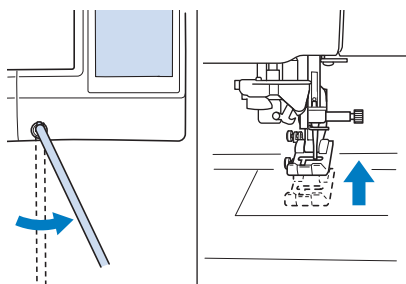
- 1 ニーリフターの先端の突起部をミシン本体の前面にある差し込み口のミゾに合わせ、ニーリフターを押し込みます。



❖ お願い

- ニーリフターは差し込み口の奥までしっかりと差し込んでください。正しく差し込まれていないと、使用中に外れることがあります。

- 2 押えを上げるときは、ニーリフターをひざで右に押します。押えを下げるときは、ニーリフターからひざを離します。



⚠ 注意

- 縫製中は、ニーリフターにひざが触れないように注意してください。縫製中にニーリフターを押すと、針が折れたり、糸調子が変わる可能性があります。

📖 お知らせ

- 押えが上がっているときは、ニーリフターを右いっぱいにしてからひざを離すと、押えが下がります。

ピボット

ピボット設定が選択されている場合、縫製中に  (スタート/ストップスイッチ) を押すと、針が下がった (布地の中にある) 状態でミシンは停止し、押えは自動的に設定した高さに上がります。もう一度  (スタート/ストップスイッチ) を押すと、押えは自動的に下がり、操作が継続されます。ミシンを止めて布地を回転するときに便利です。

⚠ 注意

- ピボット設定が選択されている場合、 (スタート/ストップスイッチ) や、フットコントローラーを押すと、押えが上がっていてもミシンが作動します。事故を防ぐために、針の付近に手や物を近づけないように注意してください。

📖 お知らせ

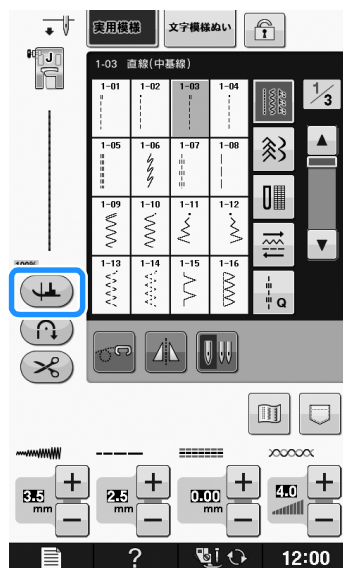
- ピボット機能を設定している場合、ぬい終わり時の押えの高さを変更することができます。使用している布地の種類に合わせて変更してください。  を押して、「ピボット押え高さ」を表示させます。  または  を押して、押えが上がった時の高さを選択します (2.0 mm、3.2 mm、5.0 mm、7.5 mm)。(通常、3.2mm に設定されています。)



- ピボット機能を使用するには、「針位置 - 上 / 下」が下に  設定されている必要があります。「針位置 - 上 / 下」が上に設定されていると、 が灰色で表示され使用できません。
- 画面の左上に押え < J > または < N > が表示されている模様にもみ、ピボット機能が使用できます。他の模様が選択されていると、 が灰色で表示され、使用できません。
-  (押え上下スイッチ) で確実に押えを下げたから、 (スタート/ストップスイッチ) を押して操作を続けてください。
- ピボット設定を選択していると、設定画面の「押え高さ」の  と  を使用できません。

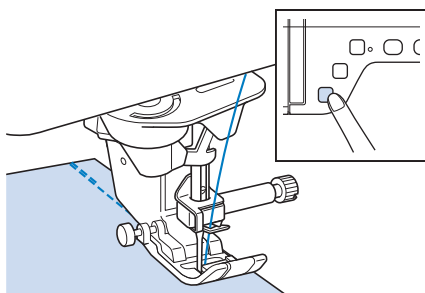
1 模様を選びます。

2  を押して、ピボット設定を選びます。

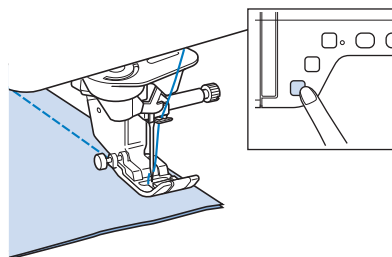


→ 表示が  に変わります。

3 布地をぬい始めの位置に合わせて、 (スタート/ストップスイッチ) を押します。ミシンがぬい始めます。

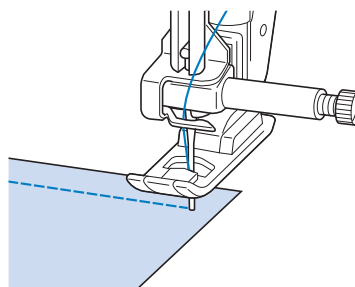


4  (スタート/ストップスイッチ) を押して、方向を変える位置でミシンを止めます。



→ 針が布地にささった状態でミシンが止まります。このとき、押えは上がっています。

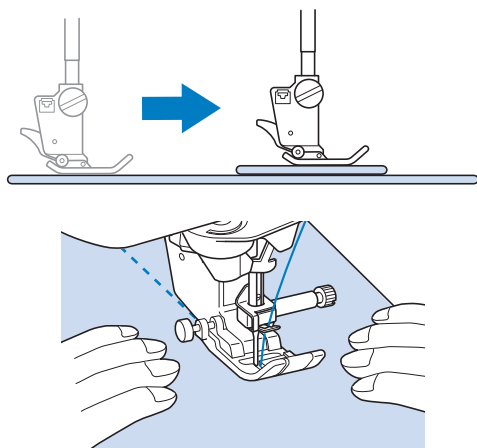
5 布地を回転して、 (スタート/ストップスイッチ) を押します。



→ 押えが自動的に下がり、ぬい始めます。

自動押え圧補正

使用中に、内蔵されたセンサーで布地の厚さが自動的に感知され、押えが調節されます。そのため、布地をスムーズに送ることができます。厚地の布（S-8 参照）やキルト生地（S-35 参照）をぬう場合、この機能は便利です。



1 を押します。

→ 設定画面が表示されます。

2 「自動押え圧補正」を押して、「ON」にします。



3 を押すと、元の画面に戻ります。

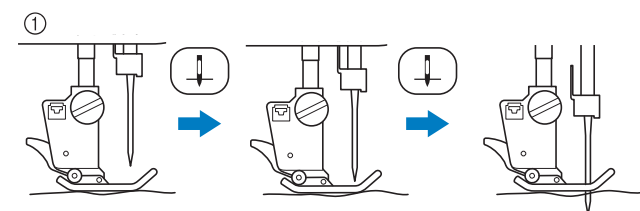
針位置 - ぬい位置

「針位置 - ぬい位置」が設定されているときは、ぬい始めの針落ち位置を確認するために、針が布地にささるギリギリの高さでいったん止まるので、もう一度 (針上下スイッチ) を押して針が完全に布地にささるまで下げてください。

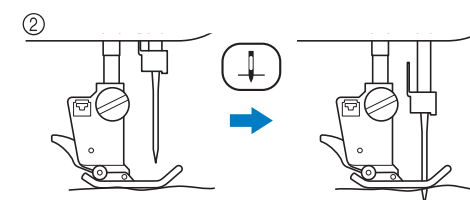
(針上下スイッチ) を押すたびに針位置が変わります。

「針位置 - ぬい位置」の設定を解除しているときは、 (針上下スイッチ) を押すたびに、針位置は布地の上下どちらかで切り替わります。

- ① 設定が「ON」のとき
- ② 設定が「OFF」のとき



* (針上下スイッチ) を押して、針が下がりかけた状態のとき、送り歯が下がるので、布地を動かして針落ち位置を細かく合わせることができます。



1 を押します。

→ 設定画面が表示されます。

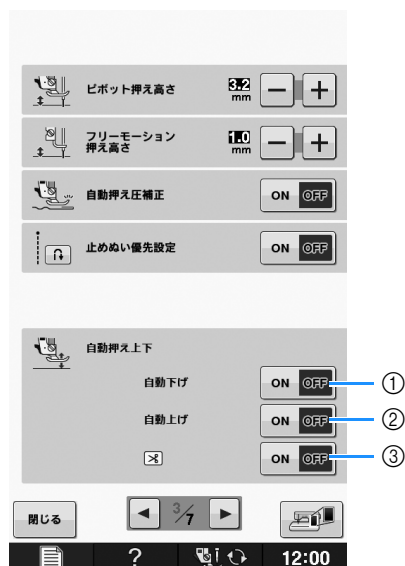
2 「針位置 - ぬい位置」を押して、「ON」または「OFF」にします。



3 を押すと、元の画面に戻ります。

自動押え上下

ぬい始めやぬい終わり、自動糸切り時に、押えを自動で動かす機能です。操作をよりスムーズに進めることができます。



①	「自動下げ」を「ON」にすると、 (スタート/ストップ) スイッチを押してぬい始めるとき (フットコントローラーを接続している場合はフットコントローラーを踏み込んだとき)、押えが自動で下がります。
②	「自動上げ」を「ON」にすると、 (スタート/ストップ) スイッチを押してミシンを停止させたとき (フットコントローラーを接続している場合はフットコントローラーから足を離れたとき)、押えが自動で上がります。押えが上がったときの高さは「押え高さ」で設定します。(B-23) ピボット () を設定している場合は、押えが上がったときの高さは「ピボット押え高さ」で設定した高さになります。(B-23)
③	(糸切り) を「ON」にすると、 (糸切りスイッチ) を押したとき、自動で押えが下がり、糸切りします。糸切り後に押えは自動で上がります。

画面をロックする

大きな布や作品をぬう場合に、布が画面に触れて設定が変わったり、途中でミシンが止まったりすることを防ぎます。

- 1 模様を選びます。
- 2 ジグザグの振り幅やぬい目の長さなどを設定します。
- 3 を押して、画面をロックします。
→ 表示が に変わります。
- 4 ぬい始めます。
- 5 ぬい終わったら、 を押して画面ロックを解除します。

注意

- 画面ロック () を解除するには、 を押します。画面がロックされると、キー操作はできません。
- 電源スイッチを切ると、画面ロックは解除されます。



基本のぬい方

第 2 章 実用模様

実用模様の選び方..... 21

模様を選ぶ.....	21
■ 模様を左右反転するには.....	21
■ イメージキーを使用する.....	22
模様の設定を記憶する.....	22
■ 模様の設定を記憶する.....	22
■ 記憶した設定を呼び出す.....	23

いろいろなぬい方..... 24

直線ぬい.....	24
■ 針位置の変え方（左基線・中基線の模様）.....	25
■ 針板や針板ふたの目盛りを基準にする場合.....	26
■ 直線針板と直線押えを使用する場合.....	26
■ しつけぬい.....	27
ダーツ.....	28
ギャザー.....	28
折り伏せぬい.....	29
ピンタック.....	30
ジグザグぬい.....	30
■ たち目かがり（ジグザグぬい）.....	31
■ アププリケ（ジグザグぬい）.....	31
■ パッチワーク（クレイジーキルト）.....	31
■ カーブをぬう場合（ジグザグぬい）.....	31
■ コードガイドふたを使用する（ジグザグぬい）.....	32
点線ジグザグぬい.....	33
■ ゴムひもつけ.....	33
■ たち目かがり.....	33
たち目かがり.....	33
■ たち目かがり押え< G > を使うたち目かがり.....	33
■ ジグザグ押え< J > を使うたち目かがり.....	35
キルトぬい.....	35
■ ピーシング.....	36
■ ガイド付ピーシング押え（別売）を使う.....	37
■ アププリケ.....	38
■ サテンぬいのキルト.....	39
■ フリーモーションキルト.....	40
■ エコーキルト押え< E >（別売）を使用して、 エコーキルトをぬう.....	43
まつりぬい.....	45
■ 針がかかりすぎているとき.....	47
■ 針がかかっていないとき.....	47
アププリケぬい.....	48
■ 急なカーブをぬう場合.....	48
■ 角をぬう場合.....	48
シェルタックぬい.....	49
スカラップぬい.....	50
つき合わせぬい.....	50
スモッキングぬい.....	50
ファゴティングぬい.....	51
ゴムひもつけ.....	52
ヘアルーム.....	53
■ デイジーステッチ.....	53
■ ドロンワーク（1）.....	53
■ ドロンワーク（2）.....	54
ボタン穴かがり.....	54
■ 伸びる布地をぬう場合.....	57
■ ボタンが台皿にのらない場合.....	57
ダーニング（つくろいぬい）.....	58
かんどめ.....	59
■ 厚地の場合.....	60

ボタンつけ..... 60

■ 4 つ穴ボタンをつけるときは.....	61
■ ボタン足をつけるときは.....	61
アイレット.....	62
横送り（直線・ジグザグ）.....	62
ファスナーつけ.....	63
■ つき合わせ.....	63
■ 脇あき.....	64

ぬい方早見表..... 67

実用模様の選び方

模様を選ぶ

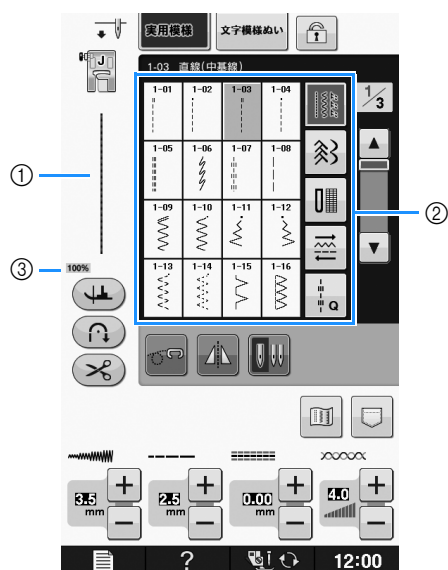
このミシンには、5種類の実用模様があります。

1 電源スイッチを入れて、画面を指で軽く押します。

→ 設定画面で選択された設定に基づいて、「1-01 直線（左基線）」または「1-03 直線（中基線）」のいずれかが表示されます。

2 を押して、ぬいたい模様を選びます。

- * 他の画面が表示されている場合は  を押します。
- *  を押すと次のページが表示されます。
- *  を押すと前のページが表示されます。



- ① 選択した模様の表示
- ② 模様選択画面
- ③ 表示サイズ（%）

3 ぬいたい模様のキーを押します。

お知らせ

- 模様の詳細については、S-67の「ぬい方早見表」を参照してください。

■ 模様を左右反転するには

実用模様の種類によっては、模様を左右反転することができます。

模様を選んだとき  が点灯すれば、その模様を左右反転することができます。

お知らせ

- 模様を選んだときに、 が灰色表示される模様は、左右に反転することはできません（ボタン穴かがり、横送り模様など）。

 を押すと、模様が左右に反転します。

キーの表示が、 に変わります。

例：



■ イメージキーを使用する

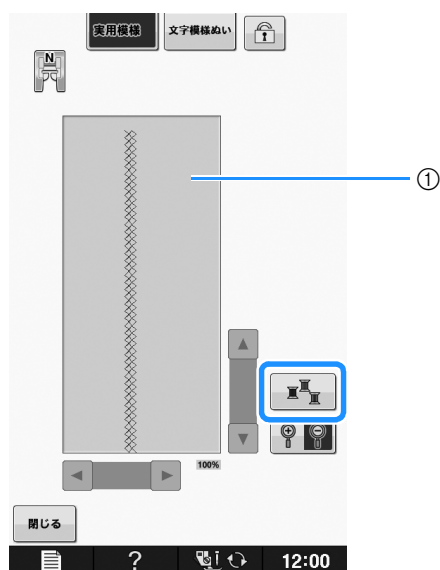
選択した模様のイメージを実寸で表示することができます。イメージの色を画面で確認し、変更することもできます。

1 を押します。

→ 選択した模様のイメージが表示されます。

2 画面に表示されている模様の糸の色を変えるには、を押します。

* 模様の拡大したイメージ表示するには、を押します。



① 模様画面

お知らせ

- を押すたびに、糸の色が変わります。

お願い

- 模様画面に表示される模様が表示エリアよりも大きく、表示しきれない場合があります。そのときは濃い色で表示されている矢印マークを押して、隠れている部分の模様が見えるように表示を動かしてください。

3 を押すと、元の画面に戻ります。

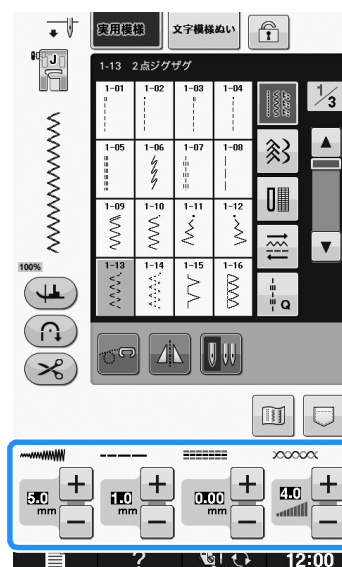
模様の設定を記憶する

ジグザグの振り幅、ぬい目の長さ、糸調子、自動糸切り、自動止めぬいなどは、あらかじめ模様ごとの標準値に設定されています。お好みの数値に設定しておきたいときは、標準の数値を変更し、模様ごとに記憶することができます。設定は、1つの模様について5セットまで記憶することができます。

■ 模様の設定を記憶する

1 模様を選びます。(例：)

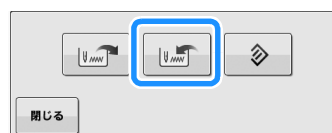
2 ジグザグの振り幅、ぬい目の長さなどをお好みの設定にします。



3 を押します。

→ メモリー機能画面が表示されます。

4 を押します。



→ 設定が保存されます。を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- ある模様の設定がすでに5セット記憶されている状態で、設定を記憶しようとすると、メッセージが表示されます。メッセージの指示に従って、記憶されている設定のいずれか1つを消去し、新しい設定を記憶してください。(S-23)

■ 記憶した設定を呼び出す

1 模様を選びます。

📖 お知らせ

- 模様を選択すると、前回呼び出された設定が表示されます。この設定は、電源スイッチを切っても、別の模様を選択しても、そのまま残ります。

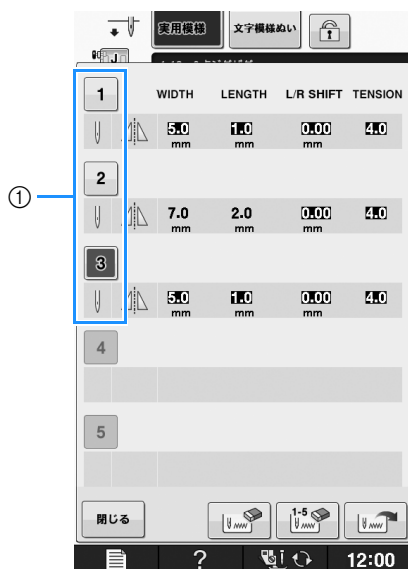
2 を押します。

→ メモリー機能画面が表示されます。

3 を押します。

4 呼び出す設定の番号の付いたキーを押します。

*  を押すと、設定を呼び出さずに元の画面に戻ります。



① 番号の付いたキー

5 を押します。

→ 設定が呼び出されます。 を押すと、元の画面に戻ります。

📖 お知らせ

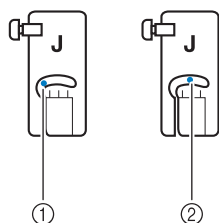
- ある模様の設定がすでに 5 セット記憶されている状態で、さらに設定を記憶する場合は、まず  を押します。次に、削除する設定の番号が付いたキーを押します。 を押したあと、 を押します。
 を押してからもう一度  を押します。
新しい設定は、直前に削除した設定の番号に保存されます。
-  を押すと、選択されている模様に保存されている設定を全て削除することができません。

いろいろなぬい方

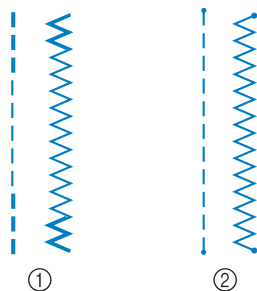
直線ぬい

ぬい模様について詳しくは、S-67 を参照ください。

ぬい方	名前	押え
1-01	直線（左基線）	
1-02	直線（左基線）	
1-03	直線（中基線）	
1-04	直線（中基線）	
1-05	3重ぬい	
1-06	伸縮ぬい	
1-07	飾りぬい	
1-08	しつけぬい	



- ① 左基線
② 中基線

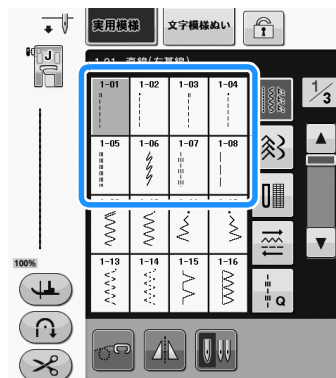


- ① 返しぬい
② 止めぬい

お知らせ

- 返しぬいと止めぬいについては、S-5 の「返しぬい／止めぬいをする」を参照してください。

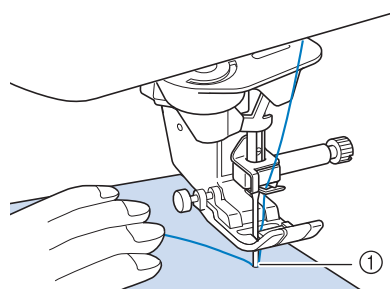
1 模様を選びます。



2 ジグザグ押え<J>を取り付けます。

- *  を選択したときは、模様ぬい押え<N>を取り付けます。

3 左手で糸と布地を押さえ、右手でプーリーを手前に回して、布のぬい始めの位置に針をさします。

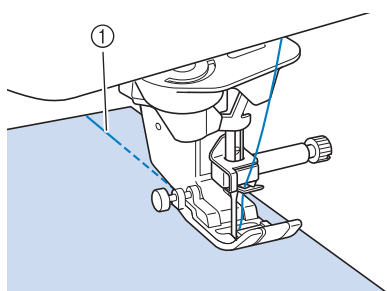


- ① ぬい始めの位置

4 押えを下げ、 (返しぬいスイッチ) または (止めぬいスイッチ) を押しながら数針返しぬいをします。

→ 自動的に返しぬい（または止めぬい）をします。

- 5  (スタート/ストップスイッチ) を押して、ぬい始めます。



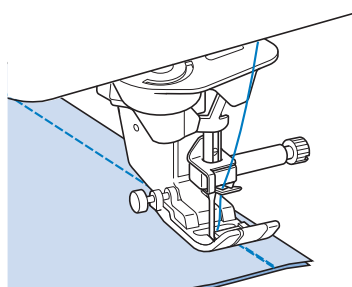
① 返しぬい
→ ゆっくりと縫製を開始します。



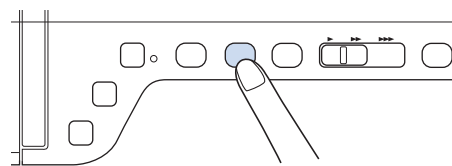
注意

- ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

- 6  (返しぬいスイッチ) または  (止めぬいスイッチ) を押しながら、数針返しぬい (または止めぬい) をします。



- 7  (糸切りスイッチ) を押して糸を切ります。

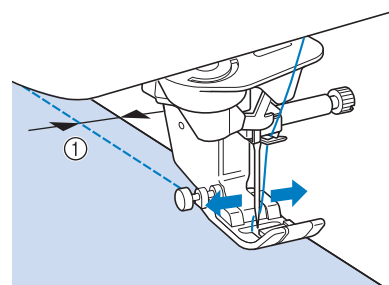


お知らせ

- 液晶画面で自動糸切りキーと自動止めぬいキーを選択しておくと、ぬい始めに  (スタート/ストップスイッチ) を押したときに、ミシンが自動的に返しぬい (または止めぬい) をします。ぬい終わりは、 (返しぬいスイッチ) または  (止めぬいスイッチ) を押すと、返しぬい (または止めぬい) をして、自動的に糸を切ります。

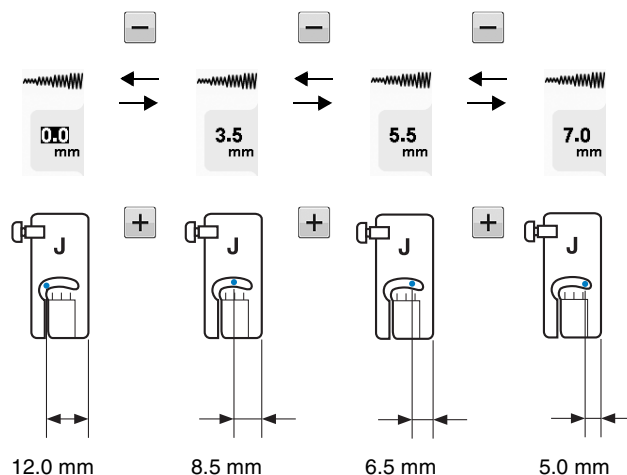
■ 針位置の変え方 (左基線・中基線の模様)

左基線と中基線の直線ぬいは、振り幅の  または  を押して針位置を左右に移動させることができます。押えの右端から針までの長さをぬいしろの幅に合わせると、押えの右端に布端を合わせながらぬえばよいので便利です。



① ぬいしろ幅

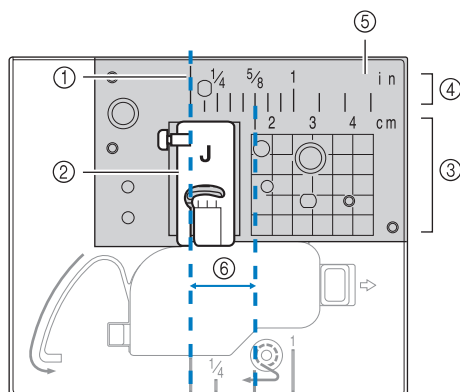
例： 左基線・中基線の模様



■ 針板や針板ふたの目盛りを基準にする場合

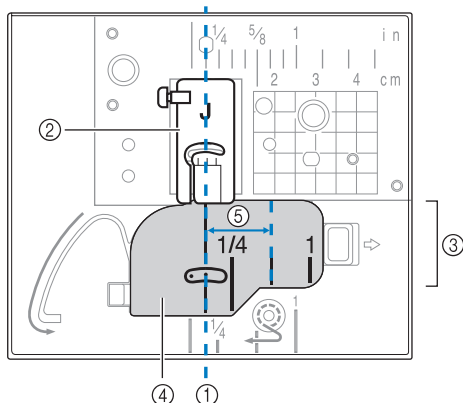
布端を、針板が針板ふたの 16mm の目盛りに合わせてぬいます。(左基線・中基線の模様を選択した場合)

左基線の模様の場合 (振り幅 : 0.0mm)



- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ cm 目盛り
- ④ インチ目盛り
- ⑤ 針板
- ⑥ 16mm

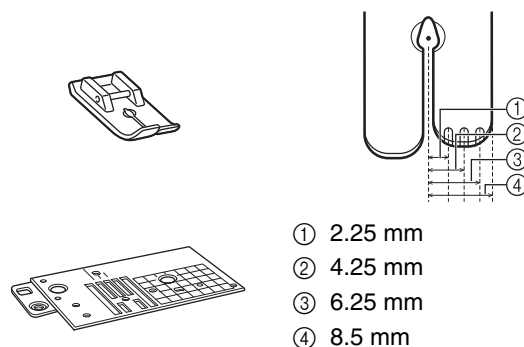
中基線の模様の場合 (振り幅 : 3.5mm)



- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ インチ目盛り
- ④ 針板ふた
- ⑤ 16mm

■ 直線針板と直線押えを使用する場合

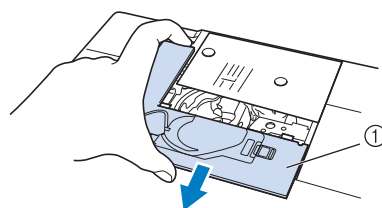
直線針板および直線押えが使用できるのは、中基線の直線ぬいのみです。直線針板と直線押えは、薄地をぬうときや針穴に引き込まれやすい小さな布片をぬうときに使用してください。直線押えは、薄地のぬい縮みを防ぐのに適しています。押えの小さなミゾで布をしっかりと押さえてぬいます。



! 注意

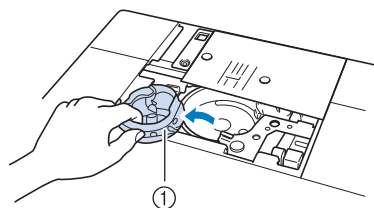
- 直線押えは必ず直線針板と組み合わせて使用してください。

- 1 (針上下スイッチ) を押して針を上げ、電源スイッチを切るか [] を押して、キーと操作スイッチをロックします。
- 2 針と押えホルダーを取り外します。(「基本機能編」の「針の交換」および「押えの交換」参照)
- 3 補助テーブルを取り外します。
- 4 針板カバーを手前に引いて外します。



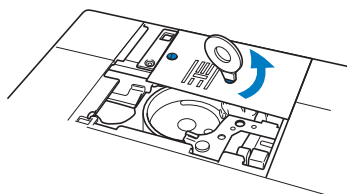
① 針板カバー

- 5 内かまを取り出します。

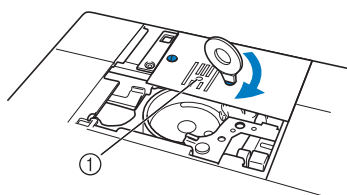


① 内かま

- 6 付属のネジ回しを使って標準針板を外します。



- 7 直線針板をはめ込み、付属のネジ回しでネジをしめます。



① 丸い穴

❏ お願い

- 針板の2つのネジ穴を、針板取り付け部の2つの穴と合わせてください。付属のネジ回しでしっかりとネジをしめてください。

- 8 内かまを正しい位置に戻し、針板カバーを取り付けます。

- 9 直線ぬいのいずれかを選びます。

❏ お知らせ

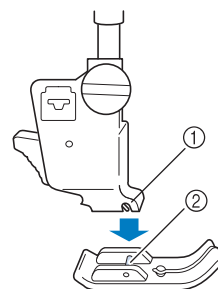
- 直線針板を使用すると、直線ぬいはすべて中基線でぬわれます。振り幅設定のキーを押しても、針位置を変えることはできません。
- 内かまを元の位置に戻す前に、必ず針板が正しく取り付けられているかを確認してください。
- 直線針板を使用すると、L/R シフト設定は変更することができません。

⚠ 注意



- 直線ぬい以外の模様を選択すると、エラーメッセージが表示されます。
- プーリーをゆっくりと手前に回し、針が直線押えと直線針板に当たらないことを確認してから、 (スタート/ストップスイッチ) を押してください。

- 10 針と直線押えを取り付けます。



- ① ミゾ
② ピン

- 11  を押してすべてのキーとスイッチのロックを解除し、ぬい始めます。

- * ぬい終わったら、必ず直線針板と直線押えを外し、標準針板、針板カバー、ジグザグ押え<J>を取り付けてください。

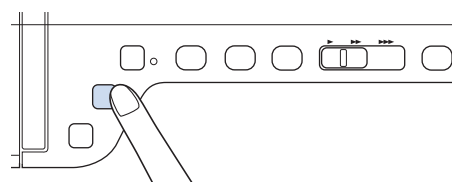
❏ お知らせ

- ぬい縮みを起こしやすい薄地には、11 番の針を使用し、ぬい目を短くします。厚地には、14 番の針を使用し、ぬい目を長くします。

■ しつけぬい

- 1  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

- 2 ぬい始めに、 (返しぬいスイッチ) を押して止めぬいをします。



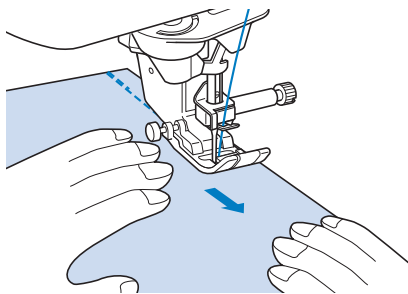
❏ お知らせ

- しつけぬいでギャザーをぬうときはぬい始めに止めぬいをしないでください。押えを上げてプーリーを手前に回し、下糸を引き出して、上糸とそろえて押えの下を通し、ミシンの後ろ側へ引き出しておいてください。
- ぬい始めに止めぬいをしない場合は、押えを上げプーリーを回して下糸を引き上げ、上糸と下糸を後側に引き出します。ぬい目は、0.5cm ~ 3cm の範囲で設定できます。



① 0.5cm ~ 3cm

- ③ 布を軽く押えながらぬいます。

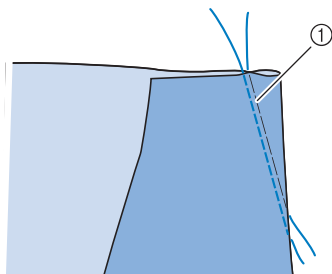


- ④ ぬい終わりに、 (返しぬいスイッチ) を押して止めぬいをします。

ダーツ

- ①  を選び、ジグザグ押え< J >を取り付けます。

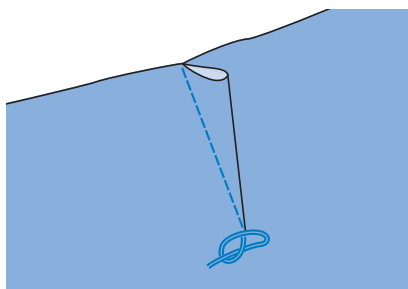
- ② ぬい始めに  (返しぬいスイッチ) を押して返しぬいをし、幅の広い方から先端に向かって布地を伸ばさないようにぬいます。



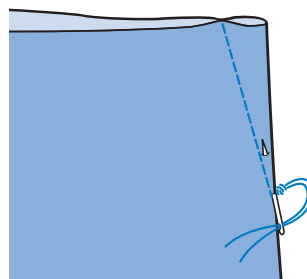
① しつけ

- ③ ぬい終わりに、上糸と下糸を約 5cm 残して切り、2 本一緒に結びます。

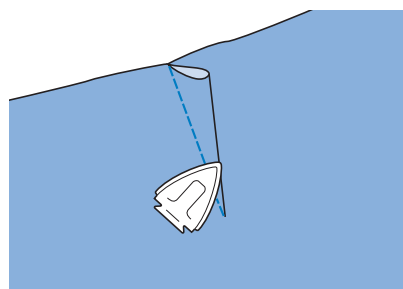
* ぬい終わりには返しぬいをしないように注意してください。



- ④ ぬい針で糸端をダーツの中にぬい込みます。



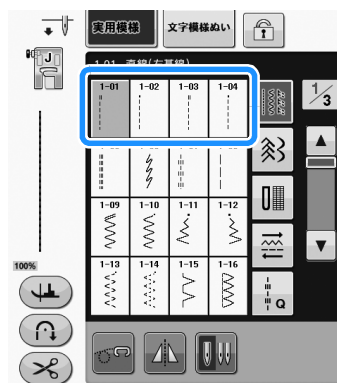
- ⑤ アイロンでダーツを片側に倒します。



ギャザー

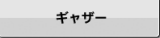
ギャザースカートのウェストや袖などに使います。

- ① 直線ぬいを選び、ジグザグ押え< J >を取り付けます。

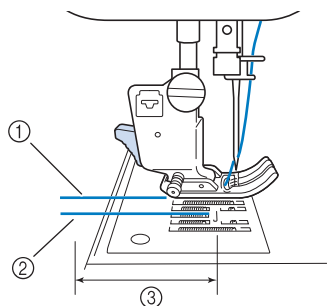


- ② ぬい目の長さを 4.0mm に、糸調子を 2.0 (ゆるめ) 前後に設定します。

*  を押した後、 を押し、

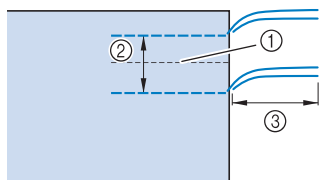
 を選んだ場合、自動的にぬい目は 4.0mm に、糸調子は 2.0 に設定されます。

- ③ 上糸と下糸を約 5cm 引き出しておきます。
(「基本機能編」の「下糸を引き出す」参照)



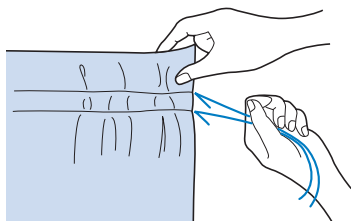
- ① 上糸
② 下糸
③ 約 5cm

- ④ 出来上がり線をはさんで平行に 2 本ぬい、
上糸と下糸を端から 5cm 残して切ります。

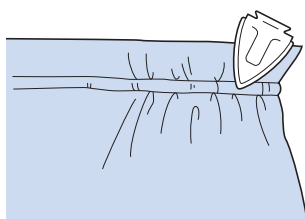


- ① 出来上がり線
② 1.0 ~ 1.5cm
③ 約 5cm

- ⑤ 下糸を引っ張りながらギャザーを寄せ、糸を結びます。



- ⑥ ギャザーをととのえ、ぬいしろ部分にアイロンをかけます。



- ⑦ 出来上がり線をぬって、しつけを取ります。

折り伏せぬい

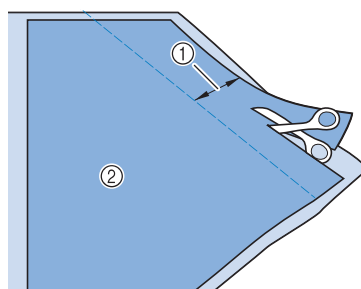
ぬいしろを丈夫にし、きれいに端の始末をしたときに使います。

- ①  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

- ② 布地を中表にして出来上がり線をぬい、裏側のぬいしろを半分切り落とします。

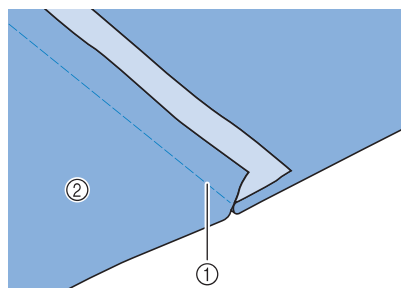
* あらかじめ自動糸切りと自動止めぬいを設定しておく、ぬい始めに自動的に止めぬいをします。

ぬい終わりに、 (返しぬいスイッチ) を押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。



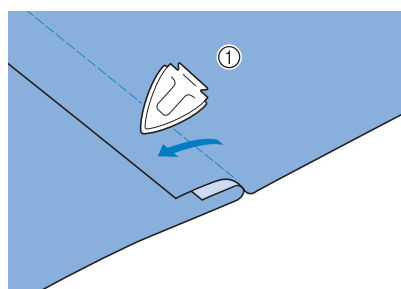
- ① 約 1.2cm
② 裏

- ③ 出来上がり線を軸に布地を広げます。



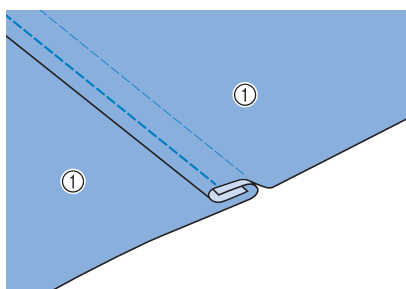
- ① 出来上がり線
② 裏

- ④ 切り落としたぬいしろ側へ 2 枚一緒に倒してアイロンをかけます。

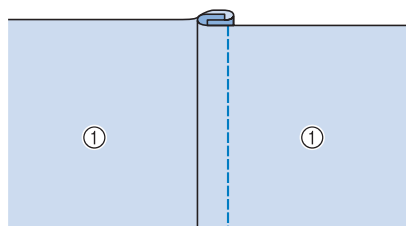


- ① 裏

- 5 幅の広いぬいしろで幅の狭いぬいしろをくるみ、折り山の端をぬいます。



① 裏
ぬい上がり

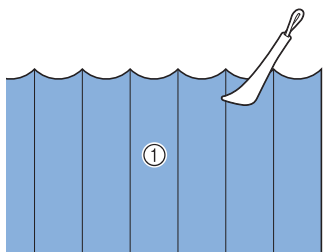


① 表

ピントック

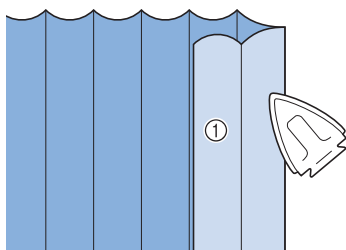
ブラウスなどの装飾に使います。

- 1 布地の裏からへらで折り山に印をつけます。



① 裏

- 2 表に返し、折り山をアイロンで押さえます。

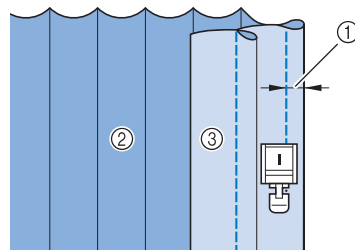


① 表

- 3  を選び、片押え<I>を取り付けます。

- 4 折り山をぬいます。

* あらかじめ自動糸切りと自動止めぬいを設定しておく、ぬい始めに自動で止めぬいをします。ぬい終わりに、 (返しぬいスイッチ) を押すと、自動的に止めぬいをして糸を切ります。

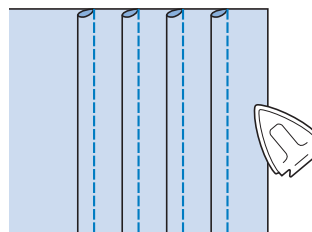


① ピントック幅

② 裏

③ 表

- 5 アイロンで片側に倒します。



ジグザグぬい

ジグザグぬいは、たち目かがりやアップリケ、パッチワークなどいろいろな用途に使えて便利です。

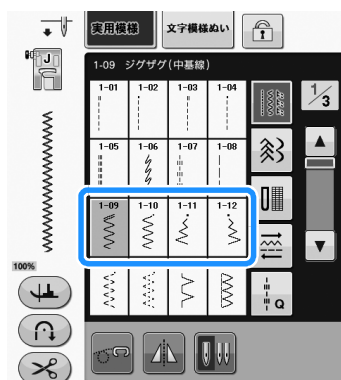
模様を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

返しぬいと止めぬいについて詳しくは、S-5 を参照ください。

ぬい模様について詳しくは、S-67 を参照ください。

ぬい方	名前	押え
	ジグザグぬい (中基線)	
	ジグザグぬい (中基線)	
	ジグザグぬい (右基線)	
	ジグザグぬい (左基線)	

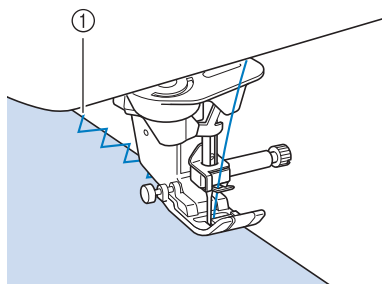
1 模様を選びます。



2 ジグザグ押えく J > を取り付けます。

■ たち目かがり（ジグザグぬい）

針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



① 針落ち位置

⚠ 注意

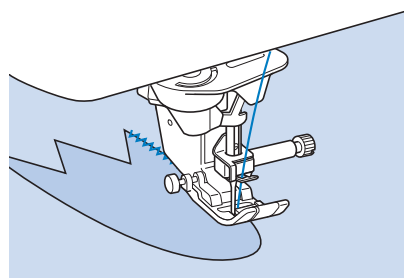


- 振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

■ アププリケ（ジグザグぬい）

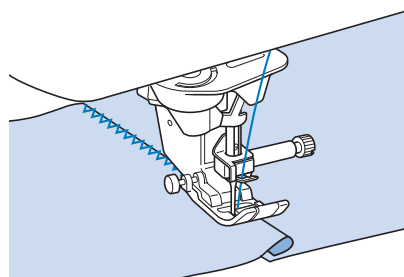
アププリケ布にスプレーのりを薄く付けるか、しつけをかけてからぬいます。

* 針がアププリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



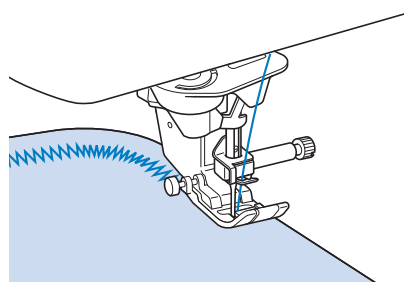
■ パッチワーク（クレイジーキルト）

上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方の布地に模様がまたがるようにぬいます。



■ カーブをぬう場合（ジグザグぬい）

ぬい目の長さを少し短めに設定し、カーブの外側に針をさしたまま押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目ができます。

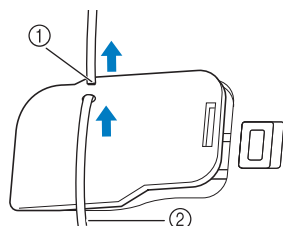


■コードガイドふたを使用する（ジグザグぬい）

1 針板ふたを外します。（「基本機能編」の「下糸をセットする」参照）

2 コードガイドふたの穴に芯ひもを上から下へ通し、切り欠き部から引き出します

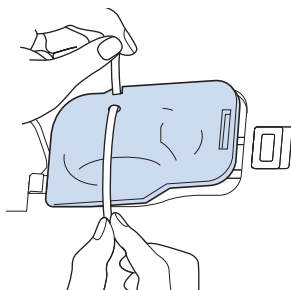
* 芯ひもは、直径 1.5mm 以下のものを使用してください。



- ① 切り欠き部
- ② 芯ひも

3 コードガイドふたをカチッと音がするまで押して閉め、芯ひもが送られるようにします。

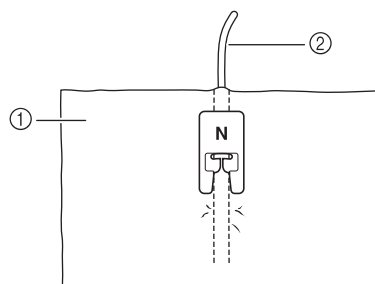
* 芯ひもを引いて、引っかかりがないことを確認してください。



4 ジグザグの振り幅を2.0mm～2.5mmに設定します。

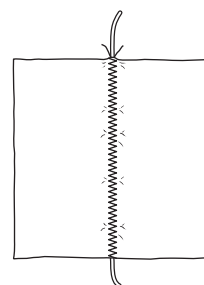
5 模様ぬい押え＜N＞を取り付けます。

6 芯ひもを、押えの下に位置するようにミシンの後ろ側へ引き出します。その上に布地の表面を上にして置きます。



- ① 布地（表）
- ② 芯ひも

7 押えを下げ、ぬい始めます。



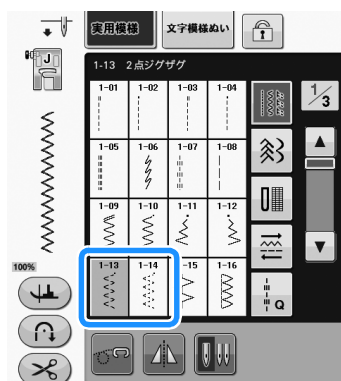
点線ジグザグぬい

点線ジグザグぬいは、ゴムひもつけ、たち目かがりやつくろいぬいなど幅広い用途に使用します。

ぬい模様について詳しくは、S-67を参照ください。

ぬい方	名前	押え
1-13	2点ジグザグぬい	
1-14	3点ジグザグぬい	

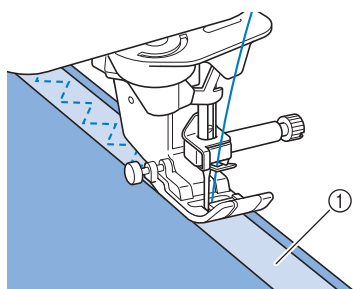
1 模様を選びます。



2 ジグザグ押え<J>を取り付けます。

■ ゴムひもつけ

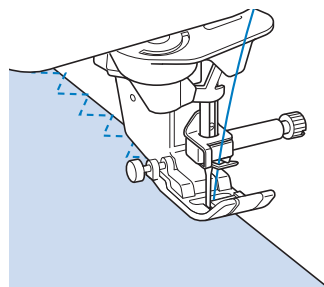
ゴムひもを前後に伸ばしながらぬいます。



① ゴムひも

■ たち目かがり

伸びる布地をぬうときに使います。針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



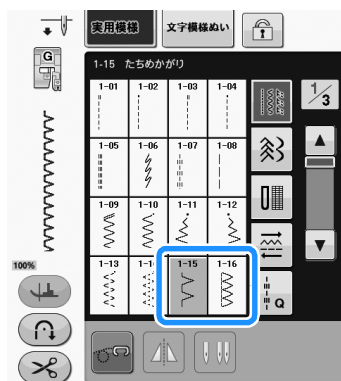
たち目かがり

ズボン、スカートなどのぬいしろの始末や、たち目の始末に使います。模様によってたち目かがり押え<G>、ジグザグ押え<J>、サイドカッター押え（別売）を使います。

■ たち目かがり押え<G>を使うたち目かがり

ぬい方	名前	押え
1-15	たち目かがり	
1-16	たち目かがり	
1-17	たち目かがり	

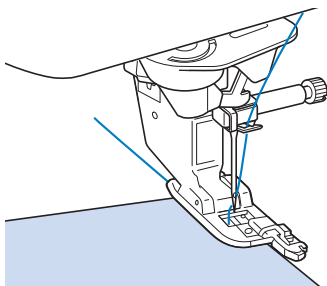
- 1 模様を選び、たち目かがり押え< G > を取り付けます。



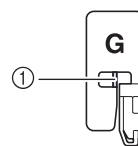
⚠ 注意

- たち目かがり押え< G >を使用するときは、必ずたち目かがり押え< G >用の模様を選んでください。間違った模様でぬうと、針が押えに当たり、針が折れたり、押えが破損したりするおそれがあります。

- 2 押えのガイドに布端を当て、押えレバーを下げます。

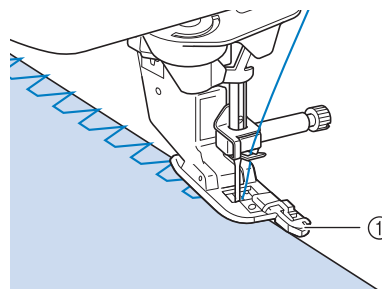


- 3 プーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認します。



- ① 針が当たらないように注意してください。

- 4 布端をガイドに当てながら、ガイドにそってぬいます。



- ① ガイド

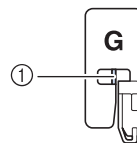
⚠ 注意

- 押えを最上位置まで上げると、針が押えに当たる可能性があります。

- 5 ぬい終わったらミシンを止め、針と押えを上げて、布地を後ろに引いて取り出します。

💡 お願い

- ぬい終わった後は、布地を後ろに引いてください。前方向や横方向に布地を引っ張ると、押えのピンが破損するおそれがあります。



- ① ピン

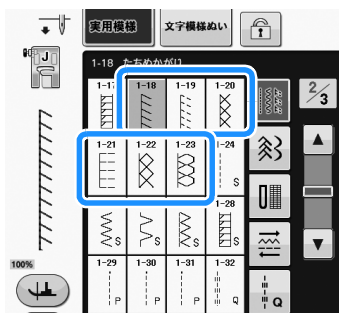
- 押えに糸がからみついた場合は、からんだ糸を取り除いてから、押えを上げて押えを取り外してください。糸がからんだまま、押えを上げると、押えが破損するおそれがあります。

■ ジグザグ押え<J>を使うたち目かがり

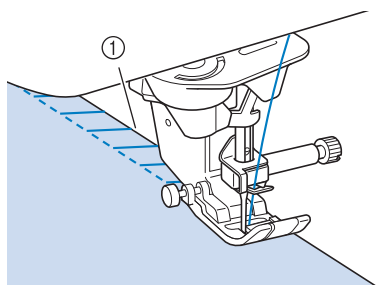
ぬい模様について詳しくは、S-67 を参照ください

ぬい方	名前	押え
1-18	たち目かがり	
1-19	たち目かがり	
1-20	たち目かがり	
1-21	たち目かがり	
1-22	たち目かがり	
1-23	たち目かがり	

- 1 模様を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。



- 2 針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



① 針落ち位置

💡 お願い

- L/R シフト設定で布地の位置を細かく調整できます。ぬう前に実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしてください。

📖 お知らせ

- 伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。

キルトぬい

仕上がりのきれいなキルトが簡単にできます。キルトぬいでは、ニールフターやフットコントローラーを使用すると、両手が使えて便利です (S-5 の「フットコントローラーを使用する」および S-15 の「ニールフターを使用する」を参照)。

Q-01 から Q-30 までの 30 模様のキルト模様と、模様キーの模様イメージの右下に「P」あるいは「Q」が表示される実用模様がキルトぬいに最適です。「P」はピーシング、「Q」はキルトぬいに適していることを示しています。

ぬい模様について詳しくは、S-67 を参照ください。

ぬい方	名前	押え	
Q-01	ピーシング直線 (中基線)		
Q-02	ピーシング直線 (右基線)		
Q-03	ピーシング直線 (左基線)		
Q-04	手ぬい風直線 (中基線)		
Q-05	しつけぬい (中基線)		
Q-06	伸縮ぬい		
Q-07	ジグザグ		
Q-08	ジグザグ (右基線)		
Q-09	ジグザグ (左基線)		
Q-10	2 点ジグザグ		
Q-11	3 点ジグザグ		

ぬい方	名前	押え	
			
	アップリケ		
	シェルタック		
	アップリケ		
	キルティング模様		
	たち目かがり		
	ゴムひもつけ		
	飾りぬい		
	ファゴティング		
	ファゴティング		
	つきあわせ		
	つきあわせ		
	スモッキング		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	飾りぬい		
	たち目かがり		

ぬい方	名前	押え	
			
	たち目かがり		
	ピーシング直線 (右基線)		
	ピーシング直線 (中基線)		
	ピーシング直線 (左基線)		
	手ぬい風直線		
	ジグザグ		
	アップリケ		
	キルティング模様		

お知らせ

- キルトぬいカテゴリーの模様 (Q-02 ~ Q-30) は、他のカテゴリーの同じ模様よりも振り幅を細かく設定できます。
たとえば、Q-03 は 57 段階の針落ち位置を設定でき、Q-19 では 29 段階の振り幅を設定できます。
- 「Q」のつくキルトぬい模様のみ、細かく振り幅を設定できます。
- オープントゥキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。

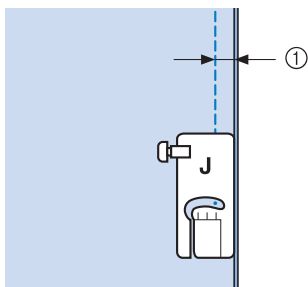
■ ピーシング

ピーシングとは、布と布をぬい合わせることをいいます。正確にピーシングを行うために、ぬいしを 7.0mm つけて裁断してください。

- 1  または  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

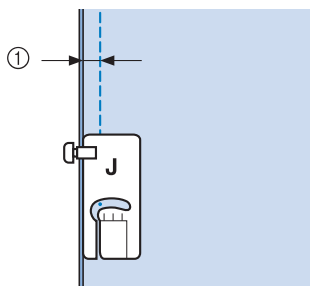
2 押えの端に布端を合わせてぬいます。

- * ぬいしろが右側の場合は、押えの右側に布端を合わせ、の模様でぬいます。



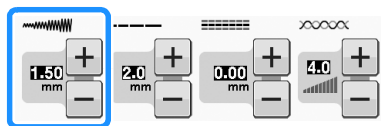
① 7.0mm

- * ぬいしろが左側の場合は、押えの左端に布端を合わせ、の模様でぬいます。



① 7.0 mm

- * 針位置を変えたいときは、振りの幅の   を押して調節してください。



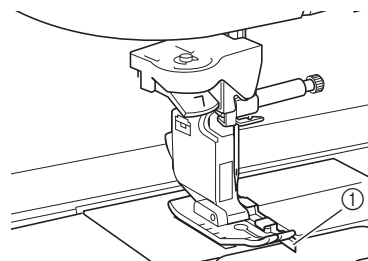
お知らせ

- 直線ぬい（中基線）を使うとぬいやすくなります。S-24 を参照してください。

■ ガイド付ピーシング押え（別売）を使う

このピーシング押えを使うと、6.4mm または 3.2mm のぬいしろで正確に仕上げできます。キルトのピーシングや、飾りぬいに使うことができます。

- 1  を押し、次にガイド付ピーシング押えを取り付けます。



① ガイド

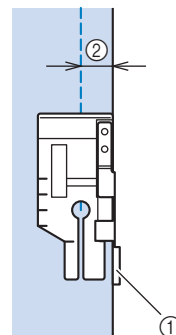
注意

- ガイド付きピーシング押えを使用する場合は、必ず （中基線）を選んでください。違う模様を使用すると針折れやけがの原因になります。
- プーリーを手前に回し、針と押えが当たらないことを確認してから （スタート/ストップスイッチ）を押してください。

- 2 押えのガイドとしるしを使うと、正確なぬいしろで仕上がります。

ぬいしろ 6.4mm のピーシング

布地の端をガイドに当てながら、ぬいます。



① ガイド

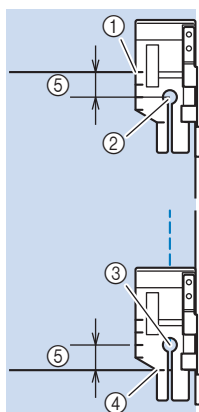
② 6.4mm

お知らせ

- 正確な位置合わせについては、S-26 の「針板や針板ふたの目盛りを基準にする場合」を参照してください。

正確なぬいしろで仕上げる場合

布地の端から 6.4mm の位置で、ぬい始め、ぬい終り、布地の回転を行います。



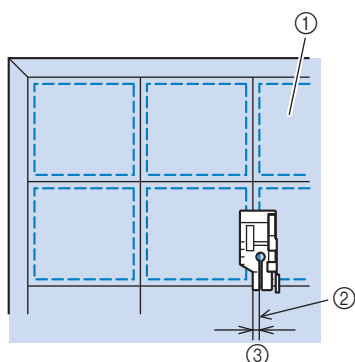
- ① このしろしを、ぬい始めの布地の端に合わせます。
- ② ぬい始め
- ③ ぬい終り
- ④ 布地のぬい終り、または布地を回転する側
- ⑤ 6.4mm

お知らせ

- ピボットの詳細は、S-15 の「ピボット」を参照してください。

3.2mm の飾りぬいキルト

布地の端を押えの左側に合わせて、ぬいます。

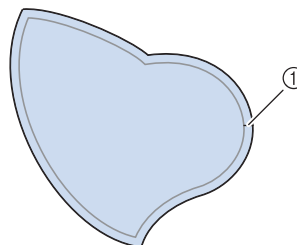


- ① 表
- ② ぬい目
- ③ 3.2mm

■ アップリケ

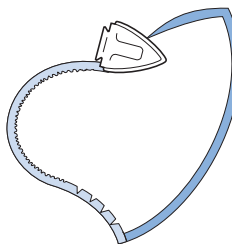
上糸にナイロン透明糸を使うと、ぬい目を目立たなく仕上げることができます。

- 1 アップリケ布に 3～5mm のぬいしろを付けて裁ちます。

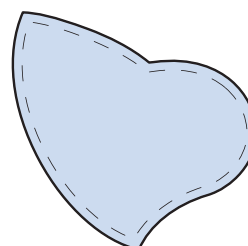


- ① ぬいしろ (3～5mm)

- 2 アップリケ布の裏に厚紙の型紙を置き、アイロンでぬいしろを内側に折ります。カーブの部分は、必要に応じて切り込みを入れます。

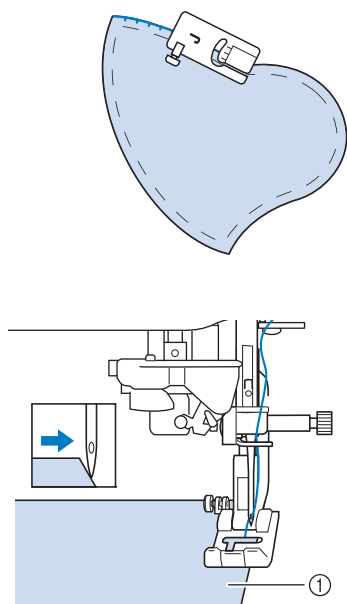


- 3 アップリケ布を表に返し、型紙をまち針またはしつけ糸で止めます。



- 4  を選び、ジグザグ押え < J > を取り付けます。

- 5 ジグザグぬいを使用してアップリケをぬい付けます。針が落ちる位置を確認し、針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにまわりをぬいます。



- ① アップリケ布
② 針落ち位置

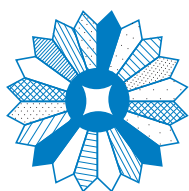


注意

- ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

アップリケぬいを使うと、下図のような図案のアップリケができます。

(参考例)



①



②



③

- ① ドレスデンプレート
② ステンドグラス
③ サンボネットスーちゃん

■ サテンぬいのキルト

フットコントローラーを使用してぬいます。

 (スピードコントロールレバー) で振り幅を調節することにより、微妙に振り幅を変化させながらサテン模様をぬうことができます。

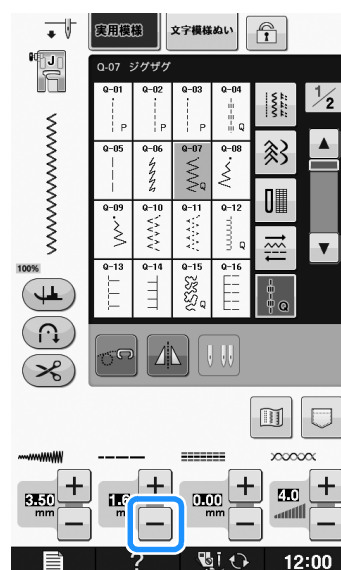
お知らせ

- フットコントローラージャックにフットコントローラーが差し込まれているときは、



(スタート/ストップスイッチ) は使用できません。

- 1 フットコントローラーを取り付けます。(S-5 参照)
- 2  を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。
- 3 「ぬい目の長さ」の  を押して、ぬい目を細かくします。



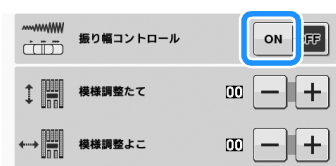
お知らせ

- ぬい目の長さを 0.3 ~ 0.5mm に設定すると、きれいなサテン模様になります (ぬい目の設定は、布地の種類や糸の太さによって異なります)。

- 4  を押します。

*  (スピードコントロールレバー) をジグザグの振り幅調節レバーに切り替えます。

- 5 「振り幅コントロール」を押して、「ON」にします。



お知らせ

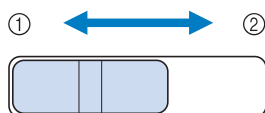
- 振り幅は、 (スピードコントロールレバー) で調節します。ぬう速度は、フットコントローラーで調節します。

- 6  を押します。

→ 元の画面に戻ります。

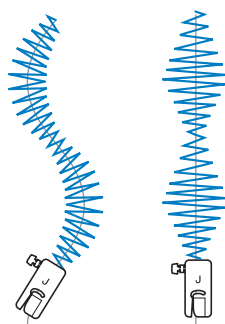
- 7 ぬい始めます。

- ぬいながら  (スピードコントロールレバー) を動かし、振り幅を調節してください。レバーを左に動かすと、振り幅は狭くなり、右に動かすと、振り幅は広がります。振り幅は、針の中基線を中心として左右均等に変わります。



- ① 狭くなる
- ② 広くなる

例： 振り幅の調整



- ぬう速度は、フットコントローラーで調節します。

- 8 ぬい終わったら、「振り幅コントロール」を「OFF」に戻します。

■ フリーモーションキルト

フリーモーションキルトぬいの場合、 を押して送り歯を下げると、布を自由に動かします。ミシンをフリーモーションモードにすると、押えがフリーモーションぬいに最適な高さになります。フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。ぬう速度は、ミシンの  (スピードコントロールレバー) で調節できます。

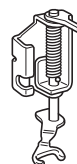
フリーモーションモードを使用するためには、別売の押え（オープントウキルト押え＜O＞、フリーモーションキルト押え＜C＞、またはエコキルト押え＜E＞）が必要です。

！ 注意

- フリーモーションキルトでは、ぬう速度に合うように布を動かしてください。無理に速く布地を動かすと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。

オープントウキルト押え＜O＞（別売）を使用する

オープントウキルト押え＜O＞は、ジグザグ模様や飾り模様でフリーモーションキルトをぬう場合や、厚さが均一ではない布地にフリーモーションキルトの直線ぬいをする場合に使用します。オープントウキルト押え＜O＞を使用すると、いろいろな模様をぬうことができます。使用できる模様については、S-67の「ぬい方早見表」を参照してください。



オープントウキルト押え＜O＞

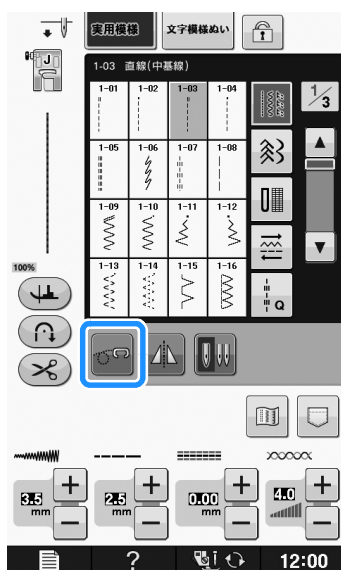
お知らせ

- ぬい始めるときに内蔵されたセンサーが布地の厚さを感知し、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がります。 を押し、「フリーモーション押え高さ」の  または  を押して、キルト押えを上げる高さを選びます。たとえば、やわらかい布地をぬう場合は、 を押して高い数値に設定すると、より簡単にぬうことができます。



- バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節（S-12 参照）が必要になります。ぬい始める前に、使用する布地と同質の布地で試しぬいをしてください。

- 1  を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。

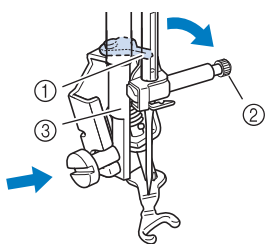


→ 表示が  に変わり、キルト押えは、フリーモーションぬいに必要な高さに上がります。

- 2 模様を選びます。

- 3 押えホルダーを外します。

- 4 オープントゥキルト押え<O>のピンを針のとめネジの上に配置して、左下を押え棒に合わせて、オープントゥキルト押え<O>を取り付けます。

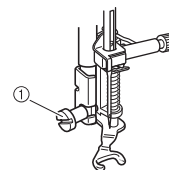


- ① ピン
② 針のとめネジ
③ 押え棒

❖ お願い

- キルト押えが傾斜していないことを確認してください。

- 5 右手でキルト押えを持ちながら、左手で押えホルダーのネジを付属のネジ回しでしめます。



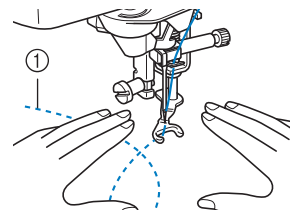
① 押えホルダーのネジ

⚠ 注意



- ネジをしめるときは、必ず付属のネジ回しを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

- 6 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約 2.0 ~ 2.5mm になるようにぬいます。



① ぬい目

- 7  を押して、フリーモーションモードを解除します。

→ プーリーを手前に回して送り歯を上げてください。

📖 お知らせ

- 最初はきれいに仕上がらないことがあります。きれいな仕上がりになるように練習してください。

フリーモーションキルト押え<C> (別売) を使用する

フリーモーションキルト押え<C>は、直線針板を使用するフリーモーションぬいに使います。



フリーモーションキルト押え<C>

⚠ 注意

- フリーモーションキルト押え< C >を使用する場合、必ず直線針板を使用し、針位置を中央にしてぬうようにしてください。針が中央（中基線）以外的位置にあると、針が折れて、けがの原因となります。

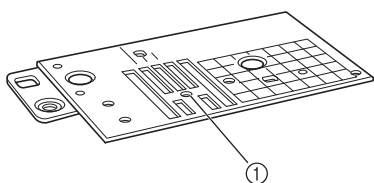
📖 お知らせ

- ぬい始めるときに内蔵されたセンサーが布地の厚さを感知し、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がります。を押して、「フリーモーション押え高さ」の「-」または「+」を押して、キルト押えを上げる高さを選びます。たとえば、やわらかい布地をぬう場合は、「+」を押して高い数値に設定すると、より簡単にぬうことができます。



- バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節（S-12 参照）が必要になります。ぬい始める前に、使用する布地と同質の布地で試しぬいをしてください。

1 直線針板を取り付けます。（S-26 参照）



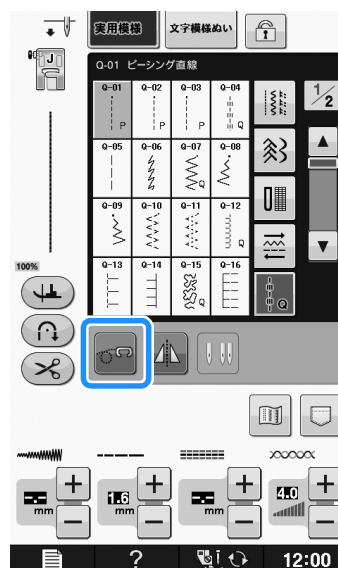
① 丸穴

📖 お知らせ

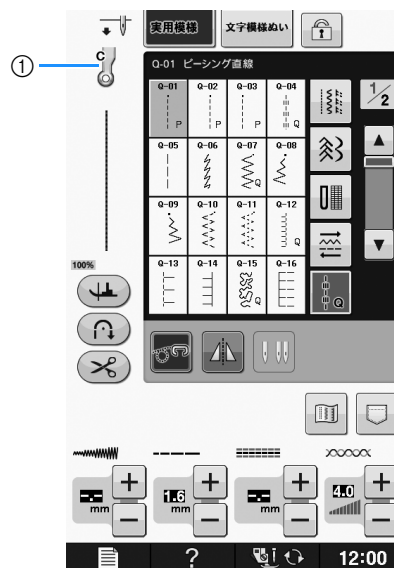
- この針板の穴が丸穴であることに注意してください。

2 または を選びます。

3 を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。

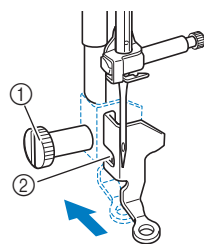


→ 表示がに変わり、キルト押えはフリーモーションぬいに必要な高さに上がり、送り歯は下がります。



① フリーモーションキルト押え< C >
→ 「Q-01」または「1-30」の模様が選択されている間は、フリーモーションキルト押え< C >が画面の左上に表示されます。

- 4 押えホルダーのネジをフリーモーションキルト押え<C>のミゾに合わせて、前から取り付けます。

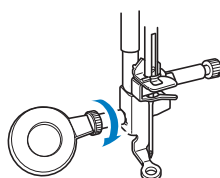


- ① 押えホルダーのネジ
② ミゾ

❖ お願い

- フリーモーションキルト押え<C>が正しく取り付けられ、傾斜していないことを確認してください。

- 5 右手でフリーモーションキルト押え<C>を持ちながら、左手で押えホルダーのネジを付属のネジ回しで閉めます。

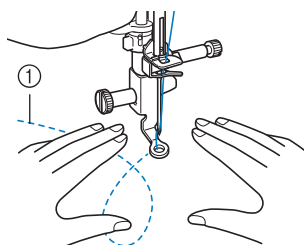


- ① 押えホルダーのネジ

⚠ 注意

- ネジをしめるときは、必ず付属のネジ回しを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

- 6 両手で布地を引っ張り、一定の速度で布地を送り、ぬい目の長さが均一に約 2.0 ~ 2.5mm になるようにぬいます。



- ① ぬい目

- 7 を押して、フリーモーションモードを解除します。

→ プーリーを手前に回して送り歯を上げてください。

- 8 ぬい終わった後は、必ず直線針板とフリーモーションキルト押え<C>を取り外し、標準針板と針板ふたを取り付けてください。

❖ お願い

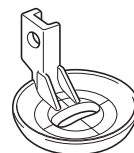
- オープントゥキルト押え<O>（別売）は、直線針板を組み合わせて使うこともできます。厚さが均一ではない布地のフリーモーションぬいにオープントゥキルト押え<O>を使うことをお勧めします。
- 直線針板を使用するときは、直線ぬい模様が全て中基線になります。振り幅の設定でも、針落ち位置を変えることはできません。

📄 お知らせ

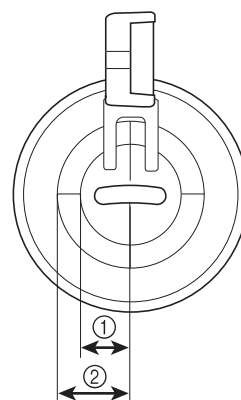
- 通常の縫製時は、送り歯を上げて使用します。
- 最初はきれいに仕上がらないことがあります。きれいな仕上がりになるように練習してください。

■ エコーキルト押え<E>（別売）を使用して、エコーキルトをぬう

モチーフの周囲を等間隔で幾重にもキルトする方法を、エコーキルトと呼びます。モチーフに沿って波状に広がる線が、エコーキルトの特徴です。エコーキルトにはエコーキルト押え<E>を使用します。押えの寸法を参考にして、モチーフの周囲を一定の間隔でぬいます。フットコントローラーを取り付けて、一定の速度でぬうことをお勧めします。



エコーキルト押え<E>の寸法



- ① 6.4mm
② 9.5mm

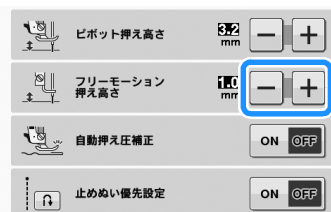


⚠ 注意

- フリーモーションキルトでは、布を送る速度がぬう速度に合うように調節します。ぬう速度よりも速く布地を動かすと、針が折れたり、他の損傷が起きるおそれがあります。

📖 お知らせ

- ぬい始めるときに、内蔵されたセンサーが布地の厚さを感知し、設定画面で指定した高さにキルト押えが上がります。を押して、「フリーモーション押え高さ」のまたはを押して、キルト押えを上げる高さを選びます。たとえば、やわらかい布地をぬう場合は、を押して高い数値に設定すると、より簡単にぬうことができます。



- バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の調節 (S-12 参照) が必要になります。キルト用布地で試しぬいをしてください。

1

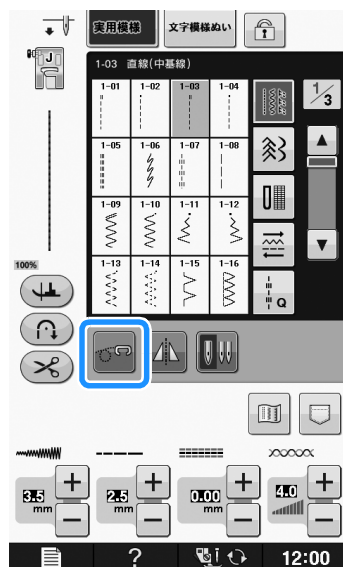


を選択します。

2



を押して、ミシンをフリーモーションモードに設定します。



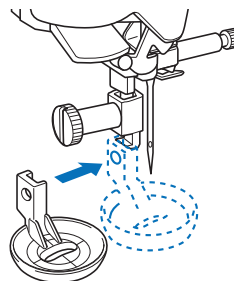
→ 表示がに変わり、エコークルト押えは、フリーモーションぬいに必要な高さに上がり、送り歯が下がります。

3

付属のアダプターを取り付けます。(「基本機能編」の「押えの交換」参照)

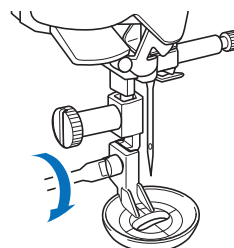
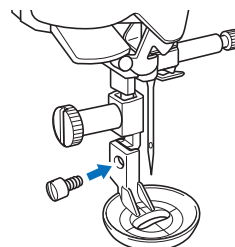
4

エコークルト押え< E >の穴と押え棒を合わせて、エコークルト押え< E >を押え棒の左側に置きます。



5

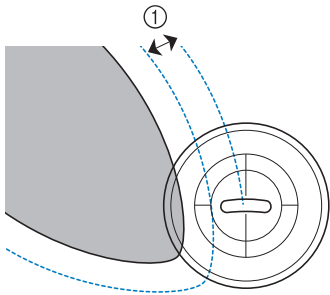
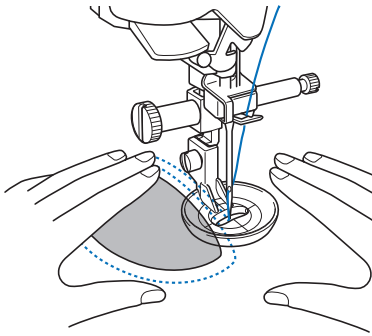
付属のドライバーでネジをしめます。



⚠ 注意

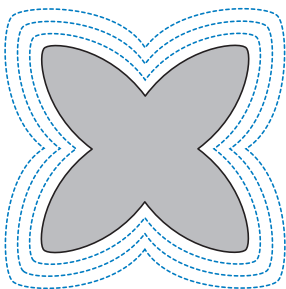
- ネジをしめるときは、必ず付属のドライバーを使用してください。ネジを確実にしめないと針がキルト押えに当たり、曲がったり折れたりするおそれがあります。

- 6 エコーキルト押え＜E＞の寸法を参考にして、モチーフの回りをぬいます。



① 6.4mm

完成した作品



- 7 を押して、フリーモーションモードを解除します。

→ プーリーを手前に回して送り歯を上げてください。

まつりぬい

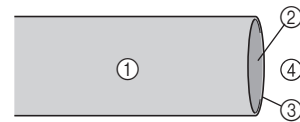
ワンピース、ブラウス、ズボン、スカートのすそや折り返しに使います。

ぬい方	名前	押え
	まつりぬい	
	まつりぬい	

お知らせ

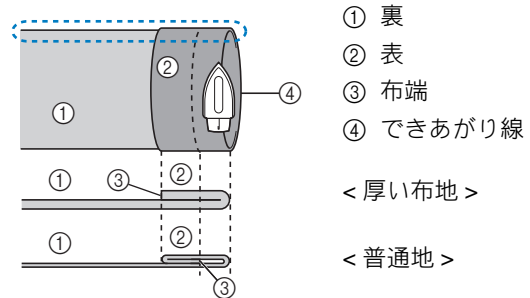
- 筒の大きさがアームに入らないほど小さいときや、筒の長さが短いときは、布地がうまく送られず、きれいに仕上がらないことがあります。

- 1 すそ上げをするスカートやズボンを裏返します。



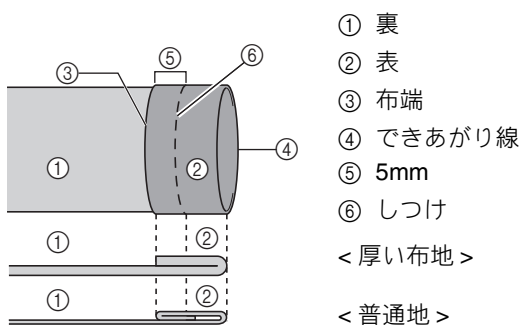
- ① 裏
- ② 表
- ③ 布端
- ④ すそ側

- 2 できあがり線で布を表に返し、アイロンをかけます。



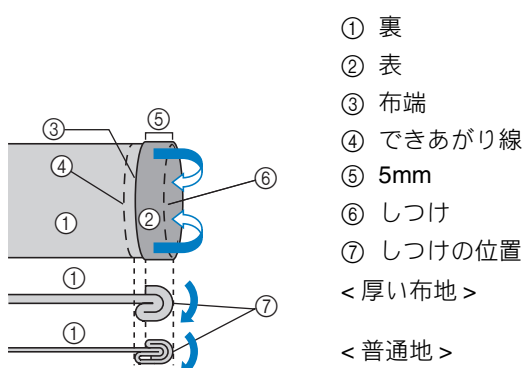
<  を横から見た図 >

- 3** 布端から約5mmのところにチャコペンで印をつけ、しつけをします。



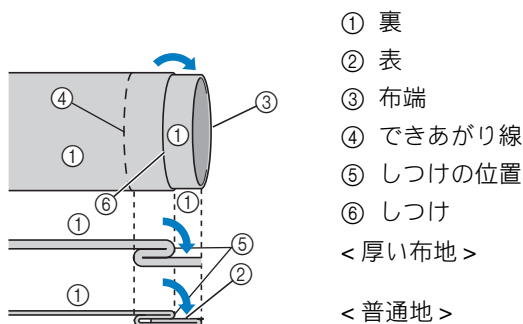
< 横から見た図 >

- 4** しつけをしたところから、内側へ折り込みます。



< 横から見た図 >

- 5** 布端を開いて裏返します。

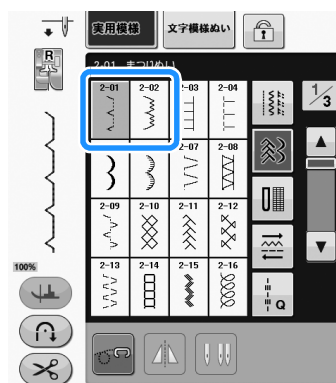


< 横から見た図 >

- 6** まつりぬい押え <R> を取り付けます。

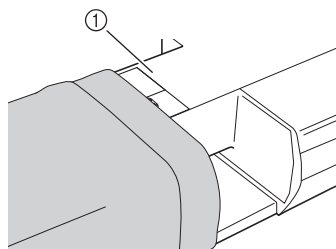


- 7** または を選択します。



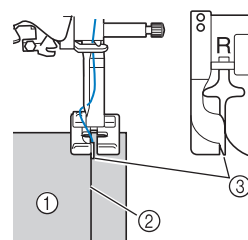
- 8** ミシンをフリーアームにします。

- 9** アームに布地を入れ、布地を回すことができるのを確認します。



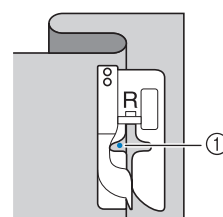
① アーム

- 10** 押えのガイドと布地の折り山が合うように布地をセットし、押えを下げます。



① 裏
② 折り山
③ ガイド

- 11** プーリーをゆっくり手前に回して針を下げ、針が折り山に少しかかる位置にあるか確認します。

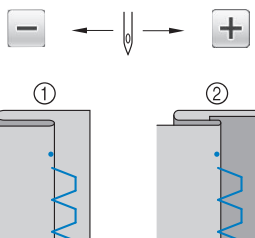


① 針落ち位置

針落ち位置を変更するときは、針を上げてから振り幅を変更します。

- * 振り幅を調整することで針の落ち位置の微調整ができます。(振り幅の設定の数値の単位は mm ではありません。)

振り幅



- ① 厚い布地
② 普通地

お知らせ

- 左側の針落ち位置が折り山にかかっていないと、まつりぬいをすることができません。また、針があまり折り山のほうにかかりすぎると、折りを広げることができず布地の表側にぬい目が大きく出て、きれいに仕上がりにません。うまくまつりぬいをできないとき、次の解決方法を参照してください。

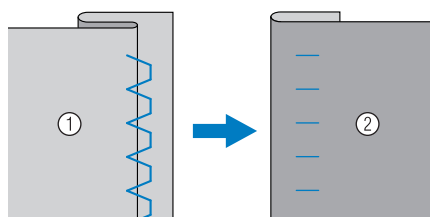
■ 針がかかりすぎているとき

針が左側にいきすぎています。

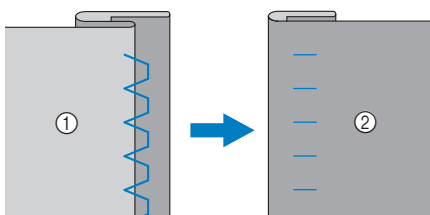
振り幅の **+** を押して針位置を右に動かし、針が折り山に少しかかるように調節します。



普通地



厚地

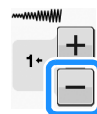


- ① 裏
② 表

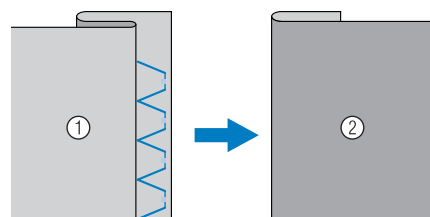
■ 針がかかっていないとき

針が右側にいきすぎています。

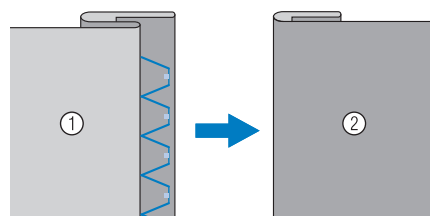
振り幅の **-** を押して針位置を左に動かし、針が折り山に少しかかるように調節します。



普通地



厚地



- ① 裏
② 表

お知らせ

- S-10 の「ジグザグの振り幅を調節する」を参照してください。

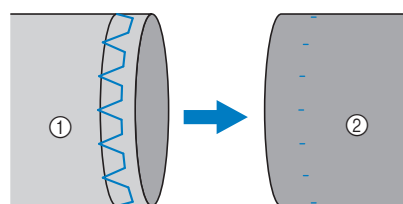
- 12 折り山に押えのガイドを沿わせてぬいます。

- 13 ぬい終わったらミシンを止め、針と押えを上げて、布地を後ろに引いて取り出します。

お願い

- ぬい終わった後は、布地を後ろに引いてください。前方向や横方向に布地を引っ張ると、押えが破損するおそれがあります。

- 14 しつけをほどこし、布地を表に返します。

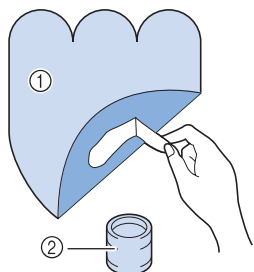


- ① 裏
② 表

アップリケぬい

- 1 のりまたはスプレーのりでアップリケ布がずれない程度にのり付けするか、しつけして固定します。

* これは、ぬいずれを防ぐためです。



- ① アップリケ布
② 布用のり

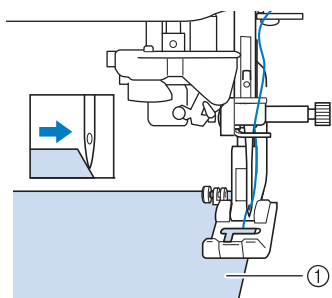
- 2 または または を選びます。

* ジグザグの振り幅やぬい目の長さは、アップリケの形、大きさ、素材に応じて調節してください。(S-10 参照)

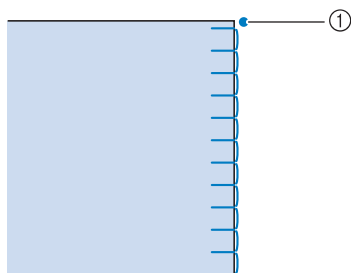
お知らせ

- 模様の詳細については、S-67 の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 3 ジグザグ押え<J>を取り付けます。針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



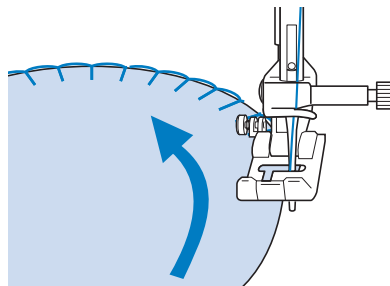
- ① アップリケ布



- ① 針落ち位置

■ 急なカーブをぬう場合

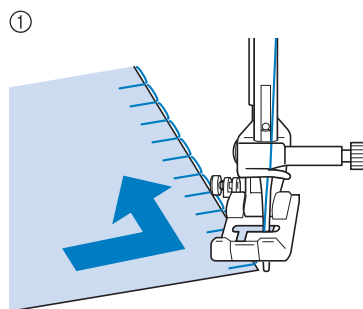
アップリケ布の外側に針をさしたまま押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目に仕上がります。



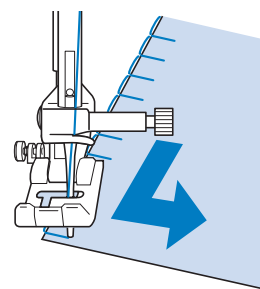
■ 角をぬう場合

針が右側に落ちているときに縫製を止めます。布端が左右どちらにあるかによって、針が落ちている場所が布地の外側になったり、内側になったりします。

押えを上げて、布地を回転して布端とぬう方向が並行になるようにした後、押えを下げて、引き続きぬい進めます。



②



- ① 外側が角のとき
② 内側が角のとき

お知らせ

- アップリケ布の端にそって、布地の下に薄手の接着芯を置いてぬうと、位置合わせの精度が上がります。

シェルタックぬい

シェルタックぬいは、貝殻を並べたような模様のふち飾りになり、ブラウスやワンピースの襟やそでなどのふち飾りに使います。

1



を選択します。

お知らせ

- 模様の詳細については、S-67の「ぬい方早見表」を参照してください。

2

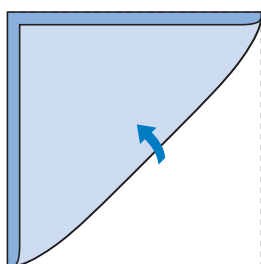
シェルタックの山がきれいにできるように、糸調子を強めにします。(S-12 参照)

お知らせ

- 糸調子が弱すぎるとシェルタックの山ができません。

3

布地をバイアスに2つ折りにします。

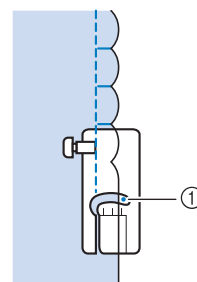
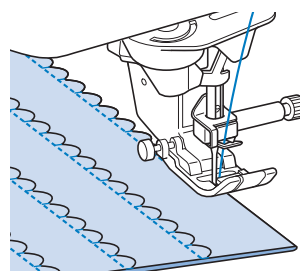


お知らせ

- 布地は薄地を使用してください。

4

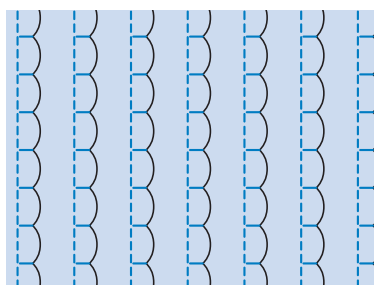
ジグザグ押えく>を取り付け、針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



① 針落ち位置

5

布を広げアイロンで折り山を片側に倒します。



お知らせ

- 襟元にシェルタックを付ける場合は、模様の指示に従い、このシェルタックぬいを使ってふち飾りを付けてください。

スカラップぬい

スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波型の模様です。ブラウスの衿やハンカチなどのふち飾りに使います。

お知らせ

- 薄地には、必要に応じて布用スプレーのりを付けてください。実際にぬう前に、ためしぬいをしてください。
- 模様の詳細については、S-67の「ぬい方早見表」を参照してください。

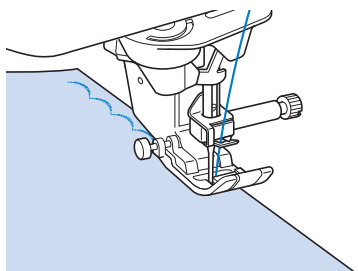
1  を選択します。

2 模様ぬい押え< N >を取り付け、布端をぬいます。

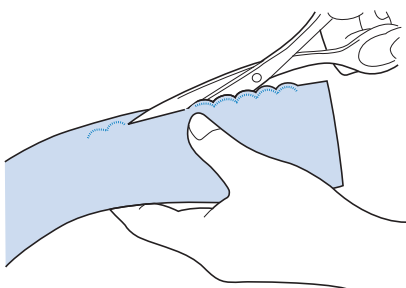
* 針が布端にかからないように注意してください。

お願い

- 実際にぬう前にためしぬいをしてください。



3 糸を切らないように注意しながらぬい目にそって布地を切ります。



お知らせ

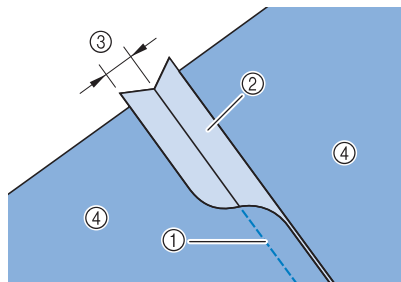
- スカラップの縁は、ほつれ止め液で仕上げてください。

つき合わせぬい

ぬいしろを上から押さえてぬうとクレージーキルトの飾り模様にもなります。

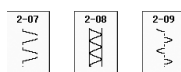
1 直線ぬいを選び、ジグザグ押え< J >を取り付けます。

2 2枚の布地を中表にしてぬい合わせた後、ぬいしろを割ります。

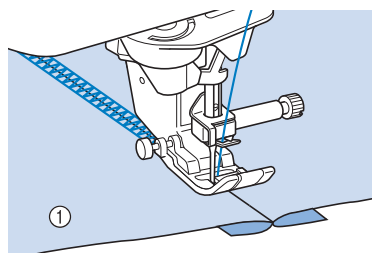


- ① 直線ぬい
- ② ぬいしろ
- ③ 6.5mm
- ④ 裏

3 つき合わせぬいを選びます。



4 布地を表に返し、押えの中心とぬい目を合わせてぬいます。



① 表

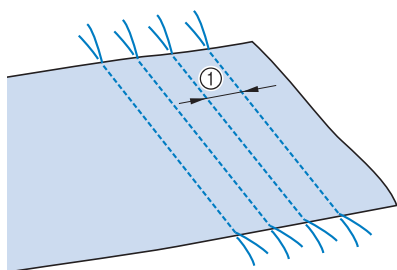
スモッキングぬい

布地にギャザーを寄せて作る飾りぬいです。

1 直線ぬいを選び、ジグザグ押え< J >を取り付けます。

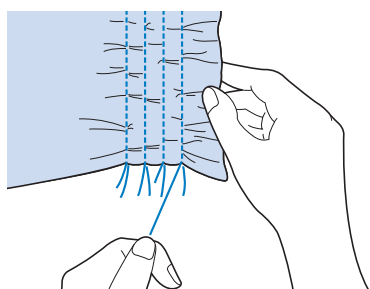
2 ぬい目の長さは4.0mmに、糸調子は2.0(ゆるめ)に設定します。(S-10の「ぬい目の長さを調節する」、S-12の「糸調子を調節する」)

- ③ 約 1cm の間隔で数本ぬい、上糸と下糸を端から 5cm 残して切ります。



① 約 1cm

- ④ 下糸を引っ張ってギャザーを寄せ、アイロンでギャザーをととのえます。

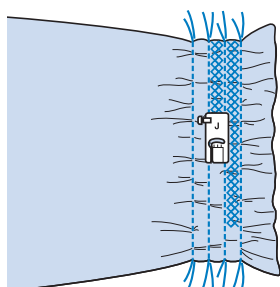


- ⑤  または  を選びます。

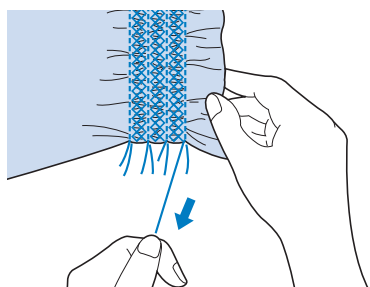
 お知らせ

- 模様の詳細については、S-67 の「ぬい方早見表」を参照してください。

- ⑥ 直線ぬいのぬい目とぬい目の間をぬいます。



- ⑦ 直線ぬいの糸を引き抜きます。

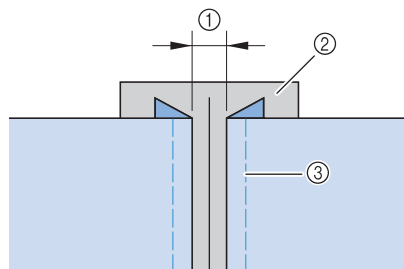


ファゴティングぬい

ファゴティングとは、布地と布地の間を離して糸でかかる手法で、ブラウスや子供服などに使います。

- ① 布地と布地の間隔を 4.0mm あけて、薄い紙にしつけぬいします。

- * 薄い紙や水溶性シートを中心に線を引くと、ぬいやすくなります。



① 4.0mm

② 薄い紙

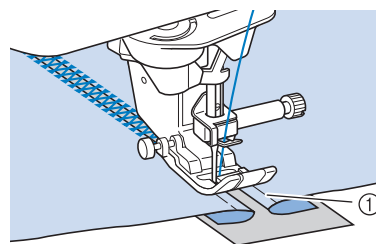
③ しつけ

- ②  または  を選びます。

 お知らせ

- 模様の詳細については、S-67 の「ぬい方早見表」を参照してください。

- ③ ジグザグ押え<J>を取り付け、押えの中心とはぎ合わせた布の中心とを合わせてぬいます。



① しつけぬい

 お知らせ

- 太い糸を使用してください。

- ④ ぬい終わったら、ていねいに紙をはがします。

ゴムひもつけ

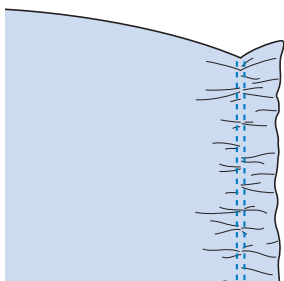
1 直線ぬいを選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

2 ぬい目の長さは4.0mmに、糸調子は2.0（ゆるめ）に設定します。（S-10の「ぬい目の長さを調節する」、S-12の「糸調子を調節する」）

お知らせ

- 自動止めぬい  や自動糸切り  は設定しないでください。

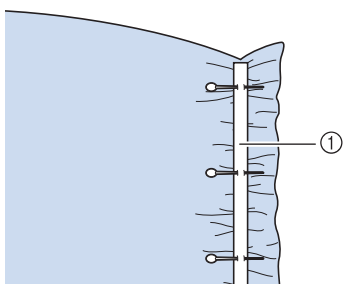
3 生地の上に直線ぬいを2本ぬい、下糸を引っ張ってギャザーを寄せます。



お知らせ

- 直線ぬいをかける前に、プーリーを回して下糸を引き出します。押えを上げた状態で、上糸と下糸を後側に引き出します。

4 裏のギャザーの上にゴムひもをまち針で止めます。



① ゴムひも

5  または  を選びます。

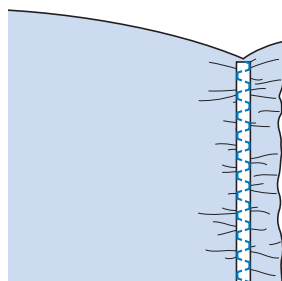
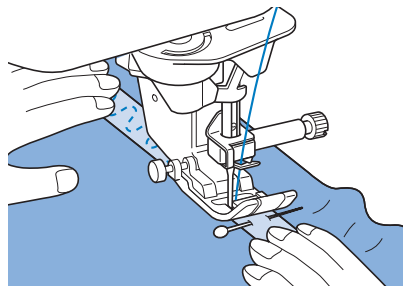
お知らせ

- 模様の詳細については、S-67の「ぬい方早見表」を参照してください。

6 布地とほぼ同じ長さになるようゴムひもを伸ばしながら、左手で押えの後ろへ送り出された布地を、右手で押えから一番近いまち針のところを引っ張って、送りのスピードに合わせてぬいます。

お知らせ

- フットコントローラー（別売）を使用すると、作業がしやすくなります。

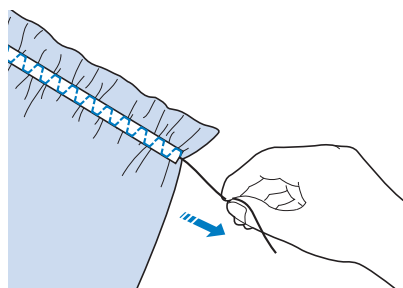


注意



- ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

7 直線ぬいの糸を引き抜きます。



ヘアールーム

■ デイジーステッチ

別売のウィングニードル (WN001) を使用し、針穴を大きくあけてレース風の飾り模様をぬいます。テーブルクロスや洋服のすそ飾り、洋服の前たての飾りなどに使います。

📖 お知らせ

- 布地は平織りの薄地から普通地で、少し張りのあるものを使ってください。

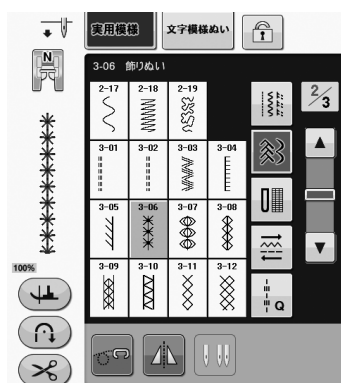
- 1 ウィングニードル (別売: WN001) を取り付けます。

⚠ 注意

- (自動糸通しスイッチ) は使用できません。手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。(自動糸通しスイッチ) を使用すると故障の原因となります。
- ウィングニードル (WN001) を使用すると、きれいな仕上がりになります。ウィングニードルを取り付け、振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。

- 2 模様を選び、模様ぬい押え < N > を取り付けます。

- * 3-01 から 3-22 のいずれかの模様を選びます。

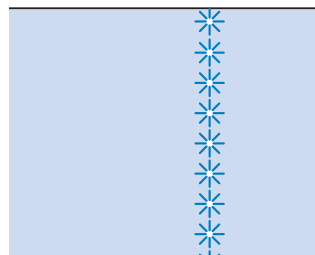


📖 お知らせ

- 模様の詳細については、S-67 の「ぬい方早見表」を参照してください。

- 3 ぬい始めます。

例: 仕上がり図

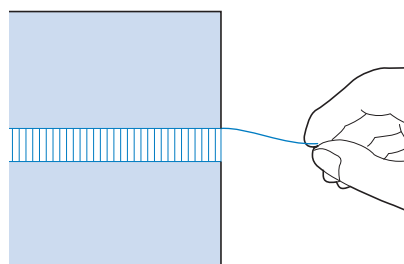


ヘアールームの一種で部分的に糸を抜き取ってかがるぬい方を「ドロンワーク」といいます。織りがゆるい布地を使用すると、きれいに仕上がります。ここではドロンワークのぬい方の例を2つ紹介します。

■ ドロンワーク (1)

- 1 布地の織り糸を数本抜きとり、約 3mm のすき間をあけます。

- * 布地の織り糸を 5、6 本 (約 3mm 分) 抜きとります。



📖 お知らせ

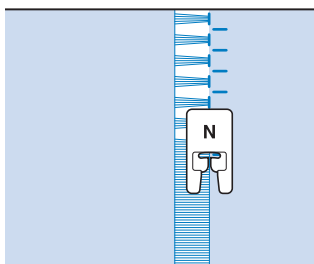
- 織のゆるい布を使うときれいに仕上がります。

- 2 3-04 を選択します。

📖 お知らせ

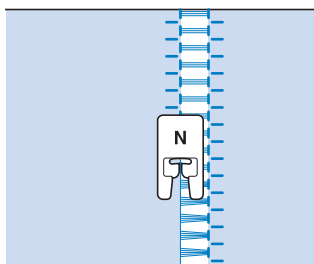
- 模様の詳細については、S-67 の「ぬい方早見表」を参照してください。

- ③ 模様ぬい押え< N >を取り付け、表を上にして布を置き、織り糸を抜いた部分の右端をぬいます。



- ④  を押して、模様を左右に反転します。

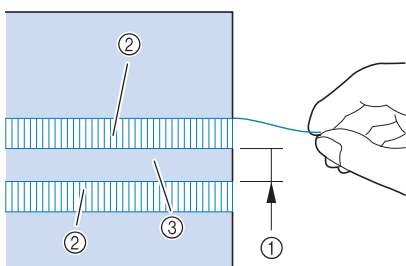
- ⑤ 模様が左右対称になるように、織り糸を抜いた部分の左端をぬいます。



■ ドロンワーク (2)

- ① 図のように、間に布地を約 4mm 残して織り糸を抜き取ります。

* 4本の織り糸を抜き、5本分(約4mm幅)の織り糸を残し、さらに4本の織り糸を抜きとります。



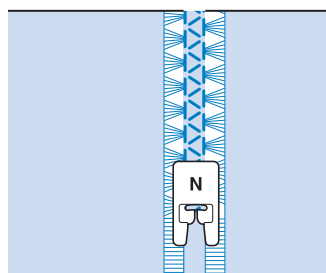
- ① 約 4mm
② 4本抜く
③ 5本残す

- ②  を選択します。

お知らせ

- 模様の詳細については、S-67の「ぬい方早見表」を参照してください。

- ③ 模様ぬい押え< N >を取り付け、残した5本分の布地の中央をぬいます。



お知らせ

- ウィングニードル (別売: WN001) も使用できます。

ボタン穴かがり

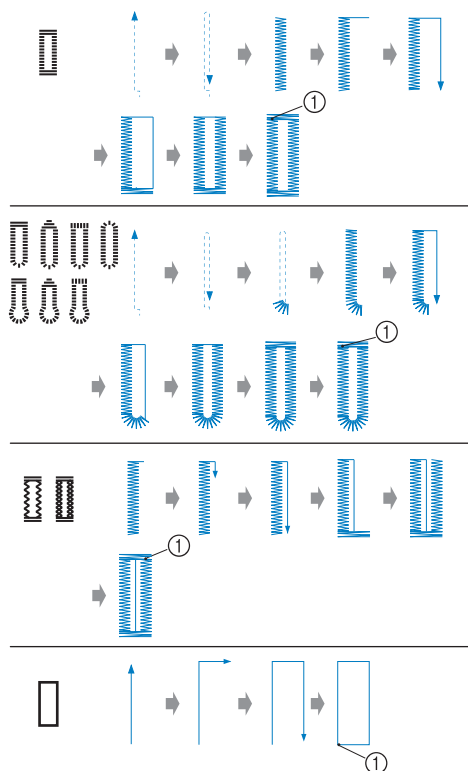
ボタンの穴に合わせた穴かがりができます。

ぬい模様について詳しくは、S-67を参照ください。

ぬい方	名前	押え
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	
	ボタン穴かがり	

ぬい方	名前	押え
4-11	ボタン穴かがり	
4-12	ボタン穴かがり	
4-13	ボタン穴かがり	
4-14	ボタン穴かがり	

ボタン穴かがりは、図のように押えの手前から後ろに向かってぬいます。

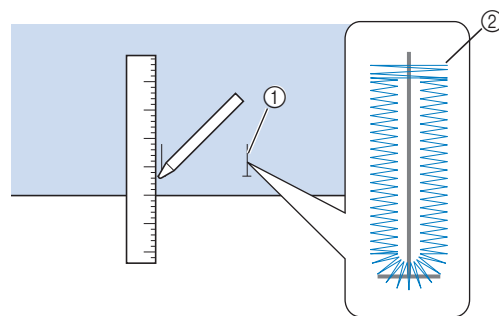


① 止めぬい

1 ボタン穴かがり模様を選び、ボタン穴かがり押え< A >を取り付けます。

ボタン穴かがり押え< A >を取り付ける前に、上糸は押えの穴から押えの下に通しておきます。

2 布地の穴かがりをしたい場所に、ボタンの直径と厚みを合わせた長さのしるしをつけます。

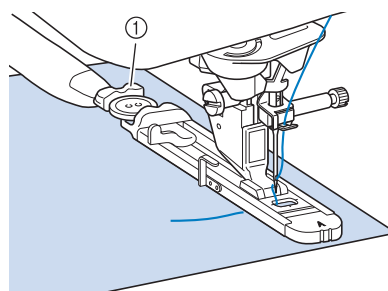


- ① しるし
- ② 出来上がり

お知らせ

- 「ボタンの直径 + 厚み」が 28mm までのボタン穴かがりができます。

3 押えの台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。

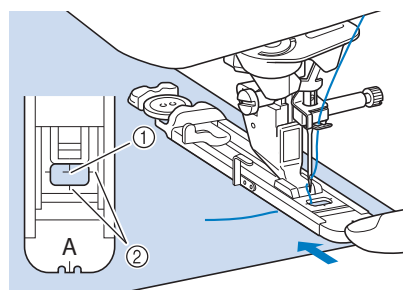


- ① 台皿

お知らせ

- 台皿に入れたボタンの大きさによって、ボタン穴かがりの大きさが異なります

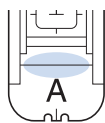
4 指で押えを押しながら、布地につけたしるしに押えのしるしを合わせ、押えを下げます。



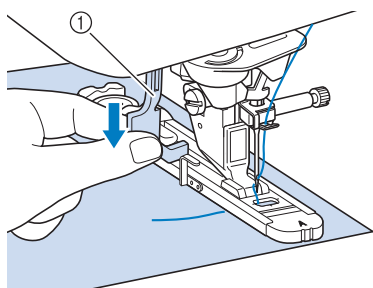
- ① 布地のしるし
- ② 押えのしるし

🔔 お願い

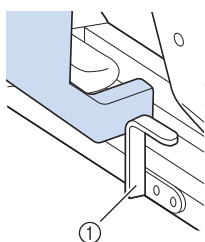
- 上糸は押えの下に入れてください。
- ボタン穴かがり押え< A >の水色で示された部分（下図参照）のすきまがなくなるまで、押えを押し込んでください。すき間があると、ボタン穴かがりの寸法が不正確になります。



- 5** ボタン穴かがりレバーを下げます。図のようにレバーは押えの金具の後ろ側まで下げます。



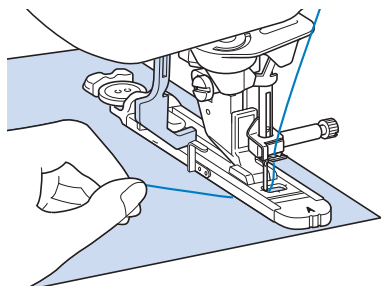
① ボタン穴かがりレバー



① 金具

- 6** 上糸の端を軽く持ってぬい始めます。

- * 布をゆっくり送りながら、ボタン穴かがりをしてください。

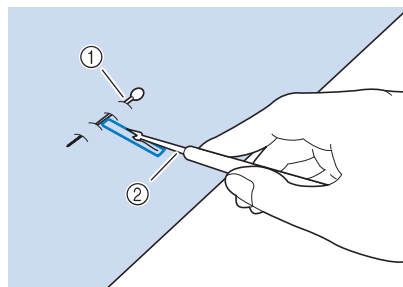


→ ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

📖 お知らせ

- あらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸の糸を切ります。
- 厚みがあって布地が送られないときは、ぬい目を粗くしてください。

- 7** かんどめの内側にまち針をさし、リッパーでボタン穴の中央に切り込みを入れます。



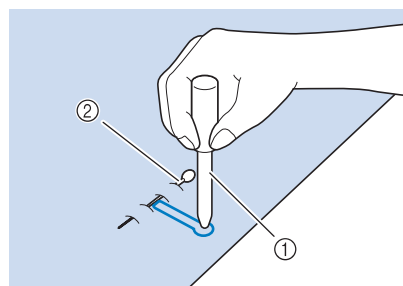
- ① まち針
② リッパー

⚠ 注意

- リッパーで切り込みを入れるとき、ボタン穴の近くに手や指を置かないでください。すべったときにけがをするおそれがあります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。

📖 お知らせ

- はとめ穴の場合は、付属のはとめ穴パンチで穴を開けてから、リッパーで切り込みを入れてください。あらかじめ布地の下に厚紙などを敷いてください。

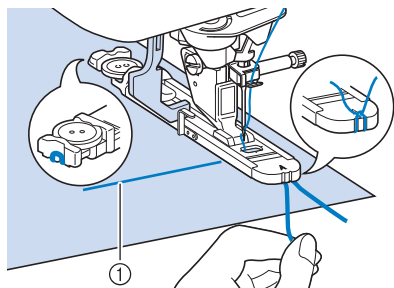


- ① まち針
② はとめ穴パンチ

■ 伸びる布地をぬう場合

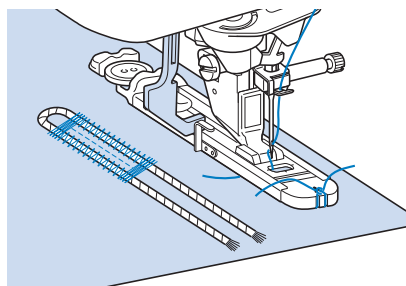
4-09 または 4-10 を選んで伸びる布地にボタン穴かがりをすると、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。

- 1 ボタン穴かがり押え< A >の後部のつのに芯ひもをひっかけて、押えの下を手前に向かって平行に張ります。芯ひもの端は、押えの前部のミゾにはさんで仮結びします。



① 上糸

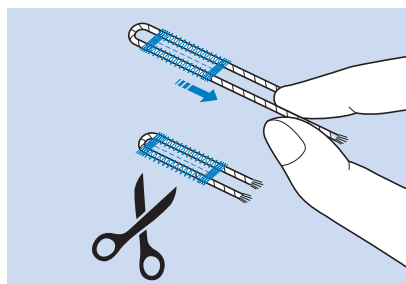
- 2 押えレバーを下げてぬい始めます。



☞ お知らせ

- 振り幅は、芯ひもの幅に合わせて設定し、ボタン穴の幅は芯ひもの幅の2～3倍に設定します。

- 3 ぬい終わったら、芯ひもをぴんと張り、余分な部分を切り落とします。



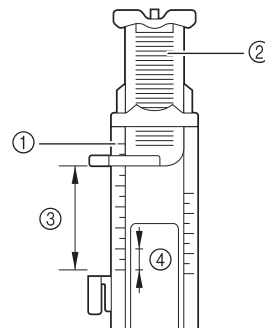
☞ お知らせ

- ボタン穴の中央線に沿って渡されている糸をリッパーで切り、糸端を切り取ってください。

■ ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りを使って、穴かがりの大きさを設定します。押えスケールは1目盛り5mmです。

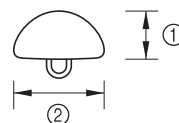
押えスケールの目盛りをボタンの直径 + 厚みの寸法に合わせてください。



- ① 押えスケール
- ② 台皿
- ③ でき上がり寸法 (直径 + 厚み)
- ④ 5mm

☞ お知らせ

- 例) 直径 1.5cm 厚み 1cm のボタンの場合、スケールを 2.5cm に合わせます。



- ① 厚み 1cm
- ② 直径 1.5cm

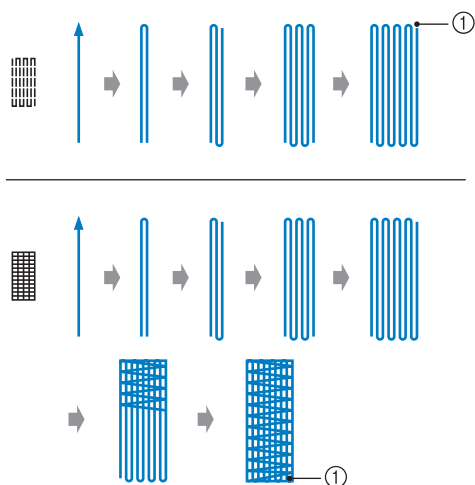
ダーニング (つくろいぬい)

つくろいぬいなどに使います。

ぬい模様について詳しくは、S-67 を参照ください。

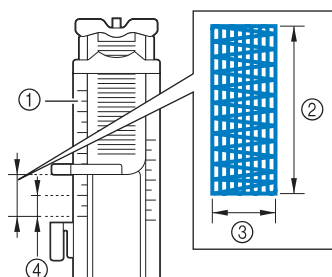
ぬい方	名前	押え
4-15 	ダーニング	
4-16 	ダーニング	

ダーニングぬいは、図のように押えの手前から後ろに向かってぬいます。



① 止めぬい

- 1 模様を選び、ボタン穴かがり押え＜A＞を取り付けます。
- 2 押えスケールの目盛りを、つくろいぬいの長さに合わせます。

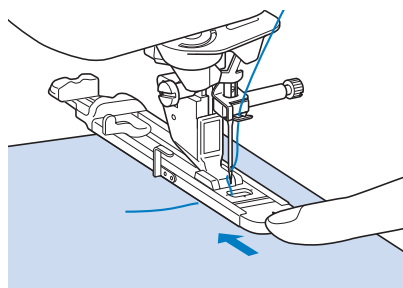


- ① 押えスケール
- ② でき上がり寸法
- ③ 7mm 幅
- ④ 5mm

お知らせ

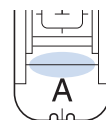
- 最大 28mm のダーニングぬいができます。

- 3 つくろいぬいを始める位置に針が落ちることを確かめ、上糸を押え＜A＞の下に送り、押えを下げます。

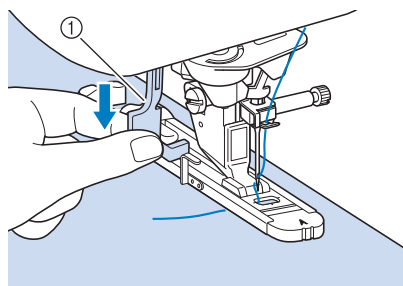


お願い

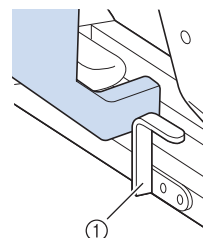
- 上糸は押えの下に入れてください。
- ボタン穴かがり押え＜A＞の水色で示された部分（下図参照）のすきまがなくなるまで、押えを押し込んでください。すき間があると、つくろいぬいの寸法が不正確になります。



- 4 図のように、ボタン穴かがりレバーを金具の後ろ側に下げます。

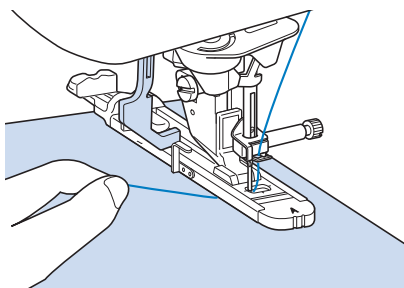


① ボタン穴かがりレバー



① 金具

- 5 上糸の端を軽く引っ張って、 (スタート/ストップスイッチ) を押し、ぬい始めます。



→ ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

お知らせ

- あらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸の糸を切ります。厚みがあって布地が送られないときは、ぬい目を粗くしてください。

かんどめ

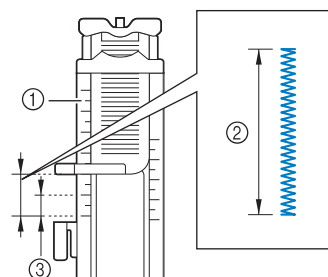
かんどめは、止めぬいの一で、ポケット口やスリットのあき止まりなど、力のかかる部分を補強するときに使います。

ぬい模様について詳しくは、S-67 を参照ください。

ぬい方	名前	押え
	かんどめ	

- 1  を選びます。

- 2 ボタン穴かがり押え < A > を取り付け、目盛りをかんどめの長さに合わせます。

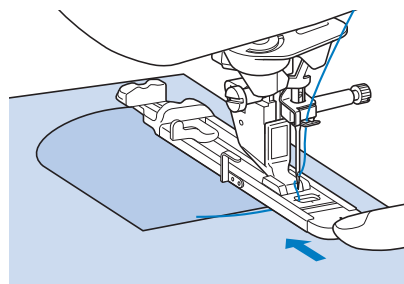


- ① 押えスケール
② でき上がり寸法
③ 5mm

お知らせ

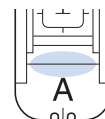
- かんどめの長さは、5mm から 28mm の範囲で設定できます。一般的な長さは、5mm から 10mm の範囲です。

- 3 ポケット口が手前にくるように布地を置きます。指で押えを押します。

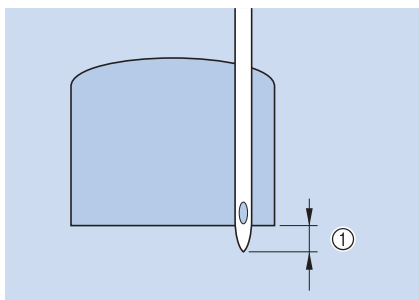


お願い

- 上糸は押えの下に入れてください。
- ボタン穴かがり押え < A > の水色で示された部分 (下図参照) のすきまがなくなるまで、押えの外枠を押し込んでください。完全に押し込まれていないと、かんどめの寸法が不正確になります。

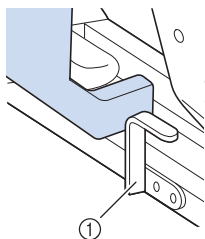
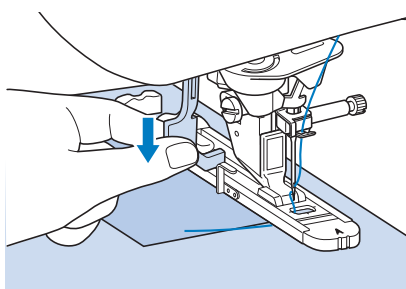


- 4** 最初の針落ち位置を確認して押えレバーを下げます。



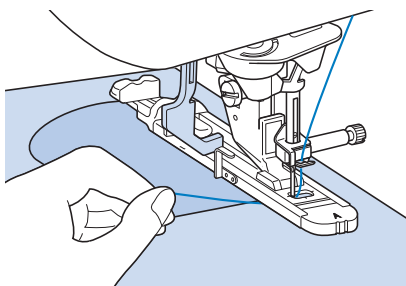
① 最初の針落ち位置 2mm

- 5** 図のように、ボタン穴かがりレバーを金具の後ろ側に下げます。



① 金具

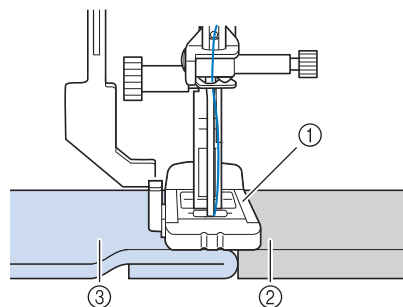
- 6** 上糸の端を軽く引っ張ってぬい始めます。



→ ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

■ 厚地の場合

布または紙を折りたたんだものを押えの右側にはさんで、段差ができないようにしてください。



- ① 押え
② 厚紙
③ 布地

📖 お知らせ

- あらかじめ自動糸切りを設定しておく、ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に上糸と下糸の糸を切ります。
- 布の厚みで布地が進まないときはぬい目をあらくしてください。

ボタンつけ

このミシンではボタンつけができます。

ボタンつけできるのは、2つ穴または4つ穴のボタンです。

ぬい模様について詳しくは、S-67を参照ください。

ぬい方	名前	押え
4-18 ⊖	ボタンつけ	

💡 お願い

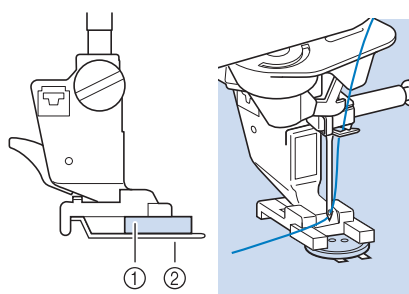
- ボタンつけをするときは自動糸切り機能を使用しないでください。糸の始末ができなくなります。

- 1** を選びます。

→ 自動的に送り歯が下がります。

- 2** 押えを上げます。

- 3 ボタン付け押え< M >を取り付け、ボタンを押えにはさんで押えを下げます。



- ① ボタン
② 金属板

- 4 プーリーを回し、針がボタンに当たらずに左右のボタン穴に入ることを確かめます。

- * 針が左側の穴に入らない場合は、ぬい目を調節してください。
- * ボタン付けの操作を2回繰り返すと、ボタンがしっかり付きます。

- 5 上糸の端を軽く持ってぬい始めます。

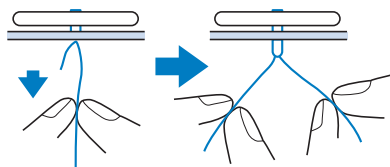
→ ぬい終わるとミシンは自動的に止まります。

⚠ 注意



- ぬうときには、ボタンに針が当たらないように注意してください。針が折れるとけがをするおそれがあります。

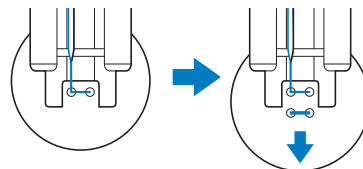
- 6 裏から下糸の端を引っ張って上糸を引き出して結び、余分な糸を切ります。



- 7 ボタン付けが終わった後は、他の模様を選んで、プーリーを手前に回して送り歯を上げます。

■ 4つ穴ボタンをつけるときは

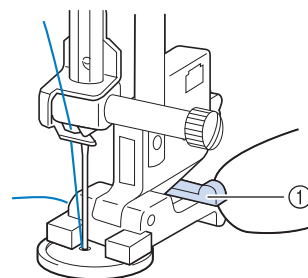
手前の2つの穴からボタンつけをします。ぬい終わったら押えを上げ、針が次の2つ穴に入るように布を手前に引き、ボタン付けをします。



■ ボタン足をつけるときは

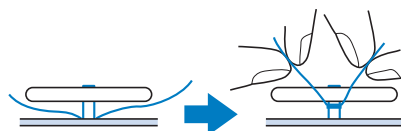
ボタンの付け根に足(糸足)を付けるときは、ボタンと布地の間にすき間をあけた状態でぬい、あとで手で巻き付けます。ボタンをしっかりと付けることができます。

- 1 ボタン付け押え< M >にボタンを取り付けたら、足レバーを手前に押します。



- ① 足レバー

- 2 上糸と下糸をボタンと布の間から引き出し、上糸を糸足に巻きつけてしっかり結びます。



- 3 ぬい始めとぬい終わりの下糸の両端を布地の裏側で結びます。

- 4 余分な糸を切ります。

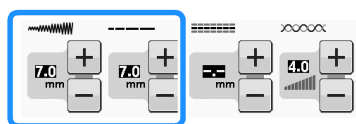
アイレット

ベルトの穴かがりなどに使います。
ぬい模様について詳しくは、S-67 を参照ください。

ぬい方	名前	押え
4-19 	アイレット	

1  を選びます。

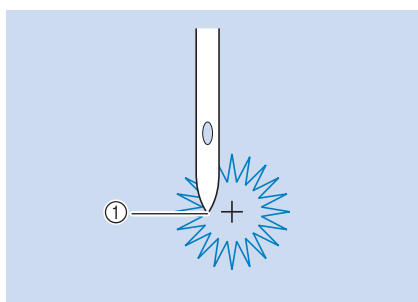
2 「振幅」の   または「ぬい目の長さ」を使って、アイレットの大きさを選びます。



* 実寸大

- ① 7mm
- ② 6mm
- ③ 5mm

3 模様ぬい押え< N >を取り付け、プーリーを回して針が落ちる位置を確認します。



① 針落ち位置

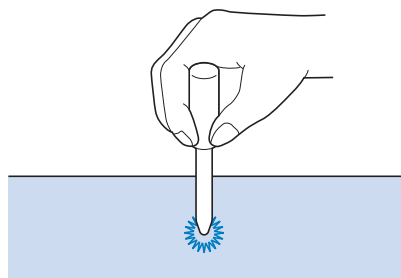
4 押えを下げてぬい始めます。

→ ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

❖ お願い

- きれいに仕上がらない場合は、調節を行ってください。（S-81 の「文字・模様をぬってみましょう」参照）

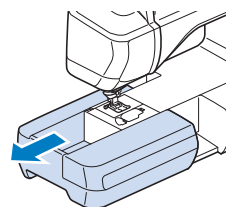
5 はとめ穴パンチで穴をあけます。



横送り（直線・ジグザグ）

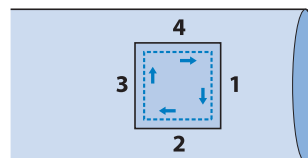
袖やズボンなどの筒状の布地にワッペンなどをつける場合などに使います。

1 補助テーブルを外してフリーアームにします。

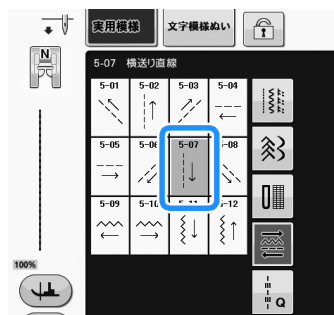


📖 お知らせ

- 筒状の布地をフリーアームに通し、図のようにぬいます。



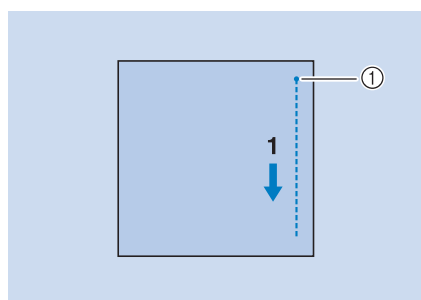
2  を選び、模様ぬい押え< N >を取り付けます。



📖 お知らせ

- 模様の詳細については、S-67 の「ぬい方早見表」を参照してください。

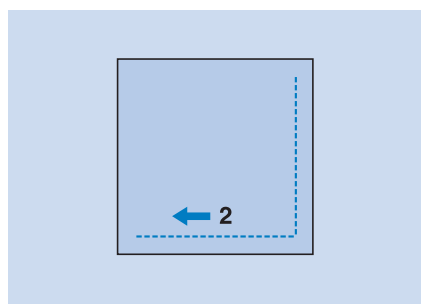
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、図のようにぬい目 1 をぬいます。



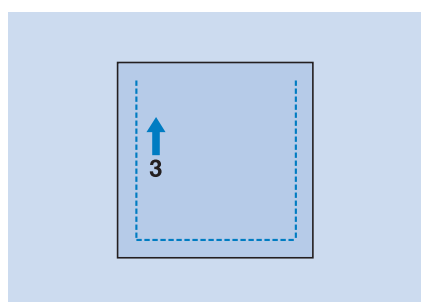
① ぬい始め位置

- ④ を選び、図のようにぬい目 2 をぬいます。

* 布地が曲がらないように手で軽く押さえながらぬってください。

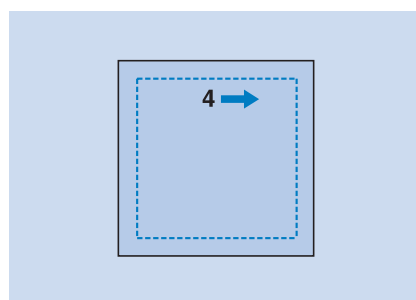


- ⑤ を選び、図のようにぬい目 3 をぬいます。



→ 布地は手前に送られます。

- ⑥ を選び、図のようにぬい目 4 をぬいます。



→ ぬい目 1 のぬい始めの位置までぬい進みます。

ファスナーつけ

■ つき合わせ

袋物などに使います。

- ① を選びます。

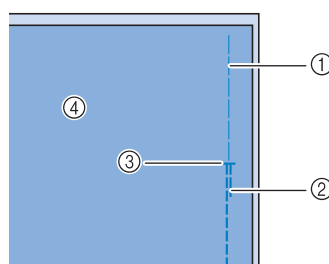
お知らせ

- 模様の詳細については、S-67 の「ぬい方早見表」を参照してください。

お願い

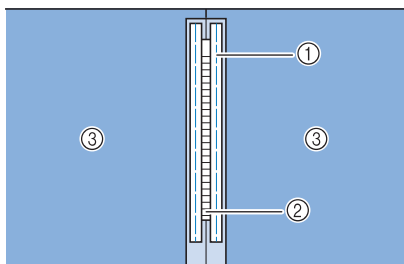
- 必ず直線（中基線）を選んでください。

- ② ジグザグ押えく J > を取り付け、あき止まりまで直線でぬい、あきの部分はしつけぬいをかけます。（S-27 参照）



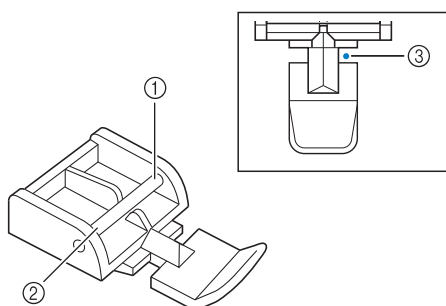
- ① しつけぬい
- ② 返しぬい
- ③ あき止まり
- ④ 裏

- 3** ぬいしろを割り、図のようにファスナーの中央とぬい目を合わせ、しつけぬいでファスナーを付けます。



- ① しつけぬい
② ファスナー
③ 裏

- 4** ジグザグ押え<J>を外し、片押え<I>の右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。

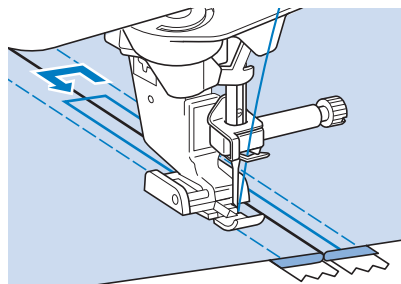


- ① 右側
② 左側
③ 針落ち位置

！ 注意

- 片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。

- 5** 表を上にして0.7～1.0cmのぬいしろでぬい、ぬい終わったらしつけぬいを外します。



！ 注意

- ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

■ 脇あき

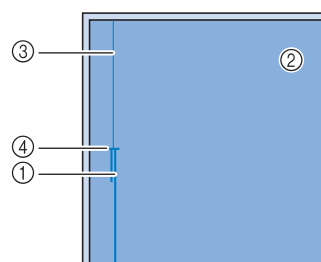
スカートやワンピースの脇あきに使います。

- 1**  を選びます。

💡 お願い

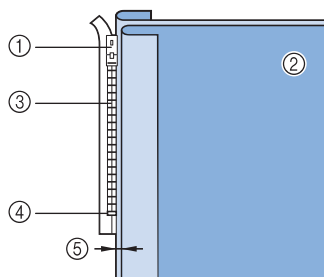
- 必ず直線（中基線）を選んでください。

- 2** ジグザグ押え<J>を取り付け、あき止まりまで直線でぬい、あきの部分はしつけぬいをします。



- ① 返しぬい
② 裏
③ しつけぬい
④ あき止まり

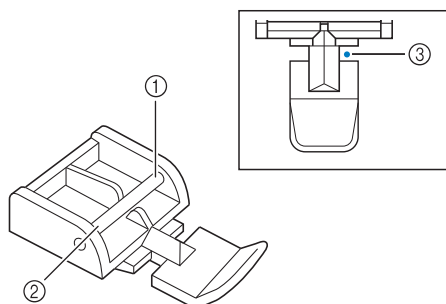
- ③ ぬいしろを割り、後ろスカート（後ろ身頃）のぬいしろを 3mm 出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。



- ① スライダー
② 裏
③ ムシ
④ あき止まり
⑤ 3mm

- ④ ジグザグ押え<J>を外します。

- ⑤ 片押え<I>の右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。



- ① 右側
② 左側
③ 針落ち位置

⚠ 注意

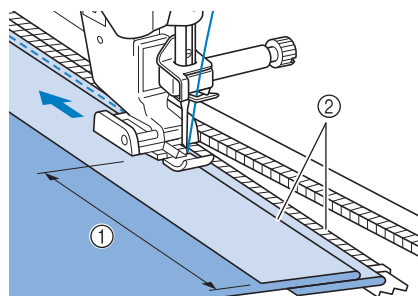


- 片押え<I>を使用するときは、必ず直線（中基線）を使用し、プーリーをゆっくりと手前に回して針が押えに当たらないことを確認してください。他の模様を選ぶと、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

- ⑥ 3mm の幅の中心をあき止まりからぬいます。

- ⑦ ファスナーの先端から約 5cm のところで一旦ミシンを止めます。

- ⑧ スライダーを下げ、端までぬいます。



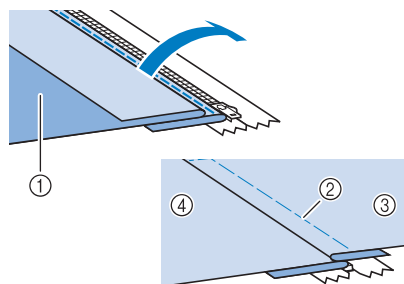
- ① 5cm
② 3mm

⚠ 注意



- ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

- ⑨ ファスナーを閉じて表に返し、しつけぬいをします。



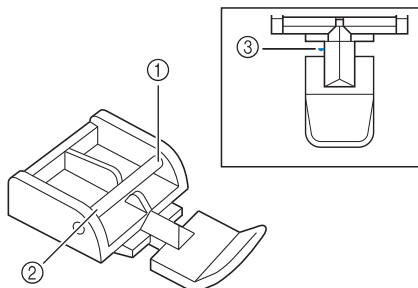
- ① スカートの前身頃（裏）
② しつけぬい
③ スカートの前身頃（表）
④ スカートの後身頃（表）

📖 お知らせ

- 本機でしつけぬいをする場合は、ジグザグ押え<J>を使用します。S-27 の「しつけぬい」を参照してください。

10 押えを外し、押えの左側のピンを押えホルダーに合わせて付け替えます。

* ファスナーの左側をぬうときには、針の位置は押えの右側、ファスナーの右側をぬうときには、針の位置は押えの左側に落ちるようにします。



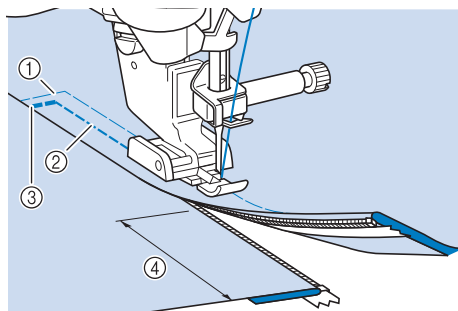
- ① 右側
- ② 左側
- ③ 針落ち位置

11 押えの左端に、ファスナーのムシがくるように布を置きます。

12 ファスナーの端まで返しぬいをし、ぬい続けます。

13 布端から約5cm手前で針を落としたまましつけぬいを外します。

14 スライダーを下げ、端までぬいます。



- ① しつけぬい
- ② 0.7 ~ 1cm
- ③ 返しぬい
- ④ 5cm

ぬい方早見表

この表では、実用ぬい模様のジグザグの振幅やぬい目の長さの設定についてを用途に合わせて紹介しています。また、それぞれの模様で2本針が使用できるかどうか、あわせて記載しています。

ぬい方	名前	押え ^{*4}		主な用途	ジグザグの振幅 ^{*1} [mm (インチ)]		ぬい目の長さ ^{*1} [mm (インチ)]		2本針 ^{*2}
					自動	手動	自動	手動	
1-01	直線 (左基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-02	直線 (左基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-03	直線 (中基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-04	直線 (中基線)			地ぬい、ギャザー、ピンタックなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-05	3重ぬい			丈夫なぬい目なので、袖つけや股下をぬうときに便利です。また、伸びる布地をぬうときやステッチをかけるときに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-06	伸縮ぬい			伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.0 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-07	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-08	しつけぬい			しつけに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	20 (3/4)	5 - 30 (3/16 - 1-3/16)	×
1-09	ジグザグ (中基線)			たち目かがりやアップリケなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	○ (J)
1-10	ジグザグ (中基線)			たち目かがりやアップリケなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	○ (J)
1-11	ジグザグ (右基線)			右の針位置からぬい始まります。	3.5 (1/8)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	1.4 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-12	ジグザグ (左基線)			左の針位置からぬい始まります。	3.5 (1/8)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	1.4 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-13	2点ジグザグ			普通地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
1-14	3点ジグザグ			普通地、厚地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)

*1 — : 調節できません。*2 ○ : 使用できます。× : 使用できません。*3 サイドカッター押えは別売です。*4 オープントウキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。*5 カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え *4		主な用途	ジグザグの振り幅 *1 [mm (インチ)]		ぬい目の長さ *1 [mm (インチ)]		2本針 *2
					自動	手動	自動	手動	
	1-15 たち目かがり			薄地、普通地のたち目かがりに使用します。	3.5 (1/8)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-16 たち目かがり			厚地のたち目かがりに使用します。	5.0 (3/16)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-17 たち目かがり			厚地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	5.0 (3/16)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-18 たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	1-19 たち目かがり			普通地、厚地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	1-20 たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	1-21 たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-22 たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	1-23 たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.8 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	1-24 サイドカッター *3			布を切りながら直線ぬいをします。	0.0 (0)	0.0 - 2.5 (0 - 3/32)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-25 サイドカッター *3			布を切りながらジグザグぬいをします。	3.5 (1/8)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	×
	1-26 サイドカッター *3			布を切りながらたち目かがりをします。	3.5 (1/8)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-27 サイドカッター *3			布を切りながらたち目かがりをします。	5.0 (3/16)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-28 サイドカッター *3			布を切りながらたち目かがりをします。	5.0 (3/16)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-29 ピーシング直線 (右基線)			ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7.0mmでぬえるように針位置が設定されています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	1-30 ピーシング直線 (中基線)			ピーシング用の直線です。	—	—	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×

*1 ー：調節できません。*2 ○：使用できます。×：使用できません。*3 サイドカッター押えは別売です。*4 オープントゥキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。*5 カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え ^{*4}		主な用途	ジグザグの振幅 ^{*1} [mm (インチ)]		ぬい目の長さ ^{*1} [mm (インチ)]		2本針 ^{*2}
					自動	手動	自動	手動	
	ピーシング直線 (左基線)			ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が7.0mmでぬえるように針位置が設定されています。	2.0 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	手ぬい風直線			上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線がぬえます。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	ジグザグ			アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	×
	アップリケ			アップリケやバインディングをするときに使用します。	1.5 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	キルティング模様			キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.0 (1/4)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	まつりぬい			普通地のまつりぬいに使用します。振りの数値の単位はmmではありません。	00	3← - →3	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	まつりぬい			伸びる布地のまつりぬいに使用します。振りの数値の単位はmmではありません。	00	3← - →3	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	アップリケ			アップリケに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	シェルタック			シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	サテンスカラップ			スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.1 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	スカラップ			スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。	7.0 (1/4)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	つきあわせ			パッチワークや飾りぬいに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	つきあわせ			パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	つきあわせ			コードなどを使った飾りぬいに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	スモッキング			スモッキングや飾りぬいに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)

^{*1}ー：調節できません。^{*2}○：使用できます。×：使用できません。^{*3}サイドカッター押えは別売です。^{*4}オープントゥキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。^{*5}カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え *4		主な用途	ジグザグの振幅 *1 [mm (インチ)]		ぬい目の長さ *1 [mm (インチ)]		2 本針 *2
					自動	手動	自動	手動	
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	ゴムひもつけ			伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	5.5 (7/32)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいやアップリケに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	7.0 (1/4)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			左基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	1.0 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			中基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			レースつけやふち飾りなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。	3.0 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×

*1 ー：調節できません。*2 ○：使用できます。×：使用できません。*3 サイドカッター押えは別売です。*4 オープントゥキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。*5 カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え ^{*4}		主な用途	ジグザグの振幅 ^{*1} [mm (インチ)]		ぬい目の長さ ^{*1} [mm (インチ)]		2本針 ^{*2}
					自動	手動	自動	手動	
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			つき合わせや飾りぬいに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			ふち飾りやぬった後にリボンを通して飾りとして使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	○ (J)
	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			飾りぬいやスモッキングに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	ボタン穴かがり			ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。	5.0 (3/16)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
	ボタン穴かがり			横穴用。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	5.5 (7/32)	3.5 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×

*1 — : 調節できません。*2 ○ : 使用できます。× : 使用できません。*3 サイドカッター押えは別売です。*4 オープントウキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。*5 カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え *4		主な用途	ジグザグの振り幅 *1 [mm (インチ)]		ぬい目の長さ *1 [mm (インチ)]		2本針 *2
					自動	手動	自動	手動	
4-03 	ボタン穴かがり			横穴用。ウエストベルトなど力がかかるところに使用します。	5.0 (3/16)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-04 	ボタン穴かがり			横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。	5.0 (3/16)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-05 	ボタン穴かがり			ボタン穴かがり + かんだめ	5.0 (3/16)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-06 	ボタン穴かがり			ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジャケットやブラウスに使用します。	5.0 (3/16)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-07 	ボタン穴かがり			両止めボタン穴かがり。麻、木綿など、ある程度腰のある素材に適しています。ホームウェアやブラウスなど手軽にぬえるものに使用します。	5.0 (3/16)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-08 	ボタン穴かがり			両止めボタン穴かがり。厚地の布や厚みのあるボタンを使うときに使用します。	5.5 (7/32)	3.5 - 6.0 (1/8 - 15/64)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-09 	ボタン穴かがり			伸びる布地や編み地のボタン穴かがりに使用します。芯ひもを入れてぬいます。	6.0 (15/64)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	1.0 (1/16)	0.5 - 2.0 (1/32 - 1/16)	×
4-10 	ボタン穴かがり			伸びる布地のボタン穴かがりに使用します。芯ひもを入れてぬいます。	6.0 (15/64)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	1.5 (1/16)	1.0 - 3.0 (1/16 - 1/8)	×
4-11 	ボタン穴かがり			玉ぶち穴かがり（パウンドボタンホール）を作るときに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 6.0 (0 - 15/64)	2.0 (1/16)	0.2 - 4.0 (1/64 - 3/16)	×
4-12 	ボタン穴かがり			はとめ穴。厚地や毛足の長い布のボタン穴かがりに使用します。プレザー、スーツ、コートなどに使用します。	7.0 (1/4)	3.0 - 7.0 (1/8 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-13 	ボタン穴かがり			はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。ジーンズ、ズボンなどに使用します。	7.0 (1/4)	3.0 - 7.0 (1/8 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-14 	ボタン穴かがり			はとめ穴。厚地や毛足の長い布の横穴ボタン穴かがりに使用します。厚手のコートなどに使用します。	7.0 (1/4)	3.0 - 7.0 (1/8 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-15 	ダーニング			普通地のつくろいぬいに使用します。	7.0 (1/4)	2.5 - 7.0 (3/32 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 2.5 (1/64 - 3/32)	×
4-16 	ダーニング			厚地のつくろいぬいに使用します。	7.0 (1/4)	2.5 - 7.0 (3/32 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 2.5 (1/64 - 3/32)	×
4-17 	かんだめ			ぬい目がほだけやすい箇所やポケット口などのあき止まり部分の力の加わる部分を補強したい場合に用います。	2.0 (1/16)	1.0 - 3.0 (1/16 - 1/8)	0.4 (1/64)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-18 	ボタンつけ			ボタンつけに使用します。	3.5 (1/8)	2.5 - 4.5 (3/32 - 3/16)	—	—	×

*1 ー：調節できません。*2 ○：使用できます。×：使用できません。*3 サイドカッター押えは別売です。*4 オープントウキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。*5 カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え ^{*4}		主な用途	ジグザグの振幅 ^{*1} [mm (インチ)]		ぬい目の長さ ^{*1} [mm (インチ)]		2本針 ^{*2}
					自動	手動	自動	手動	
4-19 	アイレット			ベルトの調節用の穴をかがる ときなどに使用します。普通 地に使用します。	7.0 (1/4)	7.0 6.0 5.0 (1/4 15/64 3/16)	7.0 (1/4)	7.0 6.0 5.0 (1/4 15/64 3/16)	×
5-01 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-02 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-03 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-04 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-05 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-06 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-07 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-08 	横送り直線			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-09 	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-10 	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-11 	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
5-12 	横送りジグザグ			でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	—	—	—	×
Q-01 	ピーシング直線 (中基線)			ピーシング用の直線です。	—	—	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-02 	ピーシング直線 (右基線)			ピーシング用の直線です。押 えの右端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	5.0 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-03 	ピーシング直線 (左基線)			ピーシング用の直線です。押 えの左端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	2.0 (1/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×

^{*1} — : 調節できません。 ^{*2} ○ : 使用できます。 × : 使用できません。 ^{*3} サイドカッター押えは別売です。 ^{*4} オープントウキルト押え < O >、フリーモーションキルト押え < C > は別売です。 ^{*5} カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え *4		主な用途	ジグザグの振り幅 *1 [mm (インチ)]		ぬい目の長さ *1 [mm (インチ)]		2本針 *2
					自動	手動	自動	手動	
	手ぬい風直線			上糸にナイロン透明糸、下糸にキルトに合った色の糸を使うと手ぬい風のキルト直線がぬえます。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	しつけぬい			しつけに使用します。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	20 (3/4)	5 - 30 (3/16 - 1-3/16)	×
	伸縮ぬい			伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	1.00 (1/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	ジグザグ			アップリケキルトやフリーモーションキルト、サテンぬいなどに使用します。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	×
	ジグザグ (右基線)			右の針位置からぬい始まります。	3.50 (1/8)	2.50 - 5.00 (3/32 - 3/16)	1.6 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	ジグザグ (左基線)			左の針位置からぬい始まります。	3.50 (1/8)	2.50 - 5.00 (3/32 - 3/16)	1.6 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	2点ジグザグ			普通地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	3点ジグザグ			普通地、厚地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	アップリケ			アップリケやバインディングをするときに使用します。	2.00 (1/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	シェルタック			シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。	4.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	アップリケ			アップリケに使用します。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	キルティング模様			キルトで背景を埋めるときに使用します。	7.00 (1/4)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	ゴムひもつけ			伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。	5.50 (7/32)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			飾りぬいやゴムひもつけに使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×

*1 ー：調節できません。*2 ○：使用できます。×：使用できません。*3 サイドカッター押えは別売です。*4 オープントウキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。*5 カウチング押えは別売です。

ぬい方	名前	押え *4		主な用途	ジグザグの振幅 *1 [mm (インチ)]		ぬい目の長さ *1 [mm (インチ)]		2本針 *2
					自動	手動	自動	手動	
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	ファゴティング			ファゴティングは布地と布地の間を離して糸でかがる方法をいい、ブラウスや子供服などに使用します。また、飾りぬいとしても使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	つきあわせ			コードなどを使った飾りぬいに使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	つきあわせ			パッチワークや飾りぬいに使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	スモッキング			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	4.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			飾りぬいやアップリケに使用します。	6.00 (15/64)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			飾りぬいに使用します。	5.50 (7/32)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			ふち飾りなどに使用します。薄地、普通地の平織りの布に適しています。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	飾りぬい			つき合わせや飾りぬいに使用します。	6.00 (15/64)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりに使用します。	6.00 (15/64)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	たち目かがり			伸びる布地のたち目かがりや飾りぬいに使用します。	4.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
	フリーモーションカウチング *5			カウチング押えでフリーモーションカウチングをするときに、使用します。	3.50 (1/8)	2.75 - 3.75 (7/64 - 9/64)	—	—	×

*1 —: 調節できません。*2 ○: 使用できます。×: 使用できません。*3 サイドカッター押えは別売です。*4 オープントゥキルト押え<○>、フリーモーションキルト押え<C>は別売です。*5 カウチング押えは別売です。

第 3 章

文字・模様ぬい

模様の選び方..... 77

大型飾り模様／7mm 飾り模様／大型サテンステッチ／ 7mm サテンステッチ／クロステッチ／実用飾り模様.....	78
文字模様.....	78
■ 文字を削除するには.....	79
■ 文字間を調整する.....	80

文字・模様をぬってみましょう..... 81

きれいにぬうために.....	81
文字・模様のぬい方.....	81
模様の調整をする.....	82

模様の編集のしかた..... 84

■ キーのはたらき.....	84
模様の大きさを変える.....	86
模様の長さを変える（7mm サテンステッチのみ）.....	86
模様を上下反転させる.....	86
模様を左右反転させる.....	86
模様の連続ぬい／単独ぬい.....	86
模様の糸密度を変える（大型サテンステッチのみ）.....	87
模書き／縦書きを切り替える.....	87
模様の始めに戻る.....	87
模様のイメージを確認する.....	88

模様の組み合わせ..... 89

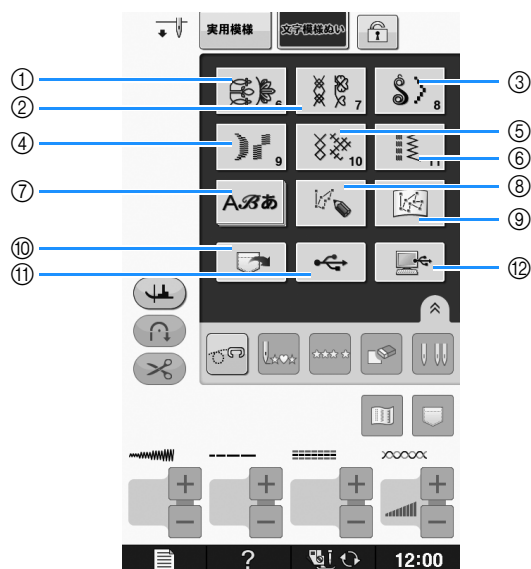
模様の組み合わせをする前に.....	89
ちがう模様を組み合わせる.....	89
大きさを変えた模様を組み合わせる.....	90
反転模様を組み合わせる.....	90
長さを変えた模様を組み合わせる.....	91
ステップ模様を作る（7mm サテンステッチのみ）.....	92
■ そのほかの組み合わせ例.....	93

模様の記憶..... 94

データに関する注意.....	94
■ 使用可能なデータの種類.....	94
■ 使用可能な USB デバイス／メディア.....	94
■ ミシンに接続可能なパソコンの種類と OS.....	94
■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意.....	94
模様を記憶する.....	95
■ 記憶できないときは.....	95
模様を市販の USB メディアに記憶する.....	96
模様をパソコンに記憶する.....	97
模様を呼び出す.....	98
USB メディアから呼び出す.....	99
パソコンから呼び出す.....	100

模様の選び方

文字模様ぬいを押すと下の画面が表示されます。このマシンには、7種類の文字・模様ぬいがあります。



- ① 大型飾り模様
- ② 7mm 飾り模様
ぬい目の長さと振り幅を設定できます。
- ③ 大型サテンステッチ
- ④ 7mm サテンステッチ
ぬい目の長さと振り幅を設定できます。
- ⑤ クロスステッチ
- ⑥ 実用飾り模様
- ⑦ 文字模様（ゴシック体、筆記体、アウトライン文字、キリル文字、ひらがな／カタカナ）
- ⑧ マイイラスト機能を使って模様を作るときに、このキーを押します。（S-102 参照）
- ⑨ マイイラスト機能に保存した模様（S-102 参照）
- ⑩ 記憶した模様の呼び出し（S-98 参照）
- ⑪ USB メディアからの模様の呼び出し（S-99 参照）
- ⑫ パソコンからの模様の呼び出し（S-100 参照）

❗ お願い

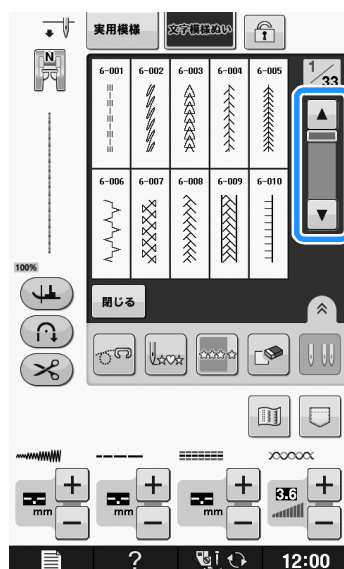
- 画面がロックされている（）ときは、を押してロックを解除してください。画面がロックされていると、他のキーは操作できません。

大型飾り模様／7mm 飾り模様 ／大型サテンステッチ／7mm サテンステッチ／クロスステッ チ／実用飾り模様

1 ぬいたい模様の種類を選びます。

2 ぬいたい模様のキーを押します。

- * ▼を押すと次のページが表示されます。
- * ▲を押すと前のページが表示されます。
- * ▼と▲の間のバーを押すと、ページをジャンプすることができます。
- * 別の模様を選ぶときは、を押します。模様が消えたら、新しい模様を選びます。



→ 選んだ模様が表示されます。

文字模様

例：「Blue Sky」と入力する。

1 を押します。



2 、、、 または  のいずれかを押して、書体を選びます。



お知らせ

- 文字模様は、4種類のアルファベット書体とひらがな／カタカナを選択できます。それぞれの書体について、詳しくは「模様一覧」をご参照ください。

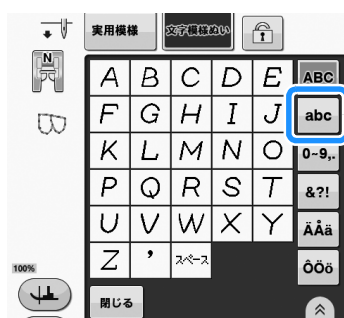
3 右側のインデックスから文字選択画面を選びます。



- 4 **ABC**を押してから、「B」を入力します。



- 5 **abc**を押してから、「lue」を入力します。



- 6 **スペース** (スペース) を押して、スペースを入力します。



- 7 もう一度 **ABC** を押してから、「S」を入力します。



① スペースには渡り糸が入ります。

* めい終わってから、渡り糸を切ってください。

- 8 **abc**を押してから、「ky」を入力します。



* フォントを変えて、続けて文字を入力したい場合は、**閉じる**を押して ② からの手順を繰り返してください。

■ 文字を削除するには

- 1  を押すと、最後の文字が削除されます。



お知らせ

- 文字は、最後に入力されたものから順に削除されます。

- 2 正しい文字を選びます。

*  を押し続けると、文字を全て消すことができます。



■ 文字間を調整する

文字の間隔を調整できます。

1  を押します。

*  を押すと、画面上に  が表示されます。



→ 文字間調整画面が表示されます。

2   を押して文字間を調整してください。



*  を押すと文字間が広がり、 を押すと文字間が詰まります。

例：

* それぞれの設定値に対応する文字間については以下をご参照ください。

 10
Blue Sky

設定値	mm
0	0
1	0.18
2	0.36
3	0.54
4	0.72
5	0.9
6	1.08
7	1.26
8	1.44
9	1.62
10	1.8

お知らせ

- 購入時の設定は「0」です。「0」以下の数値は設定できません。
- この方法で設定した文字間は、入力した文字全てに適用されます。設定後に入力した文字も、引き続き同じ文字間になります。

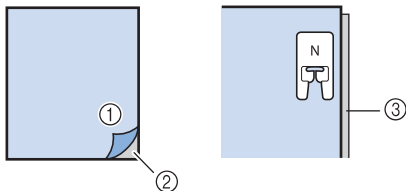
文字・模様をぬってみましょう

きれいにぬうために

きれいに文字模様をぬうために、布地・糸・針は以下の表を参照してください。

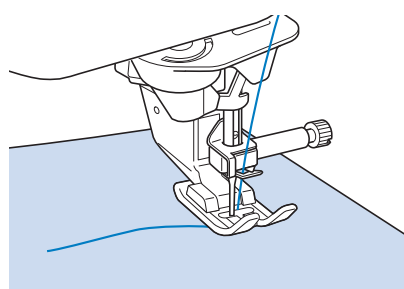
❏ お願い

- 布地の種類や厚さ、接着芯の種類などによって、模様がくずれることがあります。必ず試しぬいをしてください。
- サテンステッチをぬうときは、ぬい縮みや目詰まりが起こすことがあるため、必ず接着芯を貼ってください。
- ぬうときには布地がずれないように、手を添えてぬってください。

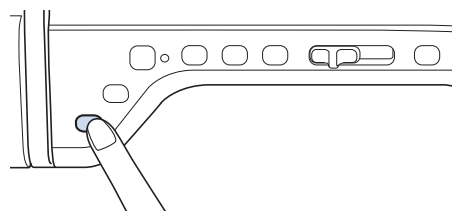
布地	伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏面に別売の接着芯を貼ってください。接着芯を貼りたくないときは、ハトロン紙などの薄い紙を布地の下に敷いてぬってください。
	 ① 布地 ② 接着芯 ③ 薄い紙
糸	50～60番
針	薄地、普通地：家庭用ミシン針（HA×1）11番 厚地：家庭用ミシン針（HA×1）14番 伸びる布地：ニット用針
押え	模様ぬい押え< N > 模様ぬい押え< N >以外を使用すると、きれいに仕上がらないことがあります。

文字・模様のぬい方

- 1 模様を選びます。
- 2 模様ぬい押え< N >を取り付けます。
- 3 布地を押えの下に置き、上糸を押えの下から横に出して押えレバーを下げます。



- 4  (スタート/ストップスイッチ) を押してぬい始めます。



⚠ 注意

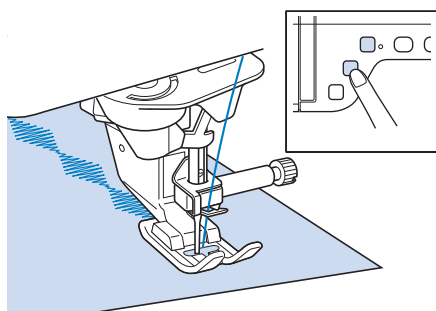
- 7mm サテンステッチを使った模様などでぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。(S-10の「ぬい目の長さを調節する」参照)

❏ お知らせ

- ぬっている途中で布地を引っ張ったり押さえたりすると、模様がくずれるおそれがあります。また、模様によっては前後に加え、左右にも動くため、布地がまっすぐ送られるように布を軽く押さえながらぬってください。

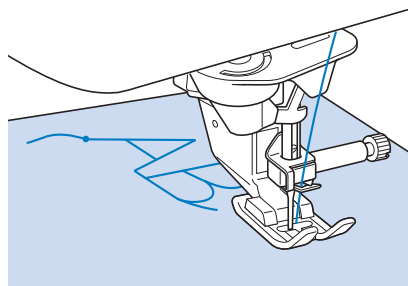
5  (スタート/ストップスイッチ) を押して、ミシンを止めます。

6  (返しぬいスイッチ) か  (止めぬいスイッチ) を押して、止めぬいをします。

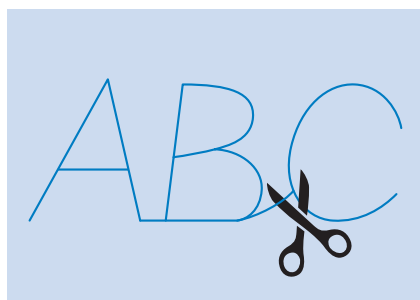


お知らせ

- 文字ぬいの場合、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをします。



- ぬい終わったら、余分な糸（渡り糸）を切り取ります。



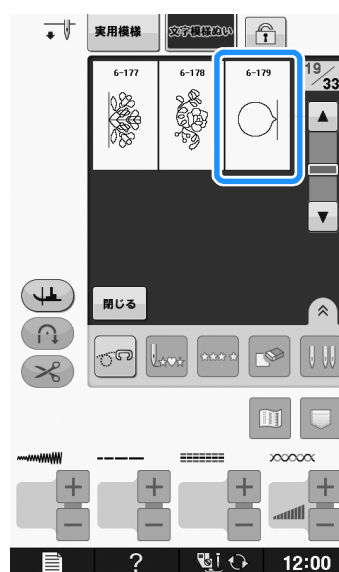
- 選択した模様によっては針が上に停止したまま布地を送ります。そのとき、縫製音とは異なった音がしますが故障ではありません。

模様の調整をする

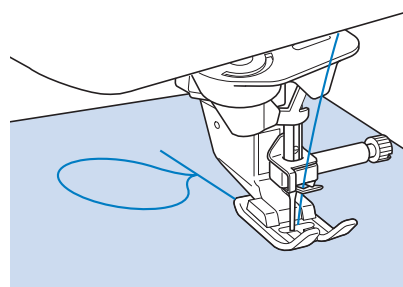
布地の種類、厚さ、接着芯の種類、ぬう速さなどによっては、模様がくずれる場合があります。模様がくずれた場合は、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、次のように調整してください。

さい。  で模様の調整を行っても、模様がくずれる場合は、個々の模様で調整を行ってください。

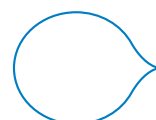
1  を押して、大型飾り模様の  を選びます。



2 模様ぬい押え< N >を取り付け、模様をぬいます。



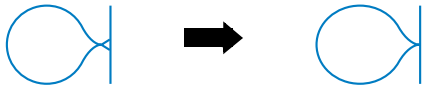
3 ぬい上がりを次の正しい模様と比較してください。



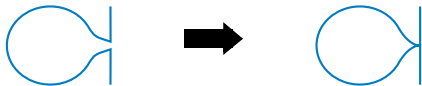
- 4  を押し、「模様調整たて」または「模様調整よこ」を使って模様を調整します。



- * 模様がつまっているとき：
「模様調整たて」の  を押します。
- このキーを押すごとに表示値が大きくなり、模様が伸びます。



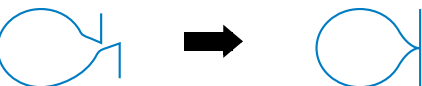
- * 模様にすきまがあるとき：
「模様調整たて」の  を押します。
- このキーを押すごとに表示値が小さくなり、模様がつまります。



- * 模様が左にずれているとき：
「模様調整よこ」の  を押します。
- このキーを押すごとに表示値が大きくなり、模様が右にずれます。



- * 模様が右にずれているとき：
「模様調整よこ」の  を押します。
- このキーを押すごとに表示値が小さくなり、模様が左にずれます。



- 5 もう一度ぬいます。

- * 模様がくずれている場合はもう一度調整します。正しい模様がぬえるようになるまで調整してください。

お知らせ

- 設定画面のままぬうことができます。

- 6 正しい模様がぬえるようになったら、調節を終わります。 を押して、元の画面に戻ります。

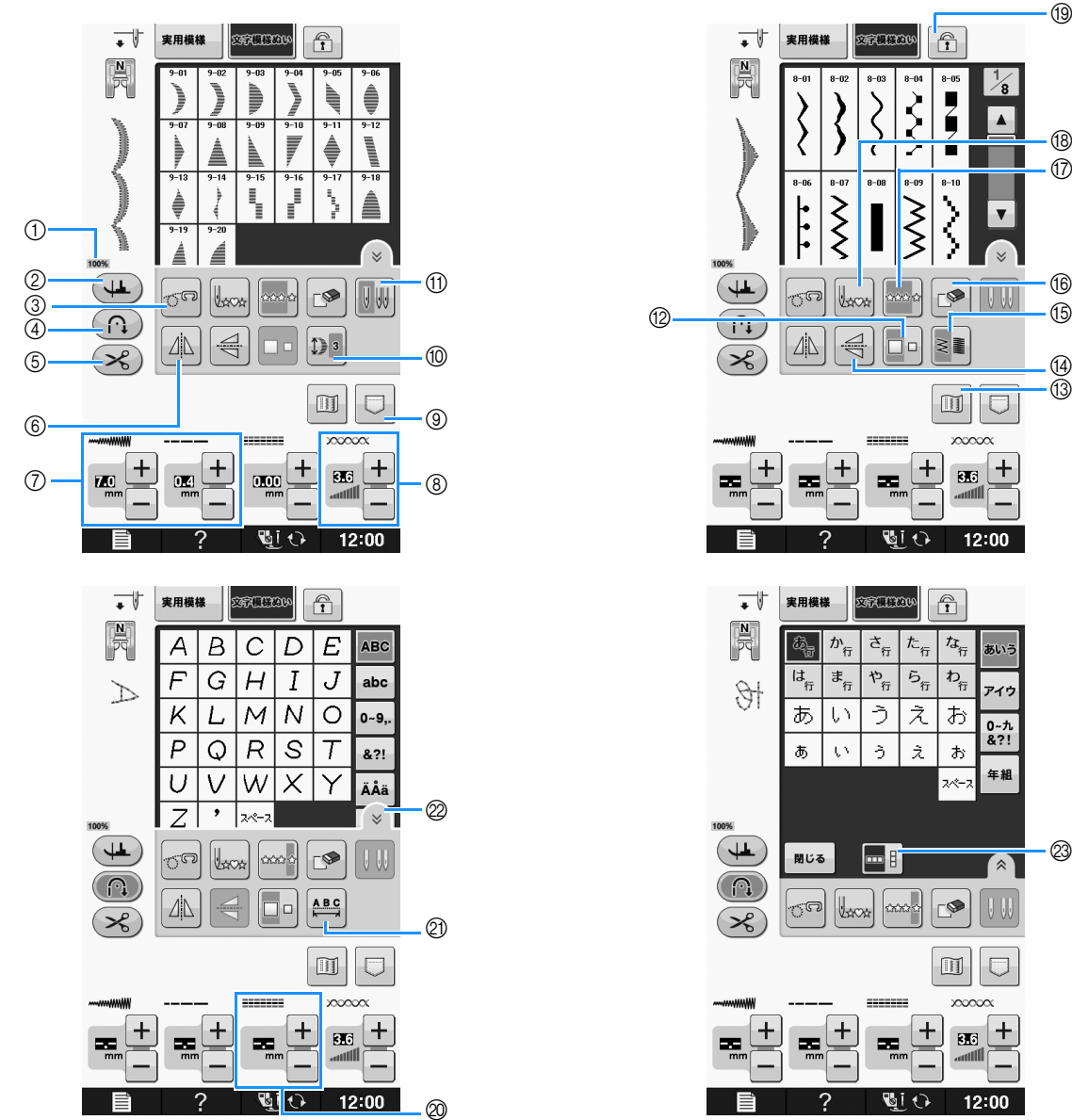
模様の編集のしかた

■ キーのはたらき

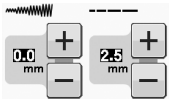
模様の編集機能を使って、模様の変えたり、模様を反転させることができます。

 お知らせ

- 模様の種類によっては、編集機能が使えないものもあります。使用できる機能は、模様を選んだときに表示されます。



No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
①	100%	表示サイズ	選択した模様が実際と比べてどのくらいのサイズで表示されているかを、大まかな数値で表示しています。 100% ：実際とほぼ同じサイズで表示されています。 50% ：実際の半分のサイズで表示されています。 25% ：実際の1/4のサイズで表示されています。 * 実際の模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異なります。	S-21

No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
②		ピボットキー	ピボット設定にするとときに押します。ピボット設定にしている間は、ミシンを停止したとき、針が下がり、押えは少し上がった状態になります。さらに、再度ぬい始めると、自動で押えが下がります。 - このキーが灰色 () で表示されているときは、ピボット設定は使用できません。 - 設定画面の「針位置 - 上/下」は、下に設定してください。	S-15
③		フリーモーションモードキー	フリーモーションモードに設定するとときに押します。送り歯が下がり、押えがフリーモーションキルトに適した高さまで上がります。 フリーモーションモードを使用するためには、別売の押え（オープントゥキルト押え<O>、フリーモーションキルト押え<C>、またはエコキルト押え<E>）が必要です。	S-40
④		自動止めぬいキー	自動止めぬい機能を有効にするときに押します。	S-6
⑤		自動糸切りキー	自動糸切り機能を有効にするときに押します。	S-14
⑥		左右反転キー	模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します。	S-86
⑦		ぬい目調節キー	選択した模様の振り幅とぬい目の長さを示します。通常は自動的に標準の値が設定されています。	S-10 ~ S-12
⑧		糸調子キー	選択された模様の糸調整を示します。通常は自動的に標準の値が設定されています。	S-12
⑨		記憶キー	組み合わせた模様を記憶することができます。	S-95 ~ S-96
⑩		模様の長さキー	7mm サテンステッチの模様を選んでから押すと、ジグザグの振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを5段階から選ぶことができます。	S-86
⑪		2本針キー	1本針と2本針の切り替えをします。	「基本機能編」
⑫		大きさキー	模様を選んでから押すと、模様の大きさが変わります。(大/小)	S-86
⑬		イメージキー	大きな組み合わせ模様を確認するときに押します。	S-88
⑭		上下反転キー	模様を選んでから押すと、模様が上下に反転します。	S-86
⑮		糸密度キー	模様を選んでから押すと、模様の糸密度が変わります。	S-87
⑯		削除キー	間違えて模様を選んだときに押すと、選んだ模様を取り消します。模様の組み合わせを間違えた場合も、このキーを使って模様を取り消します。	S-78, S-79
⑰		連続/単独ぬいキー	単独ぬいと連続ぬいの切り替えをします。	S-86
⑱		模様の頭出しキー	停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	S-87
⑲		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。画面をロックすると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック（固定）されます。もう一度押すと、解除されます。	S-18
⑳		L/R シフトキー	 を押すとぬい模様が右へずれ、  を押すと左へずれます。選択している模様によっては、この機能が使用できません。模様ごとの購入時の設定値は、反転表示されます。	S-11
㉑		文字間隔キー	文字模様の文字間隔を調整できます。	S-80
㉒		機能ページキー	操作可能なキーを全て表示したいときに押します。	S-80
㉓		よこたてキー	日本語の文字を選んでから押すと、横書き/縦書きが切り替わります。	S-87

模様の大きさを変える

模様を選んでから  を押し、模様の大きさを変えます。反転表示されている大きさで模様ぬいが行われます。

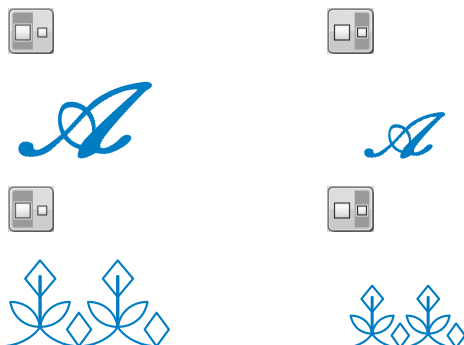


お知らせ

- 続けて別の模様を選んだ場合も、模様の大きさは変わりません。
- 文字や模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。

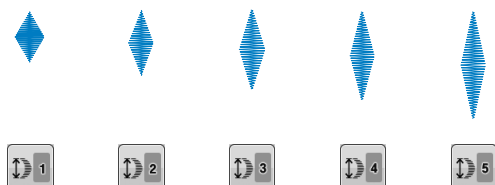
実物大

- * 模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異なります。



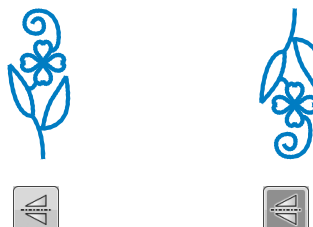
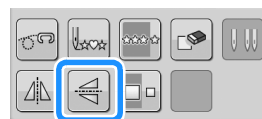
模様の長さを変える（7mm サテンステッチのみ）

7mm サテンステッチの模様を選んだ後、 を押し、ジグザグの振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを 5 種類から選べます。



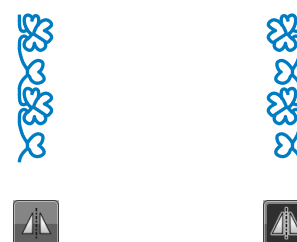
模様を上下反転させる

上下反転した模様を作るときは、模様を選んでから  を押します。



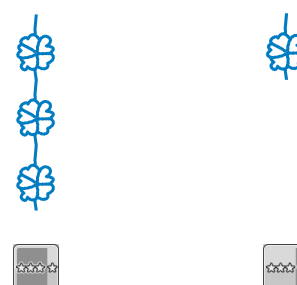
模様を左右反転させる

左右反転した模様を作るときは、模様を選んでから  を押します。



模様の連続ぬい / 単独ぬい

 を押して、連続ぬい／単独ぬいを切り替えます。

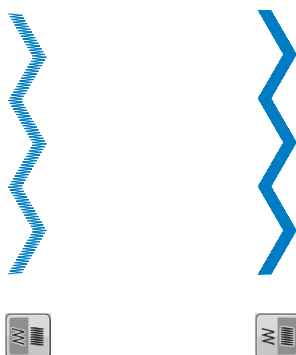


お知らせ

- ぬっている途中でを押すと、そのときぬっていた模様を1サイクル分ぬって自動的に止まります。

模様の糸密度を変える（大型サテンステッチのみ）

模様を選んでからを押して、お好みの糸密度を選びます。



⚠ 注意

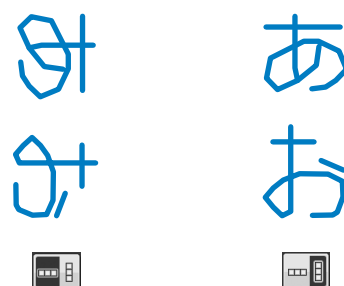
- 糸密度をに変えた後、ぬい目が詰まる場合は、糸密度をに戻してください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

お知らせ

- 糸密度を変えた後で新しい模様を選んで、糸密度の設定を変えるまで糸密度は変わりません。
- 模様を組み合わせた後で、まとめて糸密度を変えることはできません。

横書き／縦書きを切り替える

を押すと、日本語の文字（ひらがな／カタカナ／漢字）の横書き／縦書きが切り替わります。



模様の始めに戻る

文字・飾り模様の場合、試しぬいの後、または模様が正しくぬわれていないときには模様の始めに戻ることができます。

- 1 （スタート／ストップスイッチ）を押して、ミシンを止めてから、を押します。



→ ミシンを止めた位置から、選択された模様のぬい始めの位置（上の例では、「W」）に戻ります。

お知らせ

- ミシンの停止中に、模様の頭出しキーを押したあと、模様のキーを押した場合は、組み合わせ模様の最後に模様が追加されます。(下の例では、「!」が追加されています。)



- 2 (スタート/ストップスイッチ) を押して、続行します。

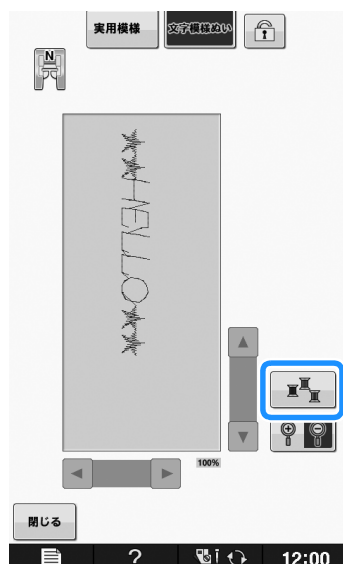
模様のイメージを確認する

選択した模様のイメージを実寸で表示することができます。イメージの色を画面で確認し、変更することもできます。

- 1 [イメージ] を押します。

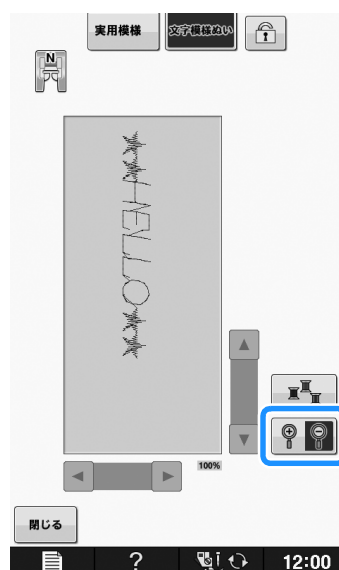
→ 選択した模様のイメージが表示されます。

- 2 [色] を押すと、糸の色が変わります。

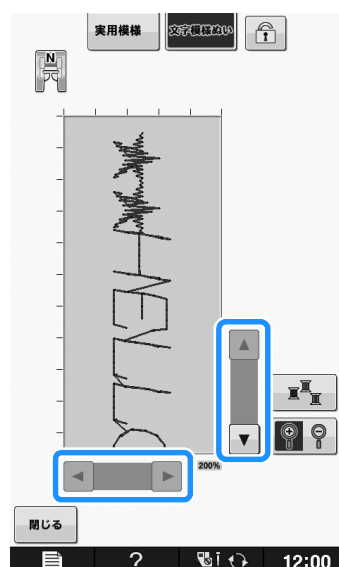


→ このスイッチを押すたびに赤、青、黒と色が変わります。

- 3 [拡大] を押すとイメージが拡大します。



- 4 表示エリアからはみ出している部分を見るには、[上] [下] [左] [右] を押します。



- 5 [閉じる] を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 押え記号が表示されているときは、この画面から文字・模様ぬいを行うこともできます。
- 選択した模様によっては、表示サイズを変更できない場合があります。

模様の組み合わせ

文字、サテステッチ、クロスステッチ、マイイラスト機能を使って作った模様（S-102の「マイイラスト機能」参照）など模様を組み合わせると使い方が広がります。ちがう種類の模様を組み合わせたり、大きさを変えて組み合わせたり、反転模様を組み合わせたり、いろいろな組み合わせを楽しんでください。

模様の組み合わせをする前に

模様は組み合わせをすると自動的に単独ぬいになります。組み合わせた模様を連続ぬいにしたい場合は、模様を組み合わせた後、を押してください。

模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えたり、反転させたりすることはできません。大きさを変えたり、反転させたりしたい場合は、1模様ごとに設定をして組み合わせてください。

ちがう模様を組み合わせる

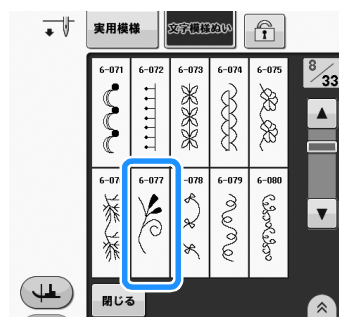
例：



1 を押します。



2 を選びます。



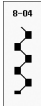
3 を押します。

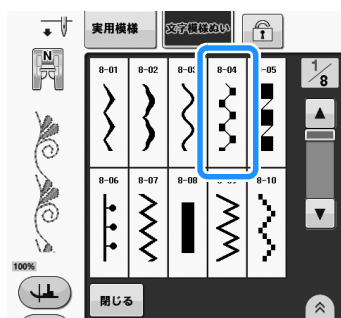


→ 模様の種類を選択する画面に戻ります。

4 を押します。

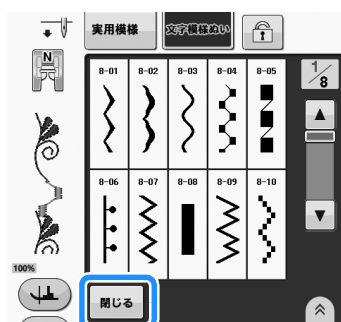


5  を選びます。



6 連続ぬいにしたいときは、 を押します。

7  を押します。



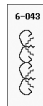
お知らせ

- 模様を取り消したいときは、 を押すと最後に選んだ模様から1つずつ順番に取り消されます。

大きさを変えた模様を組み合わせる

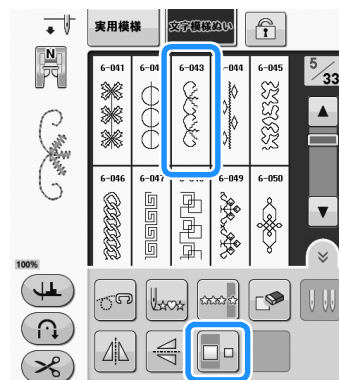
例：



1  を選びます。

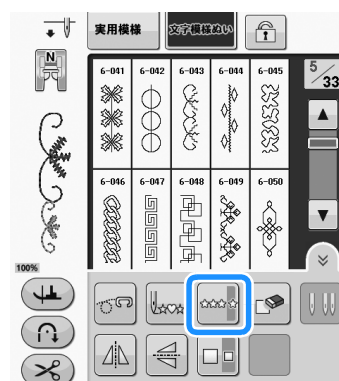
→ 模様が大きく表示されます。

2 もう一度  を選び、 を押します。



→ 模様が小さく表示されます。

3 連続ぬいにしたいときは、 を押します。

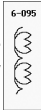


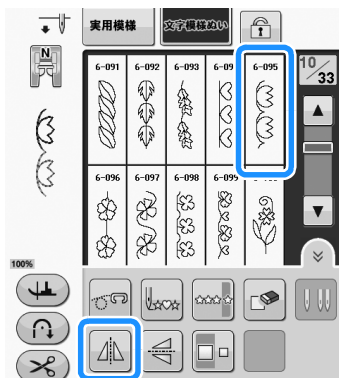
→ 模様が連続表示に変わります。

反転模様を組み合わせる

例：

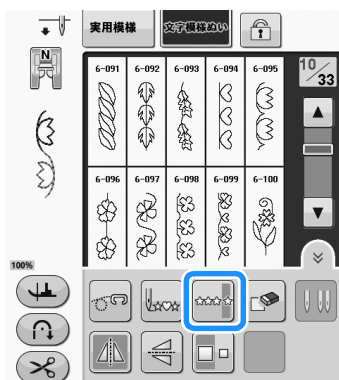


- 1  を選びます。
- 2 もう一度  を選び、 を押します。



→ 模様が左右反転します。

- 3  を押します。



→ 模様が連続表示に変わります。

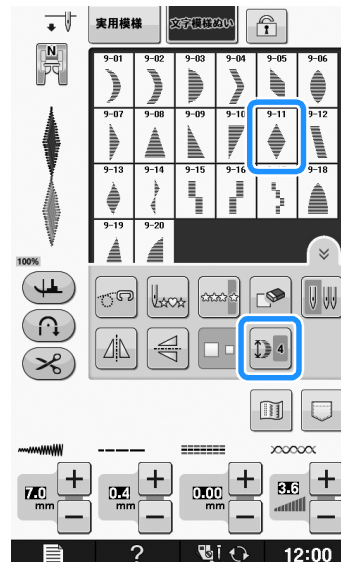
長さを変えた模様を組み合わせる

例：



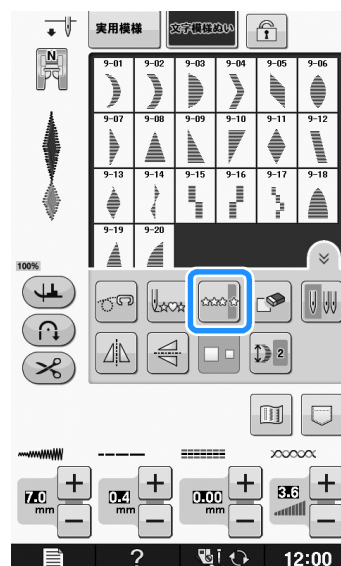
- 1  を選び、 を 1 回押します。
→ 模様の長さが  に設定されます。

- 2 もう一度  を選び、 を 3 回押します。



→ 模様の長さが  に設定されます。

- 3  を押します。



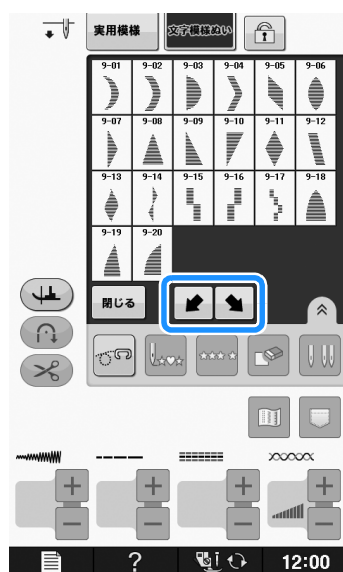
→ 模様が連続表示に変わります。

ステップ模様を作る（7mm サテンステッチのみ）

模様の位置がステップ状になった模様を、ステップ模様といいます。

7mm サテンステッチでは、  を使ってステップ模様を作ることができます。

- *  を 1 回押すと、模様の幅の半分の長さ分、左に移動します。
- *  を 1 回押すと、模様の幅の半分の長さ分、右に移動します。



例：



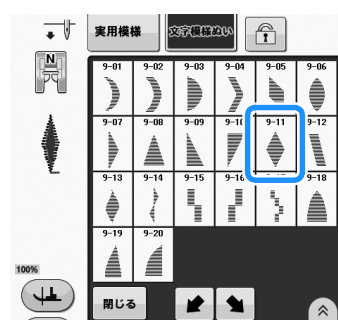
1  を選びます。

2  を押します。



→ 次の模様が右に移動します。

3  をもう一度選びます。

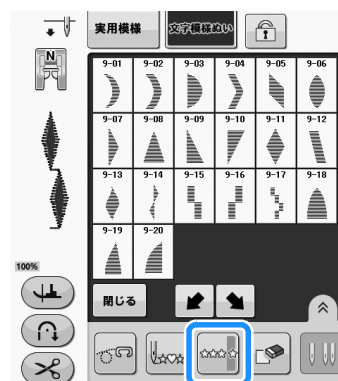


4  を押します。



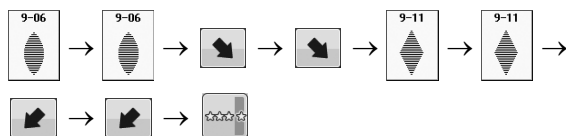
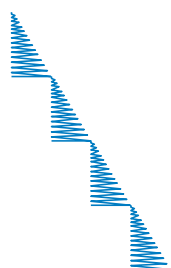
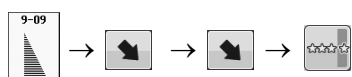
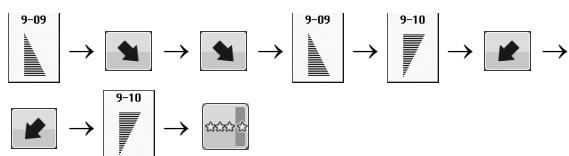
→ 次の模様が左に移動します。

5  を押します。



→ 模様が連続表示に変わります。

■ その他の組み合わせ例



模様の記憶

データに関する注意

このミシンで作成・記憶した以外のデータを扱うときは、以下の点に注意してください。

■ 使用可能なデータの種類

- 本機では、拡張子が「.pmv」「.pmx」「.pmu」のファイルを読み込むことができます。
「.pmx」「.pmu」ファイルは読み込むことはできますが、本機で保存しなおしたときは「.pmv」ファイルとして保存されます。当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。

■ 使用可能な USB デバイス／メディア

模様データは、USB メディアに記憶し、呼び出すことができます。次の仕様を満たすメディアを使用してください。

- USB フロッピーディスクドライブ
- USB フラッシュドライブ (USB フラッシュメモリー)

呼び出しのみが可能な模様データ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ

次の USB メディアを USB メモリーカードリーダー／ライターとともに使うこともできます。

- SD メモリーカード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード (MMC)
- XD ピクチャーカード

💡 お願い

- 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、弊社サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://s.brother/cpfae/>) をご覧ください。
- USB デバイス／メディアの挿入後、アクセスランプが点滅を始めます。デバイス／メディアの認識に、5 ～ 6 秒かかります。(この時間は USB デバイス／メディアによって異なります)。
- フォルダーを作成する場合は、パソコンを使用してください。

■ ミシンに接続可能なパソコンの種類と OS

- 対応機種：
USB ポートコネクタ標準装備の IBM-PC またはその互換機
- 対応 OS:
Microsoft Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8

■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意

- データのファイル名は半角英数字を使用してください。他の文字を使用すると、模様が表示されないことがあります。
- USB デバイス／メディア内に作成されたフォルダーに格納された模様データは本機で読み込むことができます。
- リムーバブルディスクにはフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成し、フォルダー内にデータを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。

模様を記憶する

自分の名前など、よく使う名前や言葉、組み合わせ模様を、ミシンのメモリーに記憶させることができます。メモリーに記憶させることができる模様は、511KB までです。

お願い

- 「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ

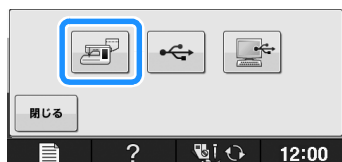
- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した文字・模様を呼び出すときは、S-98を参照してください。

1 を押します。



2 を押します。

- * を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



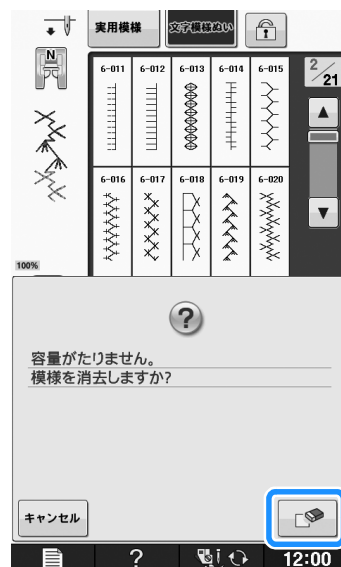
→「記憶中」のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

記憶できないときは

模様をメモリーに記憶させようとしたときに下の画面が表示されたときは、メモリーの容量が不足し、模様を記憶できません。模様をメモリーに保存するには、すでに保存されている模様を削除する必要があります。

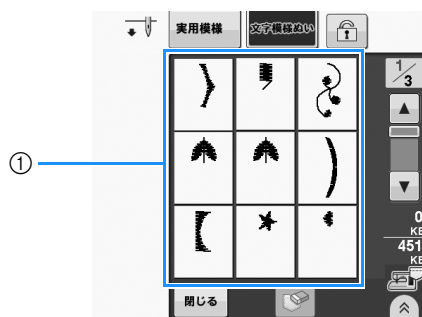
1 を押します。

- * を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



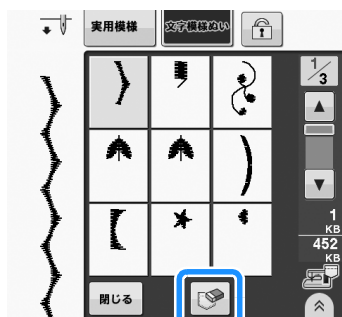
2 消去する模様を選びます。

- * 模様を消去しない場合は を押します。



① 記憶された模様の入っているポケット

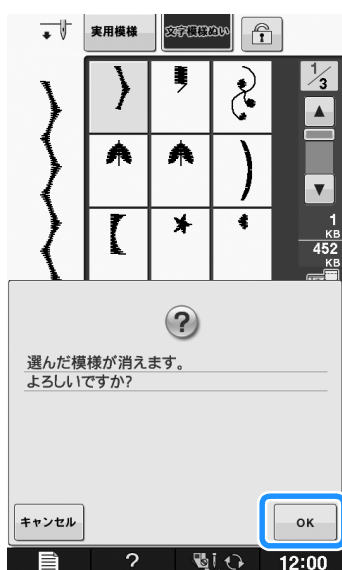
3 を押します。



→ 確認のメッセージが表示されます。

4 を押します。

* 消去したくない場合は、 を押します。



→ 選んだ模様が消去され、新しい模様が記憶されます。

模様を市販の USB メディアに記憶する

模様をマシンから USB メディアに送るときには、USB メディアのプラグをマシンの USB ポートコネクタに差し込みます。

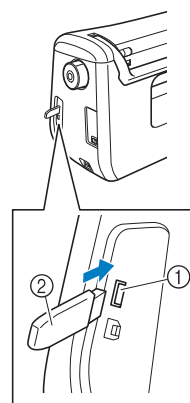
お知らせ

- 一部の USB メディアは、このマシンで使用できない場合があります。
詳細は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
(<http://s.brother/cpfae/>) をご覧ください。
- USB メディアの種類によって、マシンの USB ポートコネクタに直接差し込むか、マシンの USB ポートコネクタに USB カードライター／リーダーを差し込みます。
- USB メディアは、データの記録中や削除中以外は、いつでも挿入、取り外しができます。

1 を押します。



2 USBメディアをマシンのUSBポートコネクタに差し込みます。



- ① メディア／マウス用の USB ポートコネクタ
- ② USB メディア

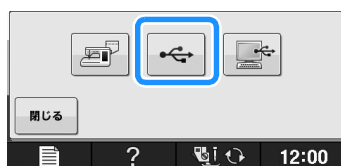
お知らせ

- 保存する模様のサイズによって、保存にかかる時間は異なります。

3

を押します。

* 閉じるを押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→ 「記憶中」のメッセージ画面が表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

💡 お願い

- 「記憶中」のメッセージ画面が表示されている間は、USB メディアを抜き差ししないでください。記憶中の模様が欠損あるいは、消去されることがあります。

模様をパソコンに記憶する

付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続できます。模様をパソコンのリムーバブルディスクに保存したり読み込んだり、呼び出すことができます。合計で約 772KB の模様をパソコンのリムーバブルディスクに保存することができますが、いったん保存した模様はパソコン内に残らず、ミシンの電源を切ったときに消去されます。

接続できるパソコンについては、S-94 の「ミシンに接続可能なパソコンの種類と OS」を参照してください。

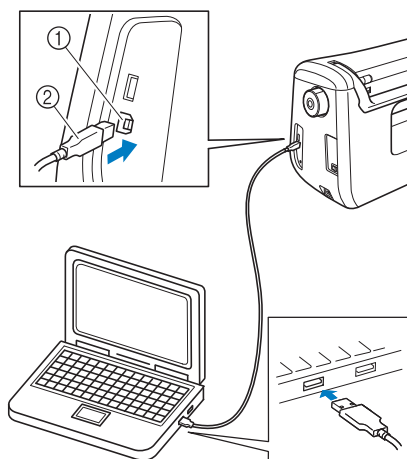
💡 お願い

- 「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶しようとしている模様データが消えるおそれがあります。

1 ミシンとパソコンのUSBポートコネクタにUSB ケーブルを差し込みます。

2 パソコンの電源を入れて、「コンピュータ (マイ コンピュータ)」を選択してください。

* パソコンとミシンに電源が入っていないときでも、USB ケーブルでパソコンとミシンを接続できます。



① パソコン用 USB ポートコネクタ

② ケーブル

→ パソコンの「コンピュータ (マイ コンピュータ)」にリムーバブルディスクのアイコンが表示されます。

💡 お願い

- USB ケーブルは、差し込む向きが決まっています。うまく差し込めない場合は、無理に差し込まず、向きを確認してください。
- パソコンの USB ポートコネクタの位置については、ご使用のパソコンの説明書を参照してください。

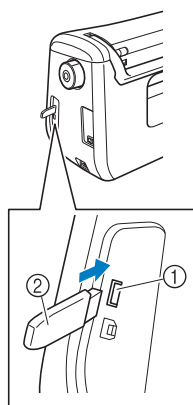
S
3

文字・模様ぬい

USB メディアから呼び出す

特定の模様を USB メディアから、または USB メディアのフォルダーから直接呼び出すことができます。模様がフォルダーに格納されている場合は、目的のファイルまで階層をたどります。

- 1 USBメディアをミシンのUSBポートコネクタに差し込みます。(S-96 参照)



- ① メディア／マウス用の USB ポートコネクタ
- ② USB メディア

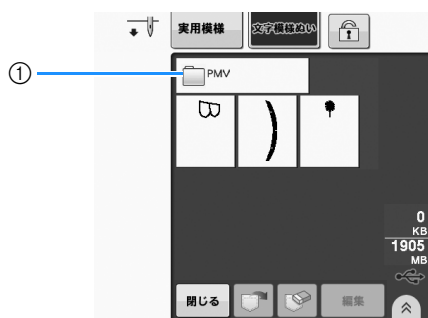
- 2  を押します。



→ USB メディアの内容が表示されます。

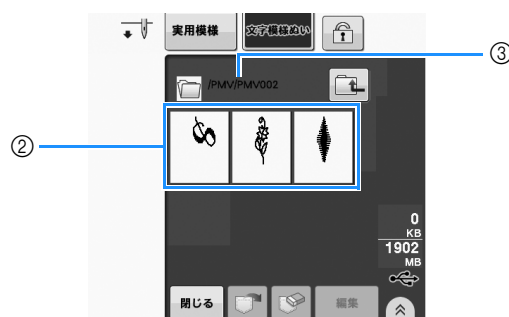
- 3 複数の模様を分類するためのサブフォルダーがある場合は、 を押します。

*  を押すと、呼び出さずに元の画面に戻ります。



→ 保存されている模様とサブフォルダーが表示されます。サブフォルダー内の模様を選択するには、

まず模様の入っているサブフォルダーを先に選択してください。



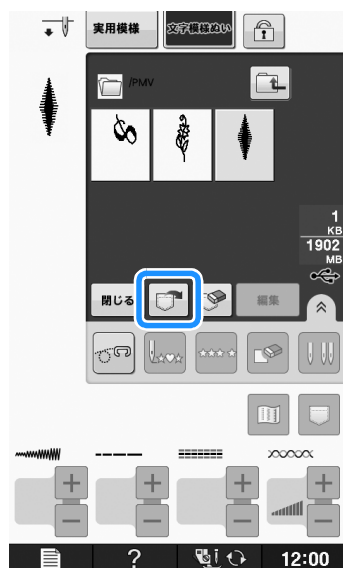
- ① フォルダー名
- ② 模様。組み合わせられた模様の場合は、1 つめの模様だけが表示されています。
- ③ パス

*  を押すと、前のフォルダーに戻ります。
* フォルダーは、パソコンで作成してください。ミシンでフォルダーを作成することはできません。

- 4 ぬいたい模様のキーを押して、呼び出します。

5 を押します。

- * を押すと、模様が消去されます。模様は、USB メディアから削除されます。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

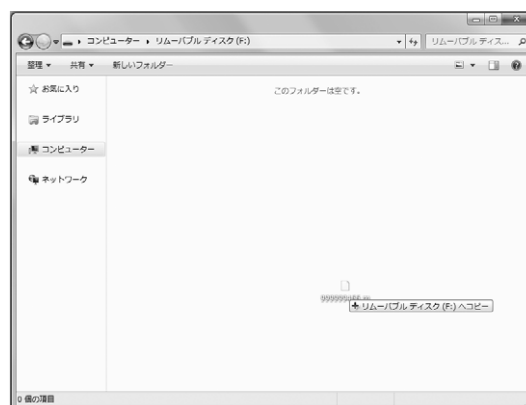
パソコンから呼び出す

接続できるパソコンについては、S-94 の「ミシンに接続可能なパソコンの種類と OS」を参照してください。

- 1 ミシンとパソコンのUSBポートコネクタに USB ケーブルを差し込みます。(S-97 参照)
- 2 パソコンで、「コンピュータ (マイ コンピュータ)」を開いて、「リムーバブルディスク」を選択します。



3 模様データを「リムーバブルディスク」に移動/コピーします。



→ 「リムーバブルディスク」内の模様データがミシンに書き込まれます。

❗お願い

- データ書き込み中は USB ケーブルを抜かないでください。
- 「リムーバブルディスク」にフォルダーを作成しないでください。フォルダーは表示されないため、フォルダー内の模様データを読み出すことができません。

4 を押します。



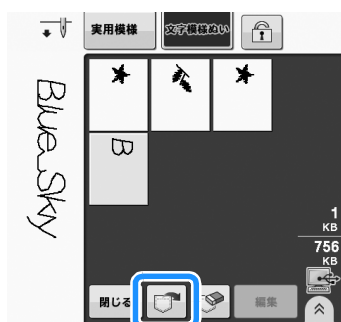
→ パソコンに記憶されている模様が表示されます。

5 ぬいたい模様のキーを押します。

- * を押すと、呼び出せずに元の画面に戻ります。

6 を押します。

* 模様を消去するときは、を押します。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

💡 **お願い**

- パソコンから呼び出した模様は、ミシンに一時的に書き込まれるだけで、電源スイッチを切ると消去されます。模様を残したい場合は、ミシンのメモリーに保存してください。
(S-95 の「模様を記憶する」参照)

第 4 章

マイイラスト機能

イラストデザイン 103

イラストの入力 105

- キーのはたらき105
- ポイントの移動107
- イラストの移動108
- 新しいポイントの挿入109

マイイラストの記憶 110

マイイラストをリストに保存する110

- 記憶できないときは110
- 保存した模様を呼び出す111

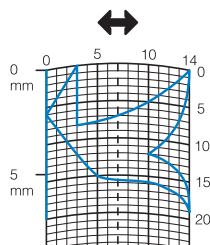
イラストデザイン

マイイラスト機能を使用して、オリジナルの模様を登録できます。マイイラスト機能で作成したデザインと他の模様を組み合わせたデザインをぬうこともできます。(S-89 参照)

お知らせ

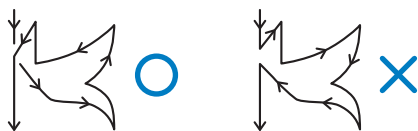
- マイイラスト機能を使用して作成できる模様
の大きさは、最大 7mm (幅) × 37mm (長さ)
です。
- 最初に、付属のマイイラスト用紙に模様を描
くと、マイイラスト機能を使用して、より簡
単に模様をデザインすることができます。

1 マイイラスト用紙に模様のデザインを描き ます。



お知らせ

- 模様を閉じるように線を交差させると、より
きれいに仕上がります。

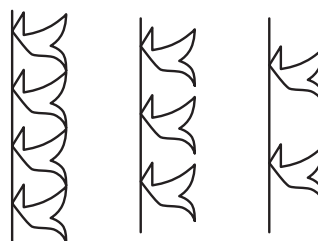
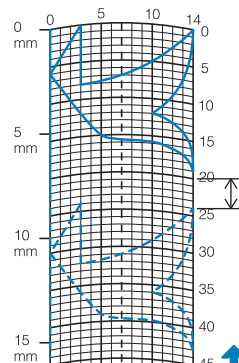


一筆書きの要領で、線の始めと終わりの高さ
が同じになるように描きます。

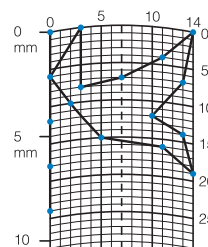


2 模様が繰り返される間隔を決めます。

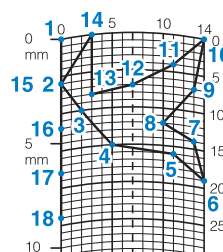
- * 模様の間隔を調節すると、1つの模様でさまざま
な模様を作ることができます。



3 目盛りと交差する点を直線で結びます。



4 ぬい順を決めます。



作品例

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↕	0	12	18	22	23	21	17	14	12	9	6	3	1	3	6
	↔	0	0	3	6	10	13	14	13	11	13	14	13	10	6	3
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↕	12	41	43	40	41	38	35	32	30	32	35	41	45	47	44
	↔	0	0	4	7	11	13	14	13	10	6	3	0	0	4	7
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↕	45	47	50	54	56	55	51	45	70						
	↔	11	13	14	13	10	6	3	0	0						

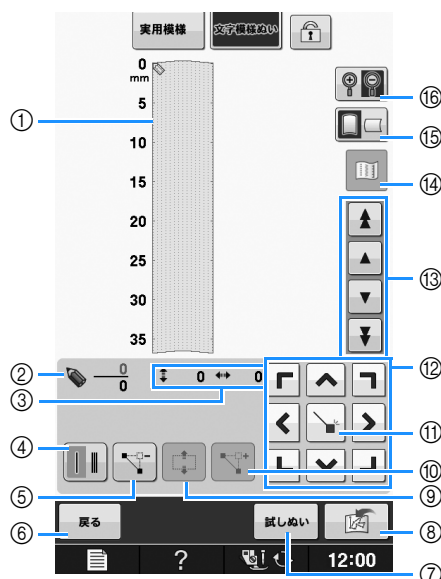
	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↕	0	30	32	32	32	33	35	35	37	35	32	30	30	29	26
	↔	0	0	1	7	10	12	11	8	12	14	14	11	5	3	8
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↕	24	18	13	12	13	10	12	8	12	7	12	6	10	5	10
	↔	10	13	14	14	12	11	10	9	8	6	6	3	2	0	2
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↕	16	19	23	22	17	22	23	19	42						
	↔	1	0	0	6	10	6	0	0	0						

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↕	0	3	5	8	12	17	20	24	27	29	31	32	30	27	24
	↔	0	5	8	11	13	14	14	13	12	11	9	6	3	1	0
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↕	21	18	16	15	15	16	18	21	25	28	33	37	41	43	44
	↔	0	1	3	5	8	10	12	13	14	14	13	11	8	5	0
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↕															
	↔															

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	↕	0	5	4	5	8	7	8	11	11	11	16	11	7	4	0
	↔	7	7	3	7	7	0	7	7	3	7	7	3	0	3	7
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	↕	4	7	11	16	21	20	21	24	23	24	27	27	27	32	27
	↔	11	14	11	7	7	11	7	7	14	7	7	11	7	7	11
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	↕	23	20	16	20	23	27	32								
	↔	14	11	7	3	0	3	7								

イラストの入力

■ キーのはたらき



- ① ここに作成中の模様が表示されます。
- ② 模様のポイントの総数の上に、現在セットされているポイントの数を表示します。
- ③ の座標を表示します。

No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
④		1 重ぬい／3 重ぬいキー	2つのポイントの間で1針ぬうか、3針ぬうかを選ぶことができます。	S-106
⑤		ポイント削除キー	選んだポイントを削除することができます。	S-107
⑥		戻るキー	模様データの入力画面が終了します。	—
⑦		試しぬいキー	模様の試しぬいができます。	S-107、S-110
⑧		記憶キー	作成中の模様を記憶することができます。	S-110
⑨		ブロック移動キー	ポイントをグループにまとめて、いっしょに移動することができます。	S-108
⑩		ポイント挿入キー	模様のデザインに新しいポイントを挿入することができます。	S-109
⑪		セットキー	模様のデザイン上で、指定した座標にポイントをセットすることができます。	S-106 ～ S-108
⑫		矢印キー	表示領域で を移動します。	S-106 ～ S-109
⑬		ポイント移動キー	を模様の上でポイントからポイントに移動したり、最初に入力されたポイントや最後に入力されたポイントに移動することができます。	S-107 ～ S-109
⑭		イメージキー	模様のイメージを表示することができます。	S-107
⑮		グリッド方向キー	マイイラスト用紙の方向を変えることができます。	S-106
⑯		拡大キー	作成中の模様を拡大して表示することができます。	S-106

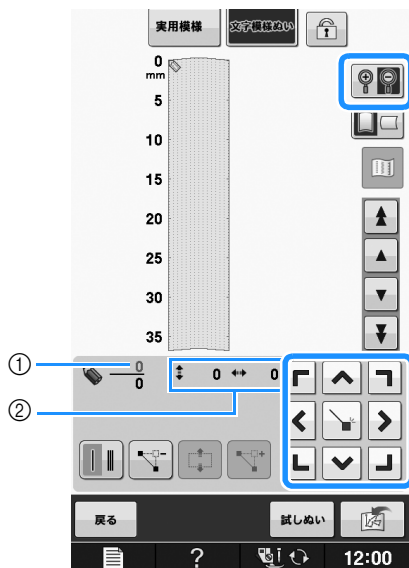
1 を押します。

2 を押します。



3 を使って、をマイイラスト用紙の最初のポイントの座標に移動します。

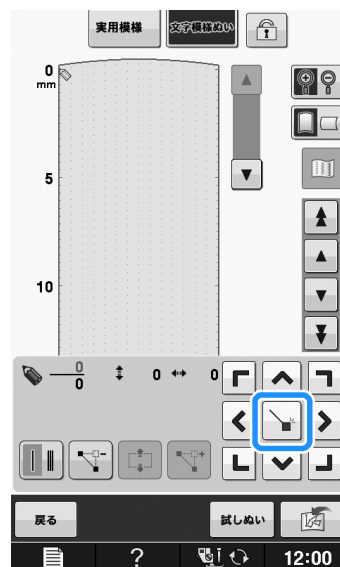
- * を押すと、マイイラスト用紙の方向を変えることができます。
- * を押すと、作成中の模様のイメージを拡大します。



- ① 現在選択されているポイント／ポイントの総数
② の座標

4 を押して、が示すポイントを追加します。

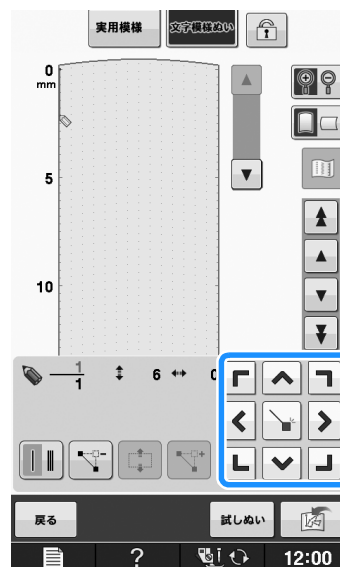
- * タッチペンでポイントを挿入するには、タッチペンの先を目標の位置に移動します。画面のポイントからペンを離すと、ペンを離れた位置に、ポイントが入力されます。



5 最初の2つのポイント間で1針ぬうか、3針ぬうかを選びます。

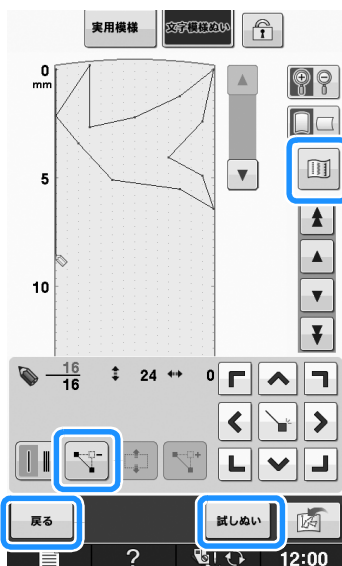
- * 3針ぬうには、を押します。

6 を使ってを2つ目のポイントに移動し、を押します。



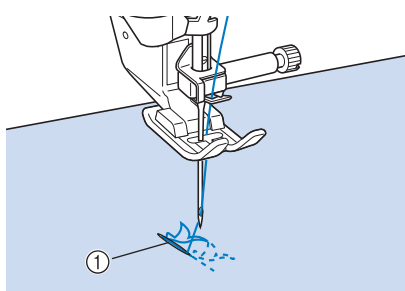
7 マイイラスト用紙にデザインしたとおりになるまで、上記の手順を繰り返します。

- * 入力したポイントを削除するには、を押します。
- * 模様の試しぬいをするには、を押します。
- * 元の画面に戻るには、を押します。
- * 模様のイメージを表示するには、を押します。



お知らせ

- 入力したポイントが近すぎる場合、布地が正しく送られないことがあります。その場合模様データを編集して、ポイントの間隔を広げます。
- 模様のデザインを繰り返してつなげる場合は、模様のデザインが重ならないように注意して模様を追加してください。



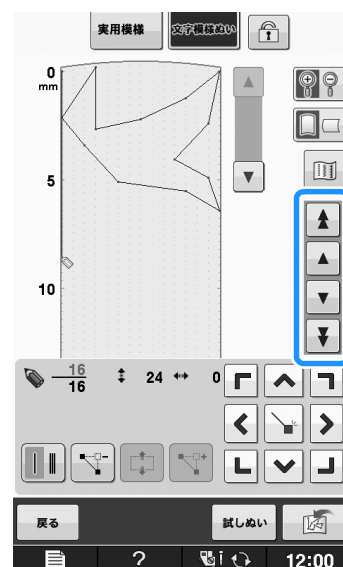
① 連結する模様

- ポイント入力するには、マイイラスト用紙上を指でタッチするか、USB マウスを接続して使用することもできます。

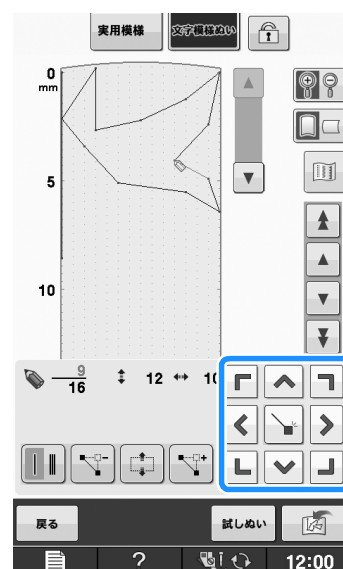
■ ポイントの移動

1 または を押して、 を移動したいポイントに移動します。

- *  を最初のポイントに移動するには、 を押します。
- *  を最後のポイントに移動するには、 を押します。



2 を使って、ポイントを移動します。

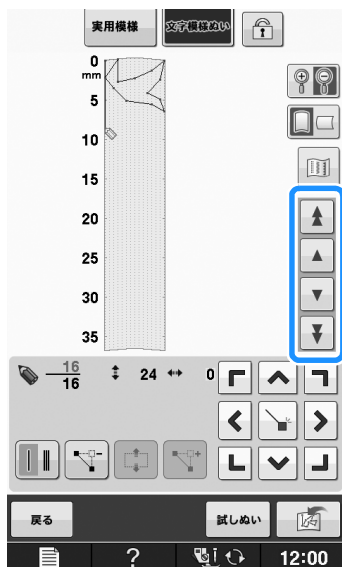


- * タッチペンを使って、 を移動することもできます。

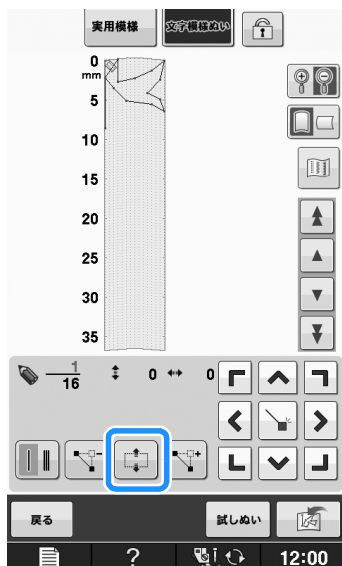
■ イラストの移動

- 1 ▲ または ▼ を押して、✎ を移動したいイラスト部分の最初のポイントに移動します。

- * ✎ を最初のポイントに移動するには、▲ を押します。
- * ✎ を最後のポイントに移動するには、▼ を押します。

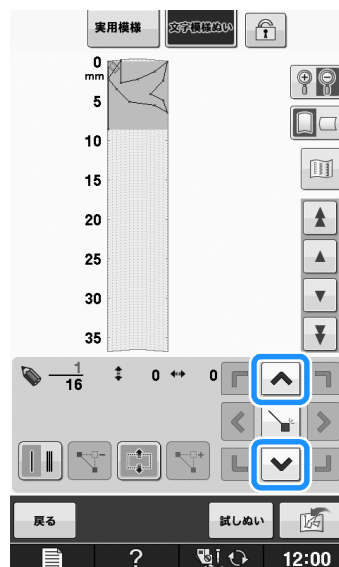


- 2 □ を押します。

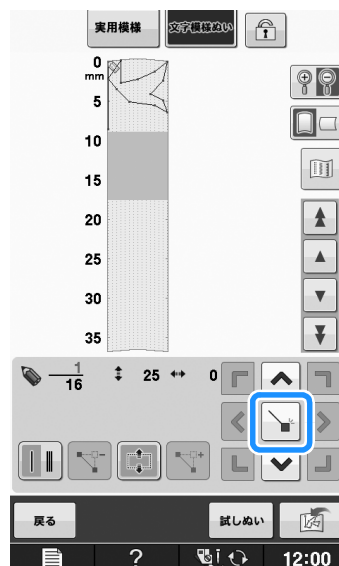


→ 選んだポイントと、その後で入力したすべてのポイントが選択されています。

- 3 ▲ または ▼ を押して、選択されたポイントすべてを移動します。



- 4 ✎ を押します。

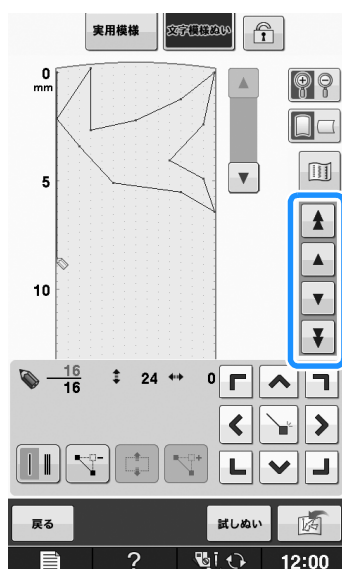


→ 選択したイラストの部分が移動します。

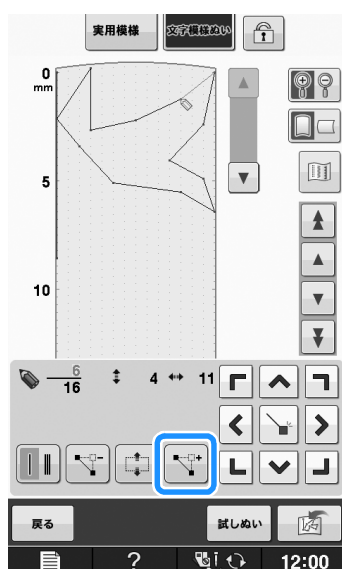
■ 新しいポイントの挿入

- 1 ▲ または ▼ を押して、新しいポイントを追加したい場所に ④ を移動します。

- * ④ を最初のポイントに移動するには、▲ を押します。
- * ④ を最後のポイントに移動するには、▼ を押します。

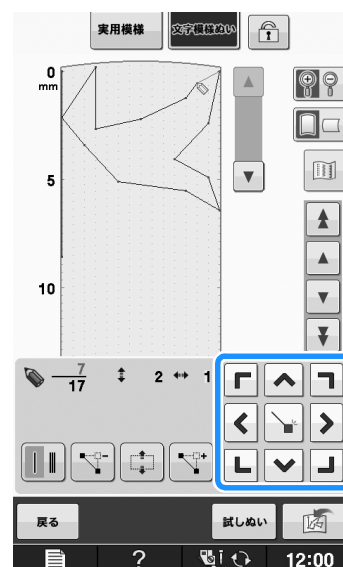


- 2 ⑤ を押します。



→ 新しいポイントが挿入され、④ が新しいポイントに移動します。

- 3 ⑥ を使って、ポイントを移動します。



- * タッチペンを使って、④ を移動することもできます。

S
4

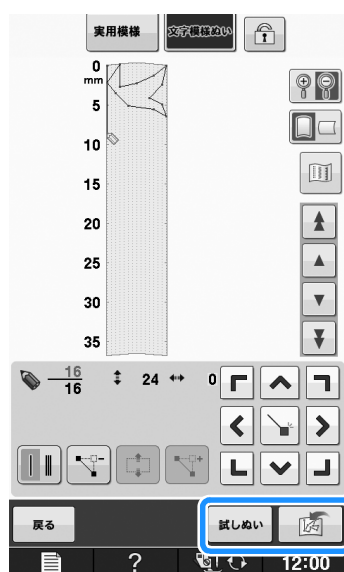
スライズ機能

マイイラストの記憶

マイイラストをリストに保存する

マイイラスト機能を使って作成した模様は、保存して、後で使うことができます。模様データの入力が終わったら、を押します。「記憶中」のメッセージが表示され、模様が保存されます。

模様を保存する前に、を押して、試しぬいをすることもできます。



お知らせ

- 模様の保存には数秒かかります。
- 保存した模様の呼び出しについては、S-111を参照してください。

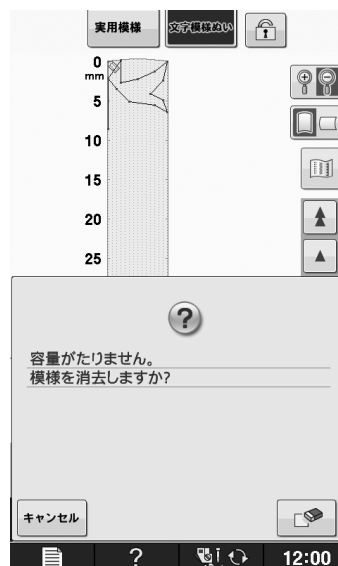
お願い

- 「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

■ 記憶できないときは



を押した後で次のメッセージが表示される場合は、ミシンのメモリー容量がいっぱいであるか、保存する模様が大きすぎて、メモリーの容量が足りないために模様を保存できません。ミシンのメモリーに模様を保存するには、以前に保存した模様を消去する必要があります。



お願い

- マイイラスト機能を使って作成した模様を、USB メディアまたはパソコンに保存することもできます。S-96 の「模様を市販の USB メディアに記憶する」または S-97 の「模様をパソコンに記憶する」を参照してください。

保存した模様を呼び出す

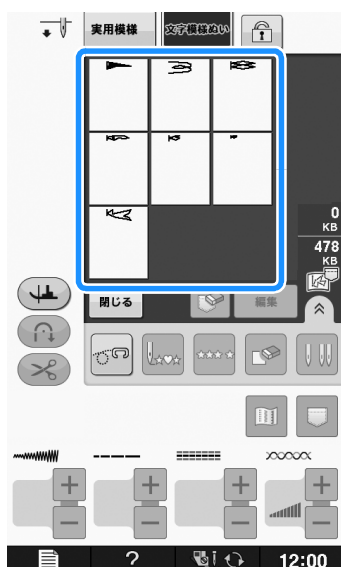
1  を押します。



→ 保存されている模様のリストが表示されます。

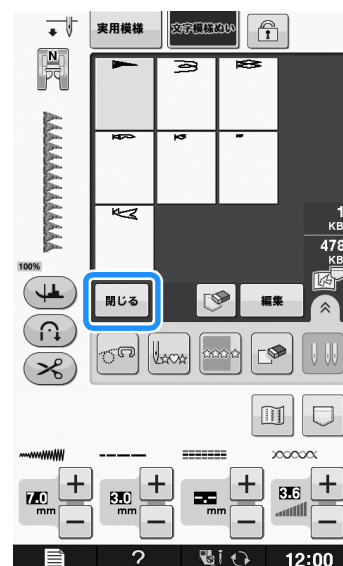
2 模様を選びます。

* 模様を呼び出さずに元の画面に戻るには、 を押します。



3  を押します。

- * 保存した模様を削除するには、 を押します。
- * 保存した模様を編集するには、 を押します。





付録

ここでは、困ったときのヒントや、本機を長くお使いいただくためのお手入れ方法を紹介しています。また、ボビンワークのぬいかたについても紹介します。
ページ数は、「A」の記号で始まります。

第1章 ボビンワークでぬってみましょうA-2

第2章 お手入れ／困ったときにはA-14

第 1 章

ボビンワークでぬってみましょう

ボビンワークとは.....	3
---------------	---

ボビンワークの準備	3
-----------------	---

準備するもの	3
--------------	---

■ 内かま（別売）と針板ふた	3
----------------------	---

■ 下糸	4
------------	---

■ 上糸	4
------------	---

■ 針	4
-----------	---

■ 押え	4
------------	---

■ 布地	4
------------	---

上糸を通す	4
-------------	---

下糸の準備	5
-------------	---

■ 下糸にテンションをかける場合	6
------------------------	---

■ 下糸テンションフリーにする場合	7
-------------------------	---

ボビンワークでぬう	9
-----------------	---

布地を準備してぬう	9
-----------------	---

■ 糸の始末をする	11
-----------------	----

ボビンワークをフリーモーションでぬう	11
--------------------------	----

糸調子进行调整する	12
-----------------	----

■ 上糸の糸調子を調整する	12
---------------------	----

■ 下糸の糸調子を調整する	12
---------------------	----

困ったときは.....	13
-------------	----

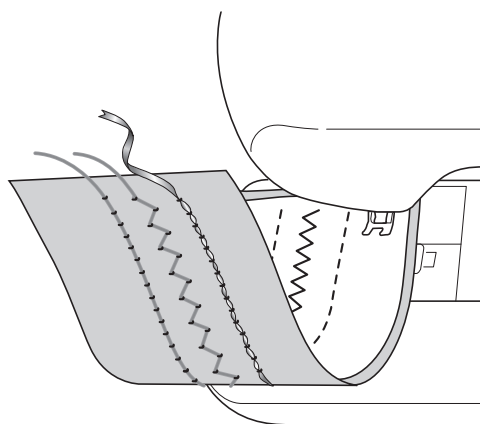
■ 誤ってミシンの自動糸切り機能で糸を切り、 下糸がミシンに引っかかった	13
---	----

■ ボビンワークの糸調子をなおす	13
------------------------	----

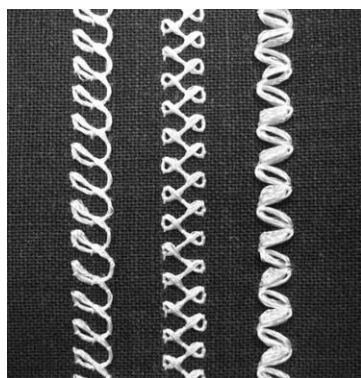
■ 内かまの板ばねに下糸が引っかかる	13
--------------------------	----

ボビンワークとは

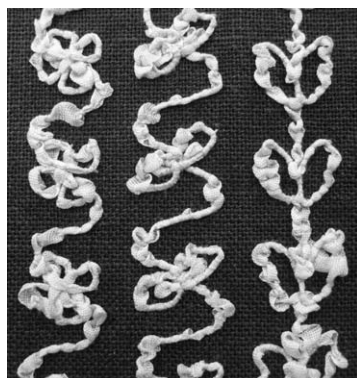
針穴に通すことができない太い糸やリボンをボビンに巻いて、布の裏側を上にしてぬうことにより、布の表側に立体感のあるぬい目を作ります。



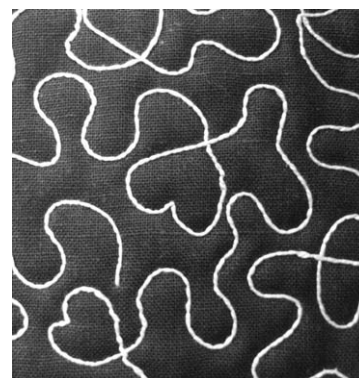
1. 実用ぬい



2. 飾りぬい



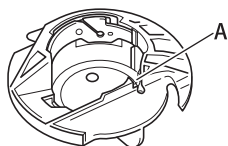
3. フリーモーション



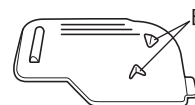
ボビンワークの準備

準備するもの

■ 内かま（別売）と針板ふた



- ① 内かま（灰色）
A で示した場所に、ミゾがあります。



- ① 針板ふた
裏側に、B で示した V 型の突起（タブ）が 2 つあります。縫製中、浮き上がりやすいため、針板ふたの突起がボビンを押さえつけて、浮き上がりを防ぎます。

■ 下糸

ポピンワークには、以下のような糸の使用を推奨します。



刺しゅう用手ぬい糸 5 番
または、それより細い糸および飾り糸



やわらかく、織りのあるリボン



薄い刺しゅう用リボン（シルク、シルクのような素材）（3.5mm 以下推奨）

※ 幅広のリボンや太い糸を使用する場合は、下糸にテンションをかけるぬい方とテンションフリーのぬい方のどちらがきれいにぬえるか、試しぬいをしてからぬい方を選んでください。3.5mm くらいの幅広のリボンを使用する場合は、下糸テンションフリーを推奨します。詳しくは、A-7 を参照してください。

💡 お願い

- 5 番より太い刺しゅう糸は使用しないでください。
- ポピンワークに適さない糸もあります。実際の布地と糸を使用して試しぬいをしてください。

■ 上糸

ミシン刺しゅう糸（ポリエステル系）、ナイロン透明糸

上糸をめだたせたくない場合は、下糸と同系色のミシン刺しゅう糸（ポリエステル系、50 番より大きな数字）かナイロン透明糸を推奨します。

■ 針

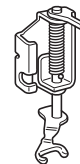
上糸・布に応じて、適した針を使用します。詳しくは、B-52 の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。

■ 押え

実用ぬい、飾りぬい：
模様ぬい押え <N>



フリーモーション：
オープントゥキルト押え <O>（別売）



■ 布地

実際に使用する布地と糸で、試しぬいをしてください。

💡 お願い

- 使用する布によって、模様がくずれることがあります。実際に使用する布地と糸で試しぬいをし、仕上がりを確認してから本ぬいをしてください。

上糸を通す

1 針を取り付けます。

上糸・布地の種類に適した針を使用してください。針の取り付け方法は、B-50 の「針の交換」を参照してください。

2 押えを取り付けます。

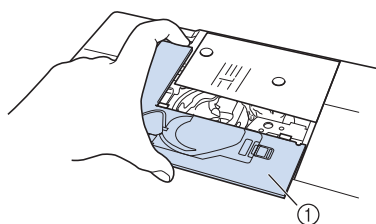
3 上糸を通します。

上糸の通し方は、B-40 の「上糸通し」を参照してください。

下糸の準備

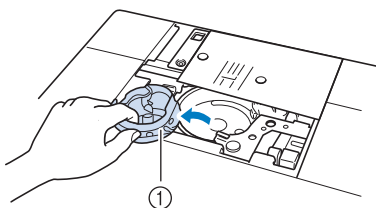
ボビンワークをはじめる前に、ミシンの外かまを掃除して、ボビンワーク用の内かまに交換してください。

- ① 針と押えを上げて、電源を切ります。
- ② 補助テーブルを取り外します。
- ③ 針板カバーの前後をつかんで、手前にずらしてから取り外します。



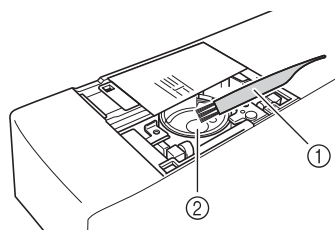
① 針板カバー

- ④ 内かまを取り外します。



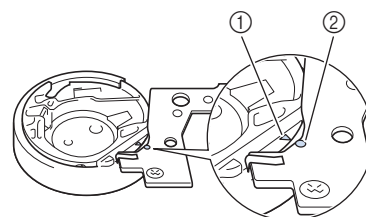
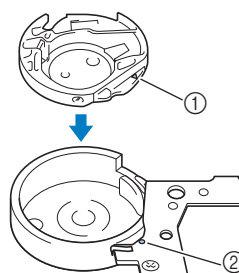
① 内かま

- ⑤ ミシンに付属のミシンブラシや掃除機で、外かまとその周辺の糸くずやほこりを取り除きます。

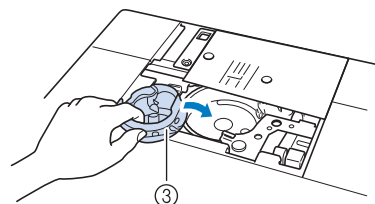


① ミシンブラシ
② 外かま

- ⑥ ボビンワーク用の内かま（灰色）を柔らかい布でふき、掃除をします。
- ⑦ ▲印と●印が合うように、内かまを取り付けます。



* ▲印と●印をあわせます。



- ① ▲印
- ② ●印
- ③ 内かま

* 合わせる位置を確認してから、取り付けを行ってください。

💡お願い

- ボビンワーク用の内かま（灰色）は、ボビンワーク専用です。ボビンワークをぬった後は、A-5の「下糸の準備」の手順に戻ってボビンワーク用の内かま（灰色）を取り外し、外かまを掃除してから、通常の内かま（黒色）を取り付けてください。

⚠️ 注意

- ボビンワークをするときは、必ずボビンワーク専用の内かま（灰色）を使用してください。他の内かまを使用すると、糸がからまり、ミシンが故障するおそれがあります。
- 内かまは正しく取り付けてください。内かまが正しく取り付けられていない状態でぬうと、糸がからまり、ミシンが故障するおそれがあります。

A
1

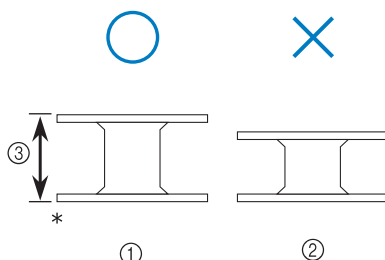
ボビンワークでぬってみましょう

- 8** 下糸を手でボビンに巻きます。下図の量（約 80%）まで巻いたら、糸端をはさみで切ります。



⚠ 注意

- 付属品または別売の純正ボビンを使用してください。純正品以外の付属品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。
- ※ 純正品以外のものすべてが必ず不具合を起こすわけではありません。



* プラスチック製

① 純正品

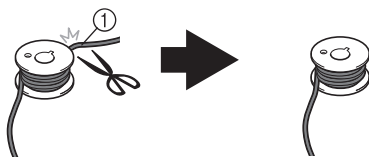
② 純正品以外

③ 11.5mm

💡 お願い

- ゆっくりと均等に糸を巻いてください。
- ねじれないよう下糸を巻くと、仕上がりがきれいになります。

- 9** 巻きはじめの糸がボビンの端から出ている場合は、巻き始めの糸端のできるだけボビンに近いところをはさみで切ります。



① 巻き始めの糸端

⚠ 注意

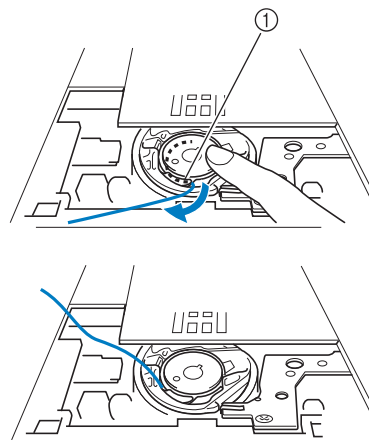
- 糸がボビンの端から出ていると、糸がからんで針が折れるおそれがあります。

- 10** 下糸を巻いたボビンをセットします。

下糸の種類によって、下糸にテンションをかける場合とテンションフリーにする場合があります。

■ 下糸にテンションをかける場合

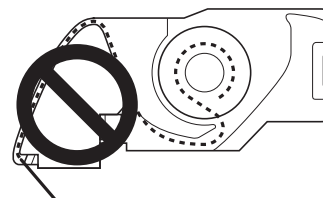
糸が左巻きになるように、ボビンを内かまにセットします。
下図のように板ばねにしっかり糸を通してください。



① 板ばね

⚠ 注意

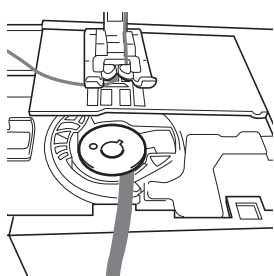
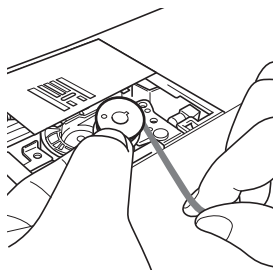
- 下糸をボビンに巻くとき、下糸がほつれていないことを確認してください。下糸がほつれている状態でぬうと、内かまの板ばねに糸が引っかかり、糸がからまりミシンが故障するおそれがあります。
- 針板カバーのミゾやカッターを使用しないでください。使用すると正しく下糸がセットされません。



■ 下糸テンションフリーにする場合

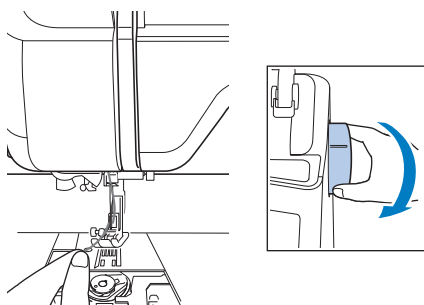
試しぬいをしたときに、下糸調子が強すぎて、糸調子を調節してもうまくぬえない場合、板ばねに糸をかけないでぬってください。

右手で糸端を持ちながら、左手でボビンを持ち、糸が右巻きになるようにミシンにセットします。

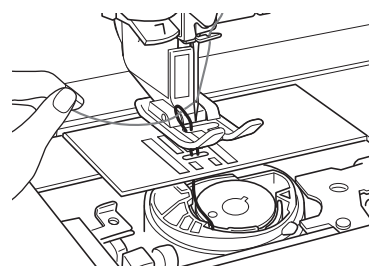


11 下糸の端を約 8cm 引き出します。

12 上糸を軽く持ち、プーリーを手前に回します。プーリーを一回りさせて、針が上がったら、図の位置で止めます。



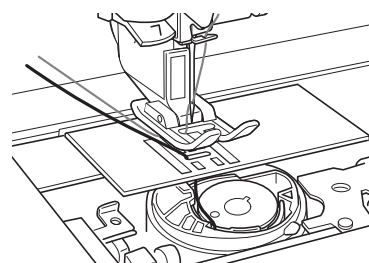
13 上糸をゆっくり引きあげて、下糸を針板の上に引き出します。



→ 下糸が針板の穴から輪になって出てきます。

14 引きあがってきた下糸を、針板の下に糸端が出るまでピンセットなどで引き上げてください。

15 上糸と下糸をそろえて、押えの下からミシンの後ろ側へ 10cm ほど引き出します。

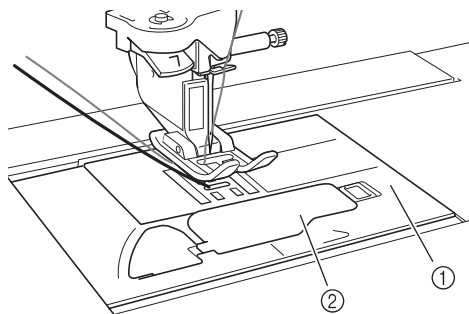


A
1

ボビンワークでぬってみよう

16 針板カバーとタブ付き針板ふたを取り付けます。

針板カバーの詳しい取り付け方は、A-15 の「かまの掃除」を参照してください。



- ① 針板カバー
- ② タブ付き針板ふた

⚠ 注意

- ボビンワークをするときは、必ずタブ付き針板ふたを使用してください。他の針板ふたを使用すると、糸がからまり、ミシンが故障するおそれがあります。

💡 お願い

- 針板カバーを取り付けるとき、針板カバーに糸をはさまないでください。

17 補助テーブルを取り付けます。

💡 お願い

- 補助テーブルを取り付けるとき、補助テーブルに糸をはさまないでください。
- 下糸を新しく取り替えるときは、もう一度 A-5 の「下糸の準備」手順 ① から操作をやり直してください。下糸を確実にセットするために、手順に従って操作してください。

→ これで上糸と下糸の準備が完了しました。

ボビンワークでぬう

布地を準備してぬう

❖ お願い

- ボビンワークは、ゆったりと軽やかなぬい目でぬうと、きれいに仕上がります。
- 実際に使用する布地と糸で試しぬいをしてください。
- 選択した模様や糸の種類によって、下糸がからむ場合があります。その場合、ただちに縫製を中止して、ミシンの電源を切り、からんだ糸をはさみで切り離した後、外かまと内かまとを掃除してください。(A-13の「誤ってミシンの自動糸切り機能で糸を切り、下糸がミシンにひっかかった」参照)

1 本機の電源を入れます。

2 模様を選びます。ここでは、例として



を押します。

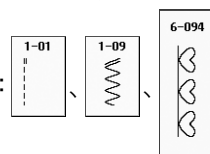
❖ お知らせ

- 仕上がりをよくするために、ぬい目の長さと振りは大きめの数値に設定してください。選択した模様によっては、ぬい目の長さや振りを調節できない場合もあります。



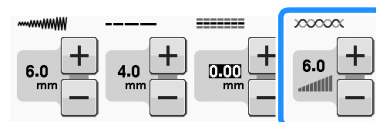
- 布地の種類によっては、ぬい目が詰まる場合があります。複雑でない模様を選択することをお勧めします。仕上がりを確認するために必ず試しぬいをしてください。

複雑でない模様の例：



3 上糸の糸調子を調節します。ボビンワークに適した上糸の糸調子は、6 から 8 の間で

す。
詳しい糸調子の調整方法については、「実用ぬい／文字・模様ぬい編」の「糸調子を調節する」を参照してください。



❖ お願い

- ぬう前に、下糸の量が十分にあることを確認してください。

4 自動糸切り機能 (✂) や自動止めぬい機能 (⏸) が解除されていることを確認してください。

⚠ 注意

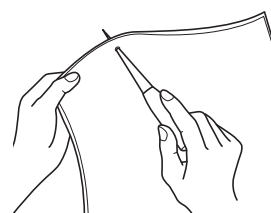
- 縫製をスタートする前に、自動糸切り機能が解除されていることを確認してください。万が一、自動糸切り機能を設定したまま縫製を始めると、糸がからんでミシンが故障するおそれがあります。

5 布地の上側（裏面）に接着芯を置きます。

❖ お願い

- 接着芯の種類や厚みは、使用する布地や糸に合わせてください。

6 糸が太すぎて、下糸が布を通らずに引き上げられない場合は、ぬい始めの位置に目打ちなどで穴を開けて、その穴から下糸を引き上げます。

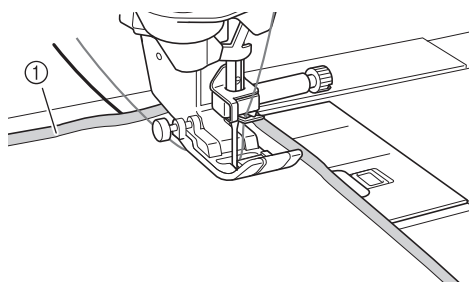


7 画面切り替えキーを押して、キーと操作スイッチをロックします。

→ 画面が切り替わり、すべてのキーや操作ボタンがロックされます。

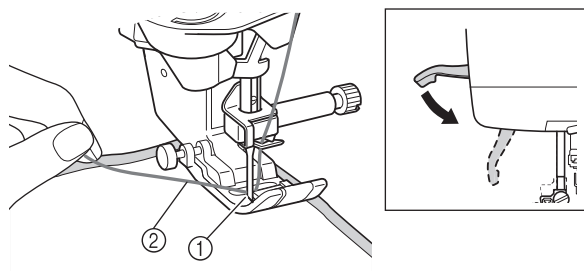
8 押えレバーを上げて、押えを上げます。

9 布の裏側を上にして、布をミシンにセットします。



① 布地の裏側

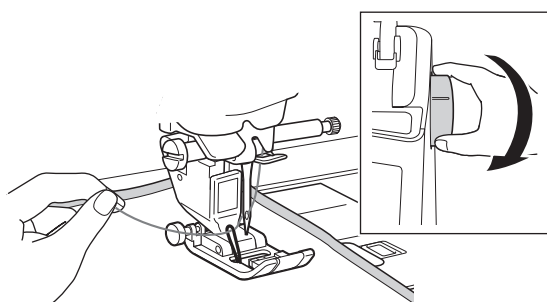
10 プーリーを回して、目打ちで開けた穴に針を合わせ、上糸を押えの上に出し、手で軽く持ちながら、押えを下げます。



① 目打ちの穴

② 押えの上の上糸

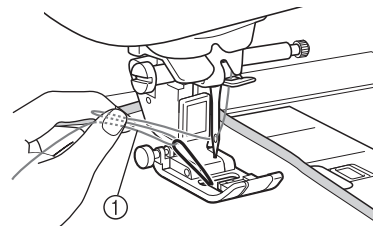
11 上糸を軽く持ち、プーリーを手前に回します。このとき、プーリーの印が図のように上にくるまで回します。



→ 布地の穴を通して、下糸の輪が上がってきます。

💡 お願い

- 下糸が布地の上に上がってこないときは、上糸を下図のように持って下糸を引き上げてください。



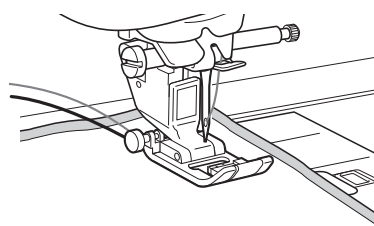
① 上糸

12 押えレバーを上げて、引きあがってきた下糸を市販のピンセットなどで引き上げて、布の上に糸端を出してください。

💡 お願い

- 下糸を引くときは、穴の位置が動かないように、布地を押さえてください。

13 上糸と下糸をそろえて、押えの下から後ろ側へ引き出します。

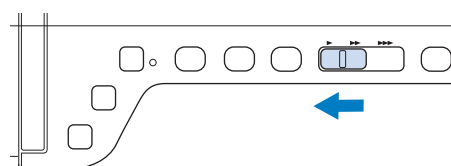


14 ミシンの後ろ側で上糸を手で軽く持ちながら、プーリーを手前に回して、針をもう一度目打ちの穴に落とし、押えレバーを下げます。

15  を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。

→ すべてのキーや操作ボタンのロックが解除されて、元の画面に戻ります。

16 ぬう速さを低速にして、上糸を押えの後ろ側で軽く持ちながらミシンをスタートさせます。数針ぬった後、上糸を離します。



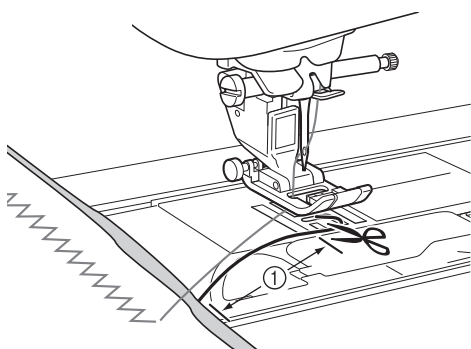
- 17 ぬい終わり位置まできたら、ミシンをストップします。

💡お願い

- ぬい終わりに返しぬい／止めぬいをしないでください。また、ぬい終わりに糸切りスイッチを使用しないでください。糸が絡んで針が折れるおそれがあります。また、下糸を布の裏側に引き上げにくくなります。

- 18 針と押えを上げます。

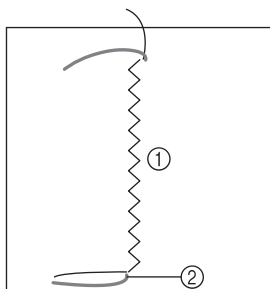
- 19 糸端を約 10cm 残して、糸をはさみで切ります。



① 10cm

■糸の始末をする

- 1 ぬい終わりの下糸の端を、布地の裏側に引き出します。



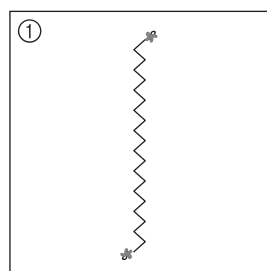
① 布地の裏側

② 下糸

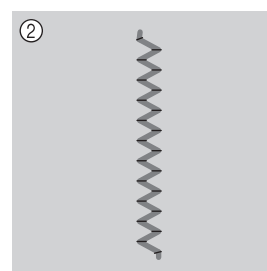
💡お願い

- 糸が引き上げにくいときは、リボン刺しゅう用の針を使用して布の裏側に下糸を引き出してください。もしくは、目打ちを使用して、下糸を引き出してください。

- 2 布地の裏側から、引き上げた下糸を上糸と結び、余った糸をはさみで切ります。



① 布地の裏側



② 布地の表側

💡お願い

- 下糸と上糸を結んだ後、結び目がほどけそうな場合は、結び目を布用ボンドで固めてください。

- 3きれいに仕上がらないときは、上糸と下糸の糸調整を調整して、もう一度試しぬいをしてください。

詳しい糸調子の調整方法は、A-12の「糸調子を調整する」を参照してください。

ボビンワークをフリーモーションでぬう

お好みでテンプレートを使ったり、接着芯に図案を下書きしたりして、フリーモーションを楽しんでください。飾りぬいはぬったときの裏側に仕上がることを忘れないで、接着芯は布の裏側に貼り、接着芯側を上にしてぬってください。

フリーモーションモードを使用するためには、別売の押え（オープントウキルト押え＜O＞、フリーモーションキルト押え＜C＞、またはエコーキルト押え＜E＞）が必要です。

詳しくは、S-40の「フリーモーションキルト」を参照してください。

糸調子を調整する

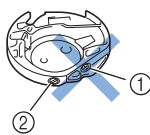
試しぬいで仕上がりを確認した後、必要に応じて糸調子を調節してください。調節後は試しぬいをして、調節結果を確認してください。

■ 上糸の糸調子を調節する

ボビンワークでぬうときは、上糸調子は 6 から 8 の設定を推奨します。
詳しくは、S-12 の「糸調子を調節する」を参照してください。

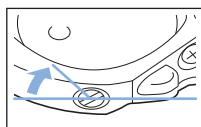
■ 下糸の糸調子を調節する

上糸調子を調節しても、仕上がりがよくならない場合は、下糸の糸調子を調節します。ボビンワーク用の内かま（灰色）のマイナスネジを回して、下糸の糸調子を調整できます。

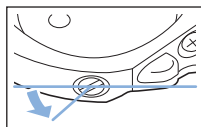


- ① プラスネジは回さない
- ② マイナスドライバー（小）を使用して調整する

下糸調子を強くする場合は、マイナスネジを時計回りに 30 - 45 度回してください。

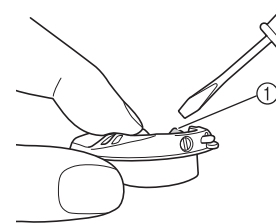


下糸調子を弱くする場合は、マイナスネジを反時計回りに 30 - 45 度回してください。



💡 お願い

- ボビンワーク用内かま（灰色）のマイナスネジを回すと、図のように板ばねが押し上げられることがあります。
このようなときは、マイナスドライバーで軽く板ばねを押して、内かまの上面よりも下に板ばねを下げてから内かまをミシンに入れてください。



① 板ばね

⚠ 注意

- ボビンワーク用内かま（灰色）のプラスネジを調節しないでください。ミシンが故障する原因になります。
- マイナスネジが回しにくい場合は、無理に回さないでください。
ネジを回しすぎたり、無理に回すと、回す方向に関わらず内かまの破損の原因になります。破損した内かまを使用すると、正しい糸調子を保つことができません。

💡 お願い

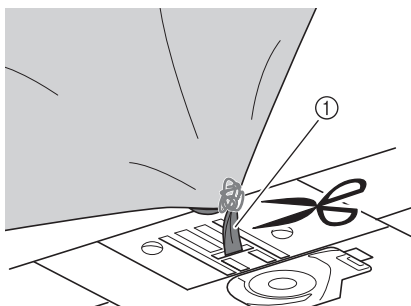
- 調節しても下糸調子が強い場合は、ボビンを内かまにセットするときに、板ばねに糸をかけないでください。（A-7 の「下糸テンションフリーにする場合」参照）

困ったときは

次の項目を確認してください。症状が改善されないときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（マシン119番）」にお問い合わせください。

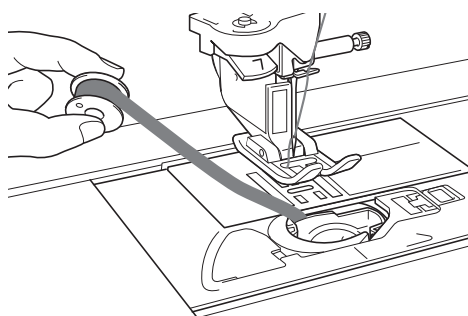
■ 誤ってミシンの自動糸切り機能で糸を切り、下糸がミシンにひっかかった

- ① 針板の上で布側の糸を切って、布を外します。



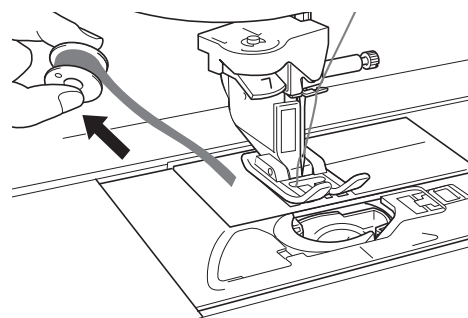
① 糸

- ② ボビンを取り出して、ミシンの左側に出し、下糸を軽く引きます。



- ③ 押えを下げます。

- ④ もう一度、（糸切りスイッチ）を押して、自動糸切り機能を動作させながら、ボビンを左側に引き、下糸を引き抜きます。



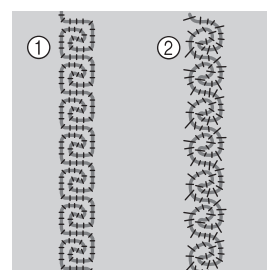
⚠ 注意

- 糸を無理に引っばらないでください。ミシンが故障する原因になります。

■ ボビンワークの糸調子をなおす

- * 上糸が下糸側に見えてしまうときは、上糸調子を強くしてください。（A-12の「糸調子を調整する」参照）
- * 調整後も上糸が下糸側に見えてしまうときは、下糸調子を弱めるか下糸フリーテンションにしてください。（A-12の「糸調子を調整する」参照）
- * 布地が粗くて、下糸が裏面に見えてしまうときは、上糸と下糸の色を合わせて、きれいに仕上がるようにします。

例： 飾り模様



- ① 正しい糸調子
- ② 上糸調子が弱すぎる、あるいは下糸調子が強すぎる

■ 内かまの板ばねに下糸がひっかかる

テンションフリーでぬってください。（A-7の「下糸テンションフリーにする場合」参照）

第 2 章

お手入れ／困ったときには

お手入れのしかた..... 15

注油に関して.....	15
ミシンを保管するときのご注意.....	15
画面の汚れの掃除.....	15
ミシンの汚れの掃除.....	15
かまの掃除.....	15
内かま周辺のカッターの掃除.....	17
点検の警告について.....	17

画面の調整..... 18

画面の明るさ調整.....	18
タッチパネルが反応しない.....	18

困ったとき..... 19

よくあるご相談.....	19
上糸がつる.....	19
■ こんなとき.....	19
■ 原因.....	19
■ 対処方法／確認内容.....	19
布裏で糸がからまる.....	20
■ こんなとき.....	20
■ 原因.....	20
■ 対処方法／確認内容.....	20
糸調子が合わない.....	22
■ こんなとき.....	22
■ 原因／対処方法／確認内容.....	22
布がミシンに入り込んでとれなくなった.....	23
■ 布をミシンから取り外す.....	23
■ ミシンの動作を確認する.....	25
簡単なミシンの調整.....	26
■ ぬう前の準備.....	26
■ ぬっているとき.....	27
■ 仕上がり.....	29

エラーメッセージ..... 31

仕様..... 33

アップグレードの方法..... 34

USB メディアを使用してアップグレードする.....	34
パソコンを使用してアップグレードする.....	35

索引..... 36

お手入れのしかた

⚠ 注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けがまたは感電の原因となります。

注油に関して

お客様ご自身による本製品への注油は行わないでください。故障の原因となります。本製品の動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて出荷されていますので、定期的に注油する必要はありません。万一、プーリーを回すと重い、異常な音がするなどの症状が発生した場合は、ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

ミシンを保管するときのご注意

以下の場所にミシンを保管しないでください。結露によるさびの発生など、故障の原因となります。

- * 温度が著しく高くなる場所
- * 温度が著しく低くなる場所
- * 急激に温度が変化する場合
- * 湿気、湯気が多い場所
- * 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- * 屋外や直射日光の当たる場所
- * ほこり、油煙の多い場所

💡 お願い

- 本製品を末永くご愛用いただくために、ときどき電源を入れて、縫製してください。長期間保管したまま使用しない状態が続くと、ミシンの性能を損なうおそれがあります。

画面の汚れの掃除

画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地などで軽くふきとってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

💡 お願い

- 湿った布で画面を拭かないでください。

📖 お知らせ

- 画面が結露したり、曇ったりする場合がありますが、故障ではありません。しばらくすると、結露や曇りはなくなります。

ミシンの汚れの掃除

ミシンが汚れた場合は、乾いたやわらかい布地などで軽くふきとってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

かまの掃除

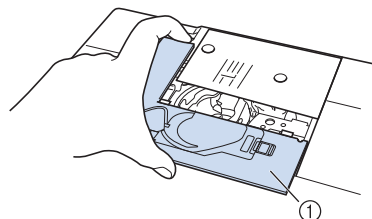
ほこりがたまると縫製不良になったり、下糸検出が効かない場合があります。いつもきれいにしておきましょう。

- 1 (針上下スイッチ) を押して針を上げます。
- 2 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 注意

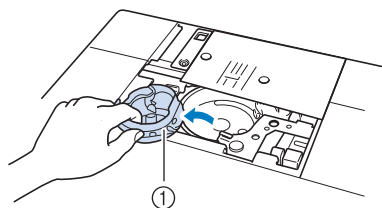
- 電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・感電の原因となります。

- 3 針と押え、押えホルダーを外します。(B-47 ~ B-50 参照)
- 4 補助テーブルを取り付けている場合は外します。
- 5 針板カバーを手前に引いて外します。



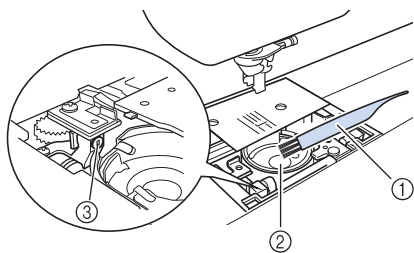
① 針板カバー

6 内かまを取り出します。



① 内かま

7 ブラシや掃除機で、外かまと下糸センサーの周辺の糸くずやほこりを取り除きます。

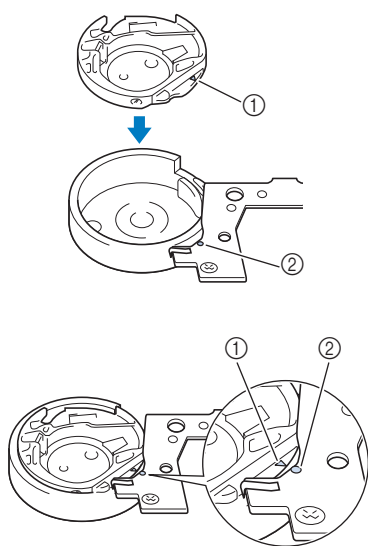


① ミシンブラシ
② 外かま
③ 下糸センサー

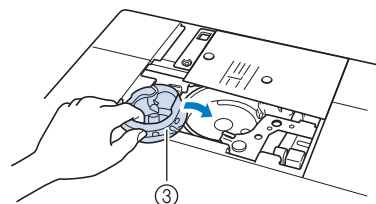
💡お願い

- 内かまに油をささないでください。
- 糸くずやほこりが下糸センサーの周辺にたまると、センサーが正しく作動しないおそれがあります。

8 内かまの ▲ 印とミシンの ● 印が合うように、内かまを取り付けます。



* ▲ 印と ● 印を合わせます。



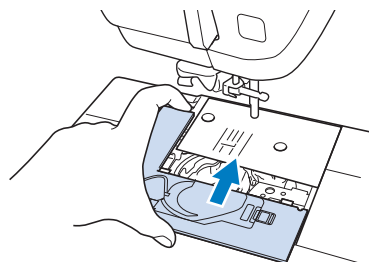
① ▲ 印
② ● 印
③ 内かま

* 合わせる位置を確認してから、取り付けを行ってください。

⚠ 注意

- 傷がついた内かまは使用しないでください。万一使用すると、上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となります。新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店にご連絡ください。
- 内かまは正しい位置に取り付けてください。針折れの原因となります。

9 針板カバーの突起を針板に差し込み、そのままミシンに取り付けます。



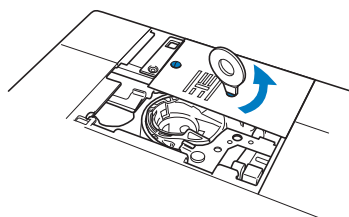
💡お願い

- 針板が取り外されている場合は、針板カバーを取り付ける前に、ネジ回しで針板をミシンに取り付けてください。

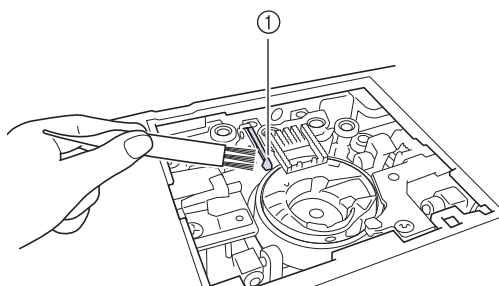
内かま周辺のカッターの掃除

針板の下にあるカッターを定期的に掃除してください。カッターにほこりや糸くずがたまると、糸切りスイッチを押したり自動糸切り機能を使用したときに、糸が切れにくくなります。糸が切れないときは、カッターを掃除してください。

- 1 「かまの掃除」の①から⑤の手順に従って、針板カバーを取り外します。
- 2 付属のネジ回しを使って針板のネジを外し、針板を取り外します。



- 3 ブラシや掃除機で、内かま周辺のカッターの糸くずやほこりを取り除きます。

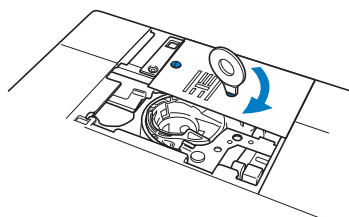


① カッター

⚠ 注意

- カッターに触らないでください。けがをすることがあります。

- 4 付属のネジ回しを使って針板のネジをしめて、針板カバーを取り付けます。



- 5 針板カバーの突起を針板に差し込み、そのままミシンに取り付けます。

点検の警告について



上記の表示が出た場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期点検をご依頼ください。

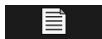
OKを押すと、表示は消えてミシンの機能を引き続き使うことができますが、適切な点検が完了するまでは何度も表示されます。

この表示が出たときは、必ずミシンの定期点検をご依頼ください。正しい時期に定期点検を行うことによって、ミシンを長くご利用いただくことができます。

画面の調整

画面の明るさ調整

ミシンを使う環境によって、画面がはっきり見えない場合、画面の明るさ調整ができます。

- 1  を押します。
→ 設定画面が表示されます。
- 2 設定画面の 6 ページ目を表示します。
- 3   を押して画面の明るさを調整します。

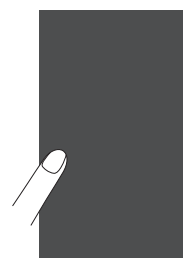


* 設定値が下がると画面は暗くなります。設定値が上がると、画面は明るくなります。

タッチパネルが反応しない

液晶画面のキーを押しても反応しない（キー入力ができない、またはキーがずれている）場合、以下の手順に従ってください。

- 1 電源スイッチを切り、画面（どの部分でもよい）を指で押しながら電源スイッチを入れます。

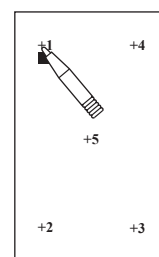


→ タッチパネル調整画面が表示されます。

- 2 付属のタッチペンを使って、画面に表示されている+印の中心を1から5まで順番に軽く押します。

🔍 お願い

- 必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ピンなどの先のとがったものを使用しないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。



- 3 電源スイッチを切り、もう一度電源を入れます。

🔍 お願い

- 調整をしても画面が反応しない場合、または調整ができない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。

困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://s.brother/cpfae/>）の Q&A を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

よくあるご相談

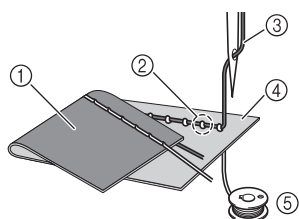
以下のよくあるご相談については、詳しい原因と対処方法を記載しております。お問い合わせの前にご確認ください。

■ 上糸がつる	A-19
■ 布裏で糸がからまる	A-20
■ 糸調子が合わない	A-22
■ 布がミシンに入り込んでとれなくなった	A-23

上糸がつる

■ こんなとき

- * 上糸がピンと一本線になっている。
- * 布地の上側の面に下糸がポツポツと出ている（イラスト参照）。
- * 上糸がつっていて、引くと抜けてしまう。
- * 上糸がつっていて、布にしわがよってしまう。
- * 上糸が強く、糸調子を調節してぬい直してもまったく変わらない。



- ① 布地の下側の面
- ② 布地の上側の面に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の上側の面
- ⑤ 下糸

■ 原因

下糸のセットがまちがっている

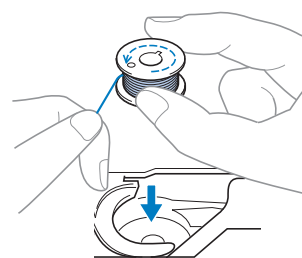
下糸のセットがまちがっていると、下糸に適正な張力が加わらず、上糸が引き上げられる際に布地まで一緒に引っぱられてしまいます。そのため、布地の上に糸が出てしまいます。

■ 対処方法／確認内容

下糸を正しくセットしなおします。

- 1 電源を切ります。
- 2 いったんボビンを内かまから取り出します。
- 3 糸が正しい方向から出るように、ボビンを内かまにセットします。

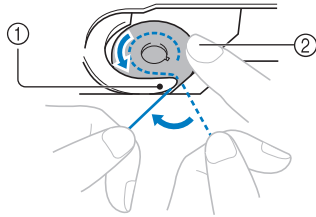
- * 糸が必ず左巻きになるように、右手でボビンを持ち、左手で糸端を持ちます。そのまま右手でボビンを内かまに入れます。



糸が逆方向から出た状態でボビンをセットすると、正しい糸調子でぬうことができません。

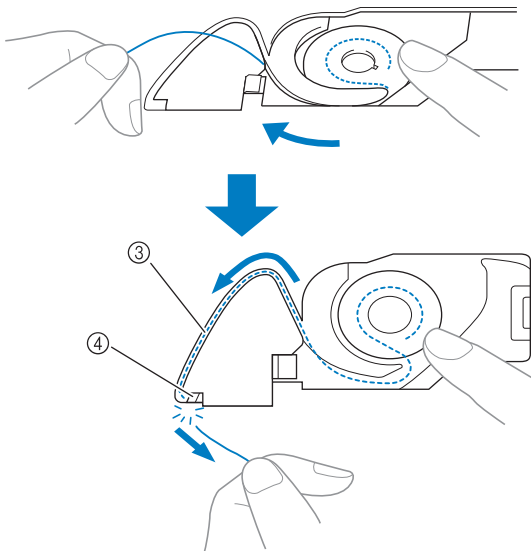
4 ボビンを指で押さえながら糸を針板のミゾに通します。

- * 右手でボビンを押さえ、左手で巻き終わりの糸をツメに引っかけます。



- ① ツメ
- ② 右手でボビンを押えます。

糸を引っ張りながら針板のミゾにそって糸を通し、最後に手前に引いてカッターで糸を切ります。



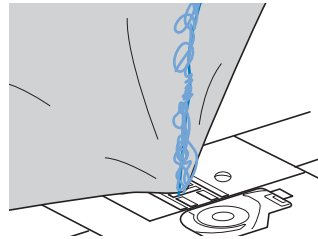
- ③ ミゾ
- ④ カッター（カッターで糸を切ります。）

内かまにボビンの糸を正しくセットしなければ、正しい糸調子でぬうことができません。

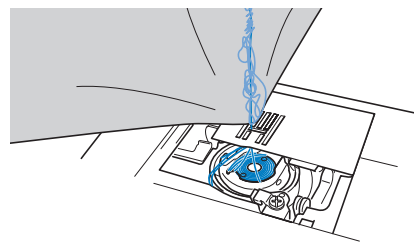
布裏で糸がからまる

■ こんなとき

- * 布の下側で糸がグチャグチャにからんでしまう。



- * ぬい始めるとすぐにガタガタと音がして進まなくなる。
- * 布地の下側を見ると、かまの中まで糸が何重にもからまっている。



■ 原因

上糸のセットがまちがっている

上糸のセットがまちがっていると、布地を貫通した上糸をしっかりと引き上げることができず、かまの中に上糸がたまり、グチャグチャにからんでしまいます。

■ 対処方法／確認内容

からんだ糸を取り除き、上糸をセットしなおします。

1 からんだ糸を取ります。取れない場合は、はさみで糸を切ります。

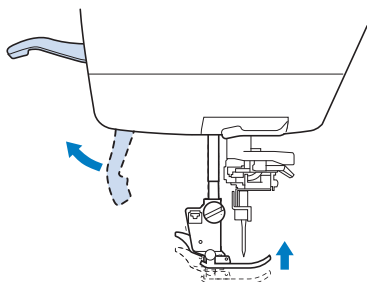
- * A-15の「かまの掃除」を参照してください。

2 いったん上糸をミシンから取り外します。

3 以下の手順に従って、上糸をもう一度セットしなおします。

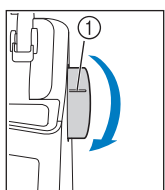
- * ボビンを内かまから取り出した場合は、B-32の「下糸の準備」とA-19の「上糸がつる」の対処方法／確認内容を参照して、セットしなおしてください。

- 4 押えレバーを上げて、押えを上げます。

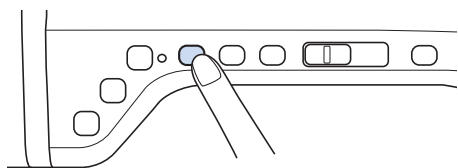


* 押えが上がっていない場合は、正しく糸通しできません。

- 5 プーリーを手前に回し、ミシン本体上の線とプーリーの印を合わせます。あるいは、 (針上下スイッチ) を1回か2回押して針を上上げます。

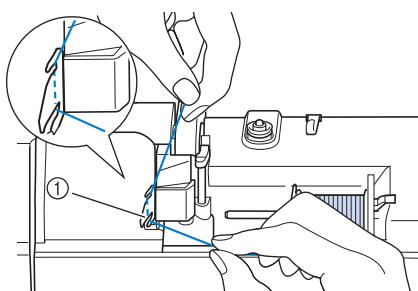


あるいは



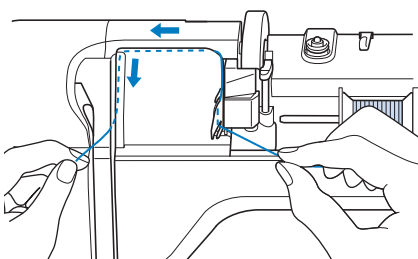
① 印

- 6 両手で糸を持ちながら、糸案内板のミゾに下から上へ糸を通します。

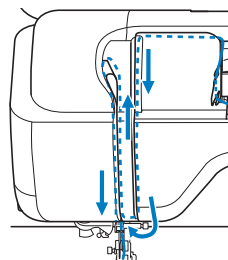


① 糸案内板

- 7 右手で糸を持ちながら、図のように糸通しガイドに沿って糸を通してください。

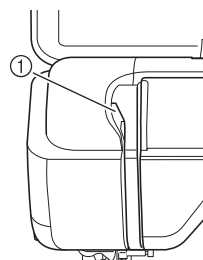


- 8 図のように、上から下へ、下から上へ、最後にもう一度下へ、ミゾにそって糸を通します。



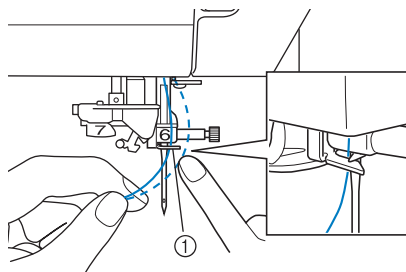
お知らせ

- ミゾの上部から中を見ると、てんびんに糸がかかっていることを確認できます。



① ミゾの上部を確認します。

- 9 図のように、両手で糸を持ちながら針棒糸かけ (6 の印) に糸をかけます。



① 針棒糸かけ

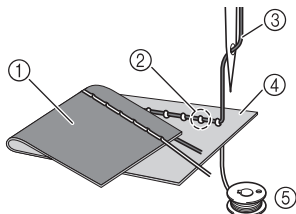
- 10 B-40 の「上糸通し」の手順 ⑩ から ⑮ に従って、糸を通します。

糸調子が合わない

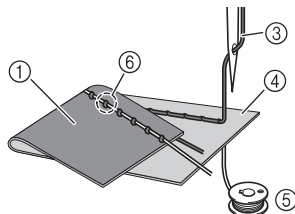
■ こんなとき

- ・ 症状① 布地の上側にポツポツと下糸が出ている。
- ・ 症状② 布地の上側で上糸が直線になる。
- ・ 症状③ 布地の下側にポツポツと上糸が出ている。
- ・ 症状④ 布地の下側で下糸が直線になる。
- ・ 症状⑤ 布地の下側のぬい目がゆるい、またはたるむ。

□ 症状①



□ 症状③



- ① 布地の下側の面
- ② 布地の上側の面に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の上側の面
- ⑤ 下糸
- ⑥ 布地の下側の面に上糸が出ている

■ 原因／対処方法／確認内容

□ 原因 1

糸が正しくミシンにセットされていない。

＜上記の症状①、②に該当する場合＞

下糸が正しくセットされていません。

上糸調子を S-12 の「上糸が強すぎる（下糸が表に出る）場合」を参照してセットし直します。

＜上記の症状③～⑤に該当する場合＞

上糸が正しく通っていません。

A-20 の「布裏で糸がからまる」を参照して糸をかけ直します。

□ 原因 2

布地に合った糸や針を使用していない。

ミシン針は布地の種類や糸の太さによって使い分けが必要です。

布地に合った糸と針を使用しないと、糸調子が合わなかったり、布地にしわが寄ったり、目とびの原因になったりします。

- * B-52 の「布地と糸の種類による針の使い分け」の一覧表を参照して、布地に合った糸と針を使用しているか確認してください。

□ 原因 3

上糸調子の設定値が適正でない。

適正な糸調子になるように調節します。

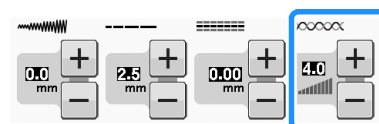
使用する布地／糸の種類やぬい方によって、適正な糸調子は異なります。

- * 実際にお使いになる布地の端切れで試しぬいをして、糸調子を調節してください。

🔗 お願い

- ・ 上糸の通し方や下糸のセットが正しくされていない場合は、糸調子の調節が正しく行えません。上糸かけ、下糸セットの確認を先に行ってから、糸調子の調節を行ってください。

- * 布地の上側に下糸が見える場合
糸調子の **−** を押します。(糸調子を弱くします。)
- * 布地の下側に上糸が見える場合
糸調子の **+** を押します。(糸調子を強くします。)



布がミシンに入り込んでとれなくなった

布がミシンに入り込んでとれない場合、糸が針板の下でからんでいることがあります。以下の手順で、布をミシンから取り外してください。

操作が手順どおりに進まない場合は、無理に作業を続けず、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

■ 布をミシンから取り外す

① 直ちにミシンを停止させます。

② 電源を切ります。

③ 針を取り外します。

針が布に刺さっている場合は、プーリーを奥側に回して針を布から外してから、針を取り外してください。

* B-50 の「針の交換」を参照してください。

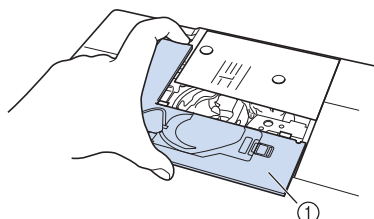
④ 押えレバーを上げて、押えと押えホルダーを取り外します。

* B-47 の「押えの交換」を参照してください。

⑤ 布を持ち上げて、布の下のを切ります。

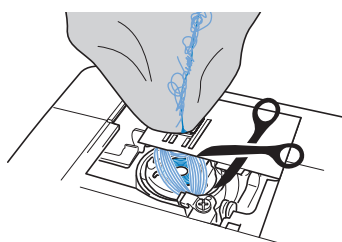
ここで布を取り外することができる場合は、取り外してください。かまの掃除をするために引き続き、次の手順へお進みください。

⑥ 針板カバーを外します。



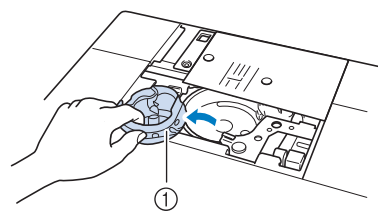
① 針板カバー（手前部分）

⑦ からんだ糸を切ってボビンを取り出します。



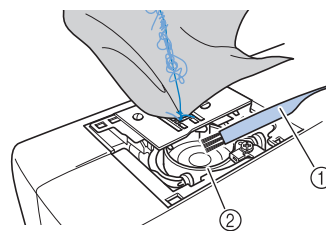
⑧ 内かまを取り出します。

内かまに糸が残っている場合は、取り除いてください。



⑧ 内かま

⑨ 付属のミシンブラシや掃除機で、外かま周辺の糸くずやほこりを取り除きます。



① ミシンブラシ

② 外かま

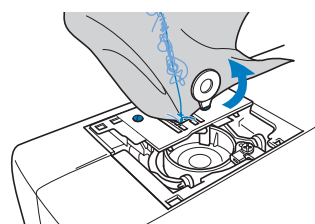
ここまでの手順で布を取り外せた場合

→ 手順 ⑩ に進む

ここまでの手順で布が取り外せない場合

→ 手順 ⑩ に進む

⑩ 付属のネジ回しを使って、針板の二つのネジを取り外します。

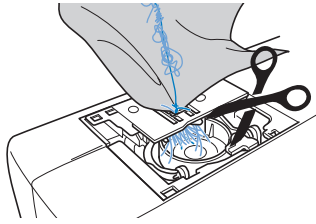


💡 お願い

- 取り外したネジを、ミシンの中に落とさないように注意してください。

- 11** 針板を少し持ち上げ、絡んだ糸を切って、針板を取り外します。

針板から布と糸を取ります。



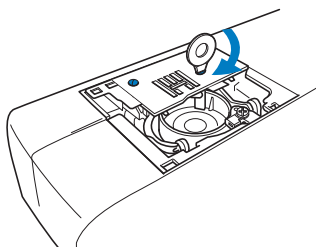
ここまでの手順を終えても布が取り外せない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

- 12** かまや送り歯のまわりの糸を取り除きます。

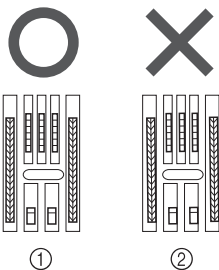
- 13** プーリーを回して、送り歯を上になげます。

- 14** 針板の 2 つのネジ穴を針板取付け部の 2 つの穴に合わせながら、ミシンに針板をはめ込みます。

- 15** 針板の右側のネジを手で軽くしめます。次に、左側のネジをネジ回しでしっかりしめます。最後に右のネジもしっかりしめます。



プーリーを回して、送り歯が針板のミゾの端に当たらず、スムーズに動くことを確認してください。

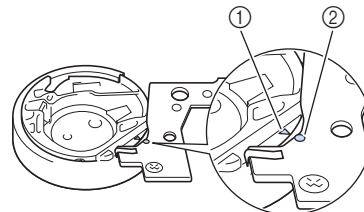
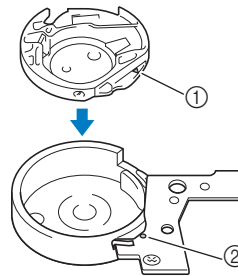


- ① 正しい送り歯の位置
② 正しくない送り歯の位置

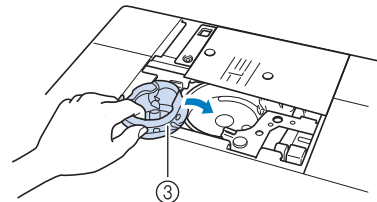
🙏 お願い

- 取り外したネジを、ミシンの中に落とさないように注意してください。

- 16** 内かまの ▲ 印とミシンの ● 印が合うように、内かまを取り付けます。



* ▲ 印と ● 印を合わせます。



- ① ▲ 印
② ● 印
③ 内かま

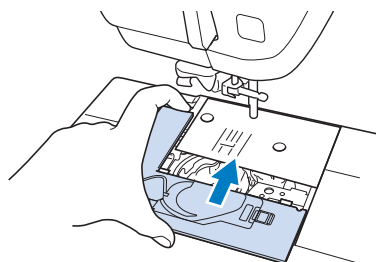
* 合わせる位置を確認してから、取り付けを行ってください。

⚠ 注意



- 傷がついた内かまは使用しないでください。万一使用すると、上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となります。新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店にご連絡ください。
- 内かまは正しい位置に取り付けてください。針折れの原因となります。

- 17 針板カバーの突起を針板に差し込み、そのままミシンに取り付けます。



💡 お願い

- 針板が取り外されている場合は、針板カバーを取り付ける前に、ネジ回しで針板をミシンに取り付けてください。

- 18 針の状態を確認して、針をミシンに取り付けます。

曲がっているなど針が悪くなっている場合は、必ず新しい針を取り付けてください。

* B-50 の「針の交換」を参照してください。



⚠ 注意

- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因になります。

💡 お願い

- ここまでの手順を終えたあとは、ミシンが正しく動くように、以降の「ミシンの動作を確認する」の手順を続けてください。

📄 お知らせ

- 布がミシンに入り込んだ際に、針が損傷しているおそれがありますので、新しい針に交換することをお勧めします。

■ ミシンの動作を確認する

いったん針板を取り外したあとは、正しく取り付けられていることを確認するために、ミシンの動作確認をしてください。

- 1 電源を入れます。

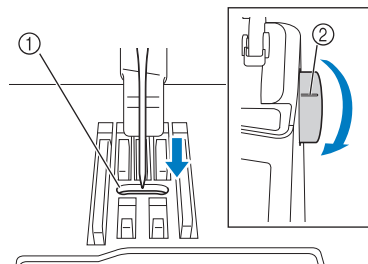
- 2 中基線の模様  を選択します。

💡 お願い

- 押えと糸は、まだミシンにセットしないでください。

- 3 プーリーをゆっくりと手前に回し、針が針穴の中央に落ちることを左右前後から見て確認します。

針が針板に当たる場合は、もう一度針板を取り外し、「布をミシンから取り外す」の手順 13 (A-24) からやり直してください。



- ① 針穴
② プーリー

- 4 ジグザグ模様  を選択します。このと

き、ぬい目の長さと振り幅を最大にしてください。

設定の変更については、S-10 の「ジグザグの振り幅を調節する」「ぬい目の長さを調節する」を参照してください。

- 5 プーリーをゆっくりと手前に回し、針棒と送り歯が正しく動くことを確認します。

針や送り歯が針板に当たる場合は、ミシンの故障が考えられますので、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。

- 6 電源を切ってから、ボビンと押えをセットします。

* B-37 の「下糸をセットする」、B-47 の「押えの交換」を参照してください。

- 7 上糸をかけなおします。

* 上糸のかけ方については、B-40 の「上糸通し」を参照してください。

💡 お願い

- 上糸が正しくセットされていないと、糸がらみの原因になります。正しく上糸をセットしてください。

- 8 普通地で試しぬいをします。

💡 お願い

- 正しくぬえない場合、原因として、上糸が正しくセットされていないことや薄い布地を使用していることが考えられます。試しぬいの仕上がりが良くない場合は、上糸のかけ方やお使いの布地を確認してください。

簡単なミシンの調整

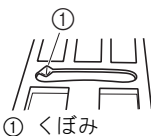
修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

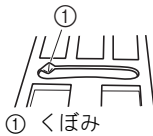
 を押し、 を押すと、ぬっていて困ったときのための簡単なトラブルチェックをご使用いただけます。

■ ぬう前の準備

症状	原因	対処	参照ページ
糸通しができない。 針穴に糸が通らない。	針が正しい位置にない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	B-10
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-50
	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	B-50
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-40
	糸通しフックが曲がっていて針穴に通っていない。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	糸通し装置が動かない。糸通し装置が戻らない。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	9 番の針を使っている。	糸通し装置に対応しない針です。手で糸を針穴に通してください。	B-43
押えレバーで押えを下げるのができない。	押え上下スイッチを使って、押えが上げられている。	押え上下スイッチを押して、押えを下げます。	B-10
下糸がボビンにきれいに巻けない。	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。	下糸巻き案内に糸をしっかりとかけます。	B-34
	ボビンの回転が遅い。	下糸巻きの回転スピードを速くするため、下糸巻き画面で「+」キーを押します。	B-35
	引き出した糸を正しく巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに 5 ～ 6 回ボビンに巻き付けます。	B-34
下糸を引き出すことができない。	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	B-50
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-37
ミシンの操作ができない。	すべてのキーとスイッチが  でロックされている。	 を押して、すべてのキーとスイッチのロックを解除します。	B-47、B-50
液晶画面に何も表示しない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	B-17
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込みます。	B-17
液晶画面が見にくい。	画面の明るさ設定が合っていない。	画面の調整をします。	A-18
液晶画面を押しても、反応しない。	画面がロックされている。	次のいずれかのキーを押して、画面ロックを解除します。  	—
液晶画面がくもる	液晶画面が結露している。	少し待つと、くもりはなくなります。	—

■ ぬっているとき

症状	原因	対処	参照ページ
ミシンが動かない	スタート/ストップスイッチを押していない。	スタート/ストップスイッチを押します。	B-10
スタート/ストップスイッチを押しても、針が上下に動かない	模様選ばれていない。	模様を選びます。	S-21、S-77
	押えが下がっていない。	押えを下げます。	B-10
	フットコントローラーを接続したままスタート/ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。フットコントローラーを使ってミシンを操作してください。スタート/ストップスイッチを使用する場合は、フットコントローラーを取り外してください。	S-4
	スピードコントロールレバーがジグザグの振り幅を調節するように設定されている	スタート/ストップスイッチではなく、フットコントローラーを使って、ミシンを操作します。または、設定画面で「振り幅コントロール」を OFF にします。	B-23、S-5
	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがりまたはかんだめ以外の模様を選択してスタート/ストップスイッチを押した。	ボタン穴かがりレバーを上げます。	S-56、S-60
	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがりまたはかんだめの模様を選択してスタート/ストップスイッチを押した。	ボタン穴かがりレバーを下げます。	S-56、S-60
針が折れる	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-50
	針のとめネジがゆるんでいる。	とめネジをしっかりとめます。	B-50
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-52
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
	上糸調子が特に強すぎる。	糸調子を調節します。	S-12
	布地を不当に引っ張っている。	布地を引っ張らないようにします。	—
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を確認して、付け直します。	B-40
	針板の穴の周辺にキズがある。 ※ 針板の穴の左側には、くぼみが設けられています。この部分はキズではありません。 	針板を交換します。お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	A-15
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	B-47
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	A-15
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	B-50
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	B-32、B-37
	針のとめネジがゆるんでいる。	とめネジをしっかりとめます。	B-50
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-40
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-37
	押えの取り付けがまちがっている。	押えを正しく取り付けます。	B-47
	押えホルダーのネジがゆるんでいる。	押えホルダーのネジを確実にしめます。	B-48
	布地が厚すぎる。	プーリーを手で回して針が布地に通ることを確認してください。	S-8
	厚い布地などを縫製中に布地を押しこんでいる。	無理に布地を押しこまないようにしてください。	S-8
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目をあらくします。	S-10
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-37

症状	原因	対処	参照ページ
上糸が切れる	上糸の通し方がまちがっている（糸こまが正しくセットされていない、糸こま押えの大きさが合っていない、糸が針棒糸かけから外れているなど）。	糸を正しく通します。	B-40
	糸にこぶや結び目がある。	糸のこぶや結び目を取り除きます。	—
	針に比べて糸が太すぎる。	針と糸の組み合わせを確認します。	B-52
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	S-12
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	A-15、A-20
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-50
	針板の穴の周辺にキズがある。 ※ 針板の穴の左側には、くぼみが設けられています。この部分はキズではありません。 	針板を交換します。お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	A-15
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	B-47
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	A-15
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-52
布裏で糸がからまる	糸が結ばれたり、からんだりしている。	上糸と下糸を通しなおします。	B-37、B-40
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	B-32、B-37
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-40、A-20
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-52
上糸がつる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-37、A-19
下糸が切れる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-37
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-32
	ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ボビンを交換します。	B-37
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	A-15、A-20
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	B-32、B-37
布地にしわがよる	上糸の通し方、または下糸のセットのしかたがまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。または、下糸を正しくセットします。	B-37、B-40
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を確認して、付け直します。	B-40
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-52
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
	薄地に対してぬい目があらずすぎる。	ぬい目を細かくします。	S-10
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	S-12
	模様合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
	糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-37、B-40
ぬい目が飛ば	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-52
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-50
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	B-50
	針板の下にゴミがたまっている。	ミシンブラシなどでゴミを取り除きます。	A-15
	薄い布地や伸びる布地をぬっている。	布地の下に薄い紙をしいてぬいます。	S-9
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
ぬい目ができない	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-37
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-40

症状	原因	対処	参照ページ
ぬい音が高い ガタガタと音がする	送り歯にゴミがたまっている。	ゴミを取り除きます。	A-15
	かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	かまの掃除をします。	A-15
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-40
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	A-15
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	B-32、B-37
	内かまに針が刺さった穴やスリキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	A-15
布地を送らない	送り歯が下がっている。	 を押してからプーリーを回して送り歯を上げます。	S-40
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	S-10
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
	糸がかままっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	A-15、A-20
布地が逆方向に送られる。	送り機構が故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
針が針板に当たる。	針のとめネジがゆるんでいる。	針のとめネジをしっかりとしめます。針が曲がっている場合や針先がつぶれている場合は新しい針に交換します。	B-50
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
布がミシンに入り込んでとれない。	糸が針板の下でからんでいる。	布を持ち上げて、布の下糸を切ります。次にかまの掃除をします。	A-23
折れた針がミシンの中に落ちた。	—	ミシンの電源を切ってから、針板を外します。ミシンの中に落ちた針が見える場合は、ピンセットなどで取り出します。針を取り出したら、針板を元に戻します。電源を入れる前に、プーリーを手でゆっくり手前に回してなめらかに回るか確認してください。プーリーがなめらかに回らない場合やミシンの中に落ちた針を取り出せない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	A-15
プーリーを回したときに重い。	糸がかまなどにからんでいる。	かまにからんだ糸を取り除きます。内かまを正しい位置に取り付けなおします。	A-15、A-20

■仕上がり

症状	原因	対処	参照ページ
糸調子が合わない	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-40
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。（針板を取り外した場合は、針板を取り付けし直し、内かまを取り付ける前に針板のネジを確実にしめます。）	B-37
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-52
	押えホルダーが正しく取り付けられていない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	B-48
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	S-12
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-32
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-50
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。本機純正ボビンを使用してください。	B-32、B-37

症状	原因	対処	参照ページ
文字模様がくずれる	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
	模様が正しく調整されていない。	模様の調整をし直します。	S-82
	薄地や伸びる布地なのに芯を貼っていない。	布地に接着芯を貼ります。	S-81
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	S-12
	ぬっている途中で布地を引っ張ったり押さえたり、布地がずれたりしている。	布地がまっすぐ送られるように、布に手を軽く添えてぬいます。	S-3
	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まっていた場合は、掃除します。	A-15、A-23

⚠ 注意

- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。また、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布を送ります。これは針棒の解除機能によるものです。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、故障ではありませんのでご了承ください。
- 使用中に停電が発生した場合
電源スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。
再度電源スイッチを入れる場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。

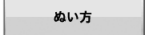
エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態でスタート／ストップスイッチや返しぬいスイッチ、止めぬいスイッチを押したときや、誤った操作をしたときは、ミシンが止まり、メロディとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

(表示中のエラーメッセージは  を押すか、正しい操作をすると消えます)。

⚠ 注意

- 必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずに  (スタート／ストップスイッチ) を押すと、針折れや糸調子不良、故障の原因となります。

マーク	エラーメッセージ	原因／対処
	2本針の設定のときには、上糸通しスイッチは使えません。	2本針が設定されている状態で自動糸通しスイッチを押したときに表示されます。
	USB 通信中	USB メディアとの通信中に表示されます。
	USB メディアエラー	USB メディアでエラーが発生したときに表示されます。
	USB メディアが交換されました。読み込んでいる最中に交換しないでください。	呼び出したい模様が記憶された USB メディアを取り出した後で、その模様を選択しようとしたときに表示されます。
	USB メディアが入っていません。USB メディアを入れてください。	USB メディアを挿入していない状態で、模様を呼び出そうとしたり、保存しようとしたときに表示されます。
	安全装置が働きました。糸がからんでいませんか？針が曲がっていませんか？	糸がらみなどで、モーターがロックしたときに表示されます。
	糸がうまくかかっていない可能性があります。始めから糸をかけ直して下さい。	自動上糸通しのとき、上糸が正しく通されていない可能性があるときに表示されます。
	上糸を確かめ、もう一度かけ直してください。	上糸が切れたときなど、上糸が正しく通っていない状態で、スタート／ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押したときに表示されます。
	選んだ模様が消えます。よろしいですか？	模様を選んだ後に  あるいは  を押して、表示している模様が削除されるときに表示されます。
	押えが自動で下がります。よろしいですか？	押えが上がった状態で  を押したときに表示されます。
	押え上下スイッチで押えを下げてください。	押えが上がっている状態で、スタート／ストップスイッチなどのスイッチを押したときに表示されます。
	押えレバーを下げてください。	押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、押え上下スイッチを押したときに表示されます。
	書き込みに失敗しました。	USB メディアに 100 個以上の設定画面を画像データとして保存しようとしたときに表示されます。この場合は、USB メディアから不要な画像データを削除するか、別の USB メディアを使用してください。(B-27 参照)
	この USB メディアには対応していません。	本機が対応していない USB メディアを使おうとしたときに表示されます。対応する USB メディアの一覧は、弊社サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (http://s.brother/cpfae/) にてご覧ください。
	この USB メディアは使用できません。	使用できないメディアを使おうとしたときに表示されます。
	このキーは使えません。	実用模様を選択していない状態で  を押したときに表示されます。

マーク	エラーメッセージ	原因／対処
	このモードではぬえません。	選択中の模様では使用できない機能を使おうとしたときに表示されます。
	この模様はデュアルフィードモードでぬうことが出来ません。	選択中の模様では、デュアルフィード機能押えを使用できないときに表示されます。他の模様を選択してください。(B-54 参照)
	時刻を設定してください。	ミシンに日時設定がされていないときに表示されます。日時を設定してください。(B-18 参照)
	下糸が少なくなりました。	下糸が少なくなったときに表示されます。
	下糸巻きの安全装置が働きました。糸がからんでいませんか？	下糸巻き中に、糸がらみなどでモーターがロックしたときに表示されます。
—	シャットオフサポートモードが働きました。ミシンの電源を切ってください。	ミシンが電源オフサポートモードのときに表示されます。ミシンをスタートするには、いったん電源を切る必要があります。(B-26 参照)
	スピードコントロールレバーで振幅を調節するときは、スタート／ストップスイッチは使用できません。フットコントローラーを使用してください。	スピードコントロールレバーがジグザグの振幅を調節するように設定されている状態でスタート／ストップスイッチを押したときに表示されます。フットコントローラーでミシンを操作してください。
	設定が消えます。よろしいですか？	実用模様のぬい方設定を削除するために、  あるいは  を押したときに表示されます。  を押すと、設定が削除されます。
	対応したフォーマットではありません。	本機が対応していない形式のファイルを読み込もうとしたときに表示されます。対応するファイル形式の一覧を確認してください。(S-94 参照)
	定期点検を行ってください。	ミシンの定期点検が必要です。(A-15 参照)
	電源スイッチを切ってから針板を交換してください。	直線針板を取り付けた状態で、中基線以外の模様でぬおうとしたときに表示されます。ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したときに表示されます。(B-19 参照)
	布を取り除いてから、糸通ししてください。	デュアルフィード押えが取り付けられており、押えの高さが3ミリ以上の状態で、自動糸通しスイッチを押すと表示されます。布を取り除いてから、再度自動糸通しスイッチを押してください。
	針板カバーが取り付けられていません。針板カバーを取り付けて下さい。	針板カバーが取り付けられていないときに表示されます。
	針が下がっているときに、このキーは使用できません。	針が下がった状態で画面上のキーを押したときに表示されます。
	ファイルサイズが大きすぎます。規定サイズ以内のファイルを使用して下さい。	ミシンが読み込める容量を超えたサイズの模様を読み込もうとしたときに表示されます。データのサイズと形式を確認してください。(S-95 参照)
	不具合が生じました。電源をいったん OFF してから再度やり直してください。	ミシンが故障していることが考えられますので、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」までお問い合わせください。
	フットコントローラーが付いているときは、スタート／ストップスイッチは使用できません。	フットコントローラーを取り付けた状態でスタート／ストップスイッチを押したときに表示されます。
	ポケットがいっぱいです。模様を消去してください。	記憶容量がいっぱいで、模様の設定を消去する必要があるときに表示されます。
	ボタン穴かがりレバーを上げてください。	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがり以外の模様を選んで、スタート／ストップスイッチ、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されます。
	ボタン穴かがりレバーを下げてください。	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがりの模様を選んで、スタート／ストップスイッチ、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

仕様

項目	仕様
本体寸法	57.1 cm（幅）× 28.4 cm（奥行）× 33.2 cm（高さ）
本体箱収納寸法	68.5 cm（幅）× 37.7 cm（奥行）× 55.0 cm（高さ）
製品質量	15.3 kg
ぬい速度	毎分 70 ～ 1050 針
針	家庭用ミシン針（HA×1）
定格電圧 / 消費電力	100 V (50-60Hz) 67W （電源オフサポートモード時の消費電力：0.5W）

アップグレードの方法

USB メディアまたはパソコンを使って、ミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。

🔔 お願い

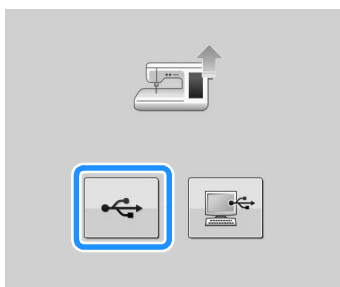
- USB メディアを使ってソフトウェアをアップグレードするときは、USB メディア内にアップグレードファイルだけを保存してください。それ以外のデータが含まれていると、正しくアップグレードできません。

USB メディアを使用してアップグレードする

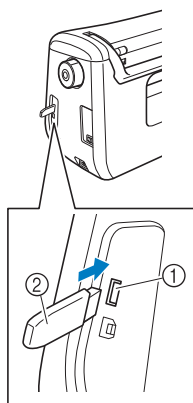
- 1 (自動糸通しスイッチ) を押しながら、電源スイッチを入れます。

→ 次の画面が表示されます。

- 2  を押します。



- 3 アップグレードファイルのみを保存した USB メディアをミシンの USB ポートコネクタに差し込みます。



- ① メディア／マウス用の USB ポートコネクタ
- ② USB メディア

🔔 お願い

- アクセスインジケータ付 USB メディアを使用する場合は、パソコンやミシンに USB メディアを挿入したときに、アクセスインジケータが点滅し始め、USB メディアが認識されるまで約 5 ～ 6 秒かかることがあります。(USB メディアの種類によって、認識されるまでの時間が異なります。)

- 4  を押します。



→ アップグレードファイルがダウンロードされます。

📄 お知らせ

- エラーが発生すると、エラーメッセージが赤い文字で表示されます。ダウンロードが正常に行われると、アップグレード完了のメッセージが表示されます。



- 5 USB メディアを外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。

パソコンを使用してアップグレードする

以下に示すパソコンの種類と OS が使用できません。

- 対応機種：
USB ポートコネクタ標準装備の IBM-PC またはその互換機
- 対応 OS:
Microsoft Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8

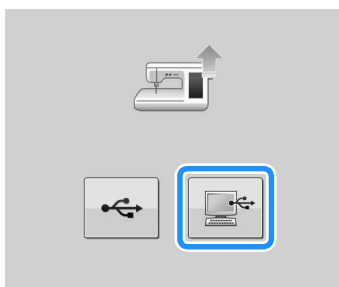
❏ お願い

- USB ケーブルの使用中は、パソコンに他の USB メディアを接続しないでください。

- 1 (自動糸通しスイッチ) を押しながら、電源スイッチを入れます。

→ 次の画面が表示されます。

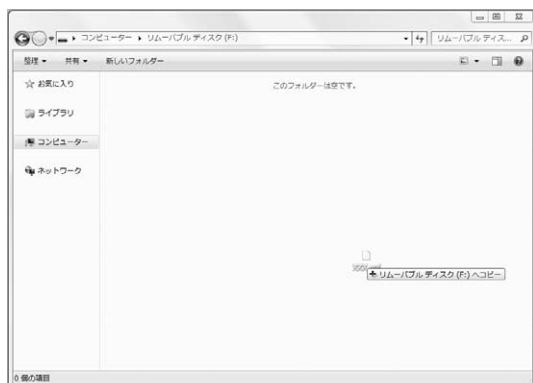
- 2  を押します。



- 3 ミシンとパソコンのUSBポートコネクタにUSB ケーブルを差し込みます。

→ 「コンピュータ (マイコンピュータ)」に「リムーバブルディスク」が表示されます。

- 4 アップグレードファイルを「リムーバブルディスク」にコピーします。



→ 「PC と通信中です。USB ケーブルを抜かないでください」のメッセージが表示されます。



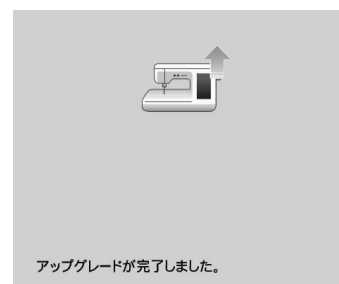
- 5 メッセージが消えたら、 を押します。



→ アップグレードファイルがダウンロードされます。

📖 お知らせ

- エラーが発生すると、エラーメッセージが赤い文字で表示されます。ダウンロードが正常に行われると、アップグレード完了のメッセージが表示されます。



- 6 USB ケーブルを外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。

索引

数字

1 重ぬい / 3 重ぬいキー	S-106
2 本針	B-43
2 本針キー	B-43

L

L/R シフト	S-11
---------------	------

U

USB ケーブル	B-53, S-97, A-35
USB ポートコネクタ	
パソコン用	B-8, S-97
メディア / マウス用	S-96
USB マウス	B-26, B-54
USB メディア	
記憶する	S-96
種類	S-94
呼び出す	S-99

あ

アイレット	S-62
アダプター	B-48
アップグレードの方法	A-34
アップリケ	S-48
キルトぬい	S-38
ジグザグぬい	S-31
アーム	S-62
アルファベット	
文字・模様ぬい	S-78

い

糸	
糸調子	S-12
布地と針と糸の組み合わせ	B-52
糸案内	B-8, B-33, B-36, B-44
糸案内板	B-8, B-36, B-40
糸切り	B-8, S-4
糸切りスイッチ	B-10
糸こま押え	B-8
糸こま押え (特殊)	B-33
糸こまネット	B-46
糸たて棒	B-8, B-32, B-44
糸密度キー	S-87
イメージキー	S-22, S-88, S-107

う

ウォーキングフット	B-48
内かま	
掃除	A-15
上糸通し	
2 本針モード	B-43
糸こまネットを使用する	B-46
自動糸通しスイッチ	B-40
手動で上糸を通す	B-43
上ふた	B-8

え

液晶画面	B-8, B-19
明るさ調整	A-18
掃除	A-15
ロックする	S-18
エコーキルト	S-43

エコモード	B-26
エラーメッセージ	A-31

お

大きさ選択キー	S-86
送り歯	B-9, S-40
押え	
アダプター	B-48
圧力	S-17
種類	S-67
取り付ける	B-47
取り外す	B-47
押え上下スイッチ	B-10
押えホルダー	B-9, B-47
押えホルダーのネジ	B-9
押えレバー	B-8, S-8
折り伏せぬい	S-29

か

返しぬい / 止めぬい	S-5, S-6
返しぬいスイッチ	B-10, S-5
拡大キー	S-106
飾りぬい	
デジーステッチ	S-53
ドロンワーク	S-54
画面明るさ	A-18
換気口	B-8
かんどめ	S-59

き

記憶する	
USB メディア	S-96
実用ぬい	S-22
パソコン	S-97
マイイラスト	S-110
ミシンのメモリー	S-95
文字・模様ぬい	S-95
模様の設定	S-22
キーのはたらき	
実用ぬい	B-21
マイイラスト機能	S-105
文字・模様ぬい	S-84
ギャザー	S-28
キルト	
フリーモーション	S-40
キルトぬい	S-35
サテンぬい	S-39

く

グリッド方向キー	S-106
クレイジーキルト	S-31

こ

コードガイドふた	S-32
ゴムひもつけ	S-33

さ

サイドカッター押え	S-33
サテンぬい	S-39, S-87
左右反転キー	S-21, S-86

し

シェルタックぬい	S-49
ジグザグぬい	S-30
下糸を巻く	B-32
下糸通し	
下糸をセットする	B-37
下糸を引き出す	B-39
下糸巻き案内	B-8, B-34, B-36
下糸巻き装置	B-8
しつけぬい	S-27
実用ぬい	
アドバンスキー	B-31
選び方	S-21
記憶する	S-22
キーのはたらき	B-21
ぬい方キー	B-30
ぬい方早見表	S-67
模様選択画面	S-67
呼び出す	S-23
自動糸切りキー	S-14
自動糸通しスイッチ	B-10, B-40
自動止めぬいキー	S-6
自動布地センサーシステム	S-17
シャッター	B-40
仕様	A-33

す

垂直糸たて棒	B-46
スカラップぬい	S-50
スタート/ストップスイッチ	B-10
ステップ模様	S-92
スピーカー	B-24
スピードコントロールレバー	B-8, B-10, S-3
スモッキングぬい	S-50

せ

設定	
糸調子	S-12
画面の明るさ	A-18
自動糸切り	S-14
自動止めぬいをする	S-6
セットキー	B-23
ぬい方の設定	B-23
ぬい目の長さ	S-10
表示言語	B-27
振り幅	S-10
セットキー	S-106

そ

操作スイッチ	B-8
掃除	
内かま	A-15
液晶画面	A-15
本体表面	A-15

た

ダーツ	S-28
ダーニング (つくろいぬい)	S-58
たちめかがり	S-31
タッチペン	S-106, A-18
試しぬいキー	S-107, S-110

ち

調整	
画面の明るさ	A-18
直線押え	S-26
直線ぬい	S-24
直線針板	S-26

つ

つき合わせぬい	S-50
---------	------

て

デニム	B-52
デュアルフィード押え	B-54
電源オフサポートモード	B-26
電源コード	B-18
電源ジャック	B-8
電源スイッチ	B-8, B-17
点線ジグザグぬい	S-33

と

止めぬいスイッチ	B-10, S-5
トラブルチェック	A-19

な

ナイロン透明糸	B-52
---------	------

に

ニット用針	B-52
ニーリフター	B-8, S-15

ぬ

ぬい方キー	B-30
ぬい方早見表	S-67
布地	
厚地をぬう	S-8
薄地をぬう	S-9
布地と針と糸の組み合わせ	B-52
伸びる布地をぬう	S-9, S-57

は

ボタン穴かがり	
ボタン穴かがり	S-54
ボタンが皿皿にのらない場合	S-57
パッチワーク	S-31
針	
2本針	B-43
布地と針と糸の組み合わせ	B-52
針位置の変え方	S-25
針の交換	B-50
針板	B-9
針板カバー	B-9, S-26
針板ふた	B-9, B-38
針位置	S-17, S-25
針・押え交換キー	B-44, B-47, B-48, B-50, B-55
針上下スイッチ	B-10
針のとめネジ	B-9
針棒糸かけ	B-9, B-44
ハンドル	B-8

ひ

ピーシング	S-36
ガイド付きピーシング押え	S-37
ピボット	S-15
ひらがな/カタカナ	
文字・模様ぬい	S-78
ピンクタック	S-30

ふ

ファゴティングぬい	S-51
ファスナーつけ	
つき合わせ	S-63
脇あき	S-64

付属品	B-12
別売品	B-14
付属品入れ	B-11
フットコントローラー	B-8, S-5
プーリー	B-8
フリーモーションキルト	
エコークルト押え<E>	S-43
オープントウキルト押え<O>	S-40
フリーモーションキルト押え<C>	S-41
フリーモーションモード	S-40
ブロック移動キー	S-108

へ

ヘアルーム	S-53
ヘルプキー	B-28
編集	
マイイラスト機能	S-105
文字・模様ぬい	S-84

ほ

ポイント削除キー	S-107
ポイント挿入キー	S-109
補助テーブル	B-8, B-11
ボタン穴かがりレバー	B-9, S-56, S-58
ボタンつけ	S-60
4つ穴ボタン	S-61
糸足	S-61
ボビン	
下糸を引き出す	B-39
セットする	B-37
巻く	B-32
ボビン受け座	B-36
ボビクリップ	B-13
ボビンホルダー（スイッチ）	B-34
ボビンワーク	A-2

ま

マイイラスト機能	
キーのはたらき	S-105
デザイン	S-103
データの入力	S-105
呼び出す	S-111
リストに保存する	S-110
まつりぬい	S-45

み

ミシン糸	
布地と針と糸の組み合わせ	B-52
ミシン針	
布地と針と糸の組み合わせ	B-52

も

文字・模様ぬい	
選び方	S-77
記憶する	S-95, S-96, S-97
キーのはたらき	S-84
組み合わせ	S-89
調整	S-82
ぬう	S-81
編集	S-84
呼び出す	S-98, S-99, S-100
模様の頭出しキー	S-87
模様の組み合わせ	
文字・模様ぬい	S-89
模様の長さキー	S-86

や

矢印キー	S-106
------------	-------

よ

横送り	S-62
横書き／縦書き	S-87
よこたてキー	S-87
呼び出す	
実用ぬい	S-23
パソコン	S-100
マイイラスト	S-111
ミシンのメモリー	S-98
文字・模様ぬい	S-98

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

■ お客様相談室(ミシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は
お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(ミシン119番) Tel: 050-3786-1134

050(ゼロ ゴー ゼロ)で始まる電話番号です。

Fax: 052-824-3031

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:30

休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室(ミシン119番)は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

www.brother.co.jp/

弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)では、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://s.brother/cpfae/>



Brother SupportCenterは、ブラザー製品のサポート情報(取扱説明ビデオやよくあるご質問など)を提供するモバイルアプリです。
ダウンロードするにはApp StoreまたはGoogle Play™にアクセスしてください。



ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

882-D12



XH4700-101①